

第4回南知多町総合計画審議会次第

日時 令和2年11月9日(月)
午後2時～午後5時
場所 南知多町役場大会議室

1 あいさつ(5分)

2 議題

(1) これまでの審議会の経緯及び第4回審議会の進め方について(資料1)

(2) パブリックコメントの結果について(資料2)

(3) 総合計画(素案)の修正について(資料3、4、5)

(4) 第7次南知多町総合計画の策定答申案について(資料6)

(5) その他

- ・第0期アクションプラン(案)について(資料7)
- ・総合計画(概要版)について(資料8)
- ・住民意識調査結果について(資料9)

3 その他

- ・次回の審議会日程

第5回審議会 令和3年3月19日(金) 15:00 南知多町役場大会議室

<送付資料>

資料1 これまでの審議会の経緯及び第4回審議会の進め方について

資料2 パブリックコメント結果

資料3 素案修正新旧対照表

資料4 答申前総合計画(案)

資料5 審議会内容について

資料6 第7次南知多町総合計画の策定について(答申)(案)

資料7 第0期アクションプラン(案)

資料8 第7次南知多町総合計画(スタートブック)について(案)

資料9 住民意識調査(モニター調査)結果について

これまでの審議会の経緯及び第4回審議会の進め方について

1 これまでの審議会の経緯

第1回から第3回の審議会において、第7次南知多町総合計画に対して熱心にご審議いただきありがとうございます。

審議にあたっては、審議会各回で修正案に対してご審議いただき、第3回審議会までにパブコメ前総合計画（素案）について、ご審議いただき了承いただく予定でしたが、第3回の会議の進行、説明及び資料のご提示に不手際があり、十分にご審議をいただくことができず、ご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。

第4回審議会では、答申前総合計画（案）について、ご審議いただき了承いただくため、これまでの審議会の内容及び今後の審議内容等について、以下のとおり、整理させていただきました。

○総合計画審議会の経過及び今後の審議内容

回数等	開催日時等	審議内容
第1回 審議会	令和2年5月8日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・諮問 ・策定基本方針 ・総合計画（素案） ・進行管理 ・住民意識調査
第2回 審議会	令和2年7月20日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回審議会意見への回答 ・総合計画（素案）の修正 ・住民意識調査結果 ・住民会議及び概要版
第3回 審議会	令和2年9月23日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回審議会意見への回答 ・総合計画（素案）の修正 （・住民意識調査結果） ・パブコメの実施 ・アクションプラン ・住民会議の結果 （・パブコメ前総合計画（案））
第3回 審議会 （事後資料送付）	令和2年10月5日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・住民意識調査結果 ・パブコメ前総合計画（案）
第4回 審議会	令和2年11月9日（月） 午後2時～午後5時 ※開始時間を1時間前 倒しさせていただきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・パブコメ回答（案）の審議・了承 ・答申前総合計画（案）の審議・了承 ・答申書（案）の審議・了承 ※審議状況によって審議が終了しない場合は、予備日の開催を検討させていただきます。
第4回 審議会 （予備日）	令和2年11月16日（月）	<ul style="list-style-type: none"> （・答申前総合計画（案）の了承） （・答申書（案）の了承） （・町長へ答申）
第5回 審議会	令和3年3月19日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・概要版、アクションプランの説明 ・令和3年度住民意識調査（案）の説明 ・令和3年度 評価委員会の説明

2 第4回審議会の進め方

次第に沿って進めさせていただきます。今回の審議会で、**議題2から議題4**についてはご審議の上、最終的に、答申をいただきたいと思いますと考えております。審議の流れは次のとおりです。また、議題5「その他」については、第5回審議会に向けて、ご意見をいただきたいと思いますと存じます。

① 事務局より、資料について、以下のとおり説明

- ・議題2「パブリックコメント結果」は、資料2のパブコメ意見に対する事務局回答（案）について、素案を修正するものを中心にご説明します。
- ・議題3「答申前総合計画（案）」は、資料3の新旧対照表、資料4の総合計画（修正案）を第1章から章ごとにご説明します。また、資料5の審議内容については、これまで各委員様からの意見に対する事務局回答（案）を章ごとにまとめています。素案へ反映の有無に対してご意見がありましたらお願いします。
- ・議題4「答申書（案）」は、これまでに審議会の意見、議論を踏まえた審議会意見（案）についてご説明します。

② 各議案の審議（修正・了承等）

- ・事務局からの説明を受け、「審議事項」についてご審議いただきます。事前意見としていただいた意見は、当日ご回答させていただきたいと考えています。

③ 全体を通して審議（結論）

- ・全体を通して、審議を踏まえて審議会としての結論をいただきたいと思いますと考えています。

3 第4回審議会の審議事項の流れと時間配分の目安

議題2「パブコメ回答（案）」の審議（30分～35分）

- ①事務局からの説明
- ②回答（案）の審議（修正、了承等）
- ③全体審議（結論）

議題3「答申前総合計画（案）」の審議（60分から65分）

- ①事務局からの説明
- ②計画（案）及び回答（案）の審議（修正、了承等）
- ③全体審議（結論）

議題4「答申書（案）」の審議（30分から35分）

- ①事務局からの説明
- ②答申書（案）の審議（修正、了承等）
- ③全体審議（結論）

議題2～4の審議事項については135分、その他の議題で45分、全体で180分を予定しています。

【総合計画推進本部事務局】 企画部企画課企画政策係 奥村・山下

TEL：0569-65-0711（内線332・335）FAX：0569-65-0694

E-mail：kikaku@town.minamichita.lg.jp

第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答案	計画案への反映
1	第1章 計画の策定にあたって	2	1 計画策定の趣旨 (2) 総合計画の意義	「町長マニフェストを」を削除する。 町長が変わるたびに変更することになるため。	町長マニフェストは選挙という民意を反映した町政の重要方針であり、総合計画とマニフェストは整合的であることが求められます。第1章 3 (2) 第6次総合計画からの変更点の記載のように、マニフェストと総合計画の整合を図るため、計画期間を12年に変更し、4年毎に見直しを実施していきます。	変更なし
2	第1章 計画の策定にあたって	3	2 計画の在り方の見直し (2) 改善に向けた見直し	素案では、「事業評価や予算・決算との連動が十分でないため総合計画の実行や進捗管理、見直しが行いにくい」としています。本審議会では、ほとんど財政面の資料が、提供されず「言いつばなし」「予算の裏付けのない」討議が進められています。本素案の問題点(評価)は、1. これまでの総合計画の総括がないこと。予算の裏付けのない議論は、役所の議論としては問題があること。 2. 役所の執行体制や、行財政改革が全く示されていない事、これでは町民に言いたいことを言わせただけで具体性に欠ける。少なくとも役所の総括を示し、役所と町民が一体で計画を推進する呼びかけが必要と思います。	事業評価、施策評価、住民意識調査、評価委員会の意見を踏まえた個別具体的な事業の計画はアクションプランに委ねていきたいと考えています。	変更なし
3	第1章 計画の策定にあたって	4	3 計画の構成と期間 (2) 第6次総合計画からの変更点	「町長マニフェストとの整合を図るため」を削除する。	町長マニフェストは選挙という民意を反映した町政の重要方針であり、総合計画とマニフェストは整合的であることが求められます。第1章 3 (2) 第6次総合計画からの変更点の記載のように、マニフェストと総合計画の整合を図るため、計画期間を12年に変更し、4年毎に見直しを実施していきます。	変更なし
4	第2章 計画策定の背景	6	1 南知多町を取り巻く環境 (1) 今後想定される社会環境の変化	(1) 今後想定される社会環境の変化の項目を表すために「世界」「日本」「南知多町」に区分されている。SDGsを否定はしないが、南知多が今後、世界と関われる計画、数値目標を設定(例えば、外国人の南知多町定住数値目標の設定など)して、その進捗管理をしていくならば適切だと思う。そこまで考えないのであれば、「日本」「愛知」「南知多町」の区分が現実的に思う。特に「南知多町」の部分において、過去の総合計画期間中に内海、山海、豊浜、豊丘、師崎、片名、大井、篠島、日間賀島の区分ごとに年代別人口、業務別経済等が具体的にどう変わったのかを明確にして、課題をより明確にすることが重要と考える。(これまでの総合計画の問題点をしっかり整理して、解決すべき課題の明確化が重要)	・住民生活に大きな影響を与える経済や技術進歩、食料・環境問題、感染症の拡大等、現代では様々な事柄において、国も自治体も世界的な大きな流れの中でかじ取りを求められています。世界と接点を持つことを求めるといよりは、市町村も国や県の後追いばかりでなく、地球規模の視野で今後の大きな流れを捉えたうえで地域の視点で自ら行動するという観点から、このような構成としています。 ・これまでの総合計画の問題点については第1章2「計画の在り方の見直し」で、また各施策の課題については前年度の素案策定作業部会にて施策評価を行い明確にした課題を、各施策の現状と課題に引き継いでいます。	変更なし
5	第2章 計画策定の背景	7	1 南知多町を取り巻く環境 (2) AIをを活用した持続可能な日本の未来に向けた政策提言	AIの活用とあるが、理解がむずかしい。	南知多町を取り巻く環境のひとつとして、これからの日本に関する社会構想と政策提言(AIの活用により、持続可能な日本の未来に向けた政策を提言)を紹介しています。 提言内容は、日本全体として持続可能性の観点からは「地方分権シナリオ」の選択をし、そのための政策を継続的に実行する必要があるというものです。	変更なし

第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答案	計画案への反映
6	第2章 計画策定の背景	8	2 社会情勢への対応 (1) 人口減少下における持続可能な行財政運営	町単独ではなく近隣の自治体と連携して公共サービスを運営・提供する。 一町で用意すると質も十分なものにしにくい。なので、より密に、近隣市町と連携をとって、町が「できないから自助努力して」と突き放すのではなく、受け皿を案内できるよう、代わりに利用できる近隣市町の候補をリストアップし、場合によっては仲介するなどできれば、不安も和らぐでしょう。	近隣の自治体との連携については、各施策によって具体的な内容は変わります。ご提案頂いたような案内、仲介が適している施策については、そうした連携が実現できるよう努力していきます。	変更なし
7	第2章 計画策定の背景	8 10	2 社会情勢への対応 (1) 人口減少下における持続可能な行財政運営 3 南知多町が目指すべき方向性 行政・町民・企業・関係団体その他多くの人が力を合わせ共にまちづくりを推進していく協働体制の構築についてなど	現在あるまちづくり協議会に、企業・商工・観光・農漁業・防犯防災・教育関係等々の関係団体に地域団体（例えば、区・祭礼など地域行事にかかわる諸団体）を含めて、行政が主導してのまちづくりを構築するべきであると考えます。 現在多くの団体（各地域団体・何々会・何々クラブ・何々委員会等）がありそれぞれの個体あるいは集合体によって立派に活動しています。が、南知多町の地域性もあり止むを得ないこともあるかと思いますが、南知多町を核とするならば、各関係者が一堂に会して意見交換、情報交換等を一本化し発信していくことが必要だと思います。（多くの組織がそれぞれに活動していますが、町全体としてはバラバラに行動している気がします。） 確固たる公と民で一本化した南知多の組織を作れば、18Pの地元をにぎわす仕事づくり、69Pの職員の成長とやりがい等、総合計画に列記されていることにつながるものと考えます。	総合計画の効果的な実現のために、横断的に行政、地域団体、住民がつながる必要性があります。すべてを一本化することは難しいかもしれませんが、関係する団体や住民と行政（関係課）とのつながりによる情報の共有化の推進を検討していきます。	変更なし
8	第2章 計画策定の背景	9	2 社会情勢への対応 (2) SDGsへの取り組み	「SDGsへの取り組み」を「持続可能な開発目標」と見出しの変更を。	ご意見を踏まえ、素案を修正しました。	計画ページ：8 (2) 持続可能な開発目標（SDGs）への取り組み 持続可能な開発の目標（SDGs：Sustainable Development Goals）は、…
9	第2章 計画策定の背景	9	2 社会情勢への対応 (2) SDGsへの取り組み (3) Society5.0による社会の変化	SDGs、Society5.0、IoTなど言葉の意味がわからないため、全体として、難しい言葉は、注釈など説明を追加してほしい。	SDGsも含め近年生まれた概念であり、日本語訳も長く不自然で分かりにくいことから、メディア等で取り上げられることの多い名称（アルファベット略称）を使用し、日本語で意味を併記していました。ご意見を踏まえ、意味が大きく変わらない範囲で言い換え等を行いました。	計画ページ：9 (3) 技術革新による社会の変化 国の第5期科学技術基本計画では、Society5.0（仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する社会）の実現を提唱しています。 Society5.0で実現する社会は、IoT（Internet of Things：全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有されること）により…

第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答案	計画案への反映
10	第2章 計画策定の背景 第3章 基本構想	10 40	3 南知多町が目指すべき方向性 6 基本施策 2-1 豊かな海と産物を活かした水産業	○海水温の上昇・海洋酸性化による影響調査 温暖化で、海水温の上昇と海洋酸性化の影響と思われる魚貝類の減少や消滅が考えられる。水産試験場や漁協と協力して調査を進める。	総合計画はまちづくりの大きな方向性を決める計画であるため、具体的な事業等に対しては、より具体性を持たせた「アクションプラン」を策定し実行していく中で検討していきます。限られた人手や予算の中で総合計画を効果的に実現していくために、既存の事業等の見直しとあわせ、需要や重要性の高い取り組みを実施していきたいと考えています。	変更なし
11	第3章 基本構想	14	2 南知多町がとるべき戦略 (1) 子育て世代の居住と就業促進	「子育て世代に対する就業等…」へ「子育て世代に対する就業及び居住の支援…」のように「及び住居」を具体的に追加する。	ご意見を踏まえ、素案を修正しました。	計画ページ：68 子育て世代に対する就業、居住等の支援を強化すると同時に…
12	第3章 基本構想	14	2 南知多町がとるべき戦略 (1) 子育て世代の居住と就業促進	働き盛りの子育て世代に、町内雇用主の運用は昔の産業構造の頃の男が家庭を顧みずに働き、女性が育児に専念する…ようなスタイルならば成立する。 自身が移住者であるため、都市部に出てフルタイムで働けるくらいの受け皿があれば、どんどん移住者を誘い込みたい。また、都市部や近隣市町で働くため、または、通院などのために知多半島道路および南知多道路を無料もしくは割引きで利用できるチケットのようなものがあると、より収入を増やせます。	3つの重点政策ととるべき戦略(1) 子育て世代の居住と就業促進に基づくアクションプランにおいて検討していきます。	変更なし
13	第2章 計画策定の背景	14 ～ 17	2 南知多町がとるべき戦略 (1)～(6)	戦略は進むべき(目標達成のための)方向性、シナリオを示すもので総合計画設定上、大変重要と思われます。現在の内容で大きくはずれていないと思いますが、少子高齢化の中で一人世帯化が急増しており、子育て世帯だけでなく老人世代、特に一人世帯にとって不便でない(困らない)生活を確保する視点と、地震、災害に強い町作りの視点による戦略を改めて項目立てする必要がある(あるいは、既往の戦略の中に明示する必要がある)と思う。	ご意見を踏まえ、素案を修正しました。	計画ページ：68 (1) 子育て世代の居住と就業促進 また災害などのリスクに強いまちづくりあることは全ての人々にとって重要ですが、子育て世代の居住地選択においても重要な要素となっています。選ばれるまちであるために、災害等に強いまちづくりが求められます。 (2) 高齢者の就業促進と生活の確保 …人手不足を解消し町内産業を活性化し、高齢者が安心して住み続けるためには、希望する高齢者が働くことのできる就業環境と、単身世帯でも困らない生活環境が重要です。 …高齢者が健康で様々な分野で活躍できる環境を整備し、就業を促進するとともに、つながりを大切に、孤立することのない地域社会を維持する必要があります。

第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答案	計画案への反映
14	第3章 基本構想	15	2 南知多町がとるべき戦略 (3) 地域内経済循環を拡大する「地消地産」	乗用車、観光バスのほか海っこバスや観光船を利用して町内の名勝旧跡・景勝地・観光施設や旅館店舗などを周遊観光ルートにのせ各所での特産品のPR販売を又、師崎港の朝市のようなところを町の核となる集客力のある南知多観光市場として位置づけ、南知多の特産品販売をおこなう。 (名勝旧跡に立ち寄った方、町内の登録店で購入した方に特産品を渡す方法とか考えて何度でも来てもらえるようにする。南知多の特産品には、魚介類のほか、農産物や花など多くあると思います。観光施設等には、休憩場・駐車場・トイレ等が必要だと思います。)	3つの重点政策ととるべき戦略(3)地域内経済循環を拡大する「地消地産」に基づくアクションプランにおいて検討していきます。	変更なし
15	第3章 基本構想	15	2 南知多町がとるべき戦略 (3) 地域内経済循環を拡大する「地消地産」	「地消地産」をいいながら、実際に南知多町産の野菜や魚などを売っている「道の駅」のような店がない。美浜町には、鵜の池で新鮮で種類の多い野菜が売られていて、南知多町からも買いに行っている。南知多町にも「道の駅」のような店を作ることを書き込んでほしい。	3つの重点政策ととるべき戦略(3)地域内経済循環を拡大する「地消地産」に基づくアクションプランにおいて検討していきます。	変更なし
16	第3章 基本構想	16	2 南知多町がとるべき戦略 (5) 都会にない魅力を提示する就業と生活モデルの創造	コロナ禍の経験で田舎でリモート生活をしたいという若者が増えている。「南知多町に呼び込むための、政策・対策を作成する」ことを書き込んでほしい。	ご意見を踏まえ、素案を修正しました。	計画ページ：70 また新型感染症の拡大により働き方や生活様式が大きく変化しつつあります。今後も居住地域に左右されない就業や生活様式が普及することが想定され、都市部に居住するメリットは低下すると考えられます。そのため、都会にはない自然に恵まれた魅力とその中での就業と生活のモデルを町内外へ発信し、町内に呼び込むための施策を強化することで…
17	第3章 基本構想	16	2 南知多町がとるべき戦略 (5) 都会にない魅力を提示する就業と生活モデルの創造	ソーシャルビジネスで自身も起業しようとしていたが、ネットワークの構築や需要の把握をしているうちにタイミングを逃し…となる前に、この町でも起業支援などをして、協働を促進できるといい。	3つの重点政策ととるべき戦略(5) 都会にはない魅力を提示する就業と生活のモデルの創造に基づくアクションプランにおいて検討していきます。	変更なし
18	第3章 基本構想	18	3 まちづくりの基本目標・基本施策 (1) 計画の体系図	計画設定上、戦略は極めて重要で、その戦略実現のため、基本施策や具体的な取組事項(アクションプラン)があると考えますが、せっかく設定された戦略が、18ページ以降の計画体系や、基本目標・基本施策の中に位置づけられていないため、基本施策の個々が適切なのか評価できない。(計画の体系図の中の4つの基本目標と14～17ページで整理されている戦略との関係が不明で、18ページの基本目標の4つの代わりに戦略を縦に並べて、戦略ごとに基本施策を整理した方が理解しやすい。	「重点政策」「とるべき戦略」に基づき、基本構想を具体化するため「アクションプラン」策定につながるよう第3章基本構想の要素について整理しました。	計画ページ：11～ 素案の構成を修正しました。

第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答案	計画案への反映
19	第3章 基本構想	19	3 まちづくりの基本目標・基本施策 (2) まちづくりの基本目標 (KPI)	「まちづくりは、町民、企業、関係団体、その他多くの人々が、それぞれの取り組みについて知り、積極的に関わり、可能な範囲で貢献し、それらの活動によって満足度を高めていくことが重要であるため、3つの目標の達成に向け「ひとづくり指標」「仕事づくり指標」「まちづくり指標」をKPIとして導入する。 その指標は、住民意識調査により3つの基本目標を構成する21の基本施策に対し、重要度、認知度、満足度、貢献度を測り、これらを総合して数値化したものとする。 数値化の計算式は認知度×0.3 + 満足度×0.4+ 貢献度×0.3とし、毎年度測定し振り返り」ということですが（こちらで1ページを要約いたしました）、本資料ではこれらの住民意識調査の評価項目や、少なくとも「現状値」としてお示しいただいている結果の明示がなく、指標の妥当性や、目標数値の妥当性をチェックすることができません。 開示をお願いいたします。	住民意識調査結果は町公式ホームページ（HP番号：1002682）第3回南知多町総合計画審議会資料（資料4 P87）へ掲載しております。 ご意見の内容については、第1回南知多町総合計画審議会資料（資料9 P94～）に掲載しております。 パブリックコメント実施時に総合計画案と共に掲示すべき資料でした。	変更なし
20	第3章 基本構想	20 25	5 重点政策 (1) 重点政策の考え方	24ページの重点政策と26ページの基本施策の関係（位置付け）ですが、18ページの計画の体系の中に、重点政策が明示されていないこともあり、わかりにくい。重点政策は基本施策すべてが連携して取り組むことではじめてできるとして、基本施策とは別建てにしているようだが、返ってわかりにくくしている。戦略から必要となる基本施策の一つとして位置付ける（基本施策の中でプライオリティの高いものを重点政策として位置付けた方が住民としてもわかりやすい）ことが適切と考える。基本施策ごとに、具体的取り組み計画（アクションプラン）が作成されると思われるが、アクションプランごとに到達年度ごとの達成目標（成果目標、到達目標）を具体的に設定して、それを管理指標として明示していただいた方が住民にもよくわかるし、町行政においても、総合計画のPDCAを回していくのに有効な指標になると考えられる。 以下、30ページ以降も同様に思います。	・行政としてはあらゆる施策分野をカバーする必要があるため、基本施策は網羅的なものとなっており、また今後の実行や進捗管理の観点から、ある程度は町組織と紐づけて整理しています。 ・分かりやすさの観点からは、基本施策から重点的に取り組むものを選ぶといった方法も考えられます。しかし、例えば子育て支援は就労支援や公園や歩道整備など、多くの施策分野の事業が重要になることを考えると、あらゆる施策を横断的に実施することが不可欠です。そのような施策横断的な政策を考える場合、全ての施策と紐づく可能性があり錯綜するため、施策との関連で捉えることは適切ではないと考えています。 ・PDCAの観点からは、各施策で重点政策に該当する事業をアクションプランにまとめ、実行し進捗を評価し、それを各重点政策ごとに整理することで、重点政策ごとに取り組み状況を把握していきま	変更なし
21	第3章 基本構想	21	4 人口ビジョンとKGI (3) 人口流出への対応	転出を防ぎ、転入を促進するため、移住・定住対策が求められます。とありますが、住民だけに求めるのではなく役場職員も南知多町に住むべきだと思います。特に結婚したら南知多町に住んでほしいです。 南知多町民だと思っていたらいつの間にか町外に引っ越している職員のかたもいられるようなので・・・南知多町の職員が先頭をきって町外に住むようではいけないと思います。 住民に意見を求めるのはとてもいいのですが、南知多町に住んで何がいけないのか、何がいいのかを身をもって考えるべきではないでしょうか？	移住・定住対策として、職員を含めた、町内外の人に、移住して欲しい、住み続けて欲しいと思っております。南知多町に住みたくなるようなまちづくりに努めてまいります。	変更なし
22	第3章 基本構想	23	4 人口ビジョンとKGI (6) 目標指標 (KGI) の設定	第7次総合計画の終了(令和14年度)時点で維持すべき出生数として、KGIの目標数値を75人としとありますが このままでは目標値を維持出来ないのでは無いかと思います。	ご意見のとおり、このままでは達成が困難であるため、施策の全てが横断的に取り組んでいく必要があると考えています。	変更なし

第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答案	計画案への反映
23	第3章 基本構想	24	5 重点政策 (1) 重点政策の考 え方	子育て支援だけでなく、「住民支援」を入れる。	人口の安定化のため、特に子育てに焦点を当てています。子育て世帯以外も含め、住み続けたいと思えるようなまちづくりとして、③定住支援を定めています。	変更なし
24	第3章 基本構想	24	5 重点政策 (1) 重点政策の考 え方	子どもを産み育てるために子育て支援だけでなく、生活を支える仕事や収入や、仕事と子育てを両立できる職場環境も重要と、記述されているが、 子育て支援 子供を産むための産院まで行くのも一苦勞。車がないと支援センターにも行けず、検診などで行く役場や支援センター、総合体育館のトイレやおむつ替えはユニバーサルデザインでもない。(ここまではインフラの問題) 子育て支援する側の人員が「お母さんが絶対、3歳までは一緒にいるのがいいんだ」と説いてきたり、父親も育児していることが考えにない人もいて、「旦那さんを支えてね」という考えの人もある。これは情報や文化が停滞しがちな田舎によくある傾向ですが、その前世代の古い価値観が子育てと仕事の両立を阻む要素にもなっている。 仕事と子育ての両立 経済的に苦しく、預けられるようになったらすぐ働こうと動いていたが、預ける月齢や延長保育可能時間の問題で諦め、まずはゆとりを持って働こうとパート労働を検討したが、保育所入所基準を満たせないためフルタイムで働き、心身が疲弊した。また、町内の働き先はいずれも問題が多く、賃金も低かった。 町内の就労先は女性と男性の差が大きく、男性は子供が生まれても休暇を取らせてもらえる様子ではなかった。パワハラや人権侵害、労基法上の問題も多く見て取れた。また、雇用主は支配的になり、尊厳を無視していた。 職場環境 パワハラやワークライフバランスを指導する立場にある町内商工会でそれと逆行する環境が常態化していた。 ゆえに、町で現代における働き方や雇用について各事業主に指導する必要があるのではないか。(商工会は工場と発展のためには機能しない) 自身が全国で中小から大企業、公務員まで経験してきた中で、働き方も随分変わってきました。全国スタンダードすら知らず、昭和の時代の「常識」を引きずっている事業所も多くあります。特に町内の方は外の世界に出ることなく凝り固まりがちです。 よって、もっと生き生き働ける環境づくりをサポートするか、町外で就労し、町内に帰宅する人たちが安心して子育てや介護等を委託できるように受け皿を整備し、「ベッドタウン」として人口増加を図るのも効率的ではないだろうか。その方が所得が上がり、税収も増えるのではないだろうか。	・ご記載いただいたような経験をして町外へ転出したいと思う人がいなくなるよう、各施策にて、子育て支援、働く環境整備、多様性が尊重される社会の実現を目指して取り組んでいきます。 ・ベッドタウンと所得については、町外やリモートワークで働く方に町内に住んでいただくのも重要な選択肢です。選択肢を限定することなく、南知多町の資源を活かして低コストで実現できる手段に挑戦したいと考えています。	変更なし
25	第3章 基本構想	24	5 重点政策 (1) 重点政策の考 え方	③定住支援の中の「インフラ」の前に「住居」を入れる。 親の家からの独立が希望であり、古民家でも内装を近代的に変えれば、住んでもらえると思う。駐車場をつけて。	ご意見を踏まえ、素案を修正しました。	計画ページ：72 住居、インフラ、生活環境…
26	第3章 基本構想	24	5 重点政策 (1) 重点政策の考 え方	①子育て支援と教育の充実の中に、「自然環境と歴史に富んだ学校教育」を入れる。 ③定住支援に、町借り上げの古民家を、賃貸住宅に改装する。	①についてはご意見を踏まえ、素案を修正しました。 ③については個別具体的な論点となるため、基本施策3-3(資源を活かす土地利用)にて言及しています。さらに具体的な実行手段については、アクションプランにより検討していきます。	計画ページ：72 …子育て世代を支援する、豊かな自然環境など地域資源を活かした子育て環境づくり…

第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答案	計画案への反映
27	第3章 基本構想	25	5 重点政策 (3) 重点政策の管理指標 (KPI)	全体的に、KPIの説明が不足している。 現状値及び目標値について、設定方法もよくわからない。 KPI＝管理指標という表現に違和感がある。 KPIとは、重要業績評価指標という認識をしているが、重点政策のKPI、基本目標のKPI、基本施策のKPIをきちんと整理してほしい。	・KPIの考え方、目標値の設定方法については、資料編に記載します。 ・KPIの呼び方については「これでなければだめ」という日本語訳があるわけではありませんが、最も使われる「業績指標」は今回設定した各種指標に馴染みにくいことや、今後は進捗管理をしっかりとしていきたいという思いから、「管理指標」としました。審議会により「成果指標」や「評価指標」等、別の名称にすべきか検討します。	計画ページ：73 重点政策のKPIの基準値を記載します。
28	第3章 基本構想	25	5 重点政策 (3) 重点政策の管理指標 (KPI)	重点政策「子育て支援と教育の充実」のKPIとして設定されているのが、現状 ●希望の保育所に入所している乳・幼児の割合 100% ●放課後児童クラブの申込みに対する充足率 100% ●赤ちゃん訪問の実施率 100% とのことですが、南知多町子ども・子育て支援事業計画を拝見すると（下記ハイパーリンク） sodateshienjigyokeikaku.pdf 保育所は大幅な定員割れ、放課後児童クラブの定員も、平成30年度に急激に増加したものの、いまだ定員割れの状態です。また、赤ちゃん訪問についても、例年ほぼ100%を達成し、必要な人員の確保もできている、と資料にありました。しかし、出生数については、KGIとして設定された「総合計画終了時点（令和14年度）で維持すべき出生数75人」を、平成30年度には62人と、すでに目標を割りこんでいる状況です。 起死回生の策が必要な場面で、現在すでに達成している、あるいはほぼ達成している指標ばかりを重点政策の達成度を測るKPIとして採用するのは、不適切ではないでしょうか。重点政策「子育て支援と教育の充実」については、資料では「子育て世代の不安や不満を緩和し、地域ぐるみで子育て世代を支援する、子育て環境づくりを目指します」とあります。南知多町子ども・子育て支援事業計画の子育て世代へのアンケート p.29（9）子育て全般については、「就学前児童保護者の地域における子育ての環境や支援の満足度」が減少しています。少なくとも一つ、ここに子育て世代の不安や不満が存在しています。 また、同p.31 4 第1期計画の事業の進捗評価では（3）労働者の職業生活と家庭生活との両立に必要な雇用環境の整備に関する施策との連携 の指標「ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発」、「働きやすい職場環境の整備」がC評価となっています。この項目は「地域における子育ての環境や支援」に密接にかかわる分野であり、まさに子育て世代が不安・不満を感じている部分ではないでしょうか。よって、これらに関する施策の達成度を測ることのできる新たな指標をKPIとする方が、より適切なのではないでしょうか。	・出生数は単年度では振れ幅が大きいものの、ご指摘のとおり平成30年度の出生数は既に目標値を下回っており、縦割りを排して関連する全ての施策が連携して取り組む必要があると考え、重点政策として取り組んでいきます。 ・「すべての保育園への入所を希望する乳幼児が入所できる割合100%」については、保育園無償化などの環境の変化や、対象者を拡大する等の改善を行ったうえで、ニーズのある方にサービスが届くことを目指したいと考えています。 ・働きやすい職場環境の整備等は、子育て環境として重要な論点であり、町の施策としても推進していきます。ただし重点政策①（子育て支援と教育の充実）の中では、町の努力でより直接的に向上させられる目標として、保育所等の町が直接実施する事業に関するものを数値目標として取り上げています。	変更なし

第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答案	計画案への反映
29	第3章 基本構想	25	5 重点政策 (3) 重点政策の管理指標 (KPI)	<p>町のKGI「出生数75人」は、南知多町の大きな決意が感じられて非常に評価できる目標だと思います。起死回生の人口維持を目指して子育て支援に大きく舵を切っていただけますよう、革新的な取り組みを期待しています。</p> <p>ただ、KPI「希望の保育園に入所している乳・幼児の割合100%」は、これが達成されてもKGI「出生数75人」が達成されるとは考えにくい管理指標だと思います。まず現状でも保育園の定員は空きがある状態で、すでに達成されています。</p> <p>ですが近年に乳幼児の入所条件はとも厳しいものになり、入所条件を満たせないため入所希望を出せない潜在的な入所希望者が存在しています。</p> <p>月勤務120時間以上に加えて、正社員雇用、自営業者への条件を厳しくするなど、南知多町では漁業者・農業者・旅館や商店、小売業で働く女性が多いにも関わらず、このように門戸を狭めて乳幼児の入所条件を厳しくしては「この町では子育てと仕事の両立は不可能だ」と、仕事か子どもかを諦めざるを得ない女性を増やしてしまいます。</p> <p>私自身子育て世代として、入所条件が厳しくなったことはこの2年で出生数が急激に減少していることにも大きく関係していると思います。</p> <p>逆に、潜在している入所希望の乳幼児が広く受け入れられれば出生数が回復してくる可能性が大いにあるということだと思います。</p> <p>乳幼児の保育園への入所基準の大幅な緩和と、保育園の定員増量、保育士さんの充足や待遇改善も同時進行が必要です。</p> <p>KPIは「すべての保育園への入所を希望する乳幼児が入所できる割合100%」にしていただきたいです。</p> <p>●KPIに子育て世代を経済的に応援する目標も立てていただきたいです。</p> <p>一時保育がとも利用しにくく、町民に上手に活用してもらえない仕組みになっていません。緊急時に対応できる柔軟な法改正をお願いします。そしてKPIにも「一時保育利用者数200%」を掲げていただきたいです。</p> <p>学校統廃合に関係なく、子どもたちの教育満足度もKPIの目標に加えていただきたいです。</p> <p>「この町で高校まで安心して育てられる」と思えるような長期的な支援の目標が足りないと思います。</p> <p>隣の美浜町では小中学入学準備金の対象世帯は南知多に比べて広いですが、南知多は更に対象世帯を大幅に拡大して全世帯が少額でも小中学入学準備金を受け取れる支援や、高校就学支援をしていただきたいです。</p> <p>「南知多町は途切れずずっと子育てを応援してくれる町だ」と思えたなら、2人目3人目がほしいという人はいますし、今がまさに出生数を回復させる最後の分水嶺だと思います。</p>	<p>・「すべての保育園への入所を希望する乳幼児が入所できる割合100%」については、ご意見のような「そもそも希望が出せない」ケースは子育て環境として重要な論点であることから、入所条件の周知や入所に対するニーズを踏まえて改善すべき点は改善を行います。また、希望が出せなかった相談件数を含める等の指標の運用改善を検討します。保育園無償化などの環境の変化や、対象者を拡大する等の改善を行ったうえで、ニーズのある方にサービスが届くことを目指したいと考えています。</p> <p>・子どもたちの教育満足度等については、新たな調査が必要となる場合はコスト増となるため指標として掲げていませんが、教育の充実が重点政策であり、アクションプランを策定し実行していきます。</p> <p>・子育て世代を経済的に応援するための手段については、重点政策に基づくアクションプランにおいて検討していきます。</p>	変更なし
30	第3章 基本構想	25	5 重点政策 (3) 重点政策の管理指標 (KPI)	<p>すごく当たり前の事を堂々と…</p> <p>産業の活性化と雇用の確保</p> <p>保育園で雇ってはだめなんでしょうが</p> <p>0歳児の受け入れを増やせば働きに出られる人は多くなるはず</p> <p>国保の人の子供の受け入れも出来る様になるのでは？</p> <p>自営なら預けられなくても働けるとかふざけてるとおもいます。</p>	<p>総合計画はまちづくりの大きな方向性を決める計画であるため、具体的な事業等に対しては、より具体性を持たせた「アクションプラン」を策定し実行していく中で検討していきます。限られた人手や予算の中で総合計画を効果的に実現していくために、既存の事業等の見直しとあわせ、需要や重要性の高い取り組みを実施していきたいと考えています。</p>	変更なし

第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答案	計画案への反映
31	第3章 基本構想	25	5 重点政策 (3) 重点政策の管理指標 (KPI)	<p>●希望の保育所に入所している乳・幼児の割合 100% →基準が厳しくて入所できず、就労を諦め、スキルやキャリアにブランクができたり、分野を極めたりすることを諦めた親の割合は、行政側で把握できないものであるが、どうか。</p> <p>子供が二人ともに「隠れ待機児童」を経験したが、どんな数値にも反映されていない。また、他市町では3ヶ月児、6ヶ月児などから入所できるが、本町ではできない。人員や施設の問題もあると思うが、そのために町外へ転出することも考えた。さらに、利用時間の問題で勤務先が非常に絞られてしまい、妥協を重ね、自己実現欲求を満たすことができず、ひいては子育てに悪影響を及ぼしてしまっている。</p> <p>よって、入所できているからといって重点政策を管理する指標として成立するとはいえない。</p> <p>●放課後児童クラブの申込みに対する充足率 100%</p> <p>→預ける枠はあるが、求められるニーズを満たしているわけではない。通勤に一時間前後、退勤が18時定時だとしたら、預かり時間を超えてしまう。それで困っている親御さんがいた。</p> <p>よって、児童クラブの利用率だけでは就労を支えるための育児支援としての管理指標としては不十分である。</p> <p>●赤ちゃん訪問の実施率 100%</p> <p>→出生する子供の数が少なくなるほど達成しやすい指標ではないのか。</p> <p>●新規農業就業者数 2人/年 →成功しているのはほんのわずか</p> <p>●観光客数 270万人/年 →こんなに来ているのに上手にお金を落とすとしていってくれる賑わいや魅力的な店が少ない。整理されたサイトもないので観光客も名所以外には来にくい。</p> <p>●商工会会員数 1000 事業者→義務的に入会しているだけの事業主も多いのでは。</p>	<p>指標は物事の一つの側面を単純化して表したものであり、それだけで完璧というものはありません。目標を数値化することは重要である一方で、数字ばかりを追いかけると本質を見失うおそれがある点には留意する必要があります。</p> <p>ご指摘の各指標については、指標の向上が目的の達成に結びつかない数字の追求にならないよう、中身を重視して取り組んでいきます。</p>	変更なし
32	第3章 基本構想	25 26	5 重点政策 (3) 重点政策の管理指標 (KPI) 6 基本施策 1-1 地域で大切にする子育て環境	<p>働きながら子育てする世代への支援を！</p> <p>保育園では自営業者は0歳で預けられず、入所率だけを指標にしても不十分かなと感じました。子どもを預けられないのであれば男性の育休取得を積極的に支援してほしいです。</p> <p>女性も男性も共に働くこの時代に、町全体で子育てしながら、働きやすい職場環境を大切にす事業者さんを増やすことができれば素晴らしいことだと思います。私も自分がそうなれたらと思っています。</p> <p>それと女性意見を尊重するためにも、意志決定できる役職における女性の割合を増やすことをKPIにしてほしいと願っています。</p>	<p>・「すべての保育園への入所を希望する乳幼児が入所できる割合100%」については、ご意見のような「そもそも希望が出せない」ケースは子育て環境として重要な論点であることから、入所条件の周知や入所に対するニーズを踏まえて改善すべき点は改善を行います。また、希望が出せなかった相談件数を含める等の指標の運用改善を検討します。保育園無償化などの環境の変化や、対象者を拡大する等の改善を行ったうえで、ニーズのある方にサービスが届くことを目指したいと考えています。</p> <p>・意思決定できる役職における女性の割合については、新たな調査が必要となる場合はコスト増となるため指標として掲げていませんが、重要な施策であるため役場自らが実現に向け努力していきます。</p>	変更なし

第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答	計画案への反映
33	第3章 基本構想	25 26	5 重点政策 (3) 重点政策の管理指標 (K P I) 6 基本施策 1-1 地域で大切に する子育て環境	1 子育て支援 子育て世代の不安や不満を緩和し、地域ぐるみで子育て世代を支援する、子育て環境づくりを目指します 子育て支援と教育の充実 ●希望の保育所に入所している乳・幼児の割合 100% ●放課後児童クラブの申込みに対する充足率 100% ●赤ちゃん訪問の実施率 100% これだけでは子育て世代への支援が果たして満足なものになるのか?? 不満が緩和されてるとは思いませんでした。 例えば、昨年保育園へ娘を預けて、仕事に復帰しようと思いましたが、自営業では0歳から保育園に通わせる事が出来ず諦めました。 これからもう一人子供を産んでまた一から子育てを始めると仕事の出来ない時間うまれます…暮らしていく事が出来るのか…もう一人出産する決断ができずにいます また南知多の子育て世代への金銭的なサポートでも不十分さを感じます。 18歳に達する年度末までの子どもの医療費(保険診療分)の自己負担額を助成 こちらについては、本当に有り難く感じます。 ただ、乳幼児健診、訪問指導、育児相談等切れ目のない子育て支援サービスの充実を図ります。 と有りますが、切れ目のない子育て支援とは、高校に入るまでずっと続くのが子育てだと思います。 切れ目のない支援を高校まで医療負担以外でも手厚く支援して欲しいです。 是非総合計画の子育て世代への支援を見直して頂けたらと思います。 難しい事も有るかと思いますが、子供が産まれない町になってしまってからでは遅いと思います。 この町で生み育てたい、また子供達がこの町が好きで生きていきたいと思える町作りをして欲しいと思っています。	指標は物事の一つの側面を単純化して表したものであり、それだけで完璧というものはありません。目標を数値化することは重要である一方で、数字ばかりを追いかけていると本質を見失うおそれがある点には留意する必要があります。 ご指摘の各指標については、指標の向上が目的の達成に結びつかない数字の追求にならないよう、中身を重視して取り組んでいきます。	変更なし

第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答案	計画案への反映
34	第3章 基本構想	25 26 42	5 重点政策 (3) 重点政策の管理指標 (KPI) 6 基本施策 1-1 地域で大切に する子育て環境 2-2 豊かな農地と 産物を活かした農業	<p>わたしは、移住者です。最初美浜町に10数年住み、繰り去年南知多町に越してきました。南知多町の自然や人が好きで、ここで子育てし住んでいきたいと思っています。もっと子育て世代に住みやすい町になって欲しいと思っています。今の計画案は、書けてみれば当然のこと。希望保育所の入所は、100%と掲げていますが、実際はうんと空いていて100%以上なので、これが目標案であるというのには町民の意識が低いと感じます。うちには小学生と保育園児がいますが、周りの家族は、小学年以上になると共に街に移住していく方なども居ます。子どもの数が減っていくので、学校統合適性計画進行中ですが、減っていくことにもっと危機感を感じていたら、このような目標設定にはならないと思います。もっと、子育て世代に魅力的な支援、例えばやはり経済的な支援などがあると、魅力が上がり、移住していくのではなく、移住してくる方も増えるのではないのでしょうか？金額の多さではないです。南知多町に子どもたちが増えて欲しいというサポートの気持ちがあるのとないのでは。それが政策に出てくるとかと思えます。財政的ないろいろあるかと思えますが、気持ちの経済的サポートがあるのとないのでは。子育て世代には、この町で暮らすか、街に引っ越すか、または、街からこの町に越してくるか？選択が変わってくるか？また、今は世界的にオーガニックや、持続可能な社会のシステムが注目されています。日本も、わたしたちが子どもの頃に比べたらずいぶん浸透しつつあるけれど、世界を見ればまだまだ日本全体の意識は低い。これを逆手に取って、南知多町は農家さんが多い町でもあるので、有機農家さんのオーガニック野菜を給食に取り入れてみる取り組みはありますが、それをもっと前面に取り上げて、アピールする。アピールするからには、もっと地産地消を促進する！そうすることで、地元農家さんにも経済的な支援になり、南知多町で農業をしたい人をもっと呼べると思います。給食専用の、安心安全な農家さんをサポートしたり、または、そういう農家さんの小さなお子さんが保育所に入りやすいように保育所の入所条件を良くしたり、アイデアはいくらでも湧きます！また、南知多町は、空き家バンクが美浜町に比べると充実している印象です。わたしは、田んぼや畑をしなくて南知多町に移住してきましたが、来てみると、町のそこに対するサポートはなくて、実際に地主さんと繋がらない現状がありました。なので、農地も空き家バンクのような、農地バンク？なども作り、農業をしたい若い世代は確実に増えているので、他地域から、自然豊かな南知多町に越してきて、子を産み育てるのに魅力的なサポートがあれば、農家は増え、子どもの数も増え、南知多町の未来は明るいと思いますが、今回の総合計画の内容では魅力が伝わりません。空き家バンクと、農地バンクを連携して、両方利用できるようなサポートがあったりするのもしいいと思います。もっと、全体を見渡した、国を一步リードしてやっていくようなアイデアがあれば、ぐっと魅力的な町になり、都会から越してくる家族も増えるのではないのでしょうか？今までと同じ保守ではなく、世界では何が注目されているか？そういう広い視野があると、他地域に秀でた町になると思えます！そして、世界の流れは、持続可能な社会です。プラスチックのゴミを減らそうと試みる企業を応援したり、もっと子どもたちにもこの持続可能な社会、美しい地球を残していく意識を広めるために、せかかくたくさんある海岸の、たくさん流れ着くゴミをクリーンアップしてキレイな美しい町にしたりする取り組みを小中高としてみたり、とにかく、美しく気持ちよく住んでいるみんながここに誇らしと思えるような、街に行かなくても、ずっとここで暮らしていきたいと思えるような魅力的な町になるように、もっともっと頑ひねってアイデアを出していく価値のある南知多町です。今の計画では、その価値が伝わりきらないので、人が離れていってしまうのも仕方ないと思います。この素敵な町の魅力が、もっともっと光輝くような目標を立てると、南知多町の未来は絶対大きく変わっていきます！やっつけ仕事ではない、きちんと未来を見据えた目標設定になれば良いと願っています。南知多町は、本当に自然と人の心が豊かな町なので、より良い町になることを祈ります。計画案は、どれほどの思いのひが作っているのか伝わってしまいます。今のままでは、やっつけ程度にしか伝わらないです。アイデア次第では、他地域、他県、または世界から同じ意識を持つ人々を呼べる、人が住みたいとやってくる町になるはず！光輝く南知多町になるよう願います。参考までに、わたしが世界を見て、素晴らしいと感じた学校。 https://www.ecoist.life/news/3469 日本は教育システムが決まっているので、南知多町がこのような未来の学校を作るのは難しいかもしれないけど、学校も、他地域と同じようではなく、このような、未来のリーダーとなる人材を育てていく、教え込む教育ではなく、生徒の個々の力を存分に開花させられるようなサポートのある新しいカリキュラムも！ある学校になれば、もっともっと子どもたちが増えて行くかと確信しています。今の子育て世代には、そういう意識の人が本当にたくさんいます！日本が良くなり、世界が良くなるような、本気の改革案は、探せばみつかります！より良い南知多町の未来を信じてます！</p>	<p>・「すべての保育園への入所を希望する乳幼児が入所できる割合100%」については、保育園無償化などの環境の変化や、対象者を拡大する等の改善を行ったうえで、ニーズのある方にサービスが届くことを目指したいと考えています。 ・総合計画はまちづくりの大きな方向性を決める計画であるため、具体的な事業等に対しては、より具体性を持たせた「アクションプラン」を策定し実行していく中で検討していきます。限られた人手や予算の中で総合計画を効果的に実現していくために、既存の事業等の見直しとあわせ、需要や重要性の高い取り組みを実施していきたいと考えています。</p>	変更なし
35	第3章 基本構想	26	6 基本施策 1-1 地域で大切に する子育て環境	<p>基本施策ごとに「1. 現状と課題」が項目設定されているが、その中で具体的な課題が明確にされている基本施策（例えば3 2ページ）と、明確にされていない基本施策（例えば2 6ページ）があり、わかりにくい。また、2 6ページ以降の基本施策ごとの解説の中で、管理指標としてのKPIが設定されているが、KPIに認知度、満足度、貢献度等の加重平均結果を反映した住民意識調査結果を用いている。この結果をどう評価して総合計画のPDCAをまわしていくのか、一つの基本施策に関連する個別計画も多々あり、本当に「管理（マネジメント）」ができるのだろうか。住民の満足度は耳ざわりは良いが、KGIを必達するための構成要素（施策）の管理指標としてどういう意義があるか。</p>	<p>・課題のレベル感について、全体を通してなるべく2（2）（将来像の実現に向けて）を重点的に記載するため、1（現状と課題）は簡潔・抽象的とし、その課題に対応する取り組みの方向性を厚く記載するものが多くなっています。ただし、ある程度明確なものや今後具体的に検討していく段階のものなど多様なため、施策により分量やレベル感が異なる場合があります。 ・KPIについて、人口の安定化等に論理的に適切な指標は多々ありますが、町としての努力を引き出し、効率的に進捗管理するという実行面の観点を重視して設定しています。重点政策KPIにおいては、なるべく町の努力が直結するもので、かつ毎年度効率的に補足可能等の条件を満たすものを設定しています。 ・また、客観指標の数値のみを追い求めるのではなく住民の主観を重視するため、各施策のKPIでは満足度を指標として掲げています。さらに総合計画としては、施策単位のみではなく全体を通してまちづくりを前向きに動かしていくことを目指しています。まちづくりは抽象的な概念ですが、町や住民、関係者が一体となって前へ動かすことで、将来イメージや人口の安定化といった上位目標及び指標としてのKGIに結びついていくものと考えています。そのためには「まず知り、さらに行動していただく」ことが重要であると考え、それを数値で表す南知多町独自の試みとして、基本目標KPIを設定しています。</p>	変更なし

第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答	計画案への反映
36	第3章 基本構想	26	6 基本施策 1-1 地域で大切にす る子育て環境	○町内ハイキングコースの整備を行い、コースの紹介を町内外にする。 内海・山海地区は豊かな自然の残る里山があり、山林の道は今でも歩ける。豊浜・師 崎・両島も自然豊かです。すばらしいコースが沢山あります。健康と観光に役立てれ ばと思います。美浜町オレンジロードの整備も参考になるのでは。	総合計画はまちづくりの大きな方向性を 決める計画であるため、具体的な事業等 に対しては、より具体性を持たせた「ア クションプラン」を策定し実行してい く中で検討していきます。限られた人手や 予算の中で総合計画を効果的に実現して いくために、既存の事業等の見直しとあ わせ、需要や重要性の高い取り組みを実 施していきたいと考えています。	変更なし
37	第3章 基本構想	26 28	6 基本施策 1-1 地域で大切にす る子育て環境 1-2 次代の担い手を 育む教育環境	子育て世代をもっとバックアップして経済的に応援する目標を立てて欲しい。 小中学入学準備金を対象世帯が半分以上受け取れる形にしてほしい！ 大変な時期の0～2歳への支援が全然足りていないと思う。支援のルールをもっと広げ て、緊急時にすぐ支援してくれる形にしてもらいたい。	総合計画はまちづくりの大きな方向性を 決める計画であるため、具体的な事業等 に対しては、より具体性を持たせた「ア クションプラン」を策定し実行してい く中で検討していきます。限られた人手や 予算の中で総合計画を効果的に実現して いくために、既存の事業等の見直しとあ わせ、需要や重要性の高い取り組みを実 施していきたいと考えています。	変更なし

第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答案	計画案への反映
38	第3章 基本構想	26 28	6 基本施策 1-1 地域で大切にす る子育て環境 1-2 次代の担い手を 育む教育環境	<p>・「集団の中で、切磋琢磨することを通じて、判断力や社会性などを身に付けていくためには、一定規模の児童生徒の集団を確保することが必要であり・・・」と書いてあるが、3人でも切磋琢磨は可能である。少人数学級だからこそ、子供に寄り添ったきめ細かい教育、一人一人を大切にしている教育がなされている点を評価すべきである。</p> <p>・保育所や学校統廃合を経費削減のための道具として使ってほしくない。</p> <p>・1-1と1-2で「地域」の役割や連携を強調しているにもかかわらず、地域コミュニティの核の役割を果たしてきた保育所・学校を統廃合しようとしている。矛盾している。</p>	<p>総合計画はまちづくりの大きな方向性を決める計画であるため、具体的な事業等に対しては、より具体性を持たせた「アクションプラン」を策定し実行していく中で検討していきます。限られた人手や予算の中で総合計画を効果的に実現していくために、既存の事業等の見直しとあわせ、需要や重要性の高い取り組みを実施していきたいと考えています。</p>	変更なし
39	第3章 基本構想	26 36	6 基本施策 1-1 地域で大切にす る子育て環境 1-6 豊かな自然を活か したひとつくり	<p>目指すべき将来像について、今のところ何も満たされていない。</p> <p>月内で前職と次の仕事の間が少し空いただけで即退所の0.1歳児の運用も何とかしていた。すぐに働きたかったのに、フルタイムなので一時保育も使えず、高額な遠方の認可外託児に預けることになったりと大変だった。特別な事情とみなして月内であれば猶予を持たせたりができないのか。心身を病んで転職するのに、保育所や行政に見捨てられ、泣きっ面に蜂状態。本格的に鬱になる…。もうこの町を出ていきたい!と思ったが、豊かなつながりや、子供たちがのびのび育っていることを考慮して踏みとどまる…。</p> <p>「元気で理解ある祖父母同伴で移住してきてね♪」なんてキャッチフレーズもいいかもかもしれませんね。</p> <p>自然も豊かですが、遊べる自然は少ないように思います。公園の再整備もありがたいですが、自由に遊べる里山も整備され、子育て世代がその存在を知り、活用できるようにする。子育て支援の一環として、町内の子育てに役立つスポット巡り(スクールバスの空き時間を活用して)をすると、より、この町の魅力を自覚できるのではないかな。子育て支援の取り組み例(厚労省) https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/seisaku/syousika/030819/8a1.html</p>	<p>総合計画はまちづくりの大きな方向性を決める計画であるため、具体的な事業等に対しては、より具体性を持たせた「アクションプラン」を策定し実行していく中で検討していきます。限られた人手や予算の中で総合計画を効果的に実現していくために、既存の事業等の見直しとあわせ、需要や重要性の高い取り組みを実施していきたいと考えています。</p>	変更なし
40	第3章 基本構想	28	6 基本施策 1-2 次代の担い手を 育む教育環境	<p>1. 現状と課題</p> <p>「切磋琢磨する」という言葉は、国語辞典では「志を同じくする者が、互いの欠点や誤りを直しあって向上をはかること」としており、「1人1人違う子どもを、同じ」として競争させてはならないので、「学ぶ」という言葉に変えること。</p>	<p>ご意見を踏まえ、素案を修正しました。</p>	<p>計画ページ：22 …集団の中で学び合いを通じて、…</p>
41	第3章 基本構想	28	6 基本施策 1-2 次代の担い手を 育む教育環境	<p>1. 現状と課題</p> <p>1行目「町内の…行われています。」以下を「判断力や社会性などを身につけるために、自分を信ずる力をつけることが必要であり」と変更する。</p> <p>上記意見を踏まえて</p> <p>2. 目指すべき将来像</p> <p>(1) 目指すべき将来像の「…「生きる力」」の後に、「自己肯定力」を入れる。</p>	<p>ご意見を踏まえ、素案を修正しました。</p>	<p>計画ページ：23 …「生きる力」、「自己肯定力」を育むことができる…</p>
42	第3章 基本構想	28	6 基本施策 1-2 次代の担い手を 育む教育環境	<p>小中学校の統廃合については、子ども、保護者、住民の声を第一に考え、令和4年度スタートでは準備期間が短すぎるので、まずは延期し、十分に住民の意見も取り入れ、検討して子どもたちにとってよりよい教育環境となるように進めていただきたい。もし統合するならば、町として少人数学級を保障するために人材を配置し、今の教育条件より悪くならないようにしてほしい。</p>	<p>総合計画はまちづくりの大きな方向性を決める計画であるため、具体的な事業等に対しては、各課で具体的な計画を策定していきます。小中学校の統廃合については、教育委員会が現在策定を検討している「学校適正規模適正配置基本計画」の中で進めていきます。</p>	変更なし

第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答案	計画案への反映
43	第3章 基本構想	28	6 基本施策 1-2 次代の担い手を 育む教育環境	当審議会が、本町の将来戦略を「子育て世代の居住と就業促進」を重点としてだしていることは賛成です。しかしながら、本審議会とは別に学校の統廃合問題が、議論されているのは本委員会の審議が、軽視させられているように思われる。少なくとも本審議会の答申後にすべきではないか。	小中学校の小規模化が進む中、子どもたちにとって最善の教育環境を進めていくために、現在教育委員会で町内小中学校の「適正規模適正配置基本計画」の策定について検討をしています。現時点では、まだ保護者から意見を聞いている段階で、最終的な計画案が決まっている状況ではありません。現在検討が進んでいる総合計画の内容も踏まえて、基本計画を進めてまいります。	変更なし
44	第3章 基本構想	28	6 基本施策 1-2 次代の担い手を 育む教育環境	中学校統合に、ついてコメントします！ 1番良いと思うのは、内海、豊浜、篠島 3校を残すだと思います！！困ってる師崎さん、日間賀島さんを助けるが早くしなくちゃいけない事だと思います！内海と豊浜は、遠い！距離が問題、津波は、心配です！大丈夫って思った瞬間に来そうと不安です！少しでも安全な所に中学校をお願いしたいです！もっと話して歩みよって話し合いたかったです！他の地区の方とも！1校にするは、今後、中学校が地元になくなり、人も子供たちも減って行く事を考えると色々な問題がでてきて結局は1学年、1クラスになって行く南知多町を考えるとすごく難しいと思います！コロナの時代統合は、たくさん子どもたちがあつまると難しいと思います！もっと人が住みやすい町を作って行く！子供たちの負担を増やしてまで統合を急ぐのは、子供たちのためではないと思います！！もっとじっくり子どもたちの本当の声を聞いてください！アンケートをしたけど本当の意味、内容をわかってる子どもは、少ないです！いっぱい考えていただいとはおもいますが焦っては良いものではないと思います！すごく不安です！資料もどちらが良いですか！？ばかりで詳しい内容、たんさんの人が今不安になってます！コロナの時代みんなが集まるのも不安です！不安の中みんな集まってると思います！どうしても町の方が一校にしたいのであればコロナが終わってから産業、町のこと、町民の事を全部考えてじっくり話し合いをして欲しいです！	総合計画はまちづくりの大きな方向性を決める計画であるため、具体的な事業等に対しては、各課で具体的な計画を策定していきます。小中学校の統廃合については、教育委員会が現在策定を検討している「学校適正規模適正配置基本計画」の中で進めていきます。	変更なし
45	第3章 基本構想	29	6 基本施策 1-2 次代の担い手を 育む教育環境	○戦争遺跡の保存 遺跡を保存して平和学習や平和の大切さを学ぶ。来町者の見学先にも。大井・人間魚雷回転（一つ残っていた倉庫穴？が埋められた）師崎・人間魚雷震洋（草ついで塞がれている）篠島・弾薬庫後？（レンガづくり）…等々荒れ放題と思う。	戦争遺跡については、住宅開発の際に盛土により地中に埋められたり、遺跡自体が危険な状態にあるものもあるため、見学できる状態にするには多大な整備費用を要することとなります。また、土地所有者との協議も必要となります。あわせて、戦争に対する人のイメージは様々であり、すべての人が保存を望むものではないデリケートな問題であるため、記録保存等の方法を含め、慎重に検討していきたいと考えています。	変更なし
46	第3章 基本構想	29	6 基本施策 1-2 次代の担い手を 育む教育環境	○郷土資料館の再開と整備 平成29年度末に閉館・移転され再開の準備中と思います。関係者は高度な歴史的価値を認めています。千葉県で「縄文人骨」国重要文化財の指定等がされています。南知多町も資料館の歴史的価値を高める努力をすると共に学校の学習の場。また、町外からの見学者も十分可能と思います。資料館に相応しい施設・内容にすべきと思います。	総合計画はまちづくりの大きな方向性を決める計画であるため、具体的な事業等に対しては、より具体性を持たせた「アクションプラン」を策定し実行していく中で検討していきます。限られた人手や予算の中で総合計画を効果的に実現していくために、既存の事業等の見直しとあわせ、需要や重要性の高い取り組みを実施していきたいと考えています。	変更なし

第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答案	計画案への反映
47	第3章 基本構想	29 38	6 基本施策 1-2 次代の担い手を 育む教育環境 1-7 郷土愛、つなが りを育む文化・ス ポーツ	29Pの地域の協働、郷土教育、南知多町の歴史文化、体験学習とも関連しますが、学校教育の中で、南知多町の風土歴史文化、祭礼などの行事を教えること、現在行われている農漁業体験などに加え、自主的な地域行事への参画、ボランティア活動への参加により、地域の協働、郷土に対する関心が持てると思います。又、成人して他の地域に移転しても郷土愛が残り、南知多町の関係人口の一員となると思います。（かつて、中学1年の社会科の授業で、「豊浜のすがた」というのがあり、地域の特性・方言・歴史文化等を教わりました。）文化スポーツですが、日本の各所で継承されてきた相撲を行うところが少なくなってきた中、南知多町内には、まだ残っています。が、いずれは衰退の途に就くかもしれません。なんとか、町の伝統文化として残す方法を考えていただけませんか。	総合計画はまちづくりの大きな方向性を決める計画であるため、具体的な事業等に対しては、より具体性を持たせた「アクションプラン」を策定し実行していく中で検討していきます。限られた人手や予算の中で総合計画を効果的に実現していくために、既存の事業等の見直しとあわせ、需要や重要性の高い取り組みを実施していきたいと考えています。	変更なし
48	第3章 基本構想	32	6 基本施策 1-4 個性を活かす障 がい者福祉	障がい者が親なき後、一人で自立して生きていくにはどうしたらいいか、どう生きたらいいか、どの障がい者の親さんも心配しています。安心して生活していけるような支援を心からお願い致します。	目指すべき姿の実現を基本理念のもと、関わる全ての人と共に目指します。	変更なし
49	第3章 基本構想	36	6 基本施策 1-6 豊かな自然を活 かしたひとづくり	南知多の自然を守り、その魅力を発信する、活動については審議会でも議論が進みました。しかしながら、この自然を守ることは、太陽光発電の無制限な設置や風力発電の計画など、町の行政（ガイドラインはできましたが）とは関係なく進められています。また多くの旅行者を迎え自然を活かす取組は、日常の環境整備が必要です。この間のコロナ禍でも豊浜漁港には、町外の釣り客などが押し寄せ漁港は、混雑、ごみの山、交通は渋滞し住民の生活も影響を受けました。また、台風や長期の雨で海岸には流木やごみが山積され放置されています。大変弱い町の環境だと思えます。これらに町政の施策が求められていると思えます。	環境整備（ごみ）については、地元団体、住民、町内外の事業者、また県の協力により対応いただきました。目指すべき姿の実現を基本理念のもと、関わる全ての人と共に目指します。	変更なし
50	第3章 基本構想	42	6 基本施策 2-2 豊かな農地と産 物を活かした農業	畑が狭く農道が狭く水の不便な農地は活用されにくいいため、耕作放棄地になっていっています。生産力が大きくやる気のある専業農家さんに頑張ってもらいたいのは産業の発展に非常に重要ですが、同時に専業農家だけでは里山環境も農村人口も維持できません。南知多の農家人口の多くは兼業農家です。兼業農家が農業をやめたら彼らが地方で暮らす理由は非常に薄くなり、勤めのある街へ人口の流出が起こります。「耕作放棄地の再生利用」「自然災害被害の防止など里山の多面的機能の観点」を考えるなら小規模農家や兼業農家への支援は不可欠ですが、その支援の部分が足りないと思えます。→農地を借りるのに、空き家バンクのようなアクセスしやすいオープンな形を用意できないでしょうか。豊かな自然を求めて南知多に移住を考える移住者やUターンの人たちに、空き家バンクと抱き合わせで農地を借りやすくする取り組みがあると、南知多へ呼び込む求心力になると思えます。賃貸契約の条件を緩和し対象を自給農家や兼業農家や小規模農家にも広げて「自治体」が借り主になることで貸し借りのハードルを下げることはできませんか。今まさに荒れている果樹園などの耕作放棄地の活用につながる政策をお願いします。	総合計画はまちづくりの大きな方向性を決める計画であるため、具体的な事業等に対しては、より具体性を持たせた「アクションプラン」を策定し実行していく中で検討していきます。限られた人手や予算の中で総合計画を効果的に実現していくために、既存の事業等の見直しとあわせ、需要や重要性の高い取り組みを実施していきたいと考えています。	変更なし
51	第3章 基本構想	52	6 基本施策 2-7 働く環境づくり	・「女性、高齢者及び外国人の活用」という表現ではなく「南知多で誰もが活躍できるように、女性や高齢者及び外国人の就労を応援します」といった表現に変えていただきたいです。 ・女性が多様な生き方を大切にできるよう「働き方の仕組み作りが大切」という認識を住民一体で共有し、女性の就労環境の改善に真剣に取り組んでいただきたいです。そして、「女性が働きやすい雇用環境の整備に取り組んでいると回答する事業者数〇〇%以上」をKPIに加えていただきたいです。「役場内の男性育休率30%」なども、ぜひ役場が率先して、時代遅れの南知多にならないよう、今の時代にふさわしい空気を南知多にも作っていただきたいと思えます。	・ご意見を踏まえ、素案を修正しました。 ・KPIについては、新たな調査が必要となる場合はコスト増となるため指標として掲げていませんが、重要な施策であるため、事業所への啓発や支援、役場の育休取得などに取り組んでいきます。	計画ページ：46 南知多町で女性や高齢者及び外国人等、誰もが個々の能力を発揮できるよう就労を応援します。

第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答案	計画案への反映
52	第3章 基本構想	54	6 基本施策 3-1 まちと命を守る 防災	主力となる消防団員の確保について、現行の30代前半まで（地域の慣例で概ねそうなっているようです。）では難しいし、名前だけのものが増すばかりと思うし、近い将来適応年齢の若者が極端に減少すると思います。他の市町、例えば、半田市の機能別消防団員、東浦町の消防協力団、常滑市の災害等の対応組織などのように、現消防団の協力をする組織が必要と考えます。消防団の分団名も美浜町のように地域名を使用したほうが、住民側から見るとわかりやすいと同時に親しみやすいと思います。行政、消防警察、社協、防災会等で南知多町防災連絡協議会（仮称）の立ち上げをして、情報の交換、各訓練方法、有事の際の行動方法等を話し合える組織を作ればどうでしょうか。 防災無線の活用について、災害は勿論ですが、地域の行事案内等にもどしどし使用し、慣れ親しむことが重要だと思います。	総合計画はまちづくりの大きな方向性を決める計画であるため、具体的な事業等に対しては、より具体性を持たせた「アクションプラン」を策定し実行していく中で検討していきます。限られた人手や予算の中で総合計画を効果的に実現していくために、既存の事業等の見直しとあわせ、需要や重要性の高い取り組みを実施していきたいと考えています。	変更なし
53	第3章 基本構想	54 ～ 67	基本目標3 安心で できるまちづくり	都市計画道路の早期実現、防災対策工事、老朽家屋の解消、狭隘道路の問題等住環境を妨げるものは多いが、計画のあるものは間をあけず、継続実行すること。 老朽家屋は、危険なものがありこの中には町の補助金だけでは、対応できない所有者もあると思いますので行政代執行を行う中で対応を考えていただきたい。 狭隘道路解消については、幅員を4mにこだわらず、一方通行として軽四が通行出来るように計画してはどうでしょうか。又、建築の際、セットバックする分の土地の寄付を受けるとか、優遇措置を含め考えていただきたい。道路事情が良くなると思います。 防災対策工事で谷に防災ダムなどを作っていますが、この工事に合わせ仮設道路ができたりして、津波等の避難道路になるものがありますので活用を考えてもらいたい。 都市計画道路も買収途中のものは、避難道、退避場になると考えますので、途中のものであっても整備して使途を考えていただきたい。防災対策になると思います。	総合計画はまちづくりの大きな方向性を決める計画であるため、具体的な事業等に対しては、より具体性を持たせた「アクションプラン」を策定し実行していく中で検討していきます。限られた人手や予算の中で総合計画を効果的に実現していくために、既存の事業等の見直しとあわせ、需要や重要性の高い取り組みを実施していきたいと考えています。	変更なし
54	第3章 基本構想	62	6 基本施策 3-5 暮らしを支える 地域公共交通	内海方面から役場に行くためには長時間待機の乗り継ぎがあつて困った。	総合計画はまちづくりの大きな方向性を決める計画であるため、具体的な事業等に対しては、より具体性を持たせた「アクションプラン」を策定し実行していく中で検討していきます。限られた人手や予算の中で総合計画を効果的に実現していくために、既存の事業等の見直しとあわせ、需要や重要性の高い取り組みを実施していきたいと考えています。	変更なし
55	第3章 基本構想	64	6 基本施策 3-6 多様性を認め、 共に支え合うコミュニ ティ	「ジェンダーギャップを解消し、多様な意思決定を尊重できる町づくり」を、盛り込んでいただきたいです。 南知多はひとりひとりの役割が大きく大切にされる、と町民に思ってもらえるように、「南知多には誰もが活躍できるチャンスがあり、若者や女性の意見を大切にします」「能力のある人が適切なポストで活躍できる町を目指します」と発信していただきたいです。それは都会疲れした若者や女性へ向けて大きなメッセージになると思います。 「総合計画終了時点で、リーダーシップを取る役職における女性の締める割合を30%」とKPIにも加えていただきたいです。女性が子どもを産むために帰ってくるだけでなく、自分の能力を幅広く活かして働くために南知多へ帰ってくる。そんな南知多を目指す取り組みをお願いします。	ご意見を踏まえ、素案を修正しました。	計画ページ：58 町民や各種団体によるまちづくり事業を支援し、既存団体の合併や世代交代、移住者の地域参画等を促すための各種情報提供等に努めます。また、地域課題の解決や将来的な移住に向けた裾野を拡大するため、「関係人口」の確保に取り組みます。 若者や女性も含め誰もが個々の能力に応じて活躍できる場が広がるよう、支援や情報発信に取り組みます。



第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答案	計画案への反映
56	第3章 基本構想	64 69	6 基本施策 3-6 多様性を認め、 共に支え合うコミュニ ティ 4-1 職員の成長とや りがいい	様々な場面で女性（LGBT等も）が参加しやすい環境条件づくりを進めてほしい。町役場が率先して職員の女性管理職の登用も進め、多様性を認め合う町づくりがわかる計画の作成をしてほしい。	総合計画はまちづくりの大きな方向性を決める計画であるため、個別計画、アクションプランにて具体性をもって実施を検討していきます。	変更なし
57	第4章 計画の実現に向け て	78	1 計画の実行 (1) アクションプ ラン	「はじめに」の部分で、住民意識調査や評価委員会について書かれていますが、計画の実行段階での住民意見の反映方法や評価方法をもう少し詳しく教えていただきたいです。	ご意見を踏まえ、素案を修正しました。	計画ページ：76 (2) 住民による評価 各施策等で設定した評価指標（KPI）について、モニター制のアンケート調査等により進捗状況を確認し、定量分析を行います。また、数値で測ることのできない取り組みの進捗について、事業ごとに事業評価をするとともに、アンケート調査の自由意見等をもとに、定性分析を行います。さらに、各分野の代表であるモニターによる外部評価委員会による評価を行うことにより、事業評価の妥当性、客観性を確保します。
58	第4章 計画の実現に向け て	79	1 計画の実行 (2) 連携・協働・ 共創の推進	協働については、ある程度理解できますが、共創という言葉はあまり馴染みがありません。説明文などを追加していただけるとありがたいです。私が知らないだけかもしれませんが・・・	ご意見を踏まえ、素案を修正しました。	計画ページ：77 (2) 協働・共創のまちづくり 将来イメージを実現するためには、町民と行政が対等の立場で、共に考え、共に協力して働く「協働」をさらに進め、町民のみならず、自分たちのまちは自分たちで創り、育てるという意識をもって、南知多町をよりよくする一歩進んだ「共創」の取り組みを進めていくことが大切です。「共創」とは、これまでの「協働」を基本としつつ、目標設定の段階から、町民、団体、企業、大学、地域、行政等が連携し、異なる視点や価値観のもと多方面から意見を出し合いながら解決策の検討を行い、実質的な取り組みを展開することにより、新たなまちの魅力や地域の価値を共に創り上げていくことです。本町においても、協働・連携が少しずつ浸透する中で、「協働」における次のステップとして、住民と一緒に新しい価値や解決策の創造を目指す「共創」によるまちづくりを積極的に進めていきます。

第7次南知多町総合計画 パブリックコメント結果

番号	分類	頁	項目	パブリックコメント	事務局回答案	計画案への反映
59	その他	99	総合計画策定スケジュールについて	住民会議やヒアリングが十分にできていない。策定を1年延期すること。常滑市ではコロナで住民の意見が聞けないことで延期している。前回の審議会でも、数字が間違っていたり、このパブリックコメントに出す素案も充分審議会の中で論議されず、会長からもきつい言葉があったはずである。このパブリックコメントは住民の意見を聞く場として生かして。次回の審議会に南知多町として総合計画作りの1年延期をおもいきって提案すること。スケジュールありきでは納得できる計画にならない。	・審議会の運用については、ご意見を踏まえ改善を図ります。 ・本町としましては、総合計画策定の延期はいたしません、住民の意見を聴く事は大変重要と考えています。感染症拡大も含め社会が大きく変化していく中で動きを止めることなく、「アクションプラン」を策定し実行していく中で、試行と改善を繰り返して行きたいと考えております。具体的には、今後、毎年実施する住民意識調査、外部評価委員会により住民のみなさんの意見や想いを町政に反映する「つかう計画」を推進し、みなさんと一緒に新たな一歩を踏み出したいと考えています。	変更なし
60	その他	99	総合計画全体	① 担して資料を作っているのか、全体を通しての統制がとられていないと思いました。例えば、14ページから17ページまで南知多がとるべき戦略が記載されており、計画設定上、極めて重要で各戦略実現のために基本施策や具体的取組事項があると考えますが、折角設定した戦略が18ページ以降の計画体系や重点施策、基本施策からは、外されて見えないため、重点施策や基本施策がそれで適切なのか評価できません。基本理念を実現するための戦略の重要性が理解されていないと感じてしまいました。（戦略ごとに重点施策や基本施策をソートし直して評価する必要があるのでないでしょうか。） ② K P I に住民満足度を使用されていますが、これで（住民の感覚評価で）毎年、町職員のPDCAをしっかりと回せるでしょうか。全職員の方が本気で南知多を立て直す気になってもらうのなら、具体的なアクションプランの提示とアクションプランごとの達成すべき目標値（59ページの1番下の表の様な表）を全項目設定すべきではないでしょうか。企画部による成り行き管理になってしまいませんか。）	① 「重点政策」「とるべき戦略」に基づき、基本構想を具体化するため「アクションプラン」策定につながるよう第3章基本構想の要素について整理しました。 ② について、従来は評価項目が多すぎて煩雑となり、評価のための評価となっていたことを踏まえ、「使う総合計画」とするためには進捗管理が煩雑になるのを避けシンプルにするため、客観指標を絞り込んでいます。また、究極的には住民の主観こそが重要であるため、満足度をはじめとしたアンケート結果も指標としています。	変更なし
61	その他	99	その他	これまでの、子育て、ごみ問題などのパブリックコメントの内容も活かしていただきたいと思います。	パブリックコメントの意見を反映して作成された各計画を踏まえ、総合計画の策定を進めております。	変更なし
62	その他	99	住民意識調査の結果の反映について	住民意識調査の結果（6月に実施）について今回住民意識調査が100人のモニターにより行われ大変貴重な意見が寄せられています。しかしながら、審議会にこの内容が、報告されたのは、9月23日の第3回審議会で配布されたもので、少なくともここに寄せられた住民の声は（少人数やコロナ禍の現状など）今回の答申にはいかされてないよう思います。（形式だけ行った、と）	モニターやパブリックコメントにおける具体的なご意見については、総合計画はまちづくりの大きな方向性を決める計画であるため、具体的な事業等を「アクションプラン」を策定し実行していく中で検討していきます。限られた人手や予算の中で総合計画を効果的に実現していくために、既存の事業等の統廃合とあわせ、需要や重要性の高い取り組みを実施していきたいと考えています。	変更なし
63	その他	99	その他	今回の審議会では、住民に解りやすい計画にするため、様々な手法が試みられ、わかりやすい表現や審議会委員の公募、住民モニター制度、地域の意見交換会（中学生の参加）など、従来にない斬新的な手法と取り組みが進められていることは、評価すべき改善だと思えます。	これまでの反省点を踏まえた南知多町独自の試みであり、まずやってみて、必要があれば改善を図っていきます。	変更なし

第7次南知多町総合計画(案) 素案修正新旧対照表

頁	行	章-節	項目	旧(修正前)	新(修正後)	修正理由等
第1章 計画策定にあたって						
目次				第1章はじめに～第14章基本施策と個別計画	第1章計画策定にあたって 第2章計画策定の背景 第3章基本構想 第4章計画の実行に向けて 資料編	住民意見交換会の意見を反映
目次				1 将来イメージと基本理念 2 南知多町がとるべき戦略 3 まちづくりの基本目標・基本施策 4 人口ビジョンとKPI 5 重点政策 6 基本施策 7 行財政マネジメント 8 基本施策と個別計画との関連	1 人口ビジョンとKPI 2 将来イメージと基本理念 3 まちづくりの基本目標・基本施策 4 基本施策 5 行財政マネジメント 6 南知多町がとるべき戦略 7 重点政策	パブリックコメント(番号:18)の意見を反映
2	下から2行目	1-1	(2)総合計画の意義	その他多くの人々の協働によるまちづくり	その他多くの人々の協働・共創によるまちづくり 以下、協働のみの文面を「協働・共創」に変更しました。	パブリックコメント(番号:58)の意見を反映
4	図	1-3	(1)第7次総合計画の構成			第1回審議会(No.3)の意見を反映
第2章 計画策定の背景						
6	下から4行目	2-1	(1)今後想定される社会環境の変化	●道州制等の自治体再編により行政構造が変化する	●行政の広域化により行政の仕組みが変化する	第2回審議会(No.5)の意見を反映
しごとづくり	下から1,2行目	2-1	(1)今後想定される社会環境の変化	●世界的な食糧需要の増大により一次産業が活性化される ●後継者不足による産業の衰退が深刻化する	●世界的な食糧需要の増大により一次産業のニーズが拡大する ●各産業の後継者不足が深刻化する	第1回審議会(No.4)の意見を反映
8	9,10行目	2-2	(2)持続可能な開発目標(SDGs)への取り組み	(2)SDGsへの取り組み SDGs(持続可能な開発の目標:Sustainable Development Goals)は、…	(2)持続可能な開発目標(SDGs)への取り組み 持続可能な開発の目標(SDGs:Sustainable Development Goals)は、…	パブリックコメント(番号:9)の意見を反映
8	最終行	2-2	(2)持続可能な開発目標(SDGs)への取り組み	SDGsの視点を取り入れる必要があります。	SDGs17項目の実現が必須だと考えて、取り組むことが必要です。	パブリックコメント(番号:9)の意見を反映
9	1~4行目	2-2	(3)技術革新による社会の変化	(3)Society5.0による社会の変化 Society5.0は、第5期科学技術基本計画において提唱された、仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する社会です。 Society5.0で実現する社会は、IoT(Internet of Things)で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有されることで…	(3)技術革新による社会の変化 国の第5期科学技術基本計画では、Society5.0(仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する社会)の実現を提唱しています。 Society5.0で実現する社会は、IoT(Internet of Things:全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有されること)により…	パブリックコメント(番号:9)の意見を反映
9	下部	2-2	(3)技術革新による社会の変化		※1 SDGs SDGs(エス・ディー・ジーズ)とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。 ※2 Society5.0 Society5.0とは、①狩猟社会、②農耕社会、③工業社会、④情報社会に続く、人類史上⑤番目の新しい社会のこと。IoT(Internet of Things)や人口知能(AI)等の技術革新(イノベーション)が急激に進んでおり、日本でも、このような先端技術を産業や暮らしの中に取り込んで、様々な課題を解決する「Society5.0」の実現を目指しています。	パブリックコメント(番号:9)の意見を反映
10	13,16行目	2-3	南知多町が目指すべき方向性	【資源】 ●豊かな自然環境 ●豊富な水産資源 ●国内外に発信できる観光資源 【産業】 ●豊富な水産資源による水産業 ●様々な観光資源を活用した観光業	【資源】 ●恵まれた自然環境 ●豊富な水産物と農産物 ●国内外に発信できる観光資源 【産業】 ●恵まれた自然環境を活かした水産業、農業 ●様々な観光資源を活用した観光業	第2回審議会(No.9)の意見を反映
10	【歴史文化】1行目	2-3	南知多町が目指すべき方向性	多種多様な祭礼	多種多様な祭礼、史跡	第3回審議会(No.12)の意見を反映
第3章 基本構想						
12	3行目～10行目	3-1	(1)南知多町の将来人口と目標人口	本町の将来人口は、令和32年時点で約7,500人となり、令和47年時点で4,500人を下回ります。(中略)そこで、30年後の人口が現状の半分以下にならないように安定させるため、令和30年時点で概ね10,000人の人口を維持することを目標とします。	本町の将来人口は、以下の「南知多町の将来人口予測と目標人口」で示す通り令和32年時点で7,488人となり、令和47年時点で4,422人と推測されています。(中略)そこで、30年後の人口が現状18,707人(平成27年度)の半分以下にならないように安定させるため、令和30年時点で概ね10,000人の人口を維持することを目標とします。	第2回審議会(No.21)の意見を反映
14	グラフ(歳入の構成比)	3-1	(4)高齢化社会への対応	グラフの期間 H31年まで	グラフの期間 R12年までの推計値を追加	第2回審議会(No.25)の意見を反映
14	グラフ(年齢3区分別人口構成の推移)	3-1	(5)行財政上の人口減少抑制と町民所得の向上の必要性	円グラフ	棒グラフに変更(歳入の内訳のみ)	第2回審議会(No.26)の意見を反映

第7次南知多町総合計画(案) 素案修正新旧対照表

頁	行	章-節	項目	旧(修正前)	新(修正後)	修正理由等
15	13行目～	3-1	(7) 目標指標 (KGI) 達成のために		(7) 目標指標 (KGI) 達成のために 目標指標 (KGI) 達成ためには、 <u>具体的にどのようなまちづくりを目指すのか、将来イメージや基本理念を定め、それを実現していく基本目標、基本施策、戦略、政策を明確にしていきます。</u> 【基本構想における6つの構成】 ○将来イメージ・・・将来も「こうあってほしい」と共有する本町の姿。 ○基本理念・・・将来イメージを実現するためのまちづくりの基本的な考え方。 ○基本目標・・・将来イメージを実現するためのまちづくりの基本的な目標。 ○基本施策・・・将来イメージの実現のために町が継続して取り組む施策をまとめたもの。 ○とるべき戦略・・・本町の強みや弱み、機会、脅威等を踏まえたとるべき戦略。 ○重点政策・・・将来イメージの実現に向けて優先的に取り組まなければならない政策。 ※ KGI KGIとは、Key Goal Indicator (キーゴールインディケータ) を省略したもので、日本語では「重要達成目標指標」と言われ、総合計画の「最終目標」となります。	作業部会の意見を反映
16	8行目～18行目	3-2	(1) 将来イメージ	(将来イメージに込められた願い) 我が国においては、経済の縮小、社会保障への負担の増加、顕著する自然災害など、多くの人が将来に不安を抱えて暮らしています。また、核家族化、単身世帯の増加により、社会的に孤立してしまう人が増加しており、「孤独」であることが社会問題となっています。 その一方で、本町には、コミュニティ活動など人とのつながりが生活に残されています。 これは、不安感と孤独感が立ち込める現代社会において、希望になりうる本町の強みです。 この地域の強みを、行政、町民、企業、関係団体、その他多くの人々の協働によって活かすことで、人々が孤立することなく、支えあうことができます。 そんな、人と人とのつながりから生まれる「絆」により、安心して心豊かに生活することができ、それが魅力になって、暮らし続けたいまちとして「選ばれる」。「絆」でつながる人に、地域に、未来に「選ばれる理由があるまち」の姿を本町の将来イメージとして提案します。	(将来イメージに込められた願い) 本町には、現代社会で薄れている <u>ご近所づきあいやコミュニティ活動、地域での支え合いなど、人と人とのつながりが生活に残っています。これは、不安感と孤独感が立ち込める現代社会において、希望になりうる本町の強みです。</u> このつながりを、 <u>ご近所だけでなく、町内の地区間、近隣市町、全国、世界に広げる。また、多様な世代や文化、産業間、公と民、地方と都市など、異なるもの同士でもつながる。人口が減っていく中でも、助け合い支え合うことで心豊かに暮らしていける。色んなものがつながり合うことで、これまでになかった方法で課題を解決し、地方から新しい価値を創造する。</u> このように、 <u>多様なつながり＝「絆」を大切にし、活かすことで、心豊かで創造的なまちとなる。それが魅力となって住む・働く・訪れるまちとして「選ばれる」、そんな姿を本町の将来イメージとして提案します。</u>	作業部会の意見を反映
18	4行目	3-3	以降、3章全体	仕事づくり	しごとづくり	第3回審議会 (NO. 39) の意見を反映
18	下部	3-3	(1) 計画の体系図		※1 KPI KPIとは、Key Performance Indicators (キーパフォーマンスインディケータ) を省略したもので、日本語では「重要業績評価指標」と言われ、総合計画の達成度を把握し評価するための「中間目標」となります。	パブリックコメント (番号: 27) の意見を反映
18	3行目～6行目	3-3	(1) 計画の体系図	将来イメージや町長マニフェストを実現していくため、「地域で育むひとづくり」「地元をにぎわす仕事づくり」「安心できるまちづくり」の3つの基本目標プラス「行財政マネジメント」を柱とし、それぞれで実施すべき施策を以下のように2.5の基本施策として整理し、まちづくりを推進していきます。	将来イメージや町長マニフェストを実現していくため、「 <u>地域で育むひとづくり</u> 」「 <u>地元をにぎわす仕事づくり</u> 」「 <u>安心できるまちづくり</u> 」の3つの基本目標プラス「 <u>行財政マネジメント</u> 」を柱とし、 <u>それぞれで実施すべき施策を以下のように2.5の基本施策を定め、暮らし続けられるまちづくりを力強く実行していきます。</u>	第2回審議会 (NO. 35) の意見を反映
18	4行目～	3-3	(1) 計画の体系図	それぞれで実施すべき施策を以下のように2.5の基本施策を定め、暮らし続けられるまちづくりを...	それぞれで実施すべき2.5の基本施策を定め、暮らし続けられるまちづくりを力強く実行...	第3回審議会 (NO. 38) の意見を反映
18	体系図	3-3	(1) 計画の体系図基本目標	①地元をにぎわすしごとづくり ②地域で育むひとづくり ③安心できるまちづくり	①地域で育むひとづくり ②地元をにぎわすしごとづくり ③安心できるまちづくり	作業部会の意見を反映
18	体系図	3-3	(1) 計画の体系図基本施策	別紙1	別紙1	第1回審議会 (NO. 33) の意見を反映
18	体系図	3-3	(1) 計画の体系図KPI (現状値・目標値)	別紙2	別紙2	事務局より修正
20	12行目	3-4	1-1 地域で大切に する子育て環境	乳幼児健診、訪問指導、育児相談等切れ目のない子育て支援サービスの充実を図ります。	子育て環境は各家庭の問題と捉えるのではなく、 <u>地域全体で取り組むべき重要なテーマであると位置付け、以下の内容に取り組んでいきます。</u> 乳幼児健診、訪問指導、育児相談等切れ目のない子育て支援サービスの充実を図ります。	第2回審議会 (NO. 41) の意見を反映
20	下から7行目	3-4	1-1 地域で大切に する子育て環境	保育所再配置を検討し、適正な児童数での保育所運営、公園環境の維持管理、歩行空間の整備を進めます。	保育所再配置を検討し、 <u>適正な児童数での保育所運営、公園環境の維持管理、歩道の整備を進めます。</u>	作業部会の意見を反映
20	下から2行目	3-4	1-1 地域で大切に する子育て環境	延長保育等保育サービスを充実させ、ファミリー・サポート・センター等について実施を検討します。	現在実施している子育て支援事業や一時保育、 <u>延長保育等の保育サービスを充実させるとともに、ファミリー・サポート・センター等の新しい事業についてはニーズを考慮し実施を検討するなど、町として子育てを応援するため実践的な取り組みを行っていきます。</u>	第2回審議会 (NO. 42) の意見を反映
22	3行目	3-4	1-2 次代の担い 手を育む教育環境	...集団の中で、切磋琢磨することを通じて、...	...集団の中で <u>学び合い</u> を通じて、...	パブリックコメント (番号: 40) の意見を反映
22	6行目	3-4	1-2 次代の担い 手を育む教育環境	(1.現状と課題) 一定規模の児童生徒の集団を確保することが必要であり、 <u>適正な学校規模となっていないという課題があります。</u>	(1.現状と課題) 一定規模の児童生徒の集団を確保することが必要であり、 <u>それを踏まえた適正な学校規模を図っていく必要があります。</u>	第2回審議会 (NO. 46) の意見を反映
22	9行目	3-4	1-2 次代の担い 手を育む教育環境	...「生きる力」を育むことができる...	...「 <u>生きる力</u> 」、「 <u>自己肯定力</u> 」を育むことができる...	パブリックコメント (番号: 41) の意見を反映
22	13行目	3-4	1-2 次代の担い 手を育む教育環境	(2.目指すべき将来像) 「南知多町立小中学校規模適正化基本計画」に沿って、 <u>学校の適正配置、規模の適正化を検討します。</u>	(2.目指すべき将来像) <u>実現したい教育の姿・環境を見据え、「南知多町立小中学校規模適正化基本計画」に沿って、学校の適正配置、規模の適正化を進めていきます。</u>	第2回審議会 (NO. 46) の意見を反映
22	下から6行目	3-4	1-2 次代の担い 手を育む教育環境	学校のICT環境の整備とICTを活用した学習活動の充実を進めます。	「 <u>GIGAスクール構想</u> 」の実現に向けて、 <u>国等の支援も活用して学校のICT環境の整備とICTを活用した学習活動の充実を進めます。</u>	第1回審議会 (NO. 44) の意見を反映
22	下から2行目	3-4	1-2 次代の担い 手を育む教育環境	児童・生徒が地域に愛着を持つために、農・漁業体験をはじめとした自然の中での学習、伝統行事等への参加、 <u>地元の食材を使った給食等、郷土教育の拡充に取り組みます。</u>	児童・生徒が地域に愛着を持つために、 <u>農・漁業体験をはじめとした自然の中での学習、伝統行事等への参加、地元の食材を使った給食等、郷土教育の拡充に取り組みます。また、それらを踏まえ上で、児童・生徒が本町の未来を考える機会の創出を推進します。</u>	第2回審議会 (NO. 47) の意見を反映

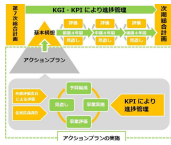

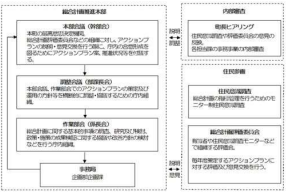
第7次南知多町総合計画(案) 素案修正新旧対照表

頁	行	章-節	項目	旧(修正前)	新(修正後)	修正理由等
30	下から5行目	3-4	1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり	2.(2)将来像の実現に向けて)より多くの方が余暇に自然と親しむため、自然のなかで行うアウトドア等の活動の普及・展開を支援します。	(2.(2)将来像の実現に向けて)より多くの方が余暇に自然と親しむため、自然のなかで行うアウトドア等の活動の普及・展開を支援します。また、上記の取組ができるよう、美しい自然を守る活動の普及・展開を支援します。	第2回審議会(NO. 49)の意見を反映
30	下から3行目	3-4	1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり	(2.(3)地域との協働)美しい自然を守るため、地域や諸団体等とともに、自然環境の保全に取り組みます。	(2.(3)地域との協働)美しい自然を守るため、地域や諸団体等とともに、自然環境の保全に取り組みます。また、美しい南知多町を日頃から楽しみ、SNS等で積極的に魅力を発信いただくとともに、環境改善の取り組みにも理解いただけるよう取り組みます。また、SNSの説明のために下部に注釈を追加しました。	第2回審議会(NO. 49)の意見を反映
32	下から10行目	3-4	1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ	郷土教育など、若い世代が伝統文化に触れる機会の確保に取り組みます。	郷土教育や高齢者が持つ伝統技術など、若い世代が伝統文化や技術に触れる機会の確保に取り組みます。	第2回審議会(NO. 50)の意見を反映
32	下から10行目	3-4	1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ	郷土教育や高齢者が持つ伝統技術など、若い世代が伝統文化や技術に触れる機会の確保に取り組みます。	幅広い世代が伝統文化、技術に触れることのできる機会の創出、郷土愛の醸成に取り組みます。	作業部会の意見を反映
34	下から12行目	3-4	2-1 豊かな海と産物を活かした水産業	水産物消費量の拡大のため、魚食普及のPRや、観光・宿泊での目玉としての水産物の活用を促進します。	また、新型コロナウイルスの拡大による消費の減少に対応するため、インターネットによる販売などの取り組みを支援します。	第3回審議会(NO. 53)の意見を反映
34	下から2行目	3-4	2-1 豊かな海と産物を活かした水産業	美味しい南知多の水産物を日頃から味わい、SNS等で積極的に魅力を発信いただく	美味しい南知多の水産物を日頃から味わい、SNSや口コミ等で積極的に魅力を発信いただく	第1回審議会(NO. 108)の意見を反映
34・35	—	3-4	2-1 豊かな海と産物を活かした水産業 2-2 豊かな農地と産物を活かした農業	目指すべき将来像の実現に向けて…	将来像の実現に向けて…	第3回審議会(NO. 56)の意見を反映
38	4行目	3-4	2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業	町内生産物を積極的に購入・利用いただき、情報発信いただけるよう取り組みます。	町内生産物を積極的に購入・利用いただき、SNSや口コミ等で情報発信いただけるよう取り組みます。	第1回審議会(NO. 108)の意見を反映
38	下から13~18行目	3-4	2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業	…ブランド化を進めます。地域ブランドを、ふるさと納税への出品、SNS(社会的ネットワークを構築するサービス)等のインターネットを活用した積極的な情報発信、外国人観光客のインバウンド消費などにより、販売の拡大を支援します。	…ブランド化を進めるとともに、ふるさと納税への出品、SNS等のインターネットを活用した積極的な情報発信で地域ブランドを広げていきます。新型コロナウイルスの拡大防止と経済活動を両立するための事業継続の取組や、新しい働き方、生活様式に対応するための環境整備を支援します。	第3回審議会(NO. 57)の意見を反映
40	6行目	3-4	2-4 何度も訪れたい観光・交流	…今後さらに多様化が見込まれる観光客の新たなニーズへの対応が重要な課題となっています。	…今後さらに多様化が見込まれる観光客の新たなニーズへの対応、感染症拡大という新たな脅威への対応が重要な課題となっています。	第1回審議会(NO. 59)の意見を反映
40	下から3行目	3-4	2-4 何度も訪れたい観光・交流		インバウンド観光が見込めない間も、地元や近場の方も含めた国内旅行者が安心安全に訪れることができるように、感染拡大防止の環境づくりや、地域の魅力の再発見と発信を行います。	第1回審議会(NO. 59)の意見を反映
42	下から5行目	3-4	2-5 新たなチャレンジを創る起業支援	マッチングサイトの活用、実際に起業した方との意見交換の機会等により、…	マッチングサイトなどの活用や移住希望者に伝わりやすい情報発信、実際に起業した方との意見交換の機会等により、…	第1回審議会(NO. 63)の意見を反映
44	下から7行目	3-4	2-6 価値ある産業を残す事業継承支援	移住等希望者と事業者を繋ぐ機会の創出や、事業者・継承希望者のニーズに即した支援策を検討します。	移住等希望者と事業者を繋ぐ機会の創出や移住希望者に伝わりやすい情報発信、事業者・継承希望者のニーズに即した支援策を検討します。	第1回審議会(NO. 63)の意見を反映
44	下から3行目	3-4	2-6 価値ある産業を残す事業継承支援	…事業承継のノウハウのある士業、その他の民間事業者…	…事業承継のノウハウのある士業等の認定経営革新等支援機関、その他の民間事業者…	第3回審議会(NO. 64)の意見を反映
46	下から6~7行目	3-4	2-7 働く環境づくり	…理解を促進します。	…理解を促進するとともに、環境整備への取り組みが求職者に伝わるよう情報発信を支援します。	第3回審議会(NO. 65)の意見を反映
46	下から8行目	3-4	2-7 働く環境づくり	…事業所等のワークライフバランス…	…子育てしながら仕事しやすい環境など、事業所等のワークライフバランス…	第3回審議会(NO. 65)の意見を反映
46	下から9行目	3-4	2-7 働く環境づくり	企業の人手不足を解消するため、女性、高齢者及び外国人の活用を支援します。	南知多町で女性や高齢者及び外国人等、誰もが個々の能力を發揮できるように就労を応援します。	パブリックコメント(番号:51)の意見を反映
48	個別計画	3-4	3-1 まちと命を守る防災	南知多町地域強靱化計画	南知多町国土強靱化地域計画	作業部会の意見を反映
48	個別計画	3-4	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ	南知多町地域強靱化計画	南知多町国土強靱化地域計画	作業部会の意見を反映
56	下から6行目	3-4	3-5 暮らしを支える地域公共交通	財政負担を抑えつつ移動手段を確保・充実する方法を検討します。	財政負担を抑えつつ、住民や観光客の需要に応じた移動手段を確保・充実する方法を検討します。	第1回審議会(NO. 67)の意見を反映
58	下から9行目(用語の定義)	3-4	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ		また、地域課題の解決や将来的な移住に向けた裾野を拡大するため、「関係人口」の確保に取り組みます。「関係人口」の確保に取り組みます。移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、特定の地域に継続的に多様な形で関わる者のこと	作業部会の意見を反映
58	2行目	3-4	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	…多様な国籍・世代間等で交流していただくことで、地域との協働による支え合いのまちづくりを進めます。	…多様な国籍や世代など垣根を越えて交流し、地域の将来を担う若者や移住者の意見が尊重されるまちづくりを進めます。	第1回審議会(NO. 108)の意見を反映
58	13~17行目	3-4	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	町民や各種団体によるまちづくり事業を支援します。また、地域課題の解決や将来的な移住に向けた裾野を拡大するため、「関係人口」の確保に取り組みます。既存団体の合併や世代交代、移住者の地域参画等を促すための、各種情報提供等に努めます。	町民や各種団体によるまちづくり事業を支援し、既存団体の合併や世代交代、移住者の地域参画、男女共同参画等を促すための各種情報提供等に努めます。また、地域課題の解決や将来的な移住に向けた裾野を拡大するため、「関係人口」の確保に取り組みます。若者や女性も含め、誰もが人々が個々の能力に応じて活躍できる場が広がるよう、支援や情報発信に取り組みます。	パブリックコメント(番号:55)の意見を反映
63	15行目	3-5	4-1 職員の成長とやりがい	…仕事の成果と生活の充実が好循環を生み出すための、残業の削減をはじめとした働き方改革を進めます。	…仕事の成果と生活の充実が好循環を生み出すため、また、子育てと仕事の両立を率先して実現するため、職場環境の改善を進めます。	作業部会の意見を反映
68	2行目	3-6	南知多町がとるべき戦略		本町が将来も安心して暮らし続けられるまちであるために、本町の強みや弱み、機会、脅威等を踏まえ、以下の6つのとるべき戦略を定めました。	作業部会の意見を反映

第7次南知多町総合計画(案) 素案修正新旧対照表

頁	行	章-節	項目	旧(修正前)	新(修正後)	修正理由等
68	下から6行目	3-6	(1)子育て世帯の居住と就業促進	子育て世帯に対する就業等の支援を強化することで居住を促進すると同時に…	子育て世帯に対する就業、居住等の支援を強化すると同時に…	パブリックコメント(番号:11)の意見を反映
68	3行目	3-6	(1)子育て世帯の居住と就業促進	(1)子育て世帯の居住と就業促進(追加)	(1)子育て世帯の居住と就業促進 また、災害などのリスクに強いまちづくりは全ての人々にとって重要ですが、子育て世帯の居住地選択においても重要な要素となっています。選ばれるまちであるために、災害等に強いまちづくりが求められます。	パブリックコメント(番号:13)の意見を反映
69	3行目	3-6	(2)高齢者の就業促進	人手不足を解消し町内産業を活性化するためには、高齢者についても就業を促進する必要があります。	人手不足を解消し町内産業を活性化し、高齢者が安心して住み続けるためには、希望する高齢者が働くことのできる就業環境と、単身世帯でも困らない生活環境が重要です。	第2回審議会(No.76)の意見を反映
69	3行目	3-6	(2)高齢者の就業促進	(2)高齢者の就業促進 …人手不足を解消し町内産業を活性化するためには、就業を希望する高齢者について就業を促進する環境作りが重要です。 …高齢者が健康であるとともに様々な分野で活躍できる環境を整備し、就業を促進する必要があります。	(2)高齢者の就業促進と生活の確保 …人手不足を解消し町内産業を活性化し、高齢者が安心して住み続けるためには、希望する高齢者が働くことのできる就業環境と、単身世帯でも困らない生活環境が重要です。 …高齢者が健康で様々な分野で活躍できる環境を整備し、就業を促進するとともに、つながりを大切に、孤立することのない地域社会を維持する必要があります。	パブリックコメント(番号:13)の意見を反映
70	12行目	3-6	(5)都会にはない魅力と生活のモデルの創造	これは、「都会の方が就業しやすい」「都会の方が生活しやすい」という固定概念が影響しているものと考えられます。	「これは、「都会の方が就業しやすい」「都会の方が生活しやすい」という考えで、都市部での生活を希望している方が相応にいるためと考えられます。	第2回審議会(No.77)の意見を反映
70	下から2~6行目	3-6	(5)都会にはない魅力と生活のモデルの創造	また今後、Society5.0の実現に向けた技術革新が進む中で、居住地域に左右されない就業や生活スタイルが普及することが想定され、都市部に居住するメリットは低下すると考えられます。 そのため、都会にはない自然に恵まれた魅力とその中で就業と生活のモデルを創造・提示し、町内外へ発信することで…	また、新型コロナウイルスの拡大により働き方や生活様式が大きく変化しつつあります。今後も居住地域に左右されない就業や生活スタイルが普及することが想定され、都市部に居住するメリットは低下すると考えられます。 そのため、都会にはない自然に恵まれた魅力とその中で就業と生活のモデルを町内外へ発信し、町内に呼び込むための施策を強化することで…	パブリックコメント(番号:16)の意見を反映
70	下から3行目	3-6	(6)人口減少と高齢化が進む地域だからその「一歩進んだ」まちづくり	その他多くの人々の協働によって地域の強みを生かし、前例がないことでも失敗を恐れず挑戦し、機敏性をもって対応することで、「先行者利益」の獲得を目指す必要があります。	その他多くの人々の協働によって地域の強みを生かし、前例がないことでも失敗を恐れず挑戦し、機敏性をもって対応する必要があります。	第1回審議会(No.79)の意見を反映
72	2行目~	3-7	7重点政策	本町が将来も安心して暮らし続けられるまちであるために、優先的に取り組まなければならない政策を、重点政策として位置づけました。	目標指標(GI)や将来イメージを実現するために、人口ビジョンで掲げた課題、安心して暮らし続けられるよう本町がとるべき戦略を踏まえ、優先的に取り組まなければならない政策を重点政策として位置づけました。	パブリックコメント(番号:18)の意見を反映
72	6行目~	3-7	(1)重点政策の考え方	早期に人口の安定化を図り、住民生活及び行財政の持続可能性を確保していくための施策は、一つの分野だけで実現できるものではありません。例えば、子どもを産み育てるために子育て支援だけでなく、生活を支える仕事や収入や、仕事と子育てを両立できる職場環境も重要です。 そのため、「まちづくりの施策体系」で整理した2.1の基本施策の全てが横断的に連携し取り組んでいく「重点政策」を定めました。 重点政策は「子育て支援と教育の充実」、「産業の活性化と雇用の確保」、「定住支援」の3本とし、優先順位を定めて実施していきます。	「まちづくりの施策体系」で整理した2.5の基本施策は、町が継続的に実施する施策を示しており、本来、全ての施策が「重点政策」ということにはなりますが、現在の一層厳しさを増している行財政状況では、まんべんなくあらゆる項目を対象とした施策を推進した場合、あまり効果が見えてこないと考えます。 そのため、早期に人口の安定化を図り、住民生活及び行財政の持続可能性を確保していくため、2.5の基本施策の全てが横断的に連携し取り組んでいく「重点政策」として、「子育て支援と教育の充実」、「産業の活性化と雇用の確保」、「定住支援」の3本を位置づけ、優先順位を定めて実施していきます。	パブリックコメント(番号:18)の意見を反映
72	図	3-7	(1)重点政策の考え方			パブリックコメント(番号:18)の意見を反映
72	①子育て支援と教育の充実2行目	3-7	(1)重点政策の考え方 ①子育て支援と教育の充実	…子育て世帯を支援する、子育て環境づくり…	…子育て世帯を支援する、豊かな自然環境など地域資源を活かした子育て環境づくり…	パブリックコメント(番号:26)の意見を反映
72	②産業の活性化と雇用の確保3行目	3-7	(1)重点政策の考え方 ②産業の活性化と雇用の確保	就業をきっかけとした人口流出を防ぐとともに、人口減少下でも維持・発展していくため、産業の活性化と雇用の確保を目指します。	就業をきっかけとした人口流出を防ぐとともに、人口減少下でも維持・発展していくため、産業の活性化と雇用の確保を目指します。また、仕事により町のにぎわいが生み出されることを目指します。	作業部会の意見を反映
72	③定住支援1~2行目	3-7	(2)重点政策の考え方 ③定住支援	インフラ、生活環境…	住居・インフラ、生活環境…	パブリックコメント(番号:25)の意見を反映
73	図	3-7	(2)重点政策の実行		図説の追加 	作業部会の意見を反映

第7次南知多町総合計画(案) 素案修正新旧対照表

頁	行	章-節	項目	旧(修正前)	新(修正後)	修正理由等																																																								
73	KPI表	3-7	(3) 重点政策の管理指標(KPI)		<p>KPIの基準値の追加</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">①子育て支援と動物の充実</td> <td>基準値 (R1)</td> <td>目標値 (R6)</td> </tr> <tr> <td>●希望の保育所に入所している児・幼の割合</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>●放課後児童クラブの申込みに対する充足率</td> <td>84%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>●赤ちゃんと犬の接触率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">②産業の活性化と雇用の確保</td> <td>基準値 (R1)</td> <td>目標値 (R6)</td> </tr> <tr> <td>●新規農林漁業者数</td> <td>9人/年</td> <td>9人/年</td> <td>9人/年</td> </tr> <tr> <td>●新規農業就業数</td> <td>2人/年</td> <td>2人/年</td> <td>2人/年</td> </tr> <tr> <td>●観光客数</td> <td>278.5万人/年</td> <td>280万人/年</td> <td>280万人/年</td> </tr> <tr> <td>●商工会員数</td> <td>1,101事業者</td> <td>1,101事業者</td> <td>1,101事業者</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">③定住支援</td> <td>基準値 (R1)</td> <td>目標値 (R6)</td> </tr> <tr> <td>●空き家バンク相談件数</td> <td>43件/年</td> <td>56件/年</td> <td>56件/年</td> </tr> <tr> <td>●空き家バンク見学数</td> <td>9件/年</td> <td>14件/年</td> <td>14件/年</td> </tr> <tr> <td>●空き家バンク申込数</td> <td>14人/年</td> <td>17人/年</td> <td>17人/年</td> </tr> <tr> <td>●コミュニティバス利用回数</td> <td>19.8万人/年</td> <td>20万人/年</td> <td>20万人/年</td> </tr> </table>	①子育て支援と動物の充実		基準値 (R1)	目標値 (R6)	●希望の保育所に入所している児・幼の割合	100%	100%	100%	●放課後児童クラブの申込みに対する充足率	84%	100%	100%	●赤ちゃんと犬の接触率	100%	100%	100%	②産業の活性化と雇用の確保		基準値 (R1)	目標値 (R6)	●新規農林漁業者数	9人/年	9人/年	9人/年	●新規農業就業数	2人/年	2人/年	2人/年	●観光客数	278.5万人/年	280万人/年	280万人/年	●商工会員数	1,101事業者	1,101事業者	1,101事業者	③定住支援		基準値 (R1)	目標値 (R6)	●空き家バンク相談件数	43件/年	56件/年	56件/年	●空き家バンク見学数	9件/年	14件/年	14件/年	●空き家バンク申込数	14人/年	17人/年	17人/年	●コミュニティバス利用回数	19.8万人/年	20万人/年	20万人/年	パブリックコメント(番号:27)の意見を反映
①子育て支援と動物の充実		基準値 (R1)	目標値 (R6)																																																											
●希望の保育所に入所している児・幼の割合	100%	100%	100%																																																											
●放課後児童クラブの申込みに対する充足率	84%	100%	100%																																																											
●赤ちゃんと犬の接触率	100%	100%	100%																																																											
②産業の活性化と雇用の確保		基準値 (R1)	目標値 (R6)																																																											
●新規農林漁業者数	9人/年	9人/年	9人/年																																																											
●新規農業就業数	2人/年	2人/年	2人/年																																																											
●観光客数	278.5万人/年	280万人/年	280万人/年																																																											
●商工会員数	1,101事業者	1,101事業者	1,101事業者																																																											
③定住支援		基準値 (R1)	目標値 (R6)																																																											
●空き家バンク相談件数	43件/年	56件/年	56件/年																																																											
●空き家バンク見学数	9件/年	14件/年	14件/年																																																											
●空き家バンク申込数	14人/年	17人/年	17人/年																																																											
●コミュニティバス利用回数	19.8万人/年	20万人/年	20万人/年																																																											
第4章 計画の実現に向け																																																														
76	図	4-1	総合計画の実行・進行管理			第1回審議会(No.3)の意見を反映																																																								
76	下から7行目~	4-1	(2)住民による評価		<p>(2)住民による評価</p> <p>各施策等で設定した評価指標(KPI)について、モニター制のアンケート調査等により進捗状況を確認し、定量的分析を行います。また、数値で測ることのできない取組みの進捗について、事業ごとに事業評価をするとともに、アンケート調査の自由意見等をもとに、定性的分析を行います。</p> <p>さらに、各分野の代表であるモニターによる外部評価委員会による評価を行うことにより、事業評価の妥当性、客観性を確保します。</p>	パブリックコメント(番号:57)の意見を反映																																																								
77	7行目	4-2	(1)総合計画の推進体制			作業部会の意見を反映																																																								
77	8行目~	4-2	(2)協働・共創のまちづくり		<p>(2)協働・共創のまちづくり</p> <p>将来イメージを実現するためには、町民と行政が対等の立場で、共に考え、共に協力して働く「協働」をさらに進め、町民のみならず、自分たちのまちは自分たちで創り、育てるという意識をもって、南知多町をよりよくなる一歩進んだ「共創」の取組みを進めていくことが大切です。</p> <p>「共創」とは、これまでの「協働」を基本としつつ、目標設定の段階から、町民、団体、企業、大学、地域、行政等が連携し、異なる視点や価値観のもと多方面から意見を出し合いながら解決策の検討を行い、実践的な取組みを展開することにより、新たなまちの魅力や地域の価値を共に創り上げていくことです。</p> <p>本町においても、協働・連携が少しずつ浸透する中で、「協働」における次のステップとして、住民と一緒に新しい価値や解決策の創造を目指す「共創」によるまちづくりを積極的に進めていきます。</p>	パブリックコメント(番号:58)の意見を反映																																																								
78・79	図	4-3	基本施策と個別計画との関連	P17・18掲載	P78・79掲載へ変更	作業部会の意見を反映																																																								
20~66	上部SDGsアイコン	4-3	基本施策全体	別紙3	別紙3 SDGsアイコンの追加	作業部会の意見を反映																																																								

※事務局にて全体の誤字脱字の修正、行間詰め等の調整しております。

素案		委員意見	対応方針	事務局案
1 地元で働く仕事づくり		地元をにぎわすしごとづくり	反映	地元をにぎわすしごとづくり
1-1	豊かな漁場を育む水産業	豊かな海と産物を活かした水産業	反映	豊かな海と産物を活かした水産業
1-2	豊かな自然を活かした農業	豊かな里山と産物を活かした農業	反映	豊かな農地と産物を活かした農業
1-3	付加価値を生む商工業	新たな魅力や価値を生み出す商工業	反映	新たな魅力や価値を生み出す商工業
1-4	何度も訪れたい観光・交流	観光に活かすことができる魅力あるまちづくり	原案	
1-5	挑戦する人を惹きつける起業支援	新たなチャレンジを生み出す（創る）まちづくり	一部反映	新たなチャレンジを創る起業支援
1-6	価値ある産業を残す事業承継支援	新たな仕事の場づくり	原案	
1-7	働く環境づくり	にぎわいを生む（交流）拠点づくり	原案	
2 地域で育むひとづくり		—	—	—
2-1	南知多で育てたい子育て環境	未来の宝を大切に子育てする地域づくり	一部反映	地域で大切にする子育て環境
2-2	未来を担うひとを育てる学校教育	次代の担い手を育む教育環境づくり （学校教育）	反映	次代の担い手を育む教育環境
2-3	夢・元気・生きがいを育てる健康づくり	生涯通じて取り組む健康づくり （高齢者福祉・スポーツ）	反映	生涯通じて取り組む健康づくり
2-4	個性を活かす障がい者福祉	地域で学び、育ち合うまちづくり （家庭教育、青少年教育）	原案	
2-5	安心して住み続けられる長寿社会	学びを楽しむまちづくり （生涯学習、スポーツ）	原案	
2-6	豊かな自然を活かしたひとづくり	市民協働で育むまちづくり （文化、芸術）	原案	
2-7	郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ	多様性を認め合うまちづくり （障がい者福祉・多文化共生・男女共同参画）	原案	
3 安心できるまちづくり		—	—	—
3-1	命を守る防災	災害（感染？）に強く安全に暮らせるまちづくり	反映	まちと命を守る防災
3-2	つながりを活かした交通安全と防犯	暮らしを支える地域のネットワークづくり	原案	
3-3	資源を活かす土地利用	資源を活かすまちづくり （南知多の自然、豊かな自然資源、空き家バンク）	原案	
3-4	安心な暮らしを支えるインフラ	ひとりひとりに応じた支援を考える（た）体制づくり	原案	
3-5	地域公共交通の維持・活性化	暮らしを支える地域公共交通の体系づくり	一部反映	暮らしを支える地域公共交通
3-6	つながり、支え合うコミュニティ	共に支え合うコミュニティづくり （地域orまち）	一部反映	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ
3-7	心と体安らぐ自然・住環境	環境を意識したまちづくり （地球温暖化）	原案	

基本施策のK P Iの現状値・目標値の修正について

【別紙2】

基本目標	基本施策	満足度 (修正前)	満足度 (修正後)	目標値 (案) (修正前)	目標値(案) (修正後)
ひとづくり	1-1 地域で大切にしている子育て環境	76 →	89	80 →	95
	1-2 次代の担い手を育てる教育環境	79 →	86	83 →	95
	1-3 生涯通じて取り組む健康づくり	79 →	89	83 →	95
	1-4 個性を活かす障がい者福祉	68 →	85	71 →	95
	1-5 安心して住み続けられる長寿社会	80 →	88	84 →	95
	1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり	70 →	84	73 →	95
	1-7 郷土愛、つながりを育てる文化・スポーツ	68 →	79	71 →	95
しごとづくり	2-1 豊かな海と産物を活かした水産業	68 →	84	71 →	95
	2-2 豊かな農地と産物活かした農業	47 →	79	50 →	95
	2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業	71 →	84	74 →	95
	2-4 何度も訪れたい観光・交流	67 →	82	70 →	95
	2-5 新たなチャレンジを創る起業支援	45 →	74	47 →	89
	2-6 価値ある産業を残す事業承継支援	59 →	77	62 →	93
	2-7 働く環境づくり	68 →	81	71 →	90
まちづくり	3-1 まちと命を守る防災	79 →	85	83 →	95
	3-2 つながりを活かした防犯	86 →	90	90 →	95
	3-3 資源を活かす土地利用	66 →	74	70 →	89
	3-4 安心な暮らしを支えるインフラ	83 →	88	88 →	95
	3-5 暮らしを支える地域公共交通	76 →	76	79 →	91
	3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	72 →	84	75 →	95
	3-7 心と体安らぐ自然・住環境	81 →	82	86 →	95

SDGs/基本施策名	1-1 地域で大切に する子育て環 境	1-2 次代の担い手 を育む教育環 境	1-3 生涯通じて取 り組む健康つ くり	1-4 個性を活かす 障がい者福祉	1-5 安心して住み 続けられる長 寿社会	1-6 豊かな自然を 活かしたひと づくり	1-7 郷土愛、つな がりを育む文 化・スポーツ	2-1 豊かな海と産 物を活かした 水産業	2-2 豊かな農地と 産物を活かした 農業	2-3 新たな魅力や 価値を生みだ す商工業	2-4 何度も訪れた くなる観光・ 交流	2-5 新たなチャー レンジを創る 起業支援	2-6 価値ある産業 を残す事業承 継支援	2-7 働く環境つ くり	3-1 まちと命を守 る防災	3-2 つながりを活 かした交通安 全と防犯	3-3 資源を活かす 土地利用	3-4 安心な暮らし を支えるイン フラ	3-5 暮らしを支え る地域公共交 通	3-6 多様性を認め 、共に支え合 うコミュニテ ィ	3-7 心と体安らく 自然・住環境	4-1 職員の成長と やりがい	4-2 業務の高度化 、効率化	4-3 市民の満足度 向上	4-4 持続可能な行 政運営
1 貧困をなくそう	●	●				●																			
2 飢餓をゼロに																									
3 全ての人に健康と福祉を	◎	●	◎	◎	◎		◎														●			●	
4 質の高い教育をみんなに		●	●	●			●																	●	
5 ジェンダー平等を実現しよう	●	●																			●				
6 安全なトイレを世界中に																			●						
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに																									
8 働きがいも経済成長も				●				●	●	●	●	●		●				◎				●			
9 産業と技術革新の基礎をつくらう								●	●	●		●	●					●	●				●		
10 人や国の不平等をなくそう			●	●	●																				
11 住み続けられるまちづくりを	◎				◎										●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
12 つくる責任つかう責任		◎					◎							◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎			◎	
13 気候変動に具体的な対策を															●		◎								
14 海の豊かさを守ろう						●		●			●	●	●	●					●		●				
15 陸の豊かさを守ろう						●			●		●	●	●	●			●				●				
16 平和と構成をすべての人に	●	●																						●	
17 パートナーシップで目標を達成しよう	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

●バブコメ前案	3	5	2	3	1	3	1	3	3	2	3	4	3	3	2	1	3	4	1	4	4	1	2	4	1
◎作業部会追加案	3	2	2	2	3	1	3	1	1	1	1	1	1	2	2	1	4	2	1	0	2	1	1	1	2

第7次南知多町総合計画2021前期計画

(2021 ▶ 2024)

~ずっと南知多 もっと南知多 だから南知多~

南知多町

ごあいさつ

令和3年3月

南知多町長 石黒和彦

はじめに

第7次南知多町総合計画では、「**わかりやすい計画**」「**つかう計画**」であることを最も重視し、これからの12年間において、本町が目指すべき方向性、とるべき戦略を明らかにし、「**日本一住みやすいまち**」を目指し「将来イメージ」を持って町全体が一丸となってまちづくりに取り組んでいくことが重要です。

これまでも総合計画を策定し、それぞれの時代背景に沿ったまちづくりに取り組んできましたが、近年、社会情勢等が急激に変化する中、日本一住みやすいまちを目指して、**新しい総合計画の目玉**として、2つの転換を行いました。これは、毎年、町民のみなさんの意見や想いを町政に反映していく仕組みを取り入れたことです。

1つ目は、これまでの実施してきた**住民意識調査（アンケート調査）**の回答者を無作為抽出から、任期付きのモニター制度を導入し、継続的に満足度を測っていくこと。

2つ目は、この計画を具体化するための事業を記したアクションプランを住民のみなさまに**毎年評価**していただくこと。

この2つの仕組みは、南知多町創立60年の歴史で初めての試みであり、これまでにない町民のみなさんに寄り添った取り組みであります。

今ある南知多町の強みを大切にし、進化し続ける南知多町として、町民一人ひとりが心豊かであり続け、多くの人から選ばれるまちに向かって、みなさんと一緒に新たな一歩を踏み出していきたいと思っています。

絆・選ばれる理由があるまち

～ ボンディング , リーズン トゥ ビー チューズン ～
～ Bonding , reason to be chosen ～

豊かな自然、きれいな海、恵みある里山、映える夕日。

恵まれた食、四季折々のおいしい海産物・農産物。

人とのつながり、のびのびとした暮らし。

素直な子ども、温かい友達、人情あふれる方言。

風情ある景観、受け継がれる歴史、にぎわいある祭り。

まちを盛り上げる観光、1年通して楽しむ花。

みんなが残したいみなみちたの好きなところ。

現代社会で薄れている良いところがたくさんある、

不安と孤独にとりこまれることのない希望のまち。

このまちの良さを、自分たちだけでなく、

地域を超えて、日本、世界に広げる。

世代の壁もなく、国や文化も関係なく、仲良くなり、

異なるもの同士でもつながる。

時代が変わっても、変わりなく助け合い支え合うことで心豊かに暮らしていける。

色んなものがつながり合うことで、

心豊かで新しい価値をつくっていくまちとなる。

多様なつながり＝「絆」を大切にし、活かすこと。

それが魅力となって住む・働く・訪れるまちとして「選ばれる」、

そんな姿を描いていきましょう。

目 次

第1章	計画策定にあたって	1
1	計画策定の趣旨	2
2	計画の在り方の見直し	3
3	計画の構成と期間	4
第2章	計画策定の背景	5
1	南知多町を取り巻く環境	6
2	社会情勢への対応	8
3	南知多町が目指すべき方向性	10
第3章	基本構想	11
1	人口ビジョンとKGI	12
2	将来イメージと基本理念	16
3	まちづくりの基本目標・基本施策	18
4	基本施策	20
5	行財政マネジメント	62
6	南知多町がとるべき戦略	68
7	重点政策	72
第4章	計画の実現に向けて	75
1	総合計画の実行・進行管理	76
2	連携・協働・共創の推進	77
3	基本施策と個別計画との関連	78
	資料編	80

第 1 章

計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

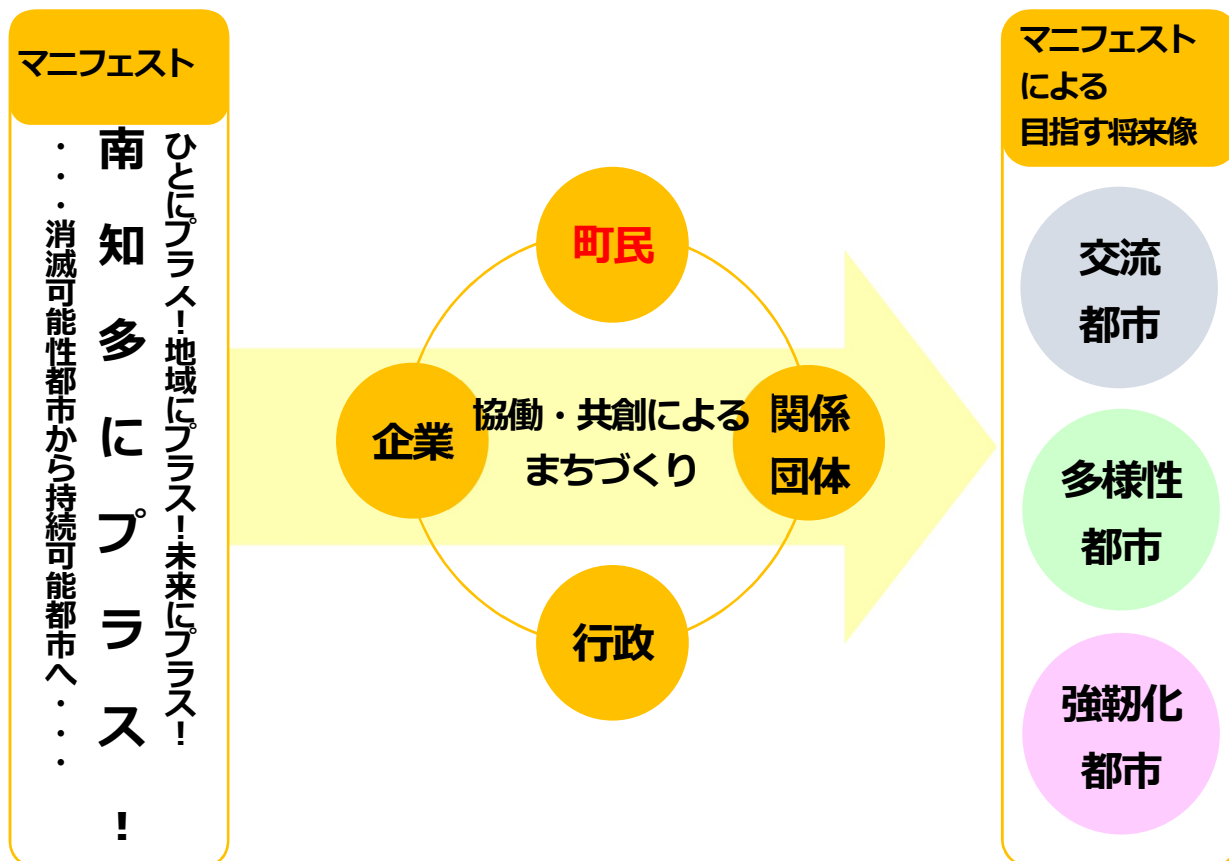
(1) 計画策定に向けて

地方自治法の一部改正（平成23年5月2日公布）により、国の地域主権改革のもと、市町村の基本構想の策定義務付けに関する規定が削除されましたが、本町では、地域の特色を生かした独自性のあるまちづくりの**最上位計画**として、今後も引き続き総合計画を位置づけていくため、総合計画策定に関する根拠条例を新たに整備し、第7次総合計画を策定することとしました。

(2) 総合計画の意義

総合計画は、本町のまちづくりの指針となるもので、本町が町長マニフェストを実行に移していくために町が実施する、施策や事業の計画です。

さらに、総合計画は行政のみならず、町民、企業、関係団体、その他多くの人々の協働・**共創**によるまちづくりの実現を目指すための**総合的な戦略**として活用していくものでもあります。



2 計画の在り方の見直し

(1) これまでの取り組みと課題

本町ではこれまで、将来の本町の進むべき方向性を明らかにし、まちづくりの指針とするため、6次にわたり総合計画を策定し、その実行に取り組んできました。

しかし、実際の事務の執行にあたり計画が形骸化しており実効性に乏しいとの指摘もされるなど、様々な課題が生じてきています。

また、平成23年の地方自治法改正で、総合計画の基本構想の策定義務等が廃止されたことで、地方自治体の自主性と創意工夫による、地域の特色を生かした独自性のある取り組みが求められるようになっていきます。

そこで、第7次総合計画の策定にあたっては、これまでの課題や本町を取り巻く現状を踏まえ、本町における総合計画の在り方を見直すこととしました。

(2) 改善に向けた見直し

総合計画や個別計画（政策分野別の計画）等における課題とその改善の方向性を以下のとおり整理し、まちづくりの指針として分かりやすく実効性のある総合計画を目指します。

課 題

- 政策分野別の個別計画や、まち・ひと・しごと創生総合戦略など、多数の計画が存在しているため、複雑で効率的でない。
- 事業評価や予算・決算との連動が十分でないため、総合計画の実行や進捗管理、見直しが行いにくい。
- 総花的で、政策や事業の優先順位が明確でないため、人口の減少や財政の制約に対応した取舍選択が行いにくい。
- 文章量が多いため分かりにくく、町民に十分に理解、共有されていない。

改善の方向性

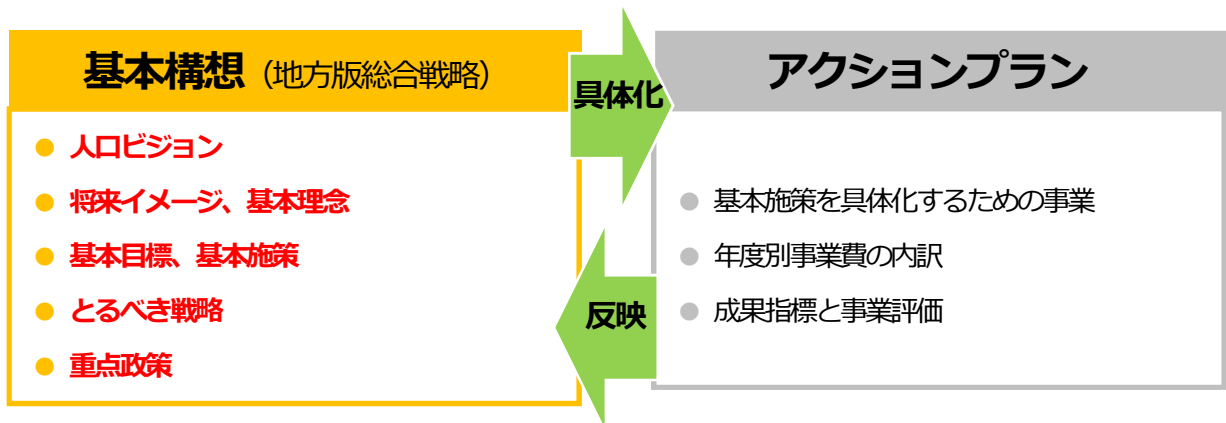
- 総合計画と各計画等との関係を整理、または一体化させることで、効率的な計画にする。
- 事業評価や予算、決算と連動させることで、実効的な計画にする。
- 政策の優先順位を明確にし、戦略的な計画にする。
- 簡潔な内容とすることで、わかりやすい計画にする。

わかりやすく、実効性のあるつかう総合計画を目指す

3 計画の構成と期間

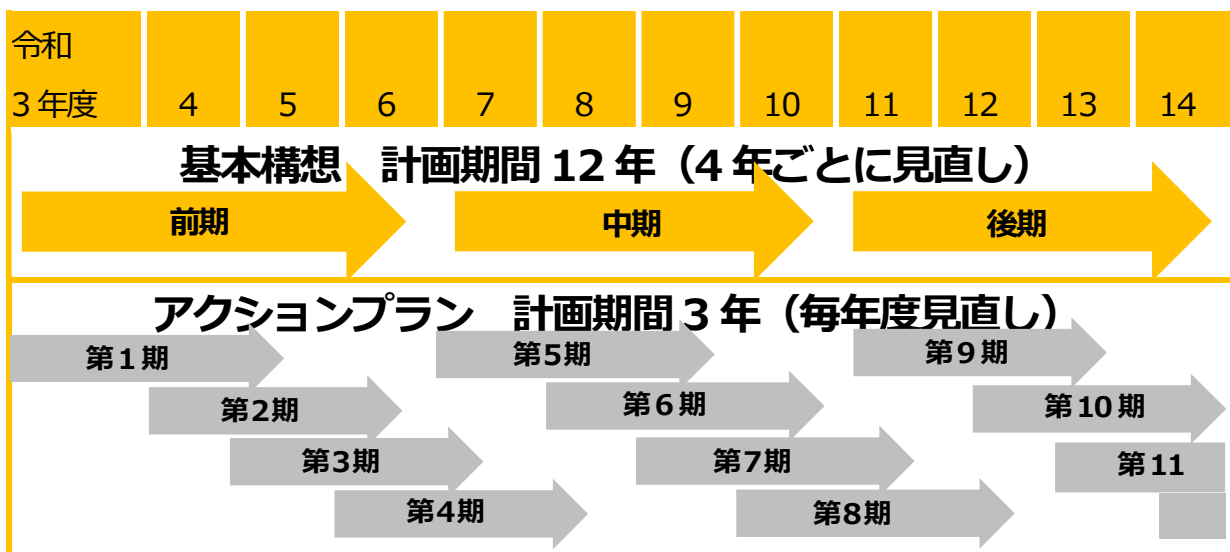
(1) 第7次総合計画の構成

第7次総合計画は、本町の目指すべき将来像等を示す「基本構想」と、それを実現するための「アクションプラン」の2層で構成されています。また、「基本構想」は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」として位置付けることとします。「アクションプラン」は基本構想を具体化するもので、その進捗を毎年度評価し、基本構想の改訂に反映していきます。



(2) 第6次総合計画からの変更点

- 簡潔で分かりやすくするため、3部構成から**2部構成**に変更しました。
- 町長マニフェストとの整合を図るため、計画期間を11年から**12年**に変更しました。
第7次総合計画の計画期間は令和3年度から令和14年度までとします。
- 社会情勢の変化に柔軟に対応するため、総合計画の見直し期間を、5年ごとから**4年ごと**に変更しました。



第2章

計画策定の背景

1 南知多町を取り巻く環境

(1) 今後想定される社会環境の変化

本町が人口減少を抑制し、今後も独自性をもった持続的な自治体として存続するためには、急速な社会環境の変化に絶えず向き合いながら、常に長期的な社会の変化を見定めた上で、本町が目指すべき焦点と方向性を示す必要があります。

アジアやアフリカの台頭により世界の構図が大きく変化



2050年の
「世界」

- | | |
|----|--|
| 人口 | <ul style="list-style-type: none">● 約77億人(2019年)から約97億人(2050年)へ増加する● アジアやアフリカにおいて人口が大幅に増加する● 欧州や北米地域の少子化と高齢化が進む |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none">● 地球温暖化対策のため温室効果ガスの削減の必要性が増大する● 海洋汚染などに対する環境保護の必要性が増大する● 最貧国の人口増加が持続可能な開発に影響を及ぼす |
| 経済 | <ul style="list-style-type: none">● アジアやアフリカが世界経済における存在感を強める● 人、モノ、情報の動きが世界規模で加速し続ける● 水、食料、エネルギーの需要が世界規模で増加する |

人口減少と高齢化により社会と経済の構造が変化



2050年の
「日本」

- | | |
|----|---|
| 人口 | <ul style="list-style-type: none">● 約1億2,600万人(2019年)から約1億1,920万人(2050年)へ減少する● 老年(65歳以上)人口がピークを迎え減少に転じる● 75歳以上の一人暮らし世帯が500万世帯を超える |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none">● 社会保障給付費が約6割増加する● 環境に配慮した持続可能な開発が求められる● 仮想空間と現実空間が融合された高度な技術革新が進む |
| 経済 | <ul style="list-style-type: none">● 世界経済における日本の存在感が弱まる● 世界市場へ参入した外需型産業の必要性が増大する● 内需型産業は医療・福祉分野が中心となる |

人口減少と高齢化による地域内経済の縮小が加速



2050年の
「南知多町」

- | | |
|----|--|
| 人口 | <ul style="list-style-type: none">● 約1万7,700人(2019年)から約7,500人(2050年推計)へ減少する● 出生数が大幅に減少する● 高齢化率が50%を超えるが高齢者の人口は減少する |
| 社会 | <ul style="list-style-type: none">● 人口減少と高齢化により自治機能が低下する● 高齢化にともなう医療・福祉分野の需要が増加する● 行政の広域化により行政の仕組みが変化する |
| 経済 | <ul style="list-style-type: none">● 人口減少と高齢化により地域内経済の縮小が加速する● 世界的な食糧需要の増大により一次産業のニーズが拡大する● 各産業の後継者不足が深刻化する |

(2) AIを活用した持続可能な日本の未来に向けた政策提言

平成29年9月5日に公表された、国立大学法人京都大学（以下「京都大学」という。）ここの未来研究センターの広井良典教授と、京都大学と株式会社日立製作所が開設した、日立未来課題探索共同研究部門（日立京大ラボ）の研究チームが行った共同研究「AIの活用により、持続可能な日本の未来に向けた政策を提言」により、AIを活用して、これからの日本に関する社会構想と政策提言が行われました。

AIを用いたシミュレーションにより、有識者があげた①人口や出生率、②財政や社会保障、③都市や地域、④環境や資源、⑤雇用の維持、⑥格差の解消、⑦幸福、⑧健康の維持・増進に関する149個の社会要因についての因果関係モデルに基づき、2018年から2052年までの35年間で約2万通りの未来シナリオの予測を行った結果、主に「都市集中シナリオ」と「地方分散シナリオ」の2つの傾向に分かれました。

「都市集中シナリオ」では、主に都市の企業が主導する技術革新によって、人口の都市への一極集中が進行することで、政府は支出を都市へ集中することができ、政府の財政は持ち直すものの、出生率の低下と格差の拡大がさらに進行し、個人の健康寿命と幸福感が低下します。

「地方分散シナリオ」では、政府の財政あるいは環境（CO2排出量など）を悪化させる可能性があるものの、地方への人口分散が起これば、出生率が持ち直して格差が縮小するとともに、個人の健康寿命や幸福感が増大します。

提言内容としては、2050年に向けた未来シナリオとして、日本全体が（2017年時点から）今後8～10年後までに「都市集中シナリオ」と「地方分散シナリオ」のどちらかを選択して必要な政策を実行すべきであり、持続可能性の観点からは「地方分散シナリオ」を選択して早急に対応することが望ましいとされました。

また、持続可能な「地方分散シナリオ」を実現するためには、地方税収、地域内エネルギー自給率、地方雇用など、地域内の経済循環を高める政策を（2017年時点から）約17～20年後まで継続的に実行する必要があります。

AIの活用により、持続可能な日本の未来に向けた政策を提言（抜粋）

- ① 2050年に向けた未来シナリオとして主に都市集中型と地方分散型のグループがある。
- ② （2017年時点から）8～10年後までに都市集中型か地方分散型かを選択して必要な政策を実行すべきである。
- ③ 持続可能な地方分散シナリオの実現には、（2017年時点から）約17～20年後まで継続的な政策実行が必要である。

持続可能な地方分散シナリオの実現に必要な政策

地方税収、地域内エネルギー自給率、地方雇用などについて経済循環を高める政策を継続して実施する必要がある

2 社会情勢への対応

(1) 人口減少下における持続可能な行財政運営

人口減少下における持続可能な行財政運営を行うためには、財源の確保のみならず、歳出の一層のスリム化を図ることが必要です。人口に見合った公共施設の運営、費用対効果の高い事業を優先する、町単独ではなく近隣の自治体と連携して公共サービスを運営・提供するなど、効率的かつ効果的な行財政運営が求められます。

また、地域のニーズや課題の全てに行政の力だけで対応することは極めて困難です。そのため、行政、町民、企業、関係団体、その他多くの人々が力を合わせ、ともにまちづくりを推進していく協働・共創体制を構築することが必要です。

(2) 持続可能な開発目標（SDGs）への取り組み

持続可能な開発の目標（SDGs：Sustainable Development Goals※1）は、2015年9月に国連サミットで採択された、2030年までに達成する必要がある国際目標です。

日本でも、環境問題、高齢化、人口減少などに対応した社会の持続可能性が求められており、SDGs達成に向けて取り組むこととしています。本町においても、住民生活が将来にわたって持続可能になるよう、SDGs 17項目の実現が必須だと考えて、取り組むことが必要です。



(3) 技術革新による社会の変化

国の第5期科学技術基本計画では、Society5.0※2（仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する社会）の実現を提唱しています。

Society5.0 で実現する社会は、I o T（Internet of Things：全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有されること）により、今までにない新たな価値を生み出し、少子高齢化や地方の過疎化などの課題を克服することが期待されます。

そのため、本町においても、Society5.0 による社会変化を想定した上で、既存の行政運営の在り方を見直す必要があります。



※1 SDGs

SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

※2 Society5.0

Society5.0とは、①狩猟社会、②農耕社会、③工業社会、④情報社会に続く、人類史上⑤番目の新しい社会のこと。I o T（Internet of Things）や人工知能（AI）等の技術革新（イノベーション）が急激に進んでおり、日本でも、このような先端技術を産業や暮らしの中に取り込んで、様々な課題を解決する「Society5.0」の実現を目指しています。

3 南知多町が目指すべき方向性

社会が激変する中においても、本町が持続可能な行政運営を維持するためには、先進技術を活用しつつ、本町の潜在力を引き出し、様々な不確実性に対応することが求められます。そのため、行政、町民、企業、関係団体、その他多くの人々が、目指すべき焦点と方向性を共有し、戦略的に行動する必要があります。

南知多町の5つの潜在力

【地勢】

- 名古屋市近郊
- 中部国際空港近郊
- 海に面した半島と島しょ部

【資源】

- 恵まれた自然環境
- 豊富な水産物と農産物
- 国内外に発信できる観光資源

【産業】

- 恵まれた自然環境を活かした水産業、農業
- 様々な観光資源を活用した観光業

【歴史文化】

- 多種多様な祭礼、史跡
- 島しょ部（篠島・日間賀島）の漁師文化

【生活】

- 人とのつながりに基づく生活
- 自然環境を生かした生活

南知多町の4つの危機

【自然災害の危機】

- 大規模地震及び津波被害による都市機能の喪失
- 異常気象による災害の増加
- 海水温の上昇に伴う海洋生態系の変化

【人口の危機】

- 人口減少による地域内の経済循環の縮小
- 税収減と義務的経費の増加による財政状況の悪化

【産業の危機】

- 後継者不足による一次・二次産業の衰退
- 人口減少による三次産業の衰退
- 新型コロナウイルスの流行による景気の悪化

【公共施設の危機】

- 人口減少にともなう運営効率の低下
- 老朽化による、事故、維持管理費の増大
- 公共交通機関の縮小

目指すべき方向性

時代のニーズに応えるべく、行政、町民、企業、関係団体、その他多くの人々の協働・共創によって地域の潜在力を生かし、今後直面する危機に対処することで、持続可能なまちづくりを実現し、安心して「暮らし続けられるまち」をつくる。

第 3 章

基本構想

1 人口ビジョンとKGI

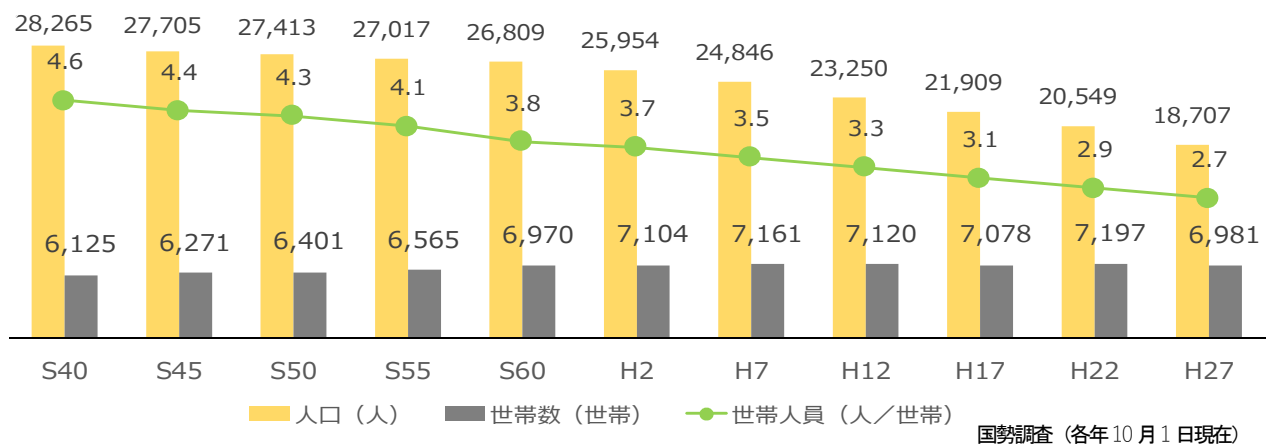
(1) 南知多町の将来人口と目標人口

本町の人口は、昭和40年以降、減少が続いており、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本町の将来人口は、以下の「南知多町の将来人口予測と目標人口」で示す通り令和32年時点で7,488人となり、令和47年時点で4,422人と推測されています。

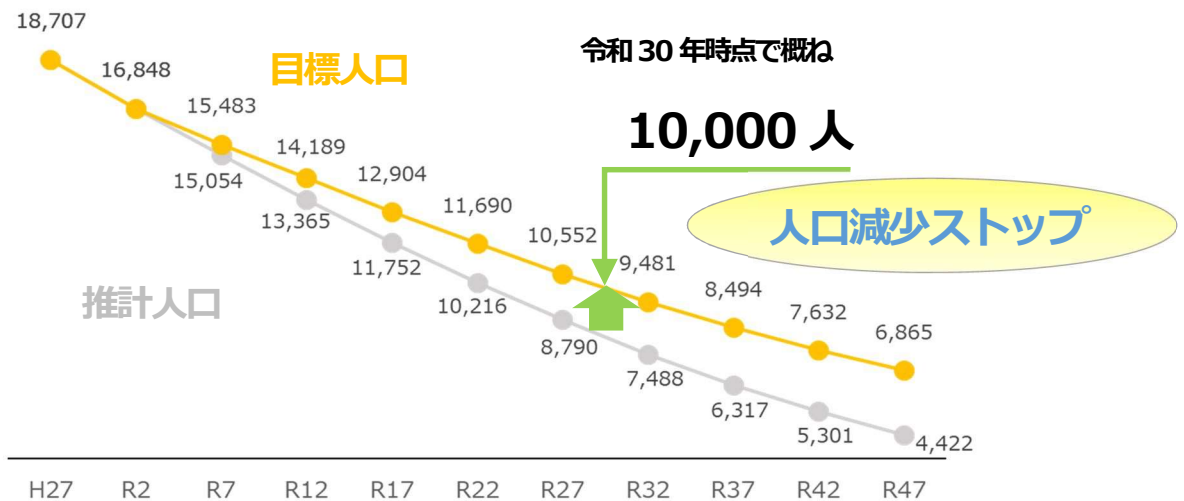
今後、日本全体で人口減少が進む中で、本町だけが人口増加に転じることは極めて困難であると考えられますが、急激な人口減少は住民生活にも行政運営にも大きな影響を与えることから、人口減少の抑制に努める必要があります。

そこで、30年後の人口が現状18,707人（平成27年）の半分以下にならないように安定させるため、令和30年時点で概ね10,000人の人口を維持することを目標とします。

人口・世帯数の推移



南知多町の将来人口予測と目標人口

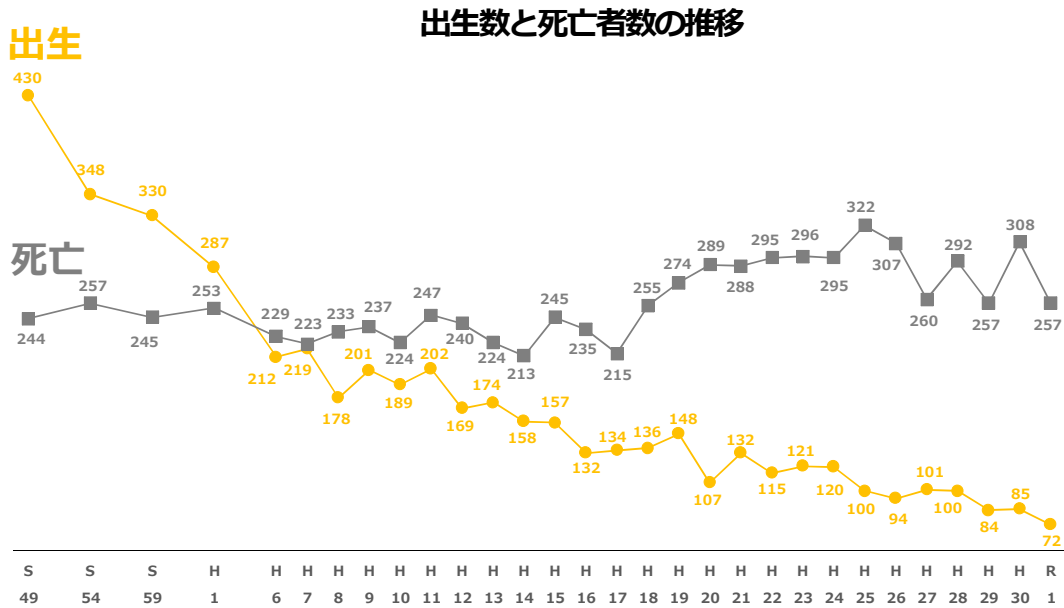


推計人口：国立社会保障・人口問題研究所推計結果に準拠して推計

(2) 少子化への対応

本町の自然動態（出生数と死亡数の変動）の推移をみると、平成6年以降は、自然減（出生数より死亡数が上回る状態）になっています。出生数は減少傾向が続いており、今後も減少することが予想されていることから、人口の自然減が続く推計となっています。

そのため、出生数を向上させるための、少子化対策が求められます。

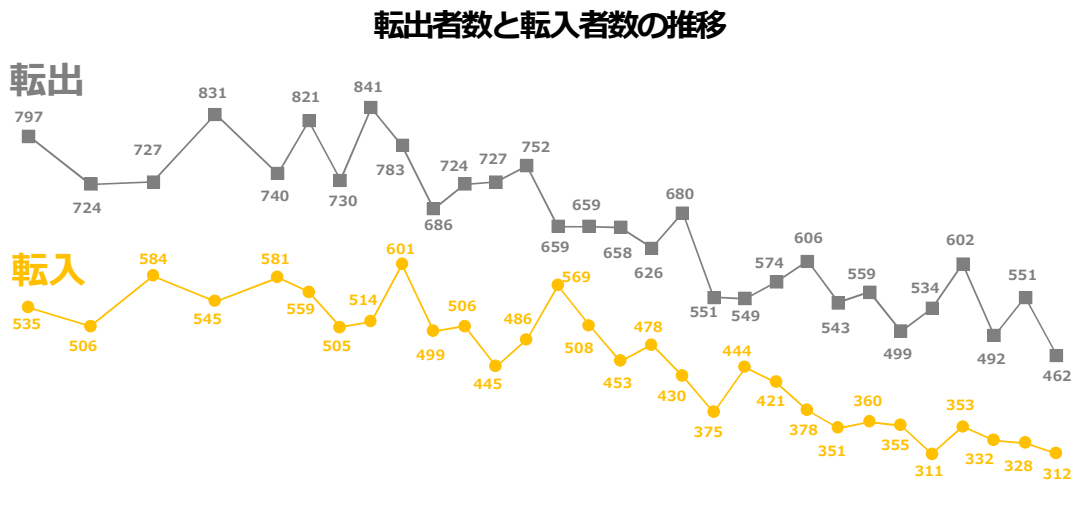


総務省統計局 住民基本台帳人口（各年3月31日、S49、S54は12月31日、H26以降は1月1日を基準日とする。）

(3) 人口流出への対応

本町の社会動態（転入者数と転出者数の変動）の推移をみると、昭和49年以降、社会減（転出が転入を上回る状態）が一貫して続いています。

そのため、転出を防ぎ、転入を促進するため、移住・定住対策が求められます。



総務省統計局 住民基本台帳人口（各年3月31日、S49、S54は12月31日、H26以降は1月1日を基準日とする。）

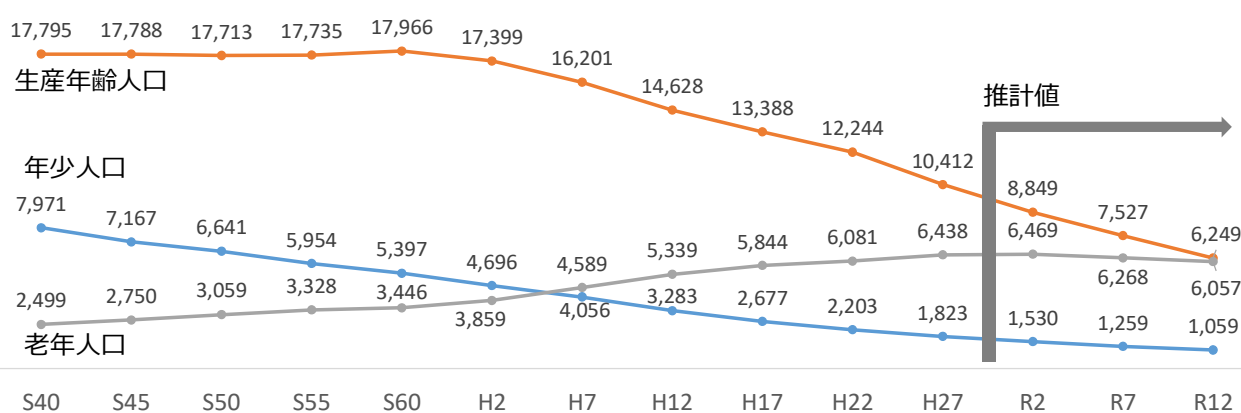
(4) 高齢化社会への対応

本町の高齢化率の上昇は著しく、生産年齢人口（15～65歳）と年少人口（0～14歳）の割合が減少する一方で、老年人口（65歳以上）の割合は増加を続けています。

しかし、本町の総人口が減少の一途をたどる中で、老年人口や高齢化率も増加率はピークを過ぎています。また国立社会保障・人口問題研究所の推計では、令和2年前後から老年人口は減少に転じることが予想されています。

そのため、医療・福祉分野をはじめ、今後、高齢者の増加が進む都市部とは異なる対策が求められます。

年齢3区分別人口構成の推移



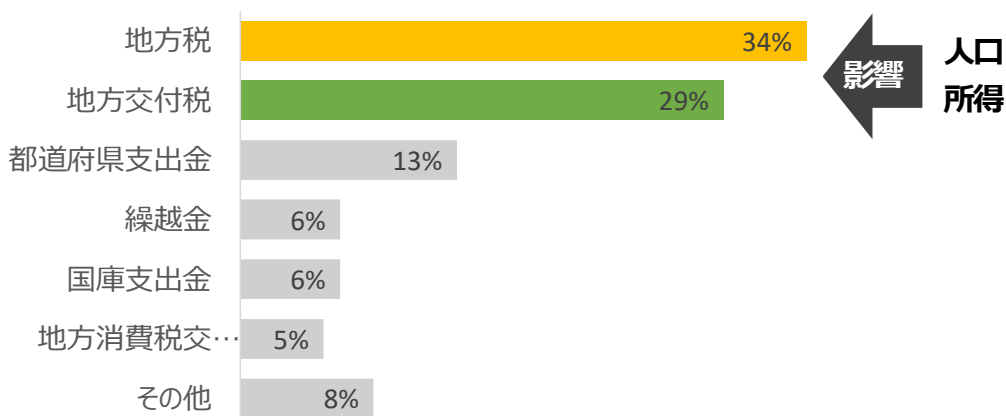
国勢調査（各年10月1日現在） R2以降は国立社会保障・人口問題研究所推計値

(5) 行財政上の人口減少抑制と町民所得向上の必要性

本町の歳入の主なものは地方税と地方交付税です。地方税は個人、法人の所得により変動し、地方交付税は基準財政需要の測定単位として国勢調査時の人口を用いています。行政サービスの財源を確保するためには、人口減少を抑制し、人口の安定化を図る必要があります。

また、人口減少は日本全体で進んでおり、本町の人口が今後も減少することは避けられません。そのため、人口減少下においても安定した財源を確保するためには、一人当たりの町民所得の増加が必要となります。

歳入の構成比（平成29年度）



(6) 目標指標 (KGI) の設定

住民生活を将来にわたり持続可能なものとしていくためには、少子化、人口流出、高齢化に対応し、将来の人口減少を抑制し、行財政の持続可能性を確保していくことが必要となります。これらの課題に向き合い、解決に向けまちづくりに取り組んでいくために目指すべき指標として、第7次総合計画のKGI（目標指標：Key Goal Indicator※1）を出生数とします。

令和30年時点で概ね10,000人の人口を維持するために、第7次総合計画の終了（令和14年度）時点で維持すべき出生数として、KGIの目標数値を75人とします。

目標指標 (KGI)

総合計画終了時点（令和14年度）で維持すべき出生数 75人

出生数の向上には、若年層の転出の抑制と転入の増加、出生率の向上など、人口の安定化に必要な多くの要素が関わっています。これらの要素を向上させるには、子育て支援だけでなく、仕事、住環境など、様々な観点から魅力あるまちづくりが必要となります。

(7) 目標指標 (KGI) 達成のために

目標指標 (KGI) 達成のためには、具体的にどのようなまちづくりを目指すのか、将来イメージや基本理念を定め、それを実現していく基本目標、基本施策、戦略、政策を明確にしていきます。

【基本構想における6つ7つの構成】

- 人口ビジョン・・・令和47年までを推計の対象とし将来展望を描き、本町として対応すべき課題をまとめたもの。
- 将来イメージ・・・将来も「こうあってほしい」と共有する本町の姿。
- 基本理念・・・将来イメージを実現するためのまちづくりの基本的な考え方。
- 基本目標・・・将来イメージを実現するためのまちづくりの基本的な目標。
- 基本施策・・・将来イメージの実現のために町が継続して取り組む施策をまとめたもの。
- とるべき戦略・・・本町の強みや弱み、機会、脅威等を踏まえたとるべき戦略。
- 重点政策・・・将来イメージの実現に向けて優先的に取り組まなければならない政策。

※1 KGI

KGIとは、Key Goal Indicator（キーゴールインディケーター）を省略したもので、日本語では「重要達成目標指標」と言われ、総合計画の「最終目標」となります。

2 将来イメージと基本理念

(1) 将来イメージ

本町にかかわる人々が、第7次総合計画期間が終了する12年後、そしてさらにその先の将来も「こうあってほしい」と共有する本町の姿を、将来イメージとしてまとめました。

【将来イメージ】

絆・選ばれる理由があるまち

～ Bonding , reason to be chosen ～

<将来イメージに込められた願い>

本町には、現代社会で薄れているご近所づきあいやコミュニティ活動、地域での支え合いなど、人と人とのつながりが生活に残っています。これは、不安感と孤独感が立ち込める現代社会において、希望になりうる本町の強みです。

このつながりを、ご近所だけでなく、町内の地域間、近隣市町、全国、世界に広げる。また、多様な世代や文化、産業間、公と民、地方と都市など、異なるもの同士でもつながる。人口が減っていく中でも、助け合い支え合うことで心豊かに暮らしていける。色んなものがつながり合うことで、これまでになかった方法で課題を解決し、地方から新しい価値を創造する。

このように、多様なつながり＝「絆」を大切にし、活かすことで、心豊かで創造的なまちとなる。それが魅力となって住む・働く・訪れるまちとして「選ばれる」、そんな姿を本町の将来イメージとして提案します。

(2) まちづくりの基本理念

将来イメージ「絆・選ばれる理由があるまち」を実現していくために、まちづくりに関わる人々の行動指針として、基本理念を以下のようにまとめました。

基本理念

暮らし続けられるまちを“あなた” とつくる

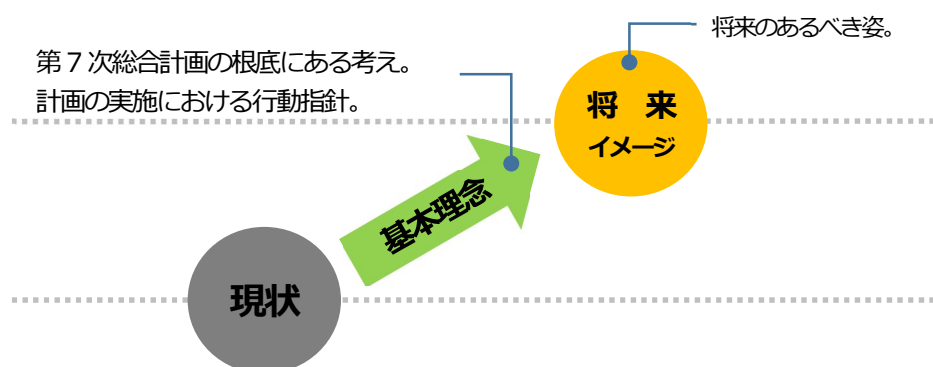
<基本理念に込められた想い>

将来イメージを実現するためのまちづくりは、行政の力だけではできません。

なぜなら、魅力的なまちは、行政だけでなく、町民、企業、関係団体、その他多くの人々の日々の積み重ねによってつくられるものだからです。

また、「自分がまちをつくっている」という実感をまちづくりに関わる全ての人が持つことによって、地域に対する愛着が湧いていき、「ここで暮らし続けたい」という思いに繋がります。

そのため、このまちを選んできた全ての「あなた」とともに、暮らし続けられるまちづくりを行います。



3 まちづくりの基本目標・基本施策

(1) 計画の体系図

将来イメージや町長マニフェストを実現していくため、「地域で育むひとづくり」「地元をにぎわすしごとづくり」「安心できるまちづくり」の3つの基本目標プラス「行財政マネジメント」を柱とし、それぞれで実施すべき25の基本施策を定め、暮らし続けられるまちづくりを力強く実行していきます。

将来イメージ	基本理念	基本目標	基本施策	KPI (現状値)	KPI (目標値)
絆・選ばれる理由があるまち	暮らし続けられるまちを“あなた”とつくる	地域で育むひとづくり	1-1 地域で大切に育てる子育て環境	89	95
			1-2 次代の担い手を育む教育環境	86	95
			1-3 生涯通じて取り組む健康づくり	89	95
			1-4 個性を活かす障がい者福祉	85	95
			1-5 安心して住み続けられる長寿社会	88	95
			1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり	84	95
			1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ	79	95
		地元をにぎわすしごとづくり	2-1 豊かな海と産物を活かした水産業	84	95
			2-2 豊かな農地と産物を活かした農業	79	95
			2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業	84	95
			2-4 何度も訪れたくなる観光・交流	82	95
			2-5 新たなチャレンジを創る起業支援	74	89
			2-6 価値ある産業を残す事業承継支援	77	93
			2-7 働く環境づくり	81	95
		安心できるまちづくり	3-1 まちと命を守る防災	85	95
			3-2 つながりを活かした交通安全と防犯	90	95
			3-3 資源を活かす土地利用	74	89
			3-4 安心な暮らしを支えるインフラ	88	95
			3-5 暮らしを支える地域公共交通	76	91
			3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	84	95
			3-7 心と体安らぐ自然・住環境	82	95
		行財政マネジメント	4-1 職員の成長とやりがい	87	95
			4-2 業務の高度化、効率化	89	95
			4-3 町民の満足度向上	84	95
			4-4 持続可能な行財政運営	84	95

※1 KPI

KPIとは、Key Performance Indicators (キーパフォーマンスインディケータース) を省略したもので、日本語では「重要業績評価指標」と言われ、総合計画の達成度を把握し評価するための「中間目標」となります。

(2) まちづくりの基本目標 (K P I)

施策や事業の実施により、本町が将来イメージに近づけているか、実現具合を図る尺度として、3つの基本目標に対し「ひとづくり指標」「しごとづくり指標」「まちづくり指標」をK P I (管理指標 : Key Performance Indicator) として設定します。

まちづくりは、町民、企業、関係団体、その他多くの人々が、それぞれの取り組みについて知り、積極的に関わり、可能な範囲で貢献し、それらの活動によって満足度を高めていくことが重要です。そのため、住民意識調査により3つの基本目標を構成する21の基本施策に対し重要度、認知度、満足度、貢献度、(※1)を測り、これらを総合して数値化したものを指標とします(※2)。K P Iの向上を通じて、多様な人々がつながり、選ばれるまちづくりを目指します。

さらに21の基本施策では、住民意識調査による満足度をK P Iとして設定し、毎年度測定することで、基本目標の達成に向け、各施策の課題を把握し改善を図っていきます。

将来
イメージ

絆・選ばれる理由があるまち

地域で育むひとづくり

KPI : 85pt (現状値) → 95pt (目標値)

まちづくりのすべての基盤は「ひと」づくりです。町民1人ひとり心豊かであり続けられるよう目指します。

地元をにぎわすしごとづくり

KPI : 77pt (現状値) → 91pt (目標値)

恵まれた自然環境や様々な観光資源をを活かし、産業力を強化するとともに南知多町の強みを活かした雇用の場を確保できるよう目指します。

安心できるまちづくり

KPI : 87pt (現状値) → 95pt (目標値)

町民1人ひとりが希望を持ち、安全・安心でうるおいのある豊かな暮らしが実感できるよう目指します。

※1 例) 認知度の場合 : 住民意識調査で、「よく知っている」「ある程度知っている」「知りたいと思っている」と回答した方の割合。関連度、貢献度についても同様。満足度については重要度について「とても重要」「ある程度重要」「少しは重要」と答えた人のうち「とても満足」「ある程度満足」「少しは満足」と回答した方の割合。

※2 数値化の計算式 : 認知度×0.3 + 満足度×0.4+ 貢献度×0.3

4 基本施策

基本目標1 地域で育むひとづくり

該当するSDGsのアイコン

1-1 地域で大切にしている子育て環境



1. 現状と課題

本町の強みとして、自然が豊かでのびのびと遊べる環境がある一方で、出生数は減少傾向にあり、子育て環境整備に向けた取り組みが必要となっています。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

母子の健康が保持・増進され、豊かな自然の中で子どもが遊び、子育てと仕事が両立できる、子育て世代に選ばれるまちを目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

子育て環境は各家庭の問題と捉えるのではなく、**地域全体で取り組むべき重要なテーマ**であると位置付け、**以下の内容に取り組んでいきます。**

乳幼児健診、訪問指導、育児相談等切れ目のない子育て支援サービスの充実を図ります。

保育所再配置を検討し、適正な児童数での保育所運営、公園環境の維持管理、**歩道の整備**等を進めます。

十分な福祉・医療サービスを受け、安心して生活するために、子どもやひとり親などの医療費や不妊に悩む夫婦の一般不妊治療費を助成します。

現在実施している子育て支援事業や一時保育、延長保育等の保育サービス**など、子育てと仕事の両立支援**を充実させるとともに、**ファミリー・サポート・センター等の新しい事業**についてはニーズを考慮し実施を検討するなど、**町として子育てを応援するため実践的な取り組みを行っていきます。**

(3) 地域との協働

地域の大人が子どもを見守り、子育て世代同士が協力し合う活動を支援します。また、近年普及しているスマートフォンアプリを利用した子育て関係のサービス等、民間サービスの普及による課題への対応を検討します。

住民の取組例
<p>○子育て世代同士が交流したり、協力し合う活動に積極的に参加する。</p> <p>○近所の子どもへの声掛けや見守りをする。</p> <p>○違う地区同士の親子が関わり、連携できる機会を増やす。・・・など</p>
行政の取組例
<p>○18歳に達する年度末までの子どもの医療費（保険診療分）の自己負担額を助成しています。</p> <p>○子育て支援センターは親子で遊べる場所の提供や、子育てに関する相談などを行っています。どんぐり園は、親子通園を行い、一人一人の子どもの特性を理解し、保護者とともに子どもの発達を援助しています。</p> <p>○子育て世代の親が悩みを抱え孤立することを防ぐため、親子で気軽に参加できる「親子ふれあいひろば」を開催し、親同士が話し合うことができる場を提供しています。</p>

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
南知多町子ども・子育て支援事業計画	令和2年度～令和6年度
南知多町保育所再配置計画	令和2年度～令和21年度
南知多町ごみ減量化（有料化）実施計画	平成29年度～
橋梁長寿命化修繕計画	平成27年度～令和6年度
舗装修繕計画	平成28年度～令和17年度

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度（pt）	89	95

1-2 次代の担い手を育む教育環境



1. 現状と課題

町内の小中学校はすべて小規模学校であり、きめ細やかな教育指導が行われています。しかし、集団の中で**学び合い**を通じて、判断力や社会性などを身に付け、自分を信じる力をつけていくためには、一定規模の児童生徒の集団を確保することが必要であり、**それを踏まえた適正な学校規模を図っていく必要があります。**

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

学校、家庭、地域が連携して「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」からなる「生きる力」、「**自己肯定力**」を育むことができる学校環境を整え、本町の次代を担う人材の育成を目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

実現したい教育の姿・環境を見据え、「南知多町立小中学校規模適正化基本計画」に沿って、学校の適正配置、規模の適正化を進めていきます。

老朽化状況の把握、各学校施設の改築、長寿命化を行っていくための、長寿命化計画を策定します。

外国語や、プログラミング教育など、次代に必要な教育カリキュラムの作成、実施を進めます。

「GIGAスクール構想」の実現に向けて、国等の支援も活用して学校のICT環境の整備とICTを活用した学習活動の充実を進めます。

児童・生徒が地域に愛着を持つために、農・漁業体験をはじめとした自然の中での学習、伝統行事等への参加、地元の食材を使った給食等、郷土教育の拡充に取り組みます。**また、それらを踏まえた上で、児童・生徒が本町の未来を考える機会の創出を推進します。**

(3) 地域との協働

地域の方からの意見や活動に対する協力をいただき、地域に開けた学校運営ができるよう進めます。

郷土教育や総合学習等を通じて、地域社会が教育に参加いただけるよう取り組みます。

住民の取組例
○登下校の見守り、学習支援、行事・部活動支援などの学校支援ボランティア。 ○地元産業の体験等、子どもに体験学習の機会を提供すること。・・・など
行政の取組例
○個別の支援が必要な児童生徒に対して、学習生活支援員やスクールソーシャルワーカーなどきめ細かい学習生活サポートの実施や、地域のことを学習する総合学習、職場体験事業などを行っています。 ○児童生徒の望ましい教育環境の実現と教育の質の充実のため、学校の統廃合を含めて、学校規模適正化・適正配置の検討を行っています。 ○安全な給食を作るために、施設や調理器具などの修理・点検を行っています。

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
南知多町教育基本計画	令和3年度～令和13年度
南知多町自殺対策計画	令和2年度～令和6年度
学校施設長寿命化計画	令和3年度～令和42年度
南知多町立小中学校規模適正化基本計画	令和2年度～未定
南知多町新学校給食センター整備基本計画	平成30年度～令和3年度
南知多町ごみ減量化（有料化）実施計画	平成29年度～

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度（pt）	86	95

1-3 生涯通じて取り組む健康づくり



1. 現状と課題

誰もが本人の希望に応じ働き続け、退職後も元気で充実した老後を送るためには、生涯を通じた健康づくりが重要です。一方で、医師・保健師等の確保、救急医療体制の確保、健診受診率の向上、生活に不可欠な医療機関へのアクセス、地域の保健医療体制の整備が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

生活習慣の改善などの日常的な健康づくりや予防医療の充実により、重篤な病気にかかる可能性を減らし、健康寿命を延ばすことで、町民の生活の質を高めるとともに、医療に関わるコストの削減を目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

母子健診や特定健診、その他の健診について、受診対象世代等に応じた工夫、拡充に取り組み、受診率の向上を図ります。

健康教育、食生活改善事業、介護予防講座など、町民の健康づくりに役立つ機会の充実に取り組めます。

乳幼児から高齢者まで健康と生命を守る予防接種事業を推進します。

医師・保健師等の待遇改善に必要となる財源の確保や、遠隔地医療など新たな技術の活用等、医師・保健師等の確保対策を検討します。

行政、知多南部地域における公的病院の医療機関と地域医療機関の連携により、安定的、継続的な医療の確保を図ります。

(3) 地域との協働

ご近所同士や友人知人など、誘い合って健診等へ参加いただくことで、より多くの方に健康づくりの機会を提供していきます。

住民の取組例
<p>○規則正しい生活リズム、定期的な運動、禁煙などを心掛けている。</p> <p>○健康診断を積極的に受けている</p> <p>○「健康経営（従業員の健康を、企業等の活力、生産性の向上につなげる取り組み）」を実践している。・・・など</p>
行政の取組例
<p>○篠島と日間賀島でも安心して医者にかかれるように診療所の経費の一部を補助しています。</p> <p>○病気の予防と感染症の広がりを防ぐために、予防接種の実施を進めています。</p> <p>○がんをできるだけ早く発見し、治療できるようにがん検診を行っています。</p>

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

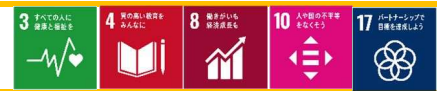
計画名	計画期間
けんこう南知多プラン	平成27年度～令和6年度
特定健康審査等実施計画・国民健康保険データヘルス計画	平成30年度～令和5年度
南知多町自殺対策計画	令和2年度～令和6年度

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度 (p t)	89	95

1-4 個性を活かす障がい者福祉



1. 現状と課題

本町の障がい者手帳所持者数はほぼ横ばい傾向ですが、身体障がい者や重度障がい者は65歳以上の高齢者の割合が多くなっていることから、以下が課題となっています。

- ・障がい者の高齢化や重度化
- ・介護者・介助者の高齢化
- ・障がい者の自立と親亡き後の生活
- ・グループホーム等の施設の不足
- ・福祉サービスの人材確保

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

思いやりの心によってみんなで支え合い、誰もが地域の中で自立した生活ができ、それぞれの特性に応じた多様性が発揮できるような地域福祉の実現を目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

各障がい福祉サービスの見込量や確保方針を示すための、障害者基本法、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく計画を進めます。

自立支援等の充実により、福祉施設の入所者の地域生活への移行や福祉施設から一般就労への移行等を図ります。

企業等による障がい者の雇用や、多様性を活かした社会参加を支援します。

コミュニティやボランティアなど町民の自発的な福祉活動の推進を支援します。

不自由なく医療・福祉サービスを受け、安心して生活するために、障がい者の医療費助成や障がい福祉サービスを提供していきます。

(3) 地域との協働

障がいへの理解、支援を町民や住民団体に広げるとともに、民間事業者における積極的な障害者雇用促進等を通じ、地域と行政との協働・共創による福祉活動を推進します。

住民の取組例
<p>○授産施設や福祉作業所の製品を購入、サービスを利用している。</p> <p>○障害に対しての正しい知識を持っている。障がい者の得意なことや才能を知り、評価している。</p> <p>○授産施設に仕事を出すなど応援している。・・・など</p>
行政の取組例
<p>○社会福祉協議会や民生委員、児童委員などの社会福祉団体の活動に対して費用の支援を行っています。</p> <p>○障がいのある方への福祉サービスや医療サービスの提供を行っています。</p> <p>○障がいのある方が安心して暮らすことのできる地域社会をつくれます。</p>

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画	令和3年度～令和5年度
知多地域成年後見制度利用促進計画	令和2年度～令和6年度
南知多町都市計画マスタープラン	令和3年度～令和13年度

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度 (p t)	84	95

1-5 安心して住み続けられる長寿社会



1. 現状と課題

本町は、漁師や農家、観光業者など自営業が多く、一般的な定年の年齢後も、体力の続く限り元気に働く人が多いという強みがあります。一方で、高齢化と若年層の流出に伴い家族による介護能力の低下が予想され、受け皿となるサービス基盤や地域づくりが課題となっています。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

保健、医療、福祉等の各政策や、互いに助け合い支えあうコミュニティにより、年をとっても、また要介護状態となっても、住み慣れた地域で暮らし続けられる長寿社会の実現を目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

登下校や遊び・教育等を始めとした地域の様々な場で、元気な高齢者に活躍いただくなど、若い世代と高齢者が交流し、支え合いの意識を持つ機会を創出します。

効果的な介護の方法の習得、介護者の不安・悩みの緩和等の機会を提供します。

高齢者の暮らしを支えるための、在宅福祉サービス、高齢者支援事業を提供していきます。また民間事業者を含めた介護サービスに従事する人材の確保を支援します。

地域ケア会議等を通じて、在宅医療、介護連携等の環境整備を推進します。

(3) 地域との協働

子どもや若い世代と、高齢者が交流し、互いに支え合い見守り合う地域づくりを推進します。

住民の取組例
<p>○高齢者は子どもの見守りや学習支援、若年者はPC・スマートフォン操作や体力の要る作業など、世代間でお互いをサポートしている。</p> <p>○子どもと高齢者が交流する行事などに積極的に参加している。</p> <p>○移動販売や買い物支援、宅配サービスを充実させている・・・など</p>
行政の取組例
<p>○高齢者が自分の家でいつまでも暮らすことができるよう、配食サービスや、紙おむつの費用を支援する事業などを行います。</p> <p>○介護が必要になった高齢者に対して、ヘルパー派遣や施設入所等の福祉サービスを提供したり、いつまでも自分の力で生活できるよう、介護予防事業を行います。</p> <p>○高齢になっても地域において豊かな気持ちで元気に暮らし続けてもらうため、老人クラブ活動に対して費用を支援します。</p>

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
けんこう南知多プラン	平成27年度～令和6年度
南知多町自殺対策計画	令和2年度～令和6年度
南知多町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画	令和3年度～令和5年度
知多地域成年後見制度利用促進計画	令和2年度～令和6年度

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度 (p t)	86	95

1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり



1. 現状と課題

町内外で実施された各種のアンケートでは、町民や移住希望者の自然を重視する結果が出ており、選ばれるまちであるためには、自然とふれあう機会の充実が重要と考えられます。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

多くの方にとって本町が、住みたい・住み続けたい・戻りたいと思えるように、自然と親しむ機会が確保されることを目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

地域への愛着づくりや、移住、事業承継のきっかけづくりとして、農・漁業体験や、自然とふれあうプログラムの充実を図ります。

より多くの方が余暇に自然と親しむため、自然のなかで行うアウトドア等の活動の普及・展開を支援します。

また、上記の取り組みができるよう、美しい自然を守る活動の普及・展開を支援します。

(3) 地域との協働

美しい自然を守るため、地域や諸団体等とともに、自然環境の保全に取り組みます。また、美しい南知多町を日頃から楽しみ、SNS※1等で積極的に魅力を発信いただくとともに、環境改善の取り組みにも理解いただけるよう取り組みます。

※1 SNS

SNSとは、ソーシャルネットワーキングサービス（SOCIAL NETWORKING SERVICE）の略で、登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのことで、社会的ネットワークを構築するサービスをいいます。

住民の取組例
<p>○町内の野山，河川，海などへ出かけ、自然と親しんでいる（個人）。</p> <p>○子どもを自然の中で遊ばせ、自然との付き合い方を学ばせる（個人）。</p> <p>○農・水産業体験、地元の食材を使った料理体験、アウトドア体験などの機会を提供する（事業者）。・・・など</p>
行政の取組例
<p>○田畑周辺の草刈清掃、花の植栽など、農業者と地域住民との交流活動に対し支援を行っています。</p> <p>○河川の水質浄化につながる合併処理浄化槽の設置費用を補助します。また、豊かな自然に親しむため、自然観察会を開催します。</p> <p>○南知多町以外の地域からの移住・定住者を呼び込むための様々な取り組みを進めます。</p>

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
浜の活力再生プラン	令和元年度～令和5年度
浜の活力再生広域プラン	令和3年度～令和7年度
南知多農業振興地域整備計画	令和2年度～令和11年度
南知多町子ども・子育て支援事業計画	令和2年度～令和6年度

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度 (p t)	83	95

1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ



1. 現状と課題

伝統行事やスポーツ活動は、町民の交流の場となり、健康で充実した余暇を過ごすために重要である一方、高齢化に伴う参加者や後継者の減少を踏まえた活動の在り方の見直し、施設の老朽化への対応が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

伝統・文化を保存し次代へ伝え、情報発信することで、地元に着着と誇りを持てる次代の育成や、文化を活かした観光・交流の振興を目指します。また、文化・スポーツ活動が、町民の交流や、健康の維持増進につながることを目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

今後必要となる公共施設再配置方針を定め、施設の再配置や長寿命化、修繕を進めます。

幅広い世代が伝統文化、技術に触れることのできる機会の創出、郷土愛の醸成に取り組みます。

生涯学習講座やスポーツ等の行事は、町民のニーズに即した内容や運営により、参加者の維持・増加を図ります。

文化財や伝統文化保存の担い手確保など、従来の文化財等の保存・活用の取り組みのほか、新たな取り組みについても検討します。

伝統文化に触れ、体験する観光プログラムの開発、実施について検討します。

(3) 地域との協働

地域行事等は、社会教育法の趣旨に基づき、地域独自の活動を尊重しつつ、地域の求めに応じて助言を行うなど、それぞれの活動が円滑に進められるよう協力します。

住民の取組例
<p>○地域の伝統行事、文化・スポーツ活動などに積極的に参加する（個人）。</p> <p>○伝統行事の意味や歴史を学ぶ（個人）。</p> <p>○担い手が少なくなる中、伝統行事などを保存していくため、負担が少なく参加しやすい行事にするなど、地域で続く取り組みを考える（関係者）。・・・など</p>
行政の取組例
<p>○子どもから大人まで、様々な年代を対象とした講座（教室）や、「こどもまつり（映画会）」を開催し、町民に学習の機会を提供しています。</p> <p>○住民同士の交流や心身の健康増進のために、親子体育教室やミニテニス大会などのスポーツ教室や大会を開催しています。</p> <p>○町民に活動や学習の場を提供するため、公民館や図書室などの施設の点検・修理などを行い、正常で安全な状態に保ちます。</p>

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
けんこう南知多プラン	平成27年度～令和6年度
教育基本計画	令和3年度～令和13年度
南知多町生涯学習推進計画	平成24年度～令和3年度
南知多町文化財保存活用地域計画	令和4年度～未定
南知多町公共施設等総合管理計画	平成29年度～令和12年度

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度（pt）	78	94

2-1 豊かな海と産物を活かした水産業



1. 現状と課題

本町の水産業は、豊かな漁場や良好な漁港といった強みから、愛知県内最大の水揚げ量、県内最多の漁業従事者を擁しています。また、水産業は本町の重要な観光資源でもあり、町民にとっても南知多町の象徴的な存在です。

一方で、漁場の環境悪化による漁獲量減少や燃料費高騰などのコスト高、食生活の変化による消費量減少など、経営環境が悪化し、従事者の高齢化や後継者不足が続いています。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

経営が安定し、水産業従事者や就業希望者にとって魅力ある水産業を目指します。

また、若者をはじめとした町民にとっても、観光客にとっても、美味しい海の幸が本町の魅力であり続け、本町産業全体の価値創出の源泉であり続けることを目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

水産資源の持続可能性を確保するため、漁場の造成や水質の改善などの環境保全、栽培漁業や資源管理型漁業を推進します。

また、新型コロナウイルスの拡大による消費の減少に対応するため、インターネットによる販売などの取り組みを支援します。

水産業者等の設備の近代化支援により、生産性向上や、水産業従事者の就労環境の改善、衛生管理の強化を図ります。

現代の生活スタイルに適した加工品、市場に出荷しても安い魚種の有効活用、輸出力の強化など、販売の安定化と高付加価値化を図ります。

(3) 地域との協働

美味しい南知多町の水産物を日頃から味わい、SNSや口コミ等で積極的に魅力を発信いただくとともに、環境改善の取り組みにも理解いただけるよう取り組みます。

また、水産資源の持続可能性の確保に向け、町内外の水産業界が連携いただけるよう取り組みます。

住民の取組例
<ul style="list-style-type: none"> ○マルシェや市などに参加し、地元の水産物を楽しみながら購入する（個人） ○地元の水産物の魅力（おいしさやレシピなど）を口コミや SNS で情報発信する（個人・事業者） ○旬の地元水産物をメニューや品揃えに取り入れる（個人・事業者） ○浜清掃に参加（個人・事業者）、漁具を海に落とさないよう管理する（事業者）など
行政の取組例
<ul style="list-style-type: none"> ○稚魚の放流などを行い、育てる漁業にも力を入れています。 ○漁業協同組合を始め、漁業や水産業に関わる団体や個人に対し、補助金などの支援を行っています。 ○漁業者が使いやすい施設にするため、防波堤・岸壁などの補修工事や改良工事を行っています。

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向けて、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
浜の活力再生プラン	令和元年度～令和5年度
浜の活力再生広域プラン	令和3年度～令和7年度
漁港施設機能保全計画	漁港ごとに設定
離島の振興を促進するための南知多町（日間賀島・篠島地区）における産業の振興に関する計画	平成30年度～令和4年度

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度（pt）	83	95

2-2 豊かな農地と産物を活かした農業



1. 現状と課題

本町では、農業にとって気候条件が恵まれ、広大な優良農地や広域農道などのインフラが整備されているなどの強みがあり、高齢でも元気に働く農業従事者が数多くいます。

一方で、農畜産物の価格低迷など厳しい経営環境から、農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加といった問題が生じています。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

経営が安定し農業従事者や就業希望者にとって魅力ある農業を目指します。

また、農業を起点として、加工や販売、観光などの多様な産業が本町で価値を生み出す、付加価値の源泉として農業が活躍するとともに、多面的機能（良好な自然環境や景観を保全するなど、多様な機能）を発揮することを目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

農業経営の安定化だけでなく、自然災害被害の防止など多面的機能の観点からも、ため池や用排水路といった、農業を取り巻く環境の管理体制の構築に取り組みます。

農業資源が有効に活用されるよう、農用地の計画的な利用や、耕作放棄地の再生及び利用促進を支援します。

経営規模拡大やICT（情報通信技術）を活用したスマート農業など、農業の生産性向上、農業従事者の負担軽減を支援します。

他産業と連携した農畜産物の6次産業化や観光農園等の体験型観光、高品質で魅力的な農畜産物の生産や輸出など、農業の高付加価値化、販路拡大を支援します。

(3) 地域との協働

地域住民や町外の農業ボランティアが、自然や農業に親しみ楽しみながら、地域の農業・農地整備に参画することで、南知多町のファンを増やしつつ、環境保全と持続可能な農業を実現することを目指します。

住民の取組例
<ul style="list-style-type: none"> ○マルシェや市などに参加し、地元の農産物を楽しみながら購入している（個人） ○休耕地の農場活用活動に参加している（個人） ○規格外や、出荷できない野菜の利用ルートを確保している（事業者） ○旬の地元農産物をメニューや品揃えに取り入れている（個人・事業者）・・・など
行政の取組例
<ul style="list-style-type: none"> ○農薬が入っていない肥料を使用するなど、環境にやさしい農業を行っている農業者への支援を行っています。 ○田畑、水路、農道などの保全活動に取り組む団体への支援を行っています。 ○農業者が使いやすい施設にするため、道路舗装やのり面の吹付工事を行っています。

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向けて、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
南知多農業振興地域整備計画	令和2年度～令和11年度
人・農地プラン	毎年度更新
農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画	平成29年度～令和5年度
離島の振興を促進するための南知多町（日間賀島・篠島地区）における産業の振興に関する計画	平成30年度～令和4年度

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度（p t）	78	94

2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業



1. 現状と課題

小規模経営が中心となる本町の商工業では、人口減少に伴う地域経済活動の縮小や後継者不足による廃業等が見られることから、地元企業の振興、起業・創業の支援、雇用の確保が重要な課題となっています。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

地域の特色や資源を生かした地元企業の振興や、起業・創業の支援により、地域の商工業が活性化し、世代、国籍を問わず魅力ある雇用の場が拡大することを目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

関係団体と連携して地元企業の設備投資、商品開発、販路開拓等を促し、労働生産性を高めます。

I C T (情報通信技術) を活用した熟練技術の継承や、新しい技術の導入や運用に必要なデジタル人材の育成など、技能伝承や生産性向上のための人材育成を支援します。

町内で生産された良質な農・水産物を、町内の製造業者により魅力あるデザインで製品化された製品を認定することにより、農業、水産業などと連携した6次産業化、ブランド化を進めるとともに、ふるさと納税への出品、SNS等のインターネットを活用した積極的な情報発信で地域ブランドを広めていきます。

新型コロナウイルスの拡大防止と経済活動を両立するための事業継続の取り組みや、新しい働き方、生活様式に対応するための環境整備を支援します。

観光産業を中心として、農業、水産業などの地域の特色を生かした新しい地場産業の確立を目指します。

(3) 地域との協働

(2) 将来像の実現に向けての取り組みは、商工会や、観光、農、水産業者等と連携して促進していきます。

また、町民においても、地域ブランドをはじめ町内生産品を積極的に購入・利用いただき、SNSや口コミ等で情報発信いただけるよう取り組みます。

住民の取組例
<p>○お歳暮やお土産には、地域ブランド「ミーナの恵み」認定品を渡す（個人）。</p> <p>○商工会、観光、農業、水産業者など多様な産業と連携し、ニーズや付加価値のある製品開発などに取り組む（事業者）。・・・など</p>
行政の取組例
<p>○ふるさと納税を通して、町のおすすめ品を全国に発信し、寄付金を集めています。</p> <p>○1次産業（農漁業）、2次産業（製造業）、3次産業（観光・サービス業）の各産業が連携した6次産業を推進していくため、商品開発費用の支援を行っています。</p> <p>○南知多町の知名度向上やイメージアップを図るため、産品をブランド認定して町のホームページや広告などでPRを行っています。</p>

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
先端設備等導入計画	平成30年度～令和3年度
離島の振興を促進するための南知多町（日間賀島・篠島地区）における産業の振興に関する計画	平成30年度～令和4年度
創業支援事業計画	令和2年度～令和6年度

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度（pt）	83	95

2-4 何度も訪れたくなる観光・交流



1. 現状と課題

本町には海鮮料理、温泉、海水浴など、四季を通じての観光資源が豊富にあり、観光業は本町の主要な産業となっています。

一方で、近年は観光客数の減少、観光施設等の老朽化への対策、今後さらに多様化が見込まれる観光客の新たなニーズへの対応、**感染症拡大という新たな脅威への対応**が重要な課題となっています。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

本町の持つ自然環境、歴史・文化、豊富な食を生かし、農業、水産業、商工業と連携しながら国際化にも対応できる魅力ある観光・まちづくりを目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

南知多町観光協会と密接な連携を図り、来訪観光客の滞在時間の延伸、宿泊数増加を図ります。

老朽化した観光施設等の適切な管理を行うとともに、集客が見込まれる観光センター等のインフラ整備を検討します。

展示会・イベント等への積極的な出店、SNS等のインターネットを活用し全国、海外へ情報発信を行う等、PRを強化します。

岐阜県八百津町や長野県下諏訪町との交流事業、知多半島や三河湾エリアでの協力体制など、他市町村との連携を図ります。

観光関連事業者の情報発信や、外国人対応等のノウハウ取得を支援します。

インバウンド観光が見込めない間も、地元や近場の方も含めた国内旅行者が安心安全に訪れることができるように、感染拡大防止の環境づくりや、地域の魅力の再発見と発信を行っています。

(3) 地域との協働

除草・清掃など、地域の力を活かして良好な景観を維持するとともに、住民団体等と連携し、地域ぐるみのおもてなしの充実、体験プログラムの開発によって、地域の交流の機会にもなるような取り組みを進めます。

住民の取組例
<p>○町内の色々な場所に積極的に出かけ、埋もれた良さを見直す（個人）。</p> <p>○地元ならではの情報を口コミやSNSなどで発信、来訪者にお勧めする（個人）。</p> <p>○史跡の保存・維持清掃や、再生活動に参加する（個人）。</p> <p>○体験型観光や、工場見学などの産業観光に取り組む（事業者）。・・・など</p>
行政の取組例
<p>○姉妹都市等交流町の岐阜県八百津町と長野県下諏訪町との親交を深めるために小学生の交流や宿泊料の割引などを行っています。</p> <p>○観光協会と協力して、観光パンフレットの作成、イベントの支援を行っています。</p>

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
浜の活力再生プラン	令和元年度～令和5年度
浜の活力再生広域プラン	令和3年度～令和7年度
南知多農業振興地域整備計画	令和2年度～令和11年度
離島の振興を促進するための南知多町（日間賀島・篠島地区）における産業の振興に関する計画	平成30年度～令和4年度
創業支援事業計画	令和2年度～令和6年度

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度（pt）	81	95

2-5 新たなチャレンジを創る起業支援



1. 現状と課題

社会の急速な変化の中でも地域産業の衰退を防ぎ発展させていくため、既存の枠組みにとらわれず活躍できる人材を呼び込み、起業等を促進することが求められます。

こうした中、本町の強みである豊かな自然は、移住希望者等の、自然豊かな地方で働きたいというニーズを取り込むための地域資源となり得ます。

また、ICT（情報通信技術）の進歩により、地方でのサテライトオフィスなど場所を選ばない働き方を可能とする技術的環境や、地域の課題解決に取り組む社会的起業や企業の社員による週末起業等が広がっているといった機運など、業へのチャンスが拡大しています。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

起業・新規就業を促進することで、産業を発展させるとともに、人材を呼び込み定着させ、人口減少に伴う諸課題の解決にも貢献することを目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

国の補助金をはじめとした支援制度等のワンストップ相談窓口、空き家の利活用等による開業コストの低減などにより、起業・新規就業や、開業等後の成長を支援します。

マッチングサイトなどの活用や移住希望者に伝わりやすい情報発信、実際に起業した方との意見交換の機会等により、支援内容や事例等の積極的な情報発信を行います。

(3) 地域との協働

既存産業と起業家等との連携による新たなビジネスチャンスの創出や、地域と社会的起業家との協働・共創による地域の課題の解決の促進に取り組みます。

住民の取組例
<p>○町内の起業者へ、場所の提供や、取引先等の紹介などの情報提供（事業者）。</p> <p>○起業者と連携し、新たなビジネスに挑戦する（事業者）。</p> <p>○起業者の事業や商品・サービスを紹介する情報を発信する（事業者）。</p> <p>○クラウドファンディングなどを通じて起業者を応援する（個人）。・・・など</p>
行政の取組例
<p>○これから漁業を始める方に対し、一定の条件を満たす場合に家賃の補助を行っています。</p> <p>○これから農業を始める方へ、経営のために必要な費用を軽減するため、生活費の支援を行っています。</p>

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
浜の活力再生プラン	令和元年度～令和5年度
浜の活力再生広域プラン	令和3年度～令和7年度
南知多農業振興地域整備計画	令和2年度～令和11年度
離島の振興を促進するための南知多町（日間賀島・篠島地区）における産業の振興に関する計画	平成30年度～令和4年度
創業支援事業計画	令和2年度～令和6年度

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度（p t）	73	88

2-6 価値ある産業を残す事業承継支援



1. 現状と課題

今後、後継者不在のため廃業する事業者の増加が懸念されるため、事業を承継する後継者を確保し、価値ある既存産業が受け継がれていく必要があります。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

本町の経済を支える事業者の事業が円滑に引き継がれることで、地域に必要な製品・サービスが将来も供給され、雇用の場が確保されることを目指します。

さらに、地方での就業や移住を望むU I J ターン人材が事業を引き継ぎ、当該事業が発展することで人材をさらに惹きつける好循環の醸成を目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

町内の小規模事業者のイメージが向上するよう情報発信等に取り組みます。

後継者・新規就業者獲得に向けた情報発信、空き家等を利用した住居支援、町内の事業者等元で行う体験・研修により、後継者・新規就業者の発掘や育成を支援します。

移住等希望者と事業者を繋ぐ機会の創出や**移住希望者に伝わりやすい情報発信**、事業者・承継希望者のニーズに即した支援策を検討します。

(3) 地域との協働

(2) 将来像の実現に向けての取り組みは、国や県、金融機関、商工会、事業承継のノウハウのある土業等の**認定経営革新等支援機関**、その他の民間事業者と連携して促進します。また、町民や移住希望者に、小規模事業者の本町経済における重要性を認識いただくとともに、就業の選択肢としていただけるよう取り組みます。

住民の取組例
○町内事業者の事業や商品を紹介する情報を発信する（事業者）。 ○異業種間の交流・連携の場を作るなど、合併・買収をサポートする（事業者）。 ……など
行政の取組例
○町内の商工会の運営、商工業者を盛り上げる活動に対する支援を行っています。 ○町内の業者が安心して営業が行えるように、資金を借りる際の支援を行っています。

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
浜の活力再生プラン	令和元年度～令和5年度
浜の活力再生広域プラン	令和3年度～令和7年度
南知多農業振興地域整備計画	令和2年度～令和11年度
離島の振興を促進するための南知多町（日間賀島・篠島地区）における産業の振興に関する計画	平成30年度～令和4年度

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度 (pt)	76	91

2-7 働く環境づくり



1. 現状と課題

本町の産業を持続可能なものとするため、次のような環境整備が必要となっています。

- ・人手不足の深刻化に対応するための、多様な人材が活躍できる職場環境整備
- ・農業用施設、漁業用施設等のインフラの老朽化対策
- ・産業の高度化を進めるための通信網の整備

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

町内で事業を営む事業者の生産活動や物流等が円滑に行われ、効率的に事業を営むことができる、インフラの整備・維持を目指します。

女性や高齢者、外国人、**障がい者**等、誰もが働き続け多様性を発揮し、付加価値の高い仕事ができる、町内の事業所等の職場環境の整備を目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

南知多町で女性や高齢者、外国人、**障がい者**等、誰もが個々の能力を発揮できるよう就労を応援します。

子育てしながら仕事がしやすい環境など、事業所等のワークライフバランス（仕事と生活の調和）への理解を促進するとともに、**環境整備への取り組みが求職者に伝わるよう情報発信を支援します**。また、技能実習生等の外国人が地域にとけこみ、安心して働くことができるよう支援します。

(3) 地域との協働

事業所等とともに、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を実現できる職場環境の整備に取り組みます。地域社会とともに、外国人をはじめ多様な人材との積極的な交流による共生の土壌づくりに取り組みます。

住民の取組例
<p>○技術の進歩についていくための学びを続ける（個人）。</p> <p>○女性や高齢者、障がい者、外国人など多様なひとが働くための、それぞれの環境に合わせた働き方や時間帯を工夫する(事業者)。・・・など</p>
行政の取組例
<p>○老朽化した物揚場や浮棧橋などの漁港施設の点検、補修工事を行っています。</p> <p>○元気な高齢者が自分の能力を活かして地域で働きつづけることができるよう、シルバー人材センターの運営に係る費用を支援します。</p> <p>○町内にある保育所の園児の生活、保育環境を守るために施設や設備の整備や拡充を行っています。</p>

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
特定事業主行動計画	平成2年度～令和6年度
南知多町における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画	令和3年度～令和7年度
南知多町業務継続計画	毎年度更新
漁港施設機能保全計画	漁港ごとに設定
浜の活力再生プラン	令和元年度～令和5年度
浜の活力再生広域プラン	令和3年度～令和7年度
先端設備等導入計画	平成30年度～令和3年度
南知多町自殺対策計画	令和2年度～令和6年度
庁内環境率先実行計画	令和3年度～令和7年度
橋梁長寿命化修繕計画	平成27年度～令和6年度
舗装修繕計画	平成28年度～令和17年度

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度 (p t)	80	95

3-1 まちと命を守る防災



1. 現状と課題

本町は、南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域に指定されるなど、大規模地震による被害が危惧されており、災害発生時のライフラインや建物の安全性の確保、孤立化防止対策、集中豪雨や台風など、各種災害発生に対する防災対策の充実が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

建物やインフラが必要な災害耐性を有し、消防・防災施設等が有効に機能し、事業者や町民が災害対策に取り組むことで、安心して生活し、事業を営むことができ、いざ発災した際には一人でも多くの命が守られることを目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

情報収集・伝達体制の強化や、防災訓練等により、町の防災力向上に取り組みます。また、必要な消防・防災施設等を維持していきます。

災害時の緊急物資等輸送のため、道路、橋梁、漁港、港湾等の耐震化を進めます。

公共施設の耐震化を進め、住宅等の耐震化を支援するとともに、避難経路の整備を進めます。

自主防災活動の支援、要配慮者対策、防災教育等により、地域防災力を強化します。

発災後、本町が早期に復旧、復興が行えるよう対策を進めます。

(3) 地域との協働

個人、法人を含め、地域全体が、「自分の身は、自分で守る」という意識を持ち、非常用備蓄の確保、家具の固定、住宅の耐震化や避難訓練に取り組めるよう支援、啓発を進めます。

住民の取組例
<p>○事業継続計画（BCP）を策定、従業員の消防団活動に協力する（事業者）。</p> <p>○住宅の耐震化、家具の固定、火災報知機の取り付け、非常用備蓄、避難・消火訓練への参加など、日ごろから備える（個人）。</p> <p>○災害避難カードや防災カルテを家庭で作成する（個人）。・・・など</p>
行政の取組例
<p>○自主的に地域の防災活動を行う団体（自主防災会）に対して、防災に必要な道具の購入や、避難に使う道路の整備に必要な費用を支援します。</p> <p>○地震による木造住宅の倒壊を防ぐための耐震診断や耐震対策への支援を行っています。</p> <p>○地震や台風などの大きな災害に備え、避難所や防災活動を行うための施設を整備します。</p>

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
南知多町国土強靱化地域計画	令和2年度～
南知多町地域防災計画	毎年度更新
南知多町津波避難計画	平成27年度～
南知多町業務継続計画	平成29年度～
南知多町防災備蓄計画	令和元年度～令和4年度
南知多町国民保護計画	平成23年度～
南知多町耐震改修促進計画	令和3年度～令和7年度
橋梁長寿命化修繕計画	平成27年度～令和6年度
南知多町災害廃棄物処理計画	平成29年度～

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度（p t）	85	95

3-2 つながりを活かした交通安全と防犯



1. 現状と課題

本町における交通事故発生件数は、半田警察署管内（※）で最も少なくなっています。しかし、公共交通が充実しておらず、主な移動手段が自動車であるため、高齢者による交通事故の割合が高くなっています。

防犯については、犯罪者が一番嫌がるのは地域の連帯と信頼感であり、近所づきあいが活発で地域コミュニティがしっかりとしているまちは、犯罪に強いとされています。本町では半田警察署管内で最も犯罪発生件数が少なくなっており、住民同士のつながりが残っていることがその一因と考えられる一方、犯罪の少なさゆえに、防犯意識が低くなっているという課題もあります。

※ 1市5町（半田市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町）

2. 目指すべき将来像

（1）目指すべき将来像

交通安全と防犯について、町民の意識の向上や地域ぐるみの活動の推進などを図り、引き続き交通事故と犯罪の少ない安全なまちを目指します。

（2）将来像の実現に向けて

町、警察、その他関係団体が連携した、啓発活動を実施します。

町広報紙、回覧、自治体メール及びケーブルテレビ等による交通安全と防犯に関する広報活動に取り組みます。

地域行事等の多くの方が連れ立って参加する機会を捉え、効果的な啓発を実施します。

（3）地域との協働

住民同士が日頃から声をかけ合い、地域行事等に積極的に参加いただくことの重要性を認識いただき、コミュニティや町民のつながりを活かした、地域との協働・共創による交通事故と犯罪の抑止に取り組みます。

住民の取組例
<p>○ご近所同士の声掛けや会話など、ご近所づきあいを大切にする（個人）。 ※近所づきあいの活発なまちは、犯罪者に狙われにくいとされています。</p> <p>○外出時の施錠、空き巣被害予防（家の周りに脚立等を置かない等）、放火・火災予防（家の周りに燃えやすいものを置かない等）など、防犯に気を付ける（個人）。</p> <p>○自動ブレーキ搭載の自動車に乗るなど、事故防止に努める（個人・事業者）。・・・など</p>
行政の取組例
<p>○運転者や歩行者に対して交通安全を呼びかけたり、交通安全講座を開いたりすることで、町民の交通マナーの向上を目指します。</p> <p>○登下校中の小中学生や歩行者に対して、交通指導員が交通ルールを守るように指導します。</p> <p>○町民に対して防犯対策を呼びかけたり、防犯パトロールを行ったりすることで、防犯意識の向上を目指します。</p>

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
南知多町交通安全計画	※令和2年度中に改訂予定

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度 (p t)	90	95

3-3 資源を活かす土地利用



1. 現状と課題

三方を海に囲まれた本町は、各地域の特性に合わせた市街地形成、地域産業がありますが、若年層の人口の流出が続き、単身高齢世帯の割合が年々増加していることから、空き家が急速に増加しており、対策が必要となっています。

人口減少や空き家、空き地の増加に歯止めをかけるためにも、地域の特性を活かした土地利用が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

本町の豊かな自然環境を保全しつつ、町民の生活を支える機能の維持、集約を図るため、土地や建物の効率的な活用と、産業の振興に繋がる適切な土地利用を目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

管理不全な状態にある空き家については、所有者に対して適切な管理を求めています。また、土地・建物所有者への啓発や、空き家の利活用の提案、相続相談等の支援に取り組みます。

快適な住環境を維持するとともに、住居と産業を適正に配置するための土地利用や、コンパクトで災害等にも適応したまちづくりについて、実行可能な将来目標を検討します。

(3) 地域との協働

所有者による適切な管理や、境界確定等への地域の理解、空き屋等活用のノウハウを持つ民間事業者との連携など、地域や民間との協働・共創による対策を進めます。

住民の取組例
○自身の土地・建物を正しく登記したり、常に使える・提供したりできるように管理する。 ○登記・相続などのアドバイス、建物を良好な状態に維持するためのリフォームなどを積極的に展開する（事業者）。・・・など
行政の取組例
○管理されずに放置された危険な空き家（特定空家等）を地域からなくすために、解体して撤去するために必要な工事費用を支援します。 ○空き家などの情報をホームページに掲載し、売買や賃貸の希望をマッチングすることで、本町への移住、定住の促進を図ります。

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
南知多町空家等対策計画	平成30年度～令和4年度
南知多町公共施設等総合管理計画	平成29年度～令和12年度
南知多町都市計画マスタープラン	令和3年度～令和13年度
人・農地プラン	毎年度更新
地域再生計画	令和元年度～令和3年度

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度 (pt)	73	88

指標名 (地域再生計画)	現状値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)
移住相談延べ件数	570人	850人
空き家バンク制度を利用した延べ移住者数	137人	220人
空き家バンク制度の契約成立延べ件数	108件	180件

3-4 安心な暮らしを支えるインフラ



1. 現状と課題

道路、港、水道などは、暮らしや経済に欠かせないインフラであると同時に、道路や港、海岸は、本町の緑や海などの景色を楽しむことができる観光資源でもあります。

一方で、インフラの老朽化対応や安全を確保するための管理、公共交通の維持等が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

安心して町民が住み続け、観光客等が訪れ、事業者が活動を続けるための、生活と地域経済の基盤として、安全なインフラや公共交通を守っていくことを目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

道路については、幹線町道の再整備、生活道路の維持修繕、安全な歩行空間の確保など、快適で安全な道路環境の整備を進めます。

港湾・漁港・海岸・公園・町営住宅・駐車場については、老朽化した施設の点検、補修、改修等を行うとともに、全庁的な再配置方針等の必要性の検討を進めます。

上水道については、耐震性の向上を図るとともに、効率的な経営に努めます。

(3) 地域との協働

インフラ施設の異常の早期発見・通報や、除草・清掃など、地域の力を活かしてインフラの安全性・快適性、良好な景観を維持するとともに、そうした活動が地域の交流の機会にもなるような、地域と行政との協働・共創による取り組みを進めます。

住民の取組例
<p>○道路・港湾などの異常や危険箇所を発見したら、町役場や管理者に通報する。</p> <p>○道路沿いの樹木の剪定など、インフラ施設に隣接する所有土地・建物を管理する。</p> <p>○道路の補修など、軽微なインフラ整備をする。</p> <p>(上記すべて、個人・事業者)。・・・など</p>
行政の取組例
<p>○利用者が使いやすい施設にするため、物揚場、緑地などの補修工事や改良工事を行っています。また、砂浜の砂が周辺の道路などに飛ぶのを防ぐ対策を行っています。</p> <p>○老朽化した道路、橋りょうの点検、修繕工事を行っています。</p> <p>○水道水を安定して供給するため、水質検査や水道施設などの点検、更新を行います。</p>

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
南知多町国土強靱化地域計画	令和2年度～
社会資本総合整備計画	令和3年度～令和5年度
南知多町地域公共交通計画	令和3年度～令和6年度
辺地総合整備計画	令和元年度～令和6年度
橋梁長寿命化修繕計画	平成27年度～令和6年度
舗装修繕計画	平成28年度～令和17年度
漁港施設機能保全計画	漁港ごとに設定
漁港海岸保全施設長寿命化計画	平成30年度～令和49年度
港湾海岸保全施設長寿命化計画	平成30年度～令和49年度
南知多町水道施設更新計画	平成28年度～令和7年度
生活基盤施設耐震化等事業計画	令和3年度～令和7年度
知多南部地域ごみ処理基本計画	平成28年度～令和7年度

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度 (pt)	86	95

3-5 暮らしを支える地域公共交通



1. 現状と課題

町内を移動する公共交通は路線バスのほか、島民の通勤・通学には定期航路が利用されています。通勤・通学や高齢者の移動手段として不可欠な、バス・航路の維持、利便性の向上が課題となっています。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

鉄道、バス及び海上交通等の利便性の向上と利用促進を図り、生活に不可欠な移動手段が十分に確保されることで、町民が住み続けたいと思えるまちづくりを目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

自動車を運転できない高齢者の増加や、潜在利用者のニーズの変化に合わせ、運行ルートや時間帯、バス停留所等を見直していきます。

駐車場など、利用者の利便性に大きく影響する周辺環境の改善に取り組みます。

自動運転などの先進技術の導入、環境に配慮した車両等の導入、地域による公共交通、路線の再編等について、財政負担を抑えつつ、**住民や観光客の需要に応じた**移動手段を確保・充実する方法を検討します。

(3) 地域との協働

公共交通の維持に必要な収益確保のため、多くの方に積極的に利用いただけるよう周知を行います。また、地域主体の公共交通の導入を検討するなど、地域と協働・共創した移動手段の確保を進めます。

住民の取組例
<p>○公共交通機関を積極的に利用する。(個人)</p> <p>○運転手等の担い手がやりがいを持って働けるよう、感謝の気持ちやねぎらいなどを伝える(個人)。</p> <p>○バス停周辺の除草、清掃を行う。(個人・事業者) ……など</p>
行政の取組例
<p>○篠島および日間賀島の住民が利用する定期船の交通費の一部を助成し、両島住民の生活の安定と福祉の向上を図ります。</p> <p>○町民の通勤・通学、通院、買い物などの移動手段として、また、観光客の移動手段としてコミュニティバスを運行します。</p> <p>○登下校や水泳指導、部活動の試合の移動で使用するスクールバスの運行、管理を行っています。</p>

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
南知多町地域公共交通計画	令和3年度～令和6年度
南知多町交通安全計画	平成23年度～平成27年度
橋梁長寿命化修繕計画	平成27年度～令和6年度
舗装修繕計画	平成28年度～令和17年度

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度 (p t)	76	91

3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ



1. 現状と課題

本町では町民や地域のつながり、助け合いが残っている一方で、若者の町外への流出により地域活動の中心が高齢者となっており、活動の新たな担い手の確保、地域と移住者等の交流の促進等の課題が生まれています。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

少子高齢化、核家族化、若者・高齢者の単独世帯化が進み、人々の価値観やライフスタイルも多様化している中、町民それぞれの価値観などを認めた上で、ボランティア活動や町民の自主的なまちづくり活動、男女共同参画、国際交流活動の充実など、世代等の背景を超えたふれあいの機会が充実し、将来にわたり支え合い、助け合いが残っていくまちづくりを目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

町民や各種団体によるまちづくり事業を支援し、既存団体の合併や世代交代、移住者の地域参画、男女共同参画等を促すための各種情報提供等に努めます。また、地域課題の解決や将来的な移住に向けた裾野を拡大するため、「関係人口※1」の確保に取り組みます。

若者や女性、また近年認識されつつある多様な性も含め誰もが個々の能力に応じて活躍できる場が広がるよう、支援や情報発信に取り組めます。

登下校や授業等の教育の場、生涯学習講座等で、子どもと高齢者など、世代間交流の機会の充実を図ります。

外国人もコミュニティに溶け込み、多様な文化が共生していくための、情報提供、相互理解の場の提供を進めます。

(3) 地域との協働

町民が積極的に地域活動へ参加し、多様な国籍や世代など垣根を越えて交流できる、地域の将来を担う若者や移住者の意見が尊重されるまちづくりを進めます。

※1 関係人口

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、特定の地域に継続的に多様な形で関わるひとのこと。

住民の取組例
<ul style="list-style-type: none"> ○広報誌などで案内のあるボランティアやまちづくり行事などに参加する。(個人) ○買い物や通院などに困ったご近所の方の手助けをする。(個人) ○積極的に挨拶や会話をする。(個人) ○移住者の意見を積極的に聞き、地域行事に参加しやすくなるように対応する。(地域) ・・・など
行政の取組例
<ul style="list-style-type: none"> ○地区の活動にかかる費用を助成し自治活動の推進を図っています。また、区長会議を定期的に行い各区と行政との連携を図っています。 ○地域のまちづくり協議会の取り組みに対して補助をおこなうことで、地域課題の解決や住民の地域活動への積極的な参加を進めます。 ○区やまちづくり会などの地域団体に活動の場を提供するため、公民館などの施設の点検・修理などを行い、正常で安全な状態に保ちます。

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組みます。

計画名	計画期間
南知多町男女共同参画計画	平成30年度～令和13年度
地域再生計画	令和元年度～令和3年度
南知多町自殺対策計画	令和2年度～令和6年度
南知多町生涯学習推進計画	平成24年度～令和3年度
南知多町文化財保存活用地域計画	令和4年度～未定

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度 (pt)	83	95

3-7 心と体安らぐ自然・住環境



1. 現状と課題

本町は豊かな海や緑に囲まれた魅力ある住環境が強みです。一方で、雑草や冠水等の自然に由来する問題、狭隘な市街・道路等の改善が住環境の課題となっています。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

身近な環境美化や、公園や河川、排水施設等の適切な管理、省エネルギー化等の推進により、環境に優しく、自然豊かな住環境を感じられるまちづくりを目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

安全な道路や公園環境の整備、排水施設の点検・改修や河川の土砂浚渫など、良好な生活環境を実感するために重要となる対策を進めます。

身近な環境美化について、町民や地域等による、自主的な除草・剪定や河川・海岸清掃等の取り組みを支援します。

家庭における省資源・省エネルギー型ライフスタイルや、ごみの減量化・リサイクル等の推進を支援します。

(3) 地域との協働

家庭での取り組みや地域による環境美化などに取り組んでいただくことで、地域と行政が補完し合う環境整備を進めます。

住民の取組例
○生ごみをたい肥化する、レジ袋など使い捨てプラスチックの使用を控える、台所のごみを分別して排水を汚さないなど、日ごろから環境を意識する。
○道路や散歩道、河川や水路など、身近な範囲の除草・ごみ拾いを行う。・・・など
行政の取組例
○リサイクル資源を回収するエコステーションを設置し、資源を排出しやすい環境を作ります。ごみとして捨てられている資源のリサイクルを促し、ごみの減量を進めます。
○海水浴場などに漂着したごみを回収し、きれいな海岸を作ります。
○地区の一斉清掃活動に支援を行います。また、地球温暖化防止対策のため、植物による緑のカーテン事業を行います。
○川の氾濫や浸水を防止するため、護岸修繕や溜まった岩石や泥を取り除いています。

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向け、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
ごみ減量化基本計画	平成28年度～令和4年度
知多南部地域ごみ処理基本計画	平成28年度～令和7年度
南知多町災害廃棄物処理計画	平成29年度～
南知多町ごみ減量化（有料化）実施計画	平成29年度～
南知多町空家等対策計画	平成30年度～令和4年度
地域再生計画	令和元年度～令和3年度
南知多町水道施設更新計画	平成28年度～令和7年度
生活基盤施設耐震化等事業計画	令和3年度～令和7年度
生活排水処理計画	令和3年度～令和7年度
庁内環境率先実行計画	令和3年度～令和7年度
橋梁長寿命化修繕計画	平成27年度～令和6年度
舗装修繕計画	平成28年度～令和17年度

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
住民意識調査による満足度（pt）	82	95

5 行財政マネジメント

(1) 行政の使命

本町が目指す将来イメージの実現のため、行政は以下の使命に基づいて行財政マネジメントを行います。

行政の使命

自ら行動し地域の活力の最大化に貢献する

(2) 行財政マネジメントの基本方針

厳しい財政状況が続く中で、将来イメージを実現するためには、縦割り行政の壁を越え、多くの政策分野を横断的に取り組み、様々な部署が連携するだけでなく、地域や民間の活力を活用するなど、従来の行財政マネジメントを革新していくことが求められます。そのため、以下を行財政マネジメントの基本方針とします。

行財政マネジメントの基本方針

【基本責務】

限られた予算を有効に活用し、より高い成果を追求する。

【執行手段の焦点と方向性】

焦点①：行政組織の内部運営の効率化

方向性：法的制約がないものは、実施過程の改善を探求する。

焦点②：市場メカニズム（機能）の活用

方向性：行政よりも効率的・効果的なものは民間へ外部委託。

焦点③：住民自治・自助・共助の支援

方向性：行政ありきではなく、町民や自治組織等との協働・共創を促進。

【執行手段の評価の徹底】

事業効果は絶えず検証し、反省点を次に生かす。

【執行手段の革新化】

失敗を恐れず、小さく始め、高速で改善し、革新的な手段を模索する。

【職員の行動指針】

町民、企業、関係団体、その他多くの人々を巻き込んでまちづくりを楽しむ。

4-1 職員の成長とやりがい



1. 現状と課題

本町が持続していくための政策や事業を企画・実行していくには、人材の確保、成長、意欲、挑戦が必要となります。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

町職員が継続的に学び、やりがいを持って働くことで成長し、前例にとらわれず挑戦し、活気ある職場が人材を惹きつける好循環の醸成を目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

町として求める人材像が職員に浸透するよう、人材育成等の方針を職員に継続的に伝達します。また、今後重要となる知識・技術について、習得を促すための研修を組織的・計画的に実施するとともに、職員の自己研鑽を支援します。

そのため、自己研鑽に励んでいる職員や実績を残した職員が適正に評価される人事評価制度の運用を進めます。

職員のやりがいと意欲を引き出し、仕事の成果と生活の充実が好循環を生み出すため、**また、子育てと仕事の両立を率先して実現するため、男女の育児休暇取得制度の普及をはじめとした職場環境の改善を進めます。残業の削減をはじめとした働き方改革を進めます。**

3. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
職員意識調査による実感度 (仮) (%)	87	95

4-2 業務の高度化、効率化



1. 現状と課題

人口減少や高齢化、インフラ等の老朽化に伴う課題が深刻化する中、限られた予算・人員で課題の解決に取り組んでいくためには、業務の高度化・効率化が求められます。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

町組織の体制や業務の見直し、新たな技術やデータの活用により、業務の高度化・効率化を進め、予算・人員が限られる中でも、地域の課題解決や住民満足度の向上を目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

地域社会をとりまく環境の変化に合わせて適切に人員配置を行い、迅速に意思決定を行っていくため、組織機構の見直しを検討します。

業務を自動化・効率化し、職員が政策企画等に注力するため、革新技術の導入やデータ連携の推進と、併せて業務の流れの見直しを検討します。

地域課題の解決や民間のデータ活用に資するため、データの積極的な公開を進めるとともに、政策等立案や行財政運営におけるデータ活用を進めます。

新技術等の導入に伴って発生する情報漏洩等のリスクに対応するため、適切な内部統制を構築し、職員及び関係者のセキュリティ意識の向上を図ります。

3. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
職員意識調査による実感度(仮)(%)	89	95

4-3 町民の満足度向上



1. 現状と課題

人口の流出を抑制し地域社会を持続可能なものとするためには、町民が生活に満足することが必要であり、それが町外にも伝わることも重要です。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

町民の満足度が向上することで、本町に住み続けたいと思う町民が増加することを目指します。また、近年ではSNS等により、住みやすさ等についての町民のイメージも容易に拡散するため、良いイメージが町外に広がることを目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

町民の不満や前向きな意見を効果的に吸い上げるため、アンケートの実施方法を工夫し、満足度の変化を追跡調査していくことを検討します。

効果的に住民満足度を高めるため、従来の政策を漫然と継続するのではなく、ターゲットとする世代等にとって重要な分野について重点的に予算、人員等の行政資源を配分していきます。

業務の効率化等により、政策立案や住民対応等、満足度向上に重要な業務に職員が注力できる環境を整えるとともに、住民対応に係る自己点検や研修に取り組みます。

(3) 地域との協働

住民意識調査への協力や、建設的な意見を頂き、町は事業等に可能な限り反映させるなど、町民との協働・共創による満足度向上に取り組みます。

3. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
職員意識調査による実感(仮) %	84	88

4-4 持続可能な行財政運営



1. 現状と課題

人口減少・高齢化や厳しい財政状況が深刻化する中でも、本町の行財政を持続可能なものとしていくため、今から備えていく必要があります。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

将来にわたり持続可能な財政を維持し、かつ必要な行政サービスも維持していくための財務体質の構築を目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

インフラ、建物等の公共施設について、人口・財政の長期的な見通しに基づき、重要なものは維持しつつ、人口規模等に応じた適切な水準への再編を進めます。また、将来の維持管理費を削減するための長寿命化等の対策を進めます。

現在、町が直営で実施しているサービスについて、コスト削減やサービスの向上、より効率的な業務が期待できる場合は、民間活用を検討します。

各種補助金等に加え、企業版ふるさと納税等の新たな手法も含め、必要に応じ可能な限り有利な資金調達方法を検討します。

本町の自然、コミュニティ、人材等、地域の資源を活かして、各分野の政策・事業を展開します。

(3) 地域との協働

生活や事業の水準を可能な限り落とすことなく行政をコンパクト化していくために、民間のノウハウの活用、地域社会との連携を進めます。

3. 関連する個別計画

将来像の実現に向けて、次の計画に取り組んでいきます。

計画名	計画期間
南知多町公共施設等総合管理計画	平成29年度～令和12年度
地域再生計画	令和元年度～令和3年度
辺地総合整備計画	令和元年度～令和6年度
南知多町ごみ減量化（有料化）実施計画	平成29年度～
庁内環境率先実行計画	令和3年度～令和7年度
橋梁長寿命化修繕計画	平成27年度～令和6年度
舗装修繕計画	平成28年度～令和17年度
漁港施設機能保全計画	漁港ごとに設定

4. 管理指標

将来像の実現に向け、次の管理指標の目標値達成を目指します。

指標名	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和6年度)
職員意識調査による実感度（仮）（%）	84	95

6 南知多町がとるべき戦略

本町が将来も安心して暮らし続けられるまちであるために、本町の強みや弱み、機会、脅威等を踏まえ、以下の6つのとるべき戦略を定めました。

(1) 子育て世代の居住と就業促進

町民が安心して生活していくための行政サービスの財源を、今後も安定して維持していくには、本町の税収構造からは「所得のある方が町内に不動産を所有して暮らす」ことが最も重要です。特に、子育て世代は、その多くが就労世帯であり、まとまった人数が自己の所有する住居に長期間居住する可能性が高いため、税収に直接的な影響を持つと考えられます。そのため、子育て世代に居住してもらうための魅力ある環境づくりが、戦略的に取り組む政策として求められます。

若い世代が子どもをもつために必要と感じる条件として最も大きいのは、仕事と育児の両立や安定した雇用といった、経済的な要素となっています。本町においては人口減少や高齢化に伴い就業者人口も減少しているため、子育て世代に対する**就業、居住等**の支援を強化すると同時に、働き手を増やし産業を活性化させ、さらに所得の増加を通じて税財源の安定化を図るといった、子育て支援と産業政策の連携が必要となります。

また、災害などのリスクに強いまちづくりあることは全ての人々にとって重要ですが、子育て世代の居住地選択においても重要な要素となっています。選ばれるまちであるために、災害等に強いまちづくりが求められます。



(2) 高齢者の就業促進と生活の確保

社会全体の高齢化が進む中で、人生 100 年時代の到来も目前となっています。本町においても高齢化は進んでいますが、同時に町内の就業者人口も減少している中、人手不足を解消し町内産業を活性化し、**高齢者が安心して住み続けるためには、希望する高齢者が働くことのできる就業環境と、単身世帯でも困らない生活環境が重要です。**

高齢者の健康寿命の延伸を図るとともに就業を促進することは、高齢者自らが就業することで所得が向上するだけでなく、病気や介護のリスクを低下させ、今後増加する社会保障給付費の負担を軽減することが期待されます。また、子育て世代への支援のための新たなサービスなどに高齢者が活躍するなど、産業政策だけでなく、子育て世代への支援政策と連携することも期待されます。

そのため、高齢者が**健康で様々な分野で活躍できる環境を整備し、就業を促進するとともに、つながりを大切に、孤立することのない地域社会を維持する必要があります。**

(3) 地域内経済循環を拡大する「地消地産」

人口減少が進むことで、地域内経済の循環が縮小し、産業の衰退と町税の減収につながるものが想定されます。その結果、地域内の経済循環が十分に機能せず、地域の衰退が加速するとともに町の財政が悪化し、持続不能となることが懸念されます。地域内経済の循環を拡大するためには、人口減少を抑制し地元雇用を促進するだけでなく、物やサービスなど地元で消費するものは極力地元産にする「地消地産※1」を促進することで、「地域内のお金」が地域外へ流出しないようにするとともに、「地域外のお金」が地域内に流入する仕組みが求められます。

そのため、町民の「地消地産」を促進して「地域内のお金」が流出するのを防ぐとともに、町内観光客による「地消地産」を促進して「地域外のお金」を流入させることで、地域内経済の循環を拡大する必要があります。

※1 地消地産

株式会社日本総合研究所 主席研究員 藻谷浩介氏が提唱する、「地元で消費するものは極力地元産にする」概念であり、「地域で生産したものを地域で消費する」地産地消とは異なるもの。

(4) 訪日外国人観光客による「インバウンド消費」の促進

日本全体の人口減少が進む中で、今後内需型産業の規模は衰退していくことが予想されるため、増大する世界人口に目を向け外需型産業を成長させる必要があります。近年、訪日外国人による消費額の増加が著しく、本町においても、中部国際空港近郊であること、訪日外国人の中で大部分を占める東アジアの国々の中でも珍しい島しょ部特有の生活があるなど、観光資源を有効活用することでインバウンド消費を取り込む素地は十分にあると考えられます。

そのため、「訪日外国人観光客を増やす」「地消地産による地域内経済循環の拡大」等によるインバウンド消費を促進する必要があります。

(5) 都会にはない魅力を提示する就業と生活のモデルの創造

過去に実施した本町の住民意識調査結果では、転出したい理由として通勤・通学や生活の利便性が多く挙げられており、生産年齢人口（特に若者）の転出が人口の社会減の要因となっています。これは、「都会の方が就業しやすい」「都会の方が生活しやすい」という考えで、都市部での生活を希望している方々が相応にいたためと考えられます。

一方で、自然環境に恵まれた農山漁村地域で暮らしたいと考える都市部の移住希望者は多く、また、新型コロナウイルスの拡大により働き方や生活様式が大きく変化しつつあります。今後も居住地域に左右されない就業や生活様式が普及することが想定され、都市部に居住するメリットは低下すると考えられます。

そのため、都会にはない自然に恵まれた魅力とそこでの就業と生活のモデルを町内外へ発信し、町内に呼び込むための施策を強化することで、町民の転出の抑止とともに移住の促進を図る必要があります。



(6) 人口減少と高齢化が進む地域だからこそ「一歩進んだ」まちづくり

日本全体の高齢化が進む中で、現状において高齢化が進んでいない大都市ほど今後、高齢者が激増することが想定されます。それに対し、地方では人口減少と相まって、高齢者の絶対数が減少に転じることが想定されます。その結果、大都市では医療介護の体制整備が追い付かないのに対し、地方では現状で必要な医療介護体制を維持、供給できれば、今後も持続可能な運営となり、住みやすさの面で地方が優位になる可能性があります。

また、高齢化した地方において成立する持続可能なビジネスモデルを獲得することができれば、競争のない市場で高い利益を得ることができる、先行者ならではの利益を獲得することが可能となります。

本町は、日本国内の他自治体と比較しても、早い時期から人口減少と高齢化が進んでいますが、これを単に危機としてとらえるのではなく、他の自治体よりも先行して問題に着手できるチャンスととらえる発想も求められます。

そのため、厳しい現状に対して、行政、町民、企業、関係団体、その他多くの人々の協働・共創によって地域の強みを生かし、前例がないことでも失敗を恐れず挑戦し、**機敏性をもつて対応する必要があります。**

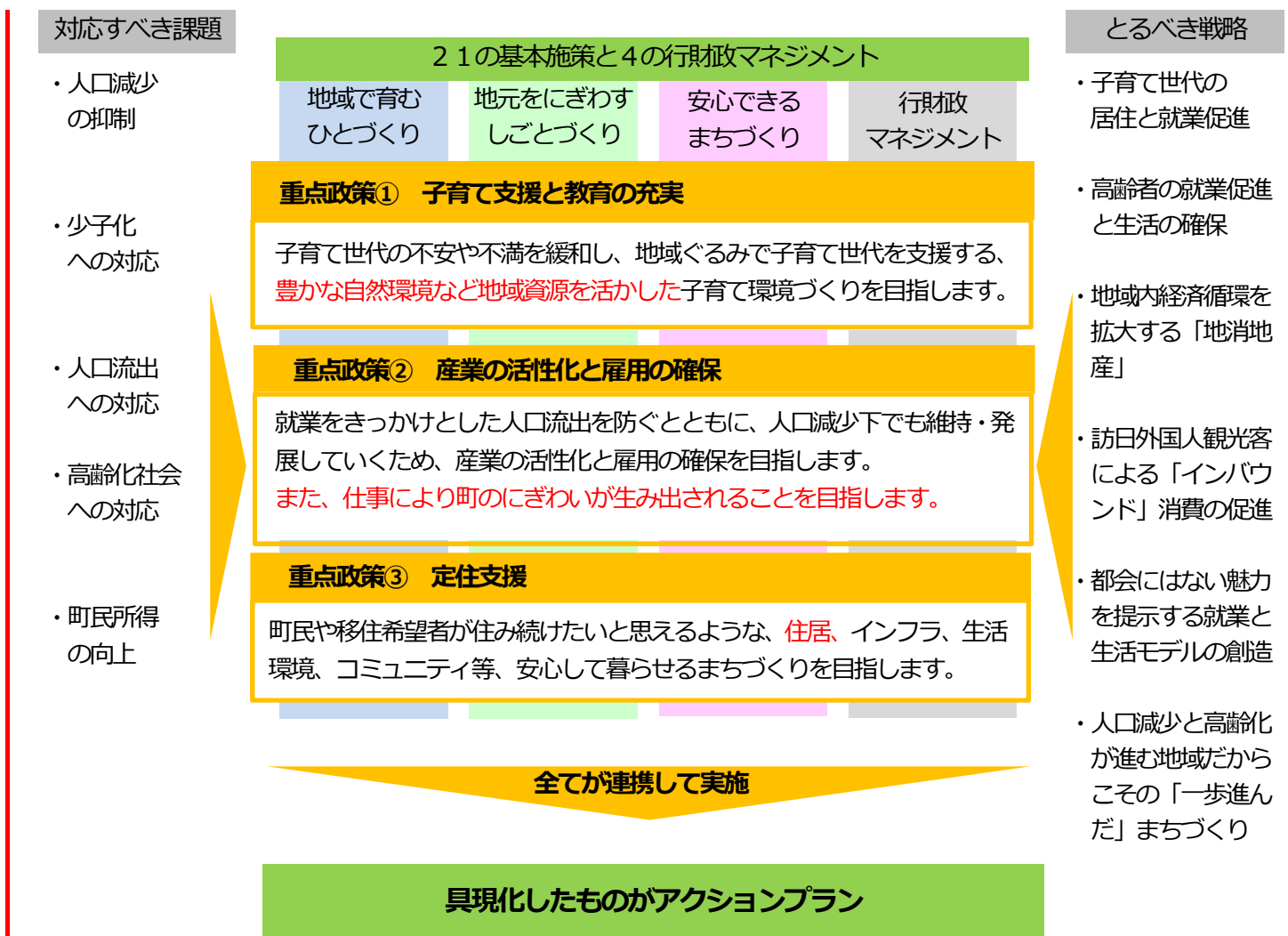
7 重点政策

目標指標 (KGI) や将来イメージを実現するために、人口ビジョンで掲げた課題、安心して暮らし続けられるよう本町がとるべき戦略を踏まえ、優先的に取り組まなければならない政策を重点政策として位置付けました。

(1) 重点政策の考え方

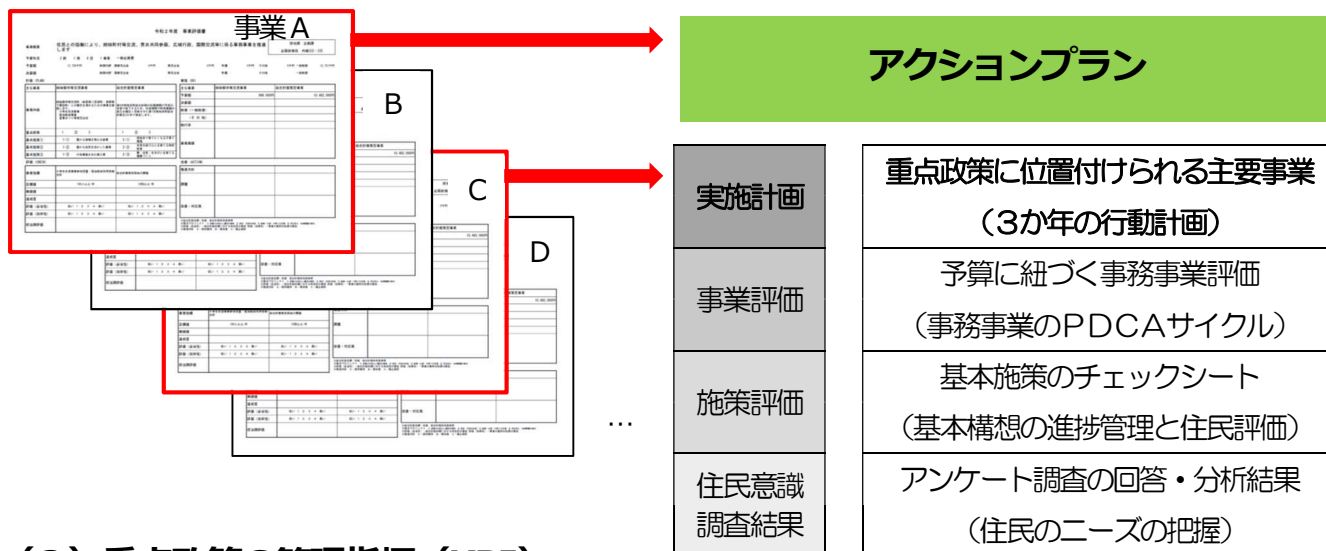
「まちづくりの施策体系」で整理した25の基本施策は、町が継続的に実施する施策を示しており、本来、全ての施策が「重点政策」ということにはなりますが、現在の一層厳しさを増している行財政状況では、まんべんなくあらゆる項目を対象とした施策を推進した場合、あまり効果が見えてこない、結果として住民の満足度が得にくい行政を進めることとなります。

そのため、早期に人口の安定化を図り、住民生活及び行財政の持続可能性を確保していくため、25の基本施策の全てが横断的に連携し取り組んでいく「重点政策」として、「子育て支援と教育の充実」、「産業の活性化と雇用の確保」、「定住支援」の3本を位置づけ、優先順位を定めて実施していきます。



(2) 重点政策の実行

行政が実施する様々な事業のうち、重点政策に該当する事業を、総合計画を実行するための「アクションプラン」に記載します。アクションプランに記載した事業は、優先的に予算を配分し、行政の縦割りの壁を越えて様々な部署が連携して実施していきます。



(3) 重点政策の管理指標 (KPI)

重点政策が実現できているか進捗を確認するための指標と毎年度の目標値を、以下のように設定しました。総合計画の見直しまでの4年間、目標値を達成できているか毎年度確認し、目標と実態に大きな差が生じた場合は原因を分析し改善につなげていきます。また、指標が町民の実感と乖離することがないように、指標の運用も改善してきます。

① 子育て支援と教育の充実	基準値 (R1)	目標値 (R6)
●希望の保育所に入所している乳・幼児の割合	100%	100%
●放課後児童クラブの申込みに対する充足率	84%	100%
●赤ちゃん訪問の実施率	100%	100%
② 産業の活性化と雇用の確保	基準値 (R1)	目標値 (R6)
●新規漁業就業者数	9人/年	9人/年
●新規農業就業者数	2人/年	2人/年
●観光客数	278.5万人/年	280万人/年
●商工会会員数	1,101 事業者	1,101 事業者
③ 定住支援	基準値 (R1)	目標値 (R6)
●空き家バンク相談件数	43 件/年	56 件/年
●空き家バンク契約件数	9 件/年	14 件/年
●空き家バンク移住者数	14 人/年	17 人/年
●コミュニティバス利用者数	19.8 万人/年	20 万人/年

第4章

計画の実現に向けて

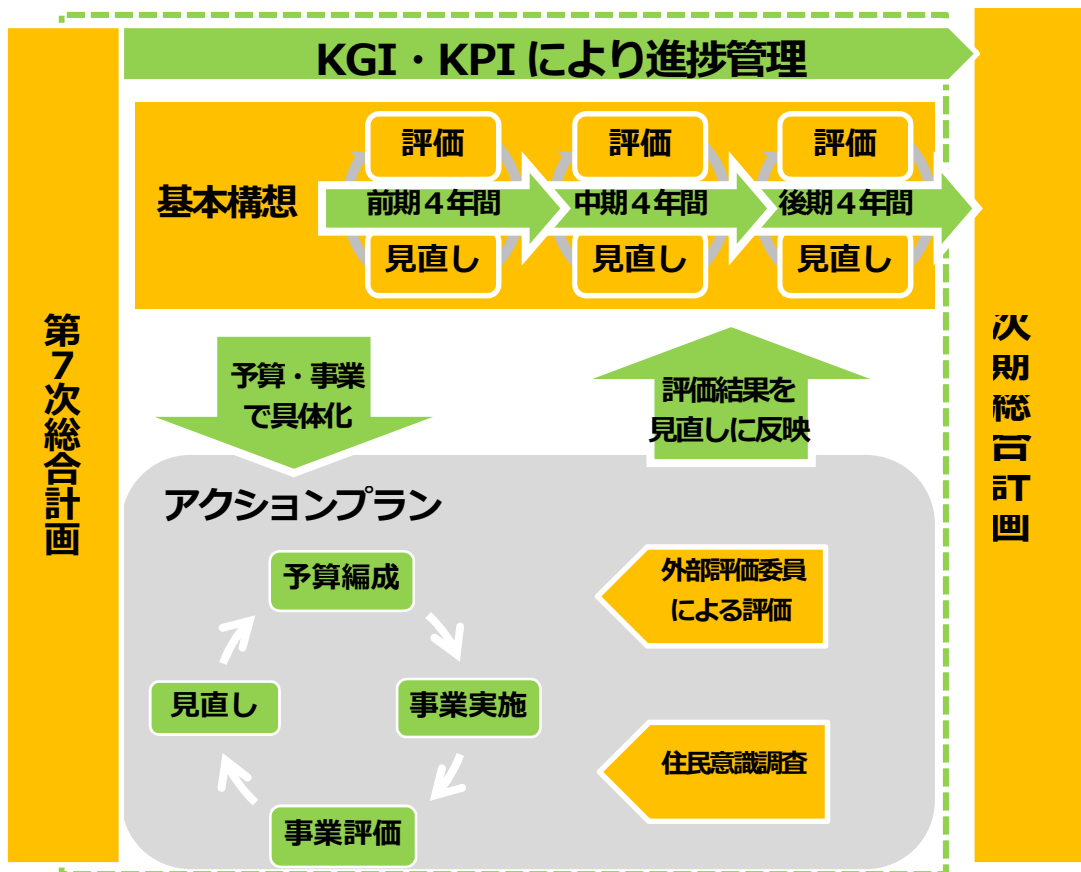
1 計画の実行

(1) アクションプラン

総合計画は作って終わりではなく、実現に向けて実行に移していくことが重要です。総合計画の実現に向けて重点的に実行すべき事業3箇年分を「アクションプラン」として別途まとめ、毎年度の予算に反映して実施していきます。

アクションプランは毎年度、外部有識者の参画する外部評価委員による評価や、住民意識調査を踏まえた KPI（管理指標）による進捗管理により、見直しを行っていきます。

また、KGI（目標指標）の達成に向けたアクションプランの効果の検証結果と、社会情勢の変化を考慮して、4年ごとに基本構想を見直し、改善を図ります。



(2) 住民による評価

各施策等で設定した評価指標（KPI）について、モニター制のアンケート調査等により進捗状況を確認し、定量分析を行います。また、数値で測ることのできない取り組みの進捗について、事業ごとに事業評価をするとともに、アンケート調査の自由意見等をもとに、定性分析を行います。

さらに、各分野の代表であるモニターによる外部評価委員会による評価を行うことにより、事業評価の妥当性、客観性を確保します。

2 連携・協働・共創の推進

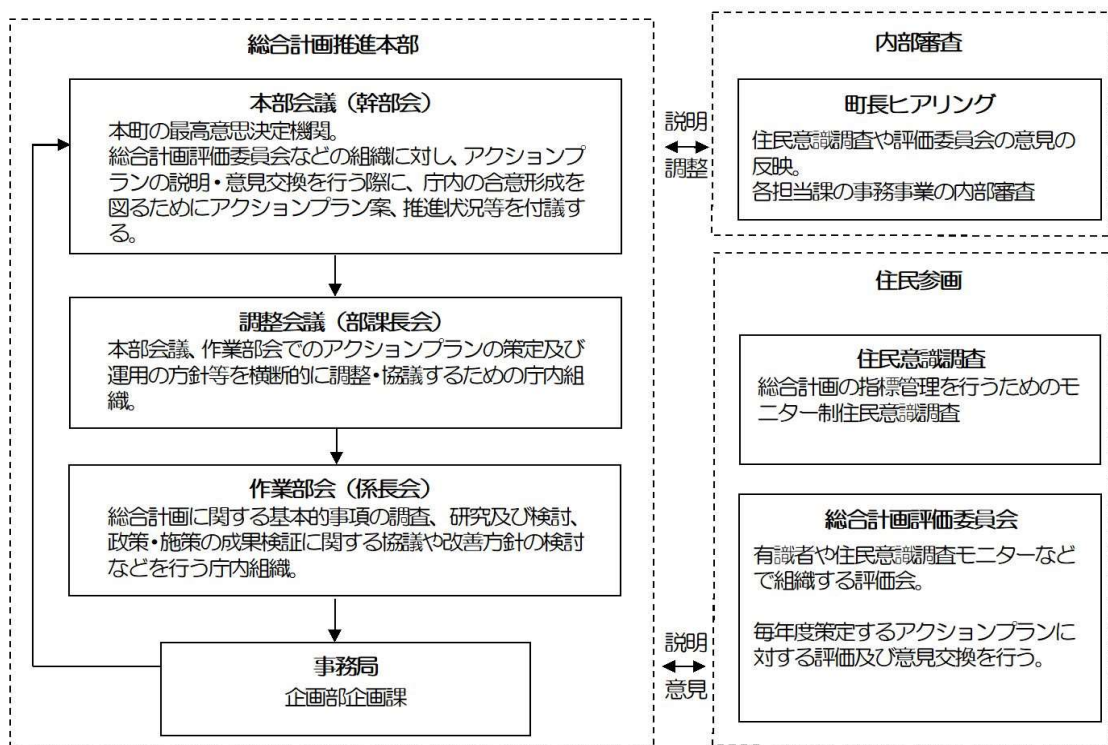
(1) 総合計画の推進体制

総合計画を実現するためには、行政、町民、企業、関係団体、その他多くの人々がそれぞれの立場でまちづくりに取り組む必要があります。

そのため、本計画により向かうべき方向性を共有し、町が一体となってまちづくりが行えるよう、計画の推進体制、内部審査の実施体制、住民参画（住民意識調査、評価委員会）の仕組みを整えました。

また、個別の分野の取り組みが総合計画の内容に沿うよう整理しました。

【総合計画推進体制図】



(2) 協働・共創のまちづくり

将来イメージを実現するためには、町民と行政が対等の立場で、共に考え、共に協力して働く「協働」をさらに進め、町民のみなさんが、自分たちのまちは自分たちで創り、育てるという意識をもって、南知多町をよりよくする一歩進んだ「共創」の取り組みを進めていくことが大切です。

「共創」とは、これまでの「協働」を基本としつつ、目標設定の段階から、町民、団体、企業、大学、地域、行政等が連携し、異なる視点や価値観のもと多方面から意見を出し合いながら解決策の検討を行い、実戦的な取り組みを展開することにより、新たなまちの魅力や地域の価値を共に創り上げていくことです。

本町においても、協働・連携が少しずつ浸透する中で、「協働」における次のステップとして、住民と一緒に新しい価値や解決策の創造を目指す「共創」によるまちづくりを積極的に進めていきます。

3 基本施策と個別計画の関連

基本施策は、各分野の個別計画と連動させ、体系的に実行していきます。

基本施策と個別計画との関係は以下のとおり整理しました。個別計画は、関連する基本施策をより効果的に実施するためのものとして位置付け、個別に進捗管理を行い、評価と見直しを行います。

個別計画名／政策名	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	4-1	4-2	4-3	4-4
	地域で大切に する子育て環境	次代の担い手 を育む教育環境	生涯を通じて 取り組む健康づくり	個性を活かす 障がい者福祉	安心して住み 続けられる長寿社会	豊かな自然を 活かしたひとづくり	郷土愛、つながり を育む文化・スポーツ	豊かな海と産物 を活かした水産業	豊かな農地と産物 を活かした農業	新たな魅力や価値 を生み出す商工業	何度も訪れたくなる 観光・交流	新たなチャレン ジを創る起業支援	価値ある産業を 残す事業承継支援	働く環境づくり	災害に強く安全に 暮らせるまちづくり	つながりを活か した交通安全と防犯	資源を活かす土 地利用	安心な暮らしを 支えるインフラ	暮らしを支える 地域公共交通	多様性を認め、 共に支え合う コミュニティ	心と体安らく 自然・住環境	職員の成長と やりがい	業務の効率化	町民の満足度 向上	持続可能な 財政
特定事業主行動計画														●											
南知多町における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画														●											
南知多町空家等対策計画																	●				●				
南知多町交通安全計画																●			●						
南知多町国土強靱化地域計画															●			●							
南知多町地域防災計画															●										
南知多町津波避難計画															●										
南知多町業務継続計画														●	●										
南知多町防災備蓄計画															●										
南知多町国民保護計画															●										
社会資本総合整備計画							●											●							
南知多町男女共同参画計画																				●					
南知多町公共施設等総合管理計画																	●								●
南知多町地域公共交通網形成計画																		●	●						
地域再生計画																	●		●	●					●
辺地総合整備計画				●														●							●
南知多町耐震改修促進計画															●										
南知多町都市計画マスタープラン																	●								
南知多町緑の基本計画																									
橋梁長寿命化修繕計画	●													●	●			●	●		●				●
舗装修繕計画	●													●				●	●		●				●
漁港施設機能保全計画								●						●				●							●
漁港海岸保全施設長寿命化計画																		●							
港湾海岸保全施設長寿命化計画																		●							

個別計画名／政策名	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	1-7	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	2-6	2-7	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-6	3-7	4-1	4-2	4-3	4-4
	地域で大切に する子育て環境	次代の担い手 を育む教育環境	生涯を通じて 取り組む健康づくり	個性を活かす 障がい者福祉	安心して住み 続けられる長寿社会	豊かな自然を 活かしたひとづくり	文化・スポーツ を育む	豊かな海と 産物を活かした水産業	豊かな農地と 産物を活かした農業	新たな魅力や 価値を生み出す商工業	何度も訪れた くなる観光・交流	新たなチャ レンジを創る起業支援	価値ある産 業を残す事業継承支援	働く環境 づくり	災害に強く 安全に暮らせるまちづくり	つながりを 活かした交通安全と防犯	資源を活か す土地利用	安心な暮らし を支えるインフラ	暮らしを支 える地域公共交通	多様性を認 め、共に支え合う コミュニティ	心と体安 らぐ自然・住環境	職員の成長 とやりがい	業務の効率 化	市民の満足 度向上	持続可能な 財政
南知多農業振興地域整備計画						●			●		●	●	●												
浜の活力再生プラン						●		●			●	●	●	●											
浜の活力再生広域プラン						●		●			●	●	●	●											
先端設備等導入計画										●				●											
人・農地プラン									●								●								
農業の有する多面的機能の発揮に関する計画									●																
離島の振興を促進するための南知多町(日間賀島・篠島地区)における産業の振興に関する計画								●	●	●	●	●	●												
創業支援事業計画										●	●	●													
南知多町水道施設更新計画																		●				●			
生活基盤施設耐震化等事業計画																		●				●			
特定健康審査等実施計画・国民健康保険データヘルス計画			●																						
南知多町子ども・子育て支援事業計画	●					●																			
障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画				●																					
知多地域成年後見制度利用促進計画				●	●																				
南知多町自殺対策計画		●	●		●									●						●					
南知多町保育所再配置計画	●																								
生活排水処理計画																						●			
日間賀漁港漁業集落排水処理施設機能保全計画																									
ごみ減量化基本計画																						●			
知多南部地域ごみ処理基本計画																		●				●			
南知多町災害廃棄物処理計画																●						●			
南知多町ごみ減量化(有料化)実施計画	●	●																				●			●
庁内環境率先実行計画														●								●			●
けんこう南知多プラン			●	●	●																				
南知多町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画					●																				
学校施設長寿命化計画		●																							
教育基本計画		●				●																			
南知多町立小中学校規模適正化基本計画		●																							
南知多町生涯学習推進計画							●													●					
文化財保存活用地域計画							●													●					
南知多町新学校給食センター整備基本計画		●																							

資料編

第7次南知多町総合計画 審議内容について

NO.	内容	審議会	発言者	項目	発言内容	事務局意見	審議会意見案
1	総合計画 素案 はじめに	第3回	岡田 濃		「1つ目は、…」の部分が、「1つ目は、…」とカラー太字表示されていません。(12行目の「2つ目は、…」と整合。)	文字色を修正しました。	
2	総合計画 素案 第1章 計画策定にあたって	第3回	中村 修見	1 計画策定の趣旨 (素案ページ:P4)	図と文章の構成の工夫をし、余白スペースの扱いを検討する。	文章が連続しないように図の位置を変更しました。	
3	総合計画 素案 第1章 計画策定にあたって	第1回	齋藤 慎也	3 計画の構成と期間 (素案ページ:P4)	基本構想をアクションプランが支える感じになっているが、アクションプランの下支えが基本構想になるイメージの方がしっくりくる。	・ご意見を踏まえ、図を修正しました。 ・なお、総合計画全体として、最終的にはデザイン会社によるデザインを想定しています。	
4	総合計画 素案 第2章 計画策定の背景	第1回	秦 由岐穂	1 南知多町を取り巻く環境 (素案ページ:P6)	●世界的な食料需要の増大により一次産業が活性化される ●後継者不足による産業の衰退が深刻化するの部分について。 これは第一次産業が活性化するのが衰退するの、矛盾をはらんだ表現ですが、「減少していく人口の中で後継者を探そうとする」と表現する方が、新規参入者がいれば活性化するという認識になるのでしょうか。	・南知多町の産業を取り巻く環境として、どちらも矛盾なく想定されます(一次産業にチャンスはあるが、後継者がいない場合はチャンスを活かせないという危機もある)。 ・どちらも想定される環境として矛盾のないよう、以下のように修正します。 「世界的な食料需要の増大により一次産業のニーズが拡大する」 「各産業の後継者不足が深刻化する」	
5	総合計画 素案 第2章 計画策定の背景	第2回	岡田 濃	1 南知多町を取り巻く環境 (素案ページ:P6)	「社会」の項に「道州制等の自治体再編により行政構造が変化する」との記載は、あえて必要でしょうか？※現状、国・県ともに道州制の議論は進んでいないように思われます。2050年という長期的視野に立った場合、将来的に道州制議論が進展し現実化するのかもしれませんが…。「道州制」とまではいかなくとも、例えば「行政の広域化」といった表現であれば、現時点での将来認識としてより現実的な印象を受けます。	・頂いた意見を踏まえ、文章を以下に修正しました。 「行政の広域化により行政の仕組みが変化する」	
6	総合計画 素案 第2章 計画策定の背景	第1回	秦 由岐穂	1 南知多町を取り巻く環境 (素案ページ:P7)	未来予測される「都市集中型」か「地方分散型」かを選択する必要がある、というのほかにそうだと思おうのですが、以下につく「地方税収、地域内エネルギー自給率、地方雇用などについて経済循環を高める政策を継続して実施する必要」とは、この2つのシナリオのどちらになるのでしょうか。 例えば今回の第7次計画で「地方分散シナリオ」に全振りしていくのか、AIの提言にあるように2025~27年まではどちらにも転がれる対策をしていき2025年時点でどちらに舵を切るのかを決めるのか、南知多町としてどういう方向性でいくのでしょうか。 「都市集中シナリオ」であれば、消滅可能性都市として上手にスケールを小さくしてできるだけ人口減少の衝撃を小さくして軟着陸させていく方針になると思います。「地方分散シナリオ」にのつるなら現在の規模を維持しながら都市からの移住希望者を獲得していくための攻めの構想が必要になり、どちらにどのタイミングで舵を切るのか今後の方針を大きく左右すると思います。その時その時で場当たり的な政策では後手になってしまうため「継続的な政策実施が必要」と書かれているのだと思うので、町としてのスタンスを確認、共有させていただきたいです。	・2つのシナリオの考え方については、どちらかを実現することに賭けるというものではありません。重要なのは、町の将来を大きく左右する複数のシナリオを意識し、望ましい方を主体的に実現するために取組み、望まない方が実現した場合に備えることだと考えています。 「都市集中型」と「地方分散型」の政策提言については、第5章2末尾に記載のように、地方分権型を選択し、現行に向けた政策を行うのが、基本的な方向性になります。 ・ただしいずれのシナリオにおいても、人口減少は不可避です。人口減少の中でも町民生活の影響を抑え、満足度を維持向上するためには、減少スピードの抑制と、減少への適応の両面が必要になります。ご意見の軟着陸や移住希望者の獲得は、いずれの場合も必要です。例えば移住希望者の獲得ができずに急速に人口が減少すれば、軟着陸もできなくなります。そのため、移住促進を実施しながらも、人口減少にそなえた施策(公共施設の再編など)は実施していくことになります。	
7	総合計画 素案 第2章 計画策定の背景	第3回	中村 修見	2 社会情勢への対応 (素案ページ:P8)	・文章の最後のくだり⇒「～、SDGs 17項目 の実現が必須だと考えて、取り組むことが必要です。」としてはどうか	ご意見を踏まえ、素案を修正しました。	
8	総合計画 素案 第2章 計画策定の背景	第3回	中村 修見	2 社会情勢への対応 (素案ページ:P8~9)	・もっと幅広く掲載してはどうか。現状だとそれらしいものがない、という程度でわかりにくい。⇒図がもっと大きいと見やすい。拡大した場合文章は図の下段にきてもいいのでは	ご指摘をいただいた、SDGsとSociety5.0の挿絵については、デザイン調整時に適切な配置へ修正しました。	
9	総合計画 素案 第2章 計画策定の背景	第1回	平山 康雄	3 南知多町が目指すべき方向性 (素案ページ:P10)	従来、南知多は農業漁業観光で潤ってきたため、農業の記載も必要	・農業は町内生産額や就業者数の点で、産業としては強みというほどの規模がないため記載していませんでしたが、自然を南知多町の強みとして掲げているため、以下のように修正します。 【資源】「恵まれた自然環境を活かした水産業、農業」 【産業】「豊富な資源による水産業、農業」	
10	総合計画 素案 第2章 計画策定の背景	第1回	池戸 義久	3 南知多町が目指すべき方向性 (素案ページ:P10)	地勢において、名古屋市近郊、中部国際空港近郊には間違いないが、移動は自家用車、バスであり、他の公共交通機関(JR・私鉄など)が無いことが致命的である。	・南知多にとって、近隣の名古屋市中部国際空港が地勢の強みであるものの鉄道が内海駅だけでは、その潜在力を活かさない交通面でのデメリットがあるとおもいます。鉄道の延伸も難しいところでありまして、名古屋まで時間からなら道路網や、地域交通を守る海っチャバスなどを効果的に活用し、潜在力を強めていく必要があると考えます。 ・町内在住の高齢者には、病院や買い物など、生活に必要な施設への移動手段が必要であり、鉄道よりも小回りの利い「近距離移動や、移動店舗・医療といった施策が考えられます」 ・上記の趣旨は、地域の現状を理解し、今の資源を活用してよりよい施策を考えていくことを基本施策3-5(公共交通)や1-3(健康づくり)などで記載しています。	
11	総合計画 素案 第2章 計画策定の背景	第3回	澤田 晟	3 南知多町が目指すべき方向性 (素案ページ:P10)	資源は豊富・環境は良好の中で衰退、将来ビジョンと追及の問題か？ 裕にいう、言っていることややっていることがかみ合っていない感じが受け取る。時の経過とともに前に進むように、すべての人が実感として感じる形を大事にしたい。一体感を感じる名所・名物をつくり、自然を生かした活動に向けてOUTPUTを明確にしたい。・・・アクションプランに反映	5つの潜在力については、現在までに南知多町が持っている力について言及しており、4つの危機については、現在から今後南知多町におとすれる可能性がある危機について言及しております。目指すべき方向性として、この潜在力をもってこの危機を住民や関係団体と協働のもと乗り越えていきたい旨を記載しております。また、自然を活かした活動に向けての取り組みについては、行政だけでなくの実行は難しいと考えております。名所や名物などは住民の方たちが詳しい場合あり、住民のみならぬ知識や意見を集約(アクションプラン)を通して、行政と住民が一緒にまちづくりに取り組んでいただくこと(協働・共創)により住民に沿ったOUTPUTの形ができるのではないかと考えております。	
12	総合計画 素案 第2章 計画策定の背景	第3回	澤田 晟	3 南知多町が目指すべき方向性 (素案ページ:P10)	史跡の追加	ご意見を踏まえ、素案へ「史跡」を追加しました。	
13	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	澤田 晟	1 人口ビジョンとKG I (素案ページ:P12~15)	人口問題は日本中、世界中の問題で文明国家になれば人は減る。どれだけの人口が正解かは分からないが、…	(人口ビジョンについて) ・経済発展とともに少子化傾向となること、日本全体で人口が減少する見通しであることはご意見のとおりで、計画案でも町人口の減少は避けられない中で、その影響を抑え、生活の満足度を維持していくことを主題としています。そのため施策が3つの重点政策、21の基本施策であり、政策・施策を実現していくのがアクションプランです。 目的は現行の人口の維持ではなく、急速な人口減少がもたらす影響を抑えることです。そのためには、人口減少自体をなるべく抑えることと、人口減少に適応する体制を整えることが必要となります。 ・例えば、人口が1万人まで減少した場合、現在の制度を前提としたシミュレーションでは、約30億円/年の財政赤字が生じます。なお、H30年度決算では、保育所等の運営(自:児童運営費)4.7億、道路の維持・補修(自:道路補修費)1.3億です。仮に目標人口が実現すれば、人口が1万人となる時期を5~10年遅らせることができ、人口減少に備える猶予が生まれます。 ・なお、現行の人口ビジョンでは、令和30年(2048年)の目標人口はおよそ14,000人であり、出生数75人、既に目標を大きく引き下げた結果です。 ※出生数等データ:新人口ビジョン案(昨年度作業部会資料)により推計値を提示	
14	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	秦 由岐穂	1 人口ビジョンとKG I (素案ページ:P15)	令和元年が72人なので「75人を維持」というのは一見さほど大きな数字に感じませんが、p21の<南知多町の将来人口予測と目標人口>のグラフを見ますと、5年後の令和7年で15,483人の目標人口とあり、5年後のこの速報を考えた場合、転出・転入・死者数を過去5年から推測しますと今年から毎年105人以上の出生数がないと目標が維持できないのではないかと思えます。よほど大きく力を注がないと5年後すら達成が非常に難しい数字のよう思うのですが、5年後は15,054人を維持するために想定される転出・転入・死亡率・出生数を教えて戴きたいです。 なお、p23には「高齢化率も増加率はピークを過ぎています」とありますが、今後の死者数はどういう推移が予測されているのでしょうか。高齢化社会は今の現状のままゆるやかな横ばいで行くのか、または高齢者人口が大きく減少していく傾向にあるのかによって、高齢化対策は現行の対策の延長で足りるものになるのか対策が変わってくるかと思えます。出生数増加と子育て世代の移住に大きく比重を置いた革新的な政策が求められるのか、全体像を把握したいからです。		
15	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	秦 由岐穂	1 人口ビジョンとKG I (素案ページ:P14)	老年人口の増加はピークを過ぎているとのことだが、高齢者に対する町政はこのままで十分なのか、高齢化率の推移も確認したい。		
16	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	山本 奈緒	1 人口ビジョンとKG I (素案ページ:P15)	人口減少について(第4章)、地区ごとの減少数を示した方がリアルに訴えかけることが可能ではないか。		

第7次南知多町総合計画 審議内容について

NO.	内容	審議会	発言者	項目	発言内容	事務局意見	審議会意見案
17	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	池戸 義久	1 人口ビジョンとKG I (素案ページ:P15)	p.25に、2050年(令和32年)の南知多町の場合、『人口が約1万7,700人(2019年)から約7,500人(2050年推計)へ減少する。』とあるが、KG1の目標数値の75人は果たして可能な数値であるのか。また、現在において具体的な施策はあるのか。	(KG1について) 総合計画素案では、ご指摘の「交流(観光)人口-関係人口-定住人口」の流れを意識し、南知多のファンを増やしていき、多くの箇所で記載しています。 ・「転出、転入は意見のとおり、人口の重要な要素です。一方で、出生数の向上には、転出の抑制と転入の増加が重要となるため、出生数の向上は転出・入も含んだ包括的な目標となります。また第1回審議会で口頭で申し上げましたが、全人口ではイメージしにくい一方で、出生数ならリアルに危機感を感じるといふ方がやすさがあります。 ・一方で、転入者の増加を目指す場合、移住希望者は自身の出生地など縁ある土地を検討する可能性が高いため(国調差より)、次世代が生まれなければ将来の転入候補者も減少する可能性があります。 ・以上から、KG1としてあえて出生数を掲げることとしました。	
18	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	山下 かず代	1 人口ビジョンとKG I (素案ページ:P15)	出生数75人を守るの難しいと思う。実感として、母子手帳を受取る人数とその後残ってくれる人数は違う。人数が少ないなら少ない中で満足できることを考えるべき。		
19	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	山本 多恵	1 人口ビジョンとKG I (素案ページ:P15)	出生率75人という目標は難しいのでは。日本中で人口が減る中で、どうして人口を維持しないといけないのか。1万人を下回るとどんなデメリットがあるか、75人の目標は段階的に下げたい。		
20	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	大塚 智之	1 人口ビジョンとKG I (素案ページ:P15)	前回の審議会でもお話をさせていただきましたが、出生数75人については、次の国勢調査結果次第ではかけ離れた目標になってしまう可能性も考えられます。個人的には転出、転入者数での目標設定の方が施策検討もしやすいと思います。 (理由) 知多半島は全国の半島をみてもコンパクトであり、また、南知多町は資源も豊富なため、域外からの誘客や移住も十分取込めると思います。 交流人口-関係人口-定住人口の流れを考えると、魅力ある町をPRすることで域外ファンが増え定住に繋がりが、若者の転出抑制にもなるのではないかと思います。		
21	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	平山 康雄	1 人口ビジョンとKG I (素案ページ:P12)	文章の内容が下部の図で読み取りにくい。	・国表との関係が分かるよう、文章を以下のように修正しました。 「 本町の人口は、昭和40年以降、減少が続いており、国立社会保険・人口問題研究所の推計によると、本町の将来人口は、以下の「南知多町の将来人口予測と目標人口」で示す通り令和32年時点で7,488人となり、令和47年時点で4,422人推測されています。今後、日本全体で人口減少が進む中で、本町だけが人口増加に転じることは極めて困難であると考えられますが、急激な人口減少は住民生活にも行政運営にも大きな影響を与えることから、人口減少の抑制に努める必要があります。そこで、30年後の人口が現状18,707(平成27年度)の半分以下にならないように安定させるため、令和30年時点で概ね10,000人の人口を維持することを目標とします。」	
22	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	齋藤 慎也	1 人口ビジョンとKG I (素案ページ:P14)	円グラフ より棒グラフにして、人口減少による歳入額の減収を2019年度と比較してはどうか。	住民の方が見た際にわかりやすいグラフの表記を検討させていただきます。	
23	総合計画 素案 第3章 基本構想	第3回	齋藤 慎也	1 人口ビジョンとKG I (素案ページ:P14)	「町民所得の増加」の必要性を訴えるのに、過去の構成比率をドーナツグラフで表されても、増加の必要性が伝わってこない。 平成29年度の歳入に占める地方税と、その地方税を構成する各種歳入の割合を示す棒グラフ。 そして数年後、現在の町民人口から推測できる歳入と地方税を示すグラフを併記して、減少幅を明確に示さないこと、「町民所得の増加」の必要性は伝わってこない。加えて、バツと見て、2つのドーナツグラフの違いが分かりにくい。	・ 本記述は、歳入に占める割合が最も大きな地方税と地方交付税が、行政サービスの財源として最も「インパクトが大きいこと」に焦点を当ててご説明をしております。ご意見を反映し、情報量を増やす意図が伝わりやすくなるよう図を修正しました。 ・なお、実際の歳入の推移は、景気、制度変更、交付金を獲得できる事業を実施するか否か等、年ごとに様々な要素により左右されるため、一概に比較できないという難しさがあります。例えば10年前(H19年度)と比較すると、地方税は3億円超減少する一方、県支出金が5億円超増加する等、カバーされています。 ・将来については、上記のような不確実な要素に一定の仮定をおいたシミュレーションにより、人口減少の影響をビジュアルで感じ取って頂きたいと思っております。それを踏まえた財政に関する議論は、どこでいくら削減する、どういう手段でいくら調達するといった中身を伴う必要がありますが、専門的に細かい内容であるため、総合計画審議会にはなさないため割愛します。また、上記のとおり財政は人口と比べ不確実性が大きいことから、数字の独り歩きを避けるため、審議会資料にとどめさせていただきます。	
24	総合計画 素案 第3章 基本構想	第3回	秦 由岐穂	1 人口ビジョンとKG I (素案ページ:P14)	人口減少による歳入額の減収を、比較できるようグラフにする案に賛成です。	グラフを修正しました。	
25	総合計画 素案 第3章 基本構想	第3回	山本 多恵	1 人口ビジョンとKG I (素案ページ:P14)	4. 高齢化社会の対応 令和2年前後から高齢人口は減少〜と記載がありますが、年齢3区別のグラフに今後の予測も点線などで示してもらえると、更に理解しやすいです。 5. 行財政上の・・・	ご意見を踏まえ、素案を修正しました。	
26	総合計画 素案 第3章 基本構想	第3回	山本 多恵	1 人口ビジョンとKG I (素案ページ:P14)	町民所得の増加が必要と記載されていますが、グラフが平成29年度しかなく、町民税の比較ができません。過去〇%だったのが平成29年度は36%もしくは平成29年度は36%見込めていたが〇年後は〇%しかない予想など比較するグラフがあると、更に町民所得の必要性がわかるのではないのでしょうか？	グラフを修正しました。	
27	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	山下 かず代	2 将来イメージと基本理念 (素案ページ:P16)	「絆・選ばれる理由があるまち」は変更されると思いますが、具体的にはどうなったのでしょうか。	・「選ばれる理由」としては、自然と人のつながりを南知多町の強みとして考えています。自然はキャッチフレーズ(太陽と海と緑)で表現しているため、もう一方の「人のつながり」を、将来イメージで表すこととしました。 ・「絆」は、東日本大震災では絆という言葉が大きく取り上げられ、人と人との絆、ソーシャルネットワークを通じての再会や新たな出会いなど、絆を強く再確認した年でもありました。また地域においても「きずな」をまちづくり協議会の名前に取り入れるほどです。そのせいか、使い古された言葉に思われるかもしれませんが、絆は、家族との絆、地域の中での絆、地域間交流としての絆、また、遠く離れた他地域の絆がこれからさらに重要になってきます。 ・住民生活が将来も持続していくためには、今あるつながり(コミュニティ)を大切にしつつ、世代間、移住者と在住者、観光客や町外の関係者と住民など、多様なつながりを受け入れ、強めていくことが大切という意識で、このような将来イメージとしており、委員の皆様のご意見とも合致していると考えています。 ・以上を踏まえ、<込められた願い>の部分をご大幅に修正しました。	
28	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	齋藤 慎也	2 将来イメージと基本理念 (素案ページ:P16)	「絆」=強い結びつき、既に関係のある人との結びつきを、一層強めるという意味合いが強い。 子育て世代等への移住を働きかける施策と照らし合わせると、移住者を呼び込み、これから新しい人達と新しい関係を築いていこうという流れとは、相反する様に感じられる。 南知多町として、積極的に移住者を受け入れると言門戸を開く流れを作るのであれば、「絆」と言う言葉は、どこか閉鎖的な感じも受取れてしまう。 【選ばれる理由があるまち】だけで、いいように思う。		
29	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	山本 多恵	2 将来イメージと基本理念 (素案ページ:P16)	絆・選ばれる理由があるまち〜まわりくどい感じがする。		
30	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	山本 多恵	2 将来イメージと基本理念 (素案ページ:P16)	絆という言葉に引っかかった。絆・つながりを取ってここで表す必要があるか。		
31	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	秦 由岐穂	2 将来イメージと基本理念 (素案ページ:P16)	「絆」はもう少し分るのではないですか。 地方特有の「コミュニティ」は、互助作用・協働・支え合いをもって豊かな社会を築くのに不可欠なものです。が、核家族化、単身世帯は現代や未来の主流になっていく形勢です。地域との繋がりが決して太くない町民でも行政として取りこぼさない、新しいものを受け入れる門戸を開き、多様な生き方を認めて尊重する形こそが、現代に求められるスタンスだと思います。そしてそういう意識改革が必要になっているのではないのでしょうか。 「誰もが住みやすい住み続けられるやさしい町」というのが、これから求められる姿勢であると考えます。		
32	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	澤田 晟	2 将来イメージと基本理念 (素案ページ:P16~17)	将来イメージ 地域活動の源泉を何処から生み出すか、協働による実現と理解するが、ますます多様化が進むと思われる環境において、6. 「一歩進んだ」まちづくりは望むところです。 実行の手が減少する中で、本当に必要なことを効率よく行うには個の力を単純に積み上げるのではなく相乗効果の手を上げることにより、関連者がどのポジションでどのような実績を上げたのかが見えるようにしたい。	地域活動の源泉として、「自分の手でまちをつくっている」「自分がまちを良くしている」という地域に対する愛着につながる想いがベースになってくれることを期待しております。 ご指摘のとおり、個の力を単に積み上げるのではなく、相乗効果につなげるための仕組みが必要となっていきます。本町の中で協働・連携が少しずつ浸透する中で、国も推奨している協働における次のステップとして、住民と一緒に新しい価値や解決策の創造を目指す「共創」によるまちづくりを目指したいと考えております。	
33	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	中村 修見	3 まちづくりの基本目標・基本施策 (素案ページ:P18~19)	各施策の名称修正案	・ご提案を基に、庁内作業部会で21の施策の名称の修正案を作成しました。	

第7次南知多町総合計画 審議内容について

NO.	内容	審議会	発言者	項目	発言内容	事務局意見	審議会意見案
34	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	齋藤 慎也	3 まちづくりの基本目標・基本施策 (素案ページ: P18~19)	KGIとKPIの関連性がわかりにくく、理解しづらいため、KPIツリーの図があった方がいいのでは？例えば、KPIツリーに当てはめられた場合に、KGI=75人達成するの3つのKPIがどのように関連してくるのか。	・ご指摘の通り一般的には、KPIはKGI達成の中間目標として寄与することが、合理的に説明可能な指標であり、計画素案作成時の議論ではKGI(出生数)を上昇させる直接的な指標をKPIとする案もありました(婚姻率や、婚姻率を上昇させるための賃金水準など)。 ・しかし、こうした指標は行政や住民の努力でどうにもならない外的要因の影響が大きいことや、毎年度計測できないものが多いといった、「使う総合計画」の進捗管理としてそぐわないという問題がありました。 ・また、人口が減少する中でも満足度を維持向上することや、まちづくりに向けた町全体の機運・風土など、目に見えないものを重視することとしました。それが将来イメージ(=選ばれるまち)の実現となり、ひいては出生数の向上にもつながるという、抽象的・間接的な関係であるため、ツリー図で表現すると違和感があったため、現在のよう形としています。	
35	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	中村 修見	3 まちづくりの基本目標・基本施策 (素案ページ: P18~19)	1. まちづくりの基本目標・基本施策 まちづくりの将来イメージや町長マニフェスト(とるべき戦略)を実現していくため、「地域で育むひとづくり」「地元をにぎわす仕事づくり」「安心できるまちづくり」の3つの基本目標プラス「行財政マネジメント」を柱とし、それぞれにおいて総合的に実施する25の基本施策を定め、消滅可能性都市から持続可能都市へ・・・の実現をめざし、暮らし続けられるまちづくりを力強く実行していきます。 「ひと! にぎわい! あんしん! 南知多の未来にプラス! 消滅可能性都市から持続可能都市へ・・・⇒カウッして、上段の文章内に活かす	・本文について、頂いた意見を踏まえ、以下の通り修正しました。なお、町長マニフェストの部分は町長の方々に示している内容であるため、そのまま表記をさせて頂ければと思います。 「将来イメージや町長マニフェストを実現していくため、「地域で育むひとづくり」「地元をにぎわす仕事づくり」「安心できるまちづくり」の3つの基本目標プラス「行財政マネジメント」を柱とし、それぞれにおいて総合的に実施する25の基本施策を定め、暮らし続けられるまちづくりを力強く実行していきます。」	
36	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	山本 多恵	3 まちづくりの基本目標・基本施策 (素案ページ: P18~19)	「にぎわす」という言葉がしっくりこないように感じる。 ・元気にする・活性化させる・活力を与える ではなくどうか。	南知多町を元気にする、活力を与えると意味合いも含みつつ、地元をもっと盛り上げる、知名度を上げていくという印象を与えるという部分を持ち合わせた、「地元をにぎわす仕事づくり」という表現で問題はないと考えております。	
37	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	中村 修見	3 まちづくりの基本目標・基本施策 (素案ページ: P18~19)	企業誘致に苦戦していることもあり、しごとづくりよりも、しごとから生み出される賑わいに重点を置いた方がこの地域に合っているのでは。	企業誘致にとどまらず、漁業、農業、商工業の振興、起業支援、事業継承等を踏まえた基本目標として「仕事づくり」としています。一方で、頂いた視点も重要なポイントと考えるため、P18の重点施策②の最後に以下加筆しました。 「また、しごとにより町のにぎわいが生み出されることを目指します。」	
38	総合計画 素案 第3章 基本構想	第3回	中村 修見	3 まちづくりの基本目標・基本施策 (素案ページ: P18~19)	・後半のくだり「それぞれで実施すべき施策を以下のよう25の基本施策を定め、暮らし続けられるまちづくりを〜〜。」 ⇒「それぞれで実施すべき25の基本施策を定め、暮らし続けられるまちづくりを力強く実行〜〜」	文章と挿絵の位置を変更しました。	
39	総合計画 素案 第3章 基本構想	第3回	中村 修見	3 まちづくりの基本目標・基本施策 (素案ページ: P18~19)	・地元をにぎわす仕事づくりを ⇒地元をにぎわすしごとづくりとしてどうかひとづくり、まちづくりに合わせてひらがな表記を ・2-4 何度も訪れたくなる観光・交流を ⇒2-4 観光に活かす魅力づくりとにぎわいの拠点づくりに修正してどうか ・安心できるまちづくり3-1「まちと命を守る防災」を ⇒3-1「災害に強く、安全に暮らせるまち」に防災を大きな視点でとらえて	「仕事づくりは、ひらがな表記に改めました。」 ・2-4及び3-1について、施策名称はなるべく、「〇〇(こういう姿を目指す)+分野名」として統一したいと考えています。2-4について、魅力づくり、拠点づくりは「何度も訪れたくなる」ための施策の具体的な手段として位置付けています。3-1について、「災害に強く安全に暮らせる」は大きな視点であり、防災も含めた様々な施策で実現していくものと位置付けています。	
40	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	秦 由岐穂	4 基本施策 1-1 地域で大切に子育て環境 (素案ページ: P20~21)	フリーランス、自営業・農業漁業者、Society5.0に対応した子育て支援が必要ですが、現状は彼らは0歳児を預けられない、かも保育園で0~2歳児を預けられない現状があり、これはこの町が想定する乳幼児の子育てが「祖父母と同居していること」を前提としており、移住者に対応できていません。 外から来た方が子育てしやすい仕組みは中にいる町民にとっても子育てしやすいはずで、「移住者に合わせた子育て支援」に大きく注力する必要があると思います。 →一般ボランティアによるファミサポではなく保育のプロによる訪問型保育を。 なかなか実現していかないファミリーサポート・センターは、理論上はやりたくても現実的に実現が難しいのではないのでしょうか。 町民ボランティアに依存したファミサポは、なり手がいない、事前の顔合わせや予約が必要で、急に子育ての手が足りなくなる状況に対応できない。良く知らない町の人とのマッチングにも不安があります。 各保育園と健康センターにゆとりのある保育士の配置を図り、0歳児保育と一時保育、居住訪問型保育へ必要に応じてすみやかに対応できる自由度の高い保育士の派遣体制を。「地方への移住を考える若い夫婦」へのとても大きなアピールポイントにもなります。 一保育士の働き方改革。 保育士さんが南知多に住んでいる場合の住宅ローン補助、家賃補助を、少額でも。 子育てに対してレベルの高い保育の確保。 若年夫婦で、田舎での子育てを検討している意識の高いターゲットは、こういうサポートを町が考えているかどうかで、町の子育て政策に対する意識レベルを判断します。	・基本施策2-1に記載している保育サービスについて、町内の親世代の希望や、移住希望者の移住相談など、実際の利用者や潜在利用者のご意見をよく聞き、限られた財源の中で最も効果的な方法を、アクションプランや個別の事業で具体化を検討していきます。	
41	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	中村 修見	4 基本施策 1-1 地域で大切に子育て環境 (素案ページ: P20~21)	施策名を「地域で…」と頭につけた背景や意図を、将来像の中に盛り込むような表記内容に	・頂いた意見を踏まえ、以下の文章を追記しました。 「子育て環境は各家庭の問題と捉えるのではなく、地域全体で取り組んでいく重要なテーマであると位置付け、以下の内容に取り組んでいきます。」	
42	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	秦 由岐穂	4 基本施策 1-1 地域で大切に子育て環境 (素案ページ: P20~21)	基本施策に「ファミリー・サポート・センター等の実施」とありますが、現状なかなか実現が難しいファミサポは南知多町のスタイルには合っていないと実現困難なのではないかと思えます。(ボランティアのなり手がいない・マッチングが難しい・急を要する場面に対応できない・ニーズにそぐわないなど。)乳幼児期の子育てが大変だと、とても自分自身を産もうとはなりません。子育て世代に人員投入を産んでもらうためには、乳幼児を育てている世帯の負担を軽減させる支援が不可欠です。こういった子育て支援はファミサポだけでなく、例えば現状行っている「赤ちゃん訪問」を拡大して2歳までは保健センターから保育士が短時間の訪問型保育をするなど、方法は他にもあります。支援の目的は「子どもの見守りを支援して保護者の負担を軽減すること」であって、ファミサポは目的ではなくその方法の一つでしかありません。ですが基本施策の中に「ファミリー・サポート・センター」と入れてしまうとそれが目的化してしまうと思います。子育て支援はニーズに合わせた柔軟さが重要だと思いますが、それこそ12年後はリモート会議のように「リモート子育て相談」などが時代の形になるかもしれないわけで、基本施策で「ファミリー・サポート・センター」と明記するのはなく、「子どもの見守りを支援するための実践的な取り組み」など、これからの時代に合わせた支援の形に柔軟に対応できる文言が良いと思います。	「ファミリー・サポート・センター事業」については近隣市町で本町だけが実施しておらず、令和元年度に策定した「第2期南知多子ども・子育て支援事業計画」では、「ニーズ量を考慮して、需要の動向を見ながら実施を検討する」としています。計画策定に際して行ったアンケート調査では、本町が実施した場合利用したい事業として、敬学前児童の保護者では「ファミリー・サポート・センター事業」が最も高い割合であるとの結果が出ており、潜在的なニーズはあり実施の検討をする必要はあると考えております。しかしながら、ご意見をいただいたとおり、子育て支援として「子どもの見守りを支援して保護者の負担を軽減」することが目的であって事業の実施は方法に過ぎません。「ファミリー・サポート・センター等の実施」は、実際に施策として記載させていただきますが、事業の開始にとらわれず、今実施している子育て支援事業の充実を考えながら、これからの時代や町民の皆様のニーズに沿った支援の形に柔軟に対応できる文言となるよう、文章を以下に修正しました。 「現在実施している子育て支援事業や一時保育、延長保育等保育サービスを充実させるとともに、ファミリー・サポート・センター等の新しい事業についてはニーズを考慮し実施を検討するなど、町として子育てを支援するための実践的な取り組みを行っています。」	
43	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	中村 修見	4 基本施策 1-1 地域で大切に子育て環境 (素案ページ: P20~21)	4 管理指標について目標達成をみる指標が「住民意識調査の満足度」でよいのか?他に、もっと具体的に図れる指標はないか。他の基本施策でもいえる部分がある	具体的な指標については、個別計画で定める指標や、アクションプランでの各事業の指標で進捗管理を実施していくことを予定しております。	

第7次南知多町総合計画 審議内容について

NO.	内 容	審議会	発言者	項目	発 言 内 容	事 務 局 意 見	審 議 会 意 見 案
44	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	秦 由岐穂	4 基本施策 1-2 次代の担い手を育む教育環境 (素案ページ: P22~23)	<p>「一定規模の児童生徒の集団」を確保すること という表記ですが、これだと「一定人数の学級」を前提としており、統廃合を目的化した言葉に聞こえます。統廃合せざる方針で町は決定したのでしょうか。 →コロナによって「とるべき学級規模」への考え方が変わるのでは？ 新型コロナウイルスによる影響で28人学級を採用する自治体もでてきました。向こう数年は、感染症対策を前提とした学級づくりは必須で、「広い地域から子供たちを一朝にまとめて大人数学級にする」というのは、今後の活用の流れ、時代の流れと逆行してしまっているのではないのでしょうか。 現時点でも複数の学校などは「質の高い遠隔授業」に力を入れており、ここに早急に対応できるかどうかは学力に大きく影響します。コロナ後の先の学級も、先行利権を得た強みで「Webによる遠隔授業」は今後の教育の重要なスタイルになっていく可能性が高く、新型コロナウイルス以降の新しい教育の形を想定に入れた方針を取り入れる必要があると思います。 各個人、少人数クラスをモニターでつないだ「Webによる合同・遠隔授業」は、予算が潤沢な都会の学校であっても、地方の少人数学級であっても、有効で実用性のある方法です。 統廃合での目的、「一つの授業を一定人数の規模で行い、多様な意見に触れながら競争の中から切磋琢磨して学力を向上させる」という目的は、Webによる合同・遠隔授業により実現可能です。その環境を用意できるかどうかで、世界に通用する人材を育成できるかも変わってくると思います。 そして、新型コロナウイルスの影響でWeb会議が社会で普及・加速している昨今、若い世代の働き方、住み場所の選択の価値観も変わってきています。会社のある都会にとらわれないでリモートワークできる一定層が、よりのびのびとした環境で子育てをしたいという地方への移住を検討しています。地域の中に学校があり、小人数学級であっても授業は町合同でやれば、「チームティーチャング」といわれる学力向上に非常に効果的な授業体制を作ることができます。(授業を展開する教員と、その授業を聴いて取り組む生徒をフォローする教員の、チーム体制による授業が実現できるため、さらに行き届いた授業で学力の向上が期待できます。) 地域に学校を残すことで、こういったSocial 5.0による社会変化に対応して移住者を呼び込むことが可能になるのではないのでしょうか</p>	<p>・学校をはじめとした公共施設は、今後も人口(利用者)が減少し財政が制約を受ける中で、適正規模に再編していくことが全国の自治体で課題となっています。適正な学校規模を確保するための学校再編は、1学級の人数を不適当に増加させることを前提とするものではありません。 ・コロナウィルスの感染拡大きっかけに、様々な分野でリモート化が急速に進み、その課題も明らかになってきています。今後はリモート授業も重要な選択肢であり、リモートの課題を踏まえつつメリットを活かした活用を検討していきます。 ・学校再編やコロナウィルスの情勢などの大きな流れの中で、リモートも含め最適な手法を導入していきたいと考えています。総合計画では次のように修正しました。 「GIGAスクール構想」の実現に向けて、国等の支援を活用して学校のICT環境の整備とICTを活用した学習活動の充実を進めます。」</p>	
45	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	秦 由岐穂	4 基本施策 1-2 次代の担い手を育む教育環境 (素案ページ: P22~23)	<p>「地元の食材をつかった給食」 南知多で育った無農薬栽培の農産物の給食。 田舎暮らし、地方へ移住を希望する子育て世代にとって「無農薬栽培野菜を使った給食」は大変ホットな話題であるため。例えば食材の入れに地元農家の「無農薬栽培野菜」を作ること、自然栽培農家や新規就農家の営農応援にも繋がるのではないのでしょうか。</p>	<p>・現在も地元農家から食材を供給いただいているが、今後も地元食材を積極的に活用し、無農薬/減農薬も含めた地元食材の良さを児童生徒や保護者に積極的に伝えていくなど、教育と農業振興の両施策を連携していきたいです。</p>	
46	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	秦 由岐穂	4 基本施策 1-2 次代の担い手を育む教育環境 (素案ページ: P22~23)	<p>現状と課題に「集団の中で切磋琢磨することを通して判断力や社会性などを身につけていくためには、一定規模の児童生徒集団を確保することが必要」「適正な学級規模になっていない」とありますが、これは国が推奨している40人学級や、ひと学年2~3学級のメリットを元にした表現だと思います。ですがコロナ禍において28人学級を実施している自治体も愛知県内にあり、国も少人数学級を検討する声が高まっています。教育先進国の欧米では少人数学級が基本ですし、今後のコロナによる影響も考えると「40人学級」がこれからの時代の基準になるかはわかりません。「南知多町立小中学校適正規模適正配置基本計画」は今まだ画案中で決まっていません。この計画の元になる「学校規模の適正化に関する町民アンケート調査」では「小学校は統合するのはではなく、現行のままでよい(町内6小学校)」が31.2%で最も多いという結果があります。町民の意向においては、現状の町内6小学校の形が町の改善すべき課題かどうかは一概に言えないと思います。一定人数で育む社会性も大切ですし「児童生徒ひとりひとりの個性や特性に応じたきめ細かい教育活動により多様な能力や適性を伸ばす」も必要です。南知多における教育の課題は「限られた予算の中でできる限り町民の意向に沿った学校運営・維持していくこと」だと思います。今の書き方だと統廃合を前提とした印象を受けてしまいます。</p>	<p>「学校規模の適正化に関する保護者アンケート調査」では、小学校は現行のままでよいが31.2%ですが、それ以外の意見として、小学校は、中学校区に1校(町内6小学校)と離島以外の小学校を統合すべきと答えた保護者の割合を足すと43.9%あります。また小学校は、現行のままでよいと回答した保護者は、内海、豊浜、離島地区に多く、今回の学校適正化を検討している師崎地区では、統合を望む意見の方が多く結果となっています。 また、児童生徒へのアンケートにおいても学校の統合について、いいと思う意見の割合が高くありました。教育委員会としては、このように保護者、子どもたちのアンケート結果や、現在実施している「学校規模適正化懇談会」の参加者である小中学校、保育園の保護者代表や、地区代表者、学校関係者に学校の適正配置、規模適正化についての意見を広く聴き、教育委員会並びに町長部局で、南知多の子どもたちによりよい教育環境を確保するための適正規模、適正配置について検討しています。 頂いた意見を踏まえ、文章を以下のように修正しました。 「一定規模の児童生徒の集団を確保することが必要であり、それを踏まえた適正な学校規模を固めていく必要があります。」(1. 現状と課題) 「実現したい教育姿・環境を見据え、「南知多町立小中学校規模適正化基本計画」に沿って、学校の適正配置、規模の適正化を進めています。」(2. 目指すべき将来像)</p>	
47	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	山本 奈緒	4 基本施策 1-2 次代の担い手を育む教育環境 (素案ページ: P22~23)	<p>伝統行事への参加など、郷土教育はずでにされており、子供たちの郷土愛は確実に深まっていると感じます。さらに将来像への実現に向けて、未来の南知多を考える機会が、学習の中に取り入れられると、よいのではないのでしょうか。</p>	<p>・頂いたご意見を踏まえ、以下のように修正しました。 「児童・生徒が地域に愛着を持つために、農・漁業体験をはじめとした自然の中での学習、伝統行事等への参加、地元の食材を使った給食等、郷土教育の拡充に取り組みます。また、それらを踏まえた上で、児童・生徒が町の未来を考える機会を推進します。」</p>	
48	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	山本 多恵	4 基本施策 1-2 次代の担い手を育む教育環境 (素案ページ: P22~23)	<p>少子高齢化をどうしていくのかが一番の問題。大学などで、子どもたちはみんな出て行ってしまいが、戻ってきてもらえるような教育が必要(子どもたちの郷土愛をはくくることが必要)</p>	<p>・子どもたちが戻ってきてもらうためには、住民のみならず、地域の力が必要不可欠と考えております。南知多町へ戻ってくる理由があるまじになる為に取り組まなければならないことについて、評価委員会等も含めた住民参画で一緒に考えていければと思っております。</p>	
49	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	山本 奈緒	4 基本施策 1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり (素案ページ: P30~31)	<p>(2)「美しい自然を守る活動の普及・展開を支援する。」という項目を付け加えてもいいのではないかと。 (3)「美しい南知多を日頃から楽しみ、SNS等で積極的に魅力を発信いただくとともに、環境改善の取り組みにも理解いただけるよう取り組みます。」という項目を付け加えてもいいのではないかと。</p>	<p>・頂いた意見を踏まえ、以下の文章を追記しました。 「また、上記の取組ができるよう、美しい自然を守る活動の普及・展開を支援します。」(2. (2) 将来像の実現に向けて) 「また、美しい南知多を日頃から楽しみ、SNS等で積極的に魅力を発信いただくとともに、環境改善の取り組みにも理解いただけるよう取り組みます。」(2. (3) 地域との協働)</p>	
50	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	山下 かず代	4 基本施策 1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ (素案ページ: P32~33)	<p>高齢者の持っている伝統技術等を残していくことが必要。計画の中にそういったことを盛り込んでいくべきではないかと。</p>	<p>・頂いた高齢者の伝統技術について、「日常・文化的な技術」と「産業としての技術」の2面があるかと思いますが。前者の「日常・文化的な技術」は「1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ」で以下のように加筆しました。 「今後必要となる公共施設再配置方針を定め、施設の再配置や長寿命化、修繕を進めます。郷土教育や高齢者が持つ伝統技術など、若い世代が伝統文化や技術に触れる機会の確保に取り組みます。」 ・後者の「産業としての技術」は「2-6 価値ある産業を残す事業継承支援」の記載が該当するかと考えます。</p>	
51	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	山本 多恵	4 基本施策 2-1 豊かな海と産物を活かした水産業 (素案ページ: P34~47)	<p>農業・水産業に特化されていて、もっと広く一般に適用できる計画もほしい</p>	<p>・総合計画素案の21の基本施策(仕事づくり)では、南知多町の強みである農、水産、観光に加え、実際1町内生産の多くを占める商工業について、産業分野ごとに記載しています。 ・また、各産業に共通する課題として、後継者の確保や産業インフラの維持が必要であり、起業、事業継承、環境づくりという項目でもとめています。</p>	
52	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	秦 由岐穂	4 基本施策 2-1 豊かな海と産物を活かした水産業 (素案ページ: P34~35)	<p>1現状の課題についての対応策として ・漁獲量減少→漁場の造成、環境保全、栽培漁業、資源管理型漁業 ・コスト高→近代化支援による生産性向上 ・消費量減少→現代の生活スタイルに適した加工品、安価な魚種の有効活用 ・後継者の高齢化と後継者不足→ 後継者不足の面に関しては町としてどういったサポートをしていくビジョンがあるのでのでしょうか。 漁業者の後継者が帰ってこれるような環境づくりの考え方はどのようなものなのでしょうか。</p>	<p>・高齢化、後継者不足については、漁業の維持・進行的には後継者の確保が最大の課題ですが、後継者不足の根本的な要因が経営環境の悪化(漁獲量減少など)と認識しています。そのため、基本施策1-1では主に、経営環境の悪化への対策を主体とした記載しています。 ・また、全ての産業に共通して起業、事業継承、環境整備は課題であるため、水産業も含め基本施策1-5~7で、後継者確保のための情報発信や住居支援などを掲げています。</p>	
53	総合計画 素案 第3章 基本構想	第3回	酒井 友之	4 基本施策 2-1 豊かな海と産物を活かした水産業 (素案ページ: P34~35)	<p>(略)水産物消費量の拡大のため、魚食普及のPRや、観光・宿泊での目玉としての水産物の活用を促進します。 →新型コロナウイルス感染症拡大によって、水産物が飲食業界の影響を大きく受けることになり、改めて外食産業の影響を実感しているところです。地産地消の更なる取組も含めたいのでしょうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、素案を修正しました。</p>	

第7次南知多町総合計画 審議内容について

NO.	内容	審議会	発言者	項目	発言内容	事務局意見	審議会意見
54	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	秦 由岐穂	4 基本施策 2-2 豊かな農地と産物を活かした農業 (素案ページ：P36～37)	南知多の総農家数607戸のうち、販売農家310戸(主業86戸、準主業61戸、副業的163戸)、自給農家297戸です。「より力がある気のある専業農家へ農地を集約させる」のが現在のスタンスですが、それでは畑が狭く農道が狭く水の不便な農地は活用されにくく、耕作放棄地になってしまいます。農家人口の多くは兼業農家で、1ha以下の耕地規模の農家は607戸のうち479戸です。小さな農地を守っている農家人口がとても多いのです。力とやる気のある専業農家さんに頑張っていただくのは産業の発展に非常に重要ですが、同時に専業農家だけでは里山環境も農村人口も維持できません。兼業農家が農業をやめたら彼らが地方で暮らす理由は非常に薄くなり、勤めのある街へ人口の流出が起ります。「耕作放棄地の再生利用」「自然災害被害の防止など里山の多面的機能の観点」を考えるなら小規模農家や兼業農家への支援は不可欠ですが、その支援の部分が足りないと思います。一小型中型を含めた農機具への買い上げ支援はできないでしょうか。農家をやるめききっかけになるのが農機具の維持が困難なことです。兼業農家は、農業収入だけでは農機具代をペイするのが困難で、古い農機具は肉体の負担も大きく生産性も落ちるため、農業を続けていくことが困難になります。小型中型の農機具への支援は、新規就農希望者への門戸もを広げられると思います。	・産業と多面的機能は両方とも、農業が持つ重要な側面であり、国や県でも、両輪として施策を進めていくこととされています。総合計画素案(基本施策1-2)でも記載しましたが、両方ともなくてはならないものであり、小規模農家等への支援も含め多面的機能を維持するための取組みを進めます。 ・ご提案については、アクションプランや個別の事業で具体化を検討していきます。	
55	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	秦 由岐穂	4 基本施策 2-2 豊かな農地と産物を活かした農業 (素案ページ：P36～37)	一農地バンクついて。利用権設定等促進事業を、もっと空き家バンクのようなアクセスしやすいオープンな形にしていけないでしょうか。自治体が、農地を使っていない地主さんへ積極的に呼びかけ、農業をやりたい農地を借りたい方から探しやすくする。借りた方が見つかったら自治体が地主さんから農地をお借りし、開墾など農地整備をしながら、借りた方へ自治体がお貸しする仲介の形です。賃貸契約の条件を緩和し対象を自給農家や兼業農家や小規模農家にも広げて、地主さんが返して欲しい時にすぐに対応可能な形にし、「自治体」が借り主になることで地主さんの土地を貸すハードルを下げる。今まさに荒れている果樹園などの耕作放棄地の活用を目指せたらと考えました。豊かな自然を求めて家庭菜園や自給農業に憧れて移住を考える人が増えてきた昨今で、農地を借りやすくすることは移住者や新規就農者への応援にも繋がると思います。一「UJターン田舎暮らし総合支援窓口」ワンストップ窓口で「UJターン相談窓口」を作り、空き家バンクと新規就農相談と、農地バンク、農機具の買い上げ支援、就業応援態勢で、田舎暮らし希望者の支援ができれば、それを求める人に見つけていただけるネットでの広報ができれば、と思いました。		
56	総合計画 素案 第3章 基本構想	第3回	中村 修見	4 基本施策 2-1 豊かな海と産物を活かした水産業 2-2 豊かな農地と産物を活かした農業 (素案ページ：P34～37)	言葉の統一性をもたせるように。	・「将来イメージ」は基本構想である「絆・選ばれる理由があるまち」を指します。それ以外の基本施策等で個別に目指していくものは「将来像」など、別の言葉を使用しています。 ・P42(2-1 豊かな海と産物を活かした水産業)、P44(2-2 豊かな農地と産物を活かした農業)の3.関連する個別計画については「目指すべき将来像」と記載していましたが、他の基本施策と記載を統一し「将来像」としました。	
57	総合計画 素案 第3章 基本構想	第3回	酒井 友之	4 基本施策 2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業 (素案ページ：P38～39)	(略)地域ブランドを、ふるさと納税への出品、SNS(社会的ネットワークを構築するサービス)等のインターネットを活用した積極的な情報発信、外国人観光客のインバウンド消費などにより、販売の拡大を支援します。一観光産業を中心とした地域商工業者は、新型コロナウイルス感染症拡大によって、感染拡大防止と経済活動を両立する新しい生活様式が求められるので、BCPの啓蒙と取組の促進を追加して頂ければと思います。	ご意見を踏まえ、素案を修正しました。	
58	総合計画 素案 第3章 基本構想	第3回	酒井 友之	4 基本施策 2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業 (素案ページ：P38～39)	商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律(平成5年法律第51号)について、令和元年5月29日の第198回通常国会にて、改正法が成立し、同年7月16日に施行された。市町村との連携について、経営発達支援計画は、商工会又は商工会議所が単独又は共同で作成する仕組みでしたが、関係市町村と共同で計画を作成し申請することとなりますので、この計画は、含めることが必要になるのでしょうか。	師崎商工会と相談のうえ、検討します。	
59	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	鈴木 甚八	4 基本施策 2-4 何度も訪れたい観光・観光 (素案ページ：P40～41)	コロナウイルスの影響で観光はほぼ100%ダウンしている。昔と比べ南知多町の元気が無くなってきていると感じており、観光が活性化し、それにより雇用が増え人口が増えるという、核になるものが必要である。師崎の観光センターなどが将来的に核になるのでは。	・南知多町主要産業である観光は、コロナウイルスの影響を最も受ける産業であり、町としても危機感を持って対応を進めています。総合計画素案(基本施策1-4)でも、以下を追記しました。「今後さらに多様化が見込まれる観光客の新たなニーズへの対応、感染症拡大という新たな脅威への対応が重要な課題となっています。」 ・「インバウンド観光が見込めない間も、地元や近場の方も含めた国内旅行者が安心して訪れることができるように、感染拡大防止の環境づくりや、地域の魅力の再発見と発信を行っていきます。」 ・観光センターについては、基本施策1-4で、整備していくことを掲げています。	
60	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	鈴木 甚八	4 基本施策 2-4 何度も訪れたい観光・観光 (素案ページ：P40～41)	南知多町は県下でも1番の漁師町、しかし観光業もそれ以上の成長である。観光のまちでPRするためには、観光客が使用する施設の整備が急務。トイレ、観光センター等	・基本施策1-4で、観光施設等の適切な管理を行っていくことを掲げています。	
61	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	宮本 邦彦	4 基本施策 2-4 何度も訪れたい観光・観光 (素案ページ：P40～41)	海鮮料理、温泉、海水浴だけでは今後、大幅な観光客の増加が見込めないと思われますので、例えば、内海にある「砂時計の町」の砂時計とか、歴史はよくわからないが師崎の「千賀水軍」なるものを南知多町の名所にして、情報発信してはどうか。	町観光協会、事業者を含めて、町内の観光資源を新たに発掘し、磨き上げて、情報発信を行っていきたく考えております。	
62	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	岡田 濃	4 基本施策 2-5 新たなチャレンジを創る企業支援 (素案ページ：P42～43)	文中、「社会的起業家」との記載がありますが、単に「起業家」とせず、「社会的」と付してあるのは何か特段の意味があるのでしょうか	・前段で「地域の課題解決に取り組む社会的企業」と記載しており、「社会的企業」は地域の課題解決に取り込むNPOなどの営利を求めない団体等を指す言葉として表記しています。ですので、後段の部分につきましても、意図して「社会的」と付しています。	
63	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	秦 由岐穂	4 基本施策 2-6 価値ある産業を残す事業継承支援 (素案ページ：P44～45)	一空き家バンクのさらに充実を。空き家リノベーションへの支援を。一UJターン人材への町としての働きかけ。UJターン希望者に、南知多の行政サービスがひと目でわかるわかりやすい広報、ホームページが必要だと思います。UターンJターン希望者が様々なキーワードのネット検索できがした時、「南知多」のサービスにたどり着けるようなわかりやすい広報活動が必要ですよ。一「若い人に帰ってきて欲しい、町は歓迎している」という空気を役場から。ふるさとお祭り祝いや、移住歓迎お祝い品など地元の商品の配布。ささやかなことですが「この町の産業を元気にするために一緒に頑張りますよ」という気持ちを町民へ届けられるのでは。役場で住民票移動の手続きをした時にそういうお手紙一枚でもいいのにつくといと思います。	・UJターンなど移住促進には、移住希望者に人気の高いウェブサイトやプラットフォームの活用が必要であり、町広報の課題の一つです。基本施策1-5、6で以下を追記しました。「移住希望者に伝わりやすい情報発信。」 ・その他、総合計画素案では多くの箇所に移住の促進について触れていますが、空き家活用、広報や役場での歓迎も含め、アクションプランや個別の事業で具体化を検討していきます。	
64	総合計画 素案 第3章 基本構想	第3回	酒井 友之	4 基本施策 2-6 価値ある産業を残す事業継承支援 (素案ページ：P44～45)	(2)将来像の実現に向けての取り組みは、国や県、金融機関、商工会、事業承継のノウハウのある士業、その他の民間事業者等と連携して促進します。一金融機関、商工会、事業承継のノウハウのある士業等の認定経営革新等支援機関を追加して頂ければと思います。	ご意見を踏まえ、素案を修正しました。	
65	総合計画 素案 第3章 基本構想	第3回	酒井 友之	4 基本施策 2-7 働く環境づくり (素案ページ：P46～47)	企業の人手不足を解消するため、女性、高齢者及び外国人の活用を支援します。事業所等のワークライフバランス(仕事と生活の調和)への理解を促進します。(略)一企業の求人情報発信を文庫の中にも含めるとよいのではないのでしょうか。	ご意見を踏まえ、素案を修正しました。	
66	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	澤田 晟	4 基本施策 3-1 まちと命を守る防災 (素案ページ：P48～49)	津波で住民の1割が亡くなるという試算もある。新しい家が危ない場所に建てられているため、都市計画でも安心安全に対し真剣に取り組んでいく必要がある。	・都市計画では、津波防災に対応していく方針を示しています。都市計画に沿って、住民や住宅購入希望者にハザードマップを周知するなど、具体的な取組みを進めていきます。	

第7次南知多町総合計画 審議内容について

NO.	内容	審議会	発言者	項目	発言内容	事務局意見	審議会意見
67	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	辻 眞理子	4 基本施策 3-5 暮らしを支える地域公共交通 (素案ページ: P56～57)	観光船は島民にも重要な移動手段だが、使い勝手が悪い。そのあたりも盛り込んでほしい。	・基本施策3-5(2)で、以下のように修正し、観光船も含めて検討していきます。 「自動運転などの先進技術の導入、環境に配慮した車両等の導入、地域による公共交通など路線の再編等、財政負担を抑えつつ、住民や観光客の需要に応じた移動手段を確保・充実する方法を検討します。」	
68	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	秦 由岐穂	4 基本施策 3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ (素案ページ: P58～59)	資料119頁 多様性を認める、働き方、様々な方が活躍できるという部分について、計画の中に目指すべき姿、指標が総合計画の中にある。政府の202030という、2020年までにリーダーシップをとる女性を30%増やそうという目標があるが、そのような、このくらい増やしましょう、という指標があるとよい。	・指標については、今後、毎年度進捗管理をすることを想定し、毎年度モニター調査を実施する住民意識調査の回答結果を設計しています。もっとも、ご意見の視点は本町でも重要と考えており、個別計画である「南知多町男女共同参画計画」で、「法令・条例に基づく審議会等の女性登用率」を30%とする目標設定を行っています(実績値16.5%<平成28年時点>)	
69	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	中村 修見	4 基本施策 3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ (素案ページ: P58～59)	「多様性を認め」を意図した具体的な表記や計画、管理指標がほしい。	具体的な指標については、個別計画で定める指標や、アクションプランでの各事業の指標で進捗管理を実施していくことを予定しております。	
70	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	秦 由岐穂	4 基本施策 3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ (素案ページ: P58～59)	「多様性」「誰もが活躍できる町」を実現するための方法として「社会のさまざまな分野においてリーダーシップを取る役割における女性の締める割合を増やす。ジェンダーギャップを解消し、多様な意思決定を尊重できる町づくり」を、基本施策の中に盛り込んでいただきたいと思います。第2回会議で、兵庫県豊岡市を例に挙げてジェンダーギャップについて発言しましたが、私の説明が言葉足らずでした。豊岡市は「ジェンダーギャップの解消」を非常に重視して力を入れています。例えば、役場の職員の研修は遠方への泊りをやめて講師を呼び寄りに変えて、家庭の責任の大きい女性が参加しやすい形にするなど、男性を基準とせず女性も主体的に仕事に取り組めるような工夫が随所にされています。(他にジェンダーギャップについての役場職員向けのセミナーや、キャリアデザイン研修、男性の育児取得向上など) 役場が積極的に取り組んでお手本となると共に、市内の複数の事業所へ「ワークインベーション(働き方改革)の推進」の協力をおこし、女性従業員リーダーシップセミナーの開催や、女性が再就職を始めるやすくなるよう短時間少日勤務制度の導入などをたはらさかけています。豊岡市は、女性が多様な生き方を大切にできるような様々な施策を実施し「働き方の仕組み作りが大切」という認識を住民一帯で共有し、若い女性のリターンへの転入率を回復させることが今最大の目標です。南知多町では、政府の指標である「202030(2020年までにリーダーシップを取る役割における女性の締める割合を3割にする)」という数値目標も、とてもハードルの高いものです。つまりそれだけ南知多では活躍できる人が限られているということでもあります。これは人口減少に減少する今後にとって、社会的にも経済的にも大きな損失です。山本奈緒委員が発言されたように、都会の便利さや暮らしやすさや魅力は、固定観念ではなく事実です。ただ都会では沢山の人がいるが、ひとりひとりの存在感は薄く、ひとりが役割ややりがい、活躍できる場が小さいという側面もあります。ですが「南知多には活躍できるチャンスがある」「若者や女性の意見を聞いてもらえる」「ひとりひとりの役割が大きく、大切にされる」と町民に思ってもらえるように、「能力のある人が適切なポストで活躍できる町にしたい」と発信することは、都会で育った若者や女性へ向けて大きなメッセージになると思います。女性が子どもを産むために帰ってくるだけでなく「自分の能力を幅広く活かして働くために南知多へ帰ってくる」というのを目指したいですし、私自身がそうして東京からリターンで帰ってきたので、同じように後に続く方々を引き立てたい思いがあります。今回この審議会に加わり、「自助・互助・公助」の中の「公助」の部分について、「限られた予算の中でできる公助には限りがある」というのが第7次計画の前提なのだというのがよく見えてきました。だからこそ町民の方へ「自助・互助」を願ひし、みなさんに意識してもらおうと呼びかけていくことが「町民一体となった町作り」に必要なのだというもよくわかってきました。この「多様な意思決定を尊重できる町づくり」を基本施策の中に盛り込むことは、「町民ひとりひとりが活躍できる町」という「主役は町民である」というメッセージを発信するのにもふさわしいテーマになると思います。	頂いた部分につきましては「3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ」かと認識しております。内需としての個人消費は就業数と連動することを踏まえると、女性の就業促進は、戦略3の「地域内経済循環」の拡大にも大きく影響するため重要なものと考えております。都道府県別の自治体の出生率と女性の就業率の関係性を見て、女性の就業率が最も高い島根県において、出生率も最も高くなっており、これは、過疎化が進む自治体においても、女性の就業率が向上することで、出生率を高めることができると思いますが、地域性、主要産業などの関係により、必ずしも「女性の就業率が高い＝出生率が高くなる」とは当てはまらない場合があると考えております。ですが、本町が暮らし続けられるまちであり続けるには、女性の就業は必要不可欠な要素です。また、IT産業の内、特にSNSやイーコマースなどの事業分野の主な消費者は若い女性であるため、戦略5と6を達成するうえで、女性の目線によるビジネスの展開も必要であると考えます。まちづくりにおいても、女性目線による取り組みも必要ですので、女性の社会的活躍を促進することは非常に重要な課題となっております。以上により、就業を始める女性の社会的活躍を促進することは、本町において最も重要なものであると考えているため、女性が子育てを理由に活躍の場を失うことがないように支援するために、重点政策として「子育て支援」を1審にしております。	
71	総合計画 素案 第3章 基本構想	第3回	秦 由岐穂	4 基本施策 3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ (素案ページ: P58～59)	女性の就業率が高まると出生率が低下するような社会にはいけないですね。誰もがイキイキ働けて、出生率も向上するよう女性の就業を支援していく姿勢が求められると思います。素案72ページの「3-6多様性を認め共に支え合うコミュニティ (2)将来像の実現に向けて」では、「(1)目指すべき将来像」に記載されている「町民の自主的なまちづくり活動」への支援や、「国際交流活動の充実」への取り組みが記載されていますが、「男女共同参画」については取り組みの記載がありません。男女共同参画の働き方やくらし方の町民意識の向上を促し、年齢や性別に関係なくすべての町民が意欲や能力を発揮できる社会の形成が大切です。男女共同参画の実現に向けての取り組みも加えて頂きたいです。	基本施策3-6(2)「将来像の実現に向けて」を修正しました。なお、仕事と子育ての両立は、2-7(働く環境づくり)のワークライフバランスの中で記載しています。	
72	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	中村 修見	4 基本施策 3-7 心と体安らぐ自然・住環境 (素案ページ: P60～61)	町が力を入れて取り組んでいる「ごみ減量化」や「リサイクル事業」があるので、管理指標はそれに対応した具体的なものが考えられるのでは？	具体的な指標については、個別計画で定める指標や、アクションプランでの各事業の指標で進捗管理を実施していくことを予定しております。	
73	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	秦 由岐穂	5 行財政マネジメント 4-1 職員の成長とやりがい (素案ページ: P63)	「職員のやりがい」に予算を。町職員の方が南知多町に住生所をもっている場合、住宅ローン補助や家賃補助はあるのですか？今後南知多町の職員になる方々にぜひ「南知多暮らしたい」と思ってもらいたいです。南知多に住んでいただき同じ南知多町民として当事者意識をもって現状の課題に取り組んでいただくと、何もも代えがたいこの町の力になると思います。そのために、町職員の方に南知多に住んでいただくための補助金が必要だと思います。	・住宅ローン補助はありませんが、賃貸住宅の家賃補助があります。財政、法令、町民感情などの制約条件がありますが、職員の最大限やりがいを最大限引き出すように、行財政マネジメント4-1の施策を実施していきます。 ・職員が当事者意識を持つための取組みとして、今年度から実施する住民意識調査に町職員も回答することとしました。	
74	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	齋藤 慎也	6 南知多町がとるべき戦略 (1)子育て世代の居住と就業促進 (素案ページ: P68)	所得ある＝子育て世代、町が想定する「所得ある方」の定義は？私のイメージでは、所得がある＝子育てのある程度変わった世代。どんな人に移住を望むのか？ ・子育て ・就労所得がある ・20～40代くらい ・起業意欲がある 等 キーワードを並べて、ペルソナを作ってみるとわかりやすいのでは？	・必ずしも所得＝子育て世帯ではありませんが、児童がいる世帯は、いない世帯に比べ、世帯所得が高いこともわかってきます(国調査)。 ・計画素案を策定する作業部会でご指摘のペルソナづくりを行った結果として、子育て世代としました。「ペルソナ」という言葉を使っただけではありませんが、作業部会では町へ呼び込みたいターゲット像(子育て世代)を定め、子育て世代に響くような「南知多町の強み」を意識しています。 ・なお、さらに具体的に「〇歳以上の有業者で年収〇円以上で子ども〇人以上の…」とすると、ターゲット像として細かすぎ、また町民感情として反感を感じられる可能性もあるため、現在のような形としています。	
75	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	澤田 晟	6 南知多町がとるべき戦略 (1)子育て世代の居住と就業促進 (2)高齢者の就業促進 (素案ページ: P68～69)	人口減との、協働取組として流れるは汲取ることではあるが、働く環境(仕事はある・後継者不足による労働力不足)の一つとして若い力の活用不足にあると思う。 1. と2. の関連は？高齢者の所得向上は本当に望むことか？	まず、高齢者の所得向上の必要性につきましては、内需としての個人消費は就業数と連動することを前提としており、戦略3の「地域内経済循環」の拡大にも大きく影響するため重要なものと考えております。そのうえで、子育て世代の就業促進を図るためのビジネスに高齢者が活躍することを期待しております。なお、若い力の活用不足については、御指摘のとおりですので、戦略5及び6による、若い力が活躍することができる環境整備に向けて、豊富な知識を有する高齢者の方々に活躍していただきたいとも考えております。	
76	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	澤田 晟	6 南知多町がとるべき戦略 (2)高齢者の就業促進 (素案ページ: P69)	計画を見ても若者と高齢者、それぞれの方がどんな方向で動いたらよいか分からない。(たとえば)高齢者の就業促進とあるが、何歳まで働けばいいのか。どちらかという若者にもっといい環境を作ってあげたい。	・高齢者が何歳まで就業頂くかは個人の勤労意欲や状況にもよるため、ご回答することは難しいですが、一律に就業促進を図ることではなく、日本全体で健康寿命が延びている中、就業意欲がある高齢者が就業出来る環境を作ることは町の活性化のポイントにもなると考えています。このための、表現を以下の通り修正しました。 「本町においても高齢化は進んでいますが、同時に町内の就業人口も減少している中、人手不足を解消し町内産業を活性化するためには、就業を希望する高齢者について就業を促進する環境作りが重要です。」 ・頂いた若者の就業についても重要と考えており、若者が定住し、行く行くは子育てを行っていくことを鑑み、P13の「子育て世代の居住と就業促進」にその旨を記載しています。	

第7次南知多町総合計画 審議内容について

NO.	内 容	審議会	発言者	項目	発 言 内 容	事 務 局 意 見	審 議 会 意 見 案
77	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	山本 奈緒	6 南知多町がとるべき戦略 (5) 都会にはない魅力を提示する就業と生活のモデルの創造 (素案ページ：P70)	一固定概念という言葉に違和感を感じます。生活・就業・交通面において選択肢の多い都会は、実際生活しやすいと思います。思い込みではなく、事実。その事実を踏まえた上で、南知多の恵まれた環境を魅力として発信していくことが大事なんだと思います。※また固定概念という言葉は「固定観念」が正解だそうです。	・頂いたご意見を踏まえ、以下のように修正しました。 「これは、「 都会の方が就業しやすい 」「 都会の方が生活しやすい 」という考えで、 都市部での生活を希望している方が相対的にいるためと考えられます。一方で、自然環境に恵まれた奥山漁村地域で暮らしたいと考える都市部の移住希望者は多く、また今後、Society 5.0の実現に向けた技術革新が進む中で、居住地域に左右されない就業や生活スタイルが普及することが想定され、都市部に居住するメリットは低下すると考えられます。そのため、都会にはない自然恵まれた魅力とそれでの就業と生活のモデルを創造・提示し、町内外へ発信することで、町民の転出の抑止とともに移住の促進を図る必要があります。」	
78	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	山本 奈緒	6 南知多町がとるべき戦略 (5) 都会にはない魅力を提示する就業と生活のモデルの創造 (素案ページ：P70)	都会の便利さについて「固定概念」で片づけてはいけけないのではないかと。実際には不便だから都会に行ってしまうのでは。	利便性を求めるに当たり、都会と同等のサービスを提供することは残念ながら本町においてには現実的ではなく、難しいと考えられます。そのため、現状からどのように工夫すれば求められる利便性の良さにつながるのかを考えていくとあわせて、不足した部分を補うような南知多町の良さを表現できるような取り組みと一緒に考えていければと思います。	
79	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	岡田 濃	6 南知多町がとるべき戦略 (6) 人口減少と高齢化が進む地域だからこそ「一歩進んだ」まちづくり (素案ページ：P71)	「南知多町がとるべき戦略」として、6項目が掲げられており、現状認識と課題、何が必要かが記載されているところですが、上記1～5については、「…といった、子育て支援と産業政策の連携が必要となります。」などのように、必要なことは何か（どのような政策か）が明確に記載されていますが、6については、「チャンスととらえる発想」、「強みを生かし」、「挑戦し、機敏性をもって対応」、など、1～5に比べて、「持続可能なビジネスモデルの獲得」といった例示はあるもの、より具体的なこと（今考えられる「先行者利益」とは何か）が明確には記載されておらず、全体として理想的な表現内容になっているという点でやや異質な印象を持ちました。 6については、あくまでも将来目標（よりよいまちづくり）を達成するための、町としての「決意表明」「取組方針」若しくは1～5にも通じる「総括的事項」と捉えればよいのでしょうか。（あくまでも所感であり、私として具体的な修正文案を持ち合わせているわけではありませんので、原案どおりで差し支えないと考えます。）	・後発組は「その他大勢」に埋もれ、狙った利益を得られにくいため、6では後発に甘んじることなく「先行者利益」を追求することを意図しています。 ・そのために必要な手段が、最終段落の「多くの人々の協働…機敏をもって対応すること」です。手段と目標の関係が混同していたため、以下のように素案を修正します。 「 多くの人々の協働によって…機敏性をもって対応する必要があります。 」 ・なお、協働や挑戦、機敏性などの理念的な表現について、具体的な内容はポリシーの都合上、21の基本施策、行財政マネジメントに記載しています。	
80	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	秦 由岐穂	6 南知多町がとるべき戦略 (6) 人口減少と高齢化が進む地域だからこそ「一歩進んだ」まちづくり (素案ページ：P71)	「既に高齢化に順応している地域だからこそ〜前例のないことで失敗を恐れず挑戦し、機敏性をもって対応することで「先行者利益」の獲得を目指す」というのは、非常に良い方向性だと思うのですが、この攻めの政策はp.60、「2-5安心して住み続けられる長寿社会」のどの部分に当たるのでしょうか。	・主に、行財政マネジメントの基本方針にあります。また、「高齢者も含め地域を支え合うことで、住みやすく子育てしやすいまちにしていく」ことや、「空き家などの資源やICT技術を活用した雇用の確保」といった形で、多くの施策に考え方を落とし込んでいます（2-1子育て、1-5起業支援など）。	
81	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	宮本 邦彦	7 重点政策 (素案ページ：P72～73)	南知多町に企業誘致する。効果としては人口の増加と、雇用の確保が見込めます。ただし、誘致する場所の確保と環境を整備することが前提となります。	・従来、全国の自治体が雇用確保のため産業団地開発などの企業誘致に力を入れてきました。しかし、団地開発は土地の保有・造成のリスク（売れ残りなど）が大きいため、国の支援も厳しくなっています。また、製造業の高付移転が進み、大きな用地を必要としないサービスやIT産業が発展するなど、産業構造も変化しているため、企業誘致方法を見直す自治体も多くなります。近年ではリモートワークなども普及し、必ずしも企業が立地しなくても働く場が確保できる可能性があります。 ・計画素案では、南知多町のとるべき戦略（7歳5）と基本施策1-5などで、こうした新たな環境を踏まえた方向性を掲げており、アクションプランや個別の事業で具体的な化を進めていきます。	
82	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	池戸 義久	7 重点政策 (素案ページ：P72～73)	『「子育て支援と教育の充実」「産業の活性化と雇用の確保」「定住支援」の順に、人口減少抑制のために着すべき優先順位を定め実施します。』とあるが、p.34のまちづくりの対策体系、1.まちづくりの基本目標・基本施策では、『将来イメージや町長マニフェストを実現していくため、「地元で働く仕事づくり」「地域で育むひとづくり」「安心して暮らすまちづくり」の3つの基本目標プラス「行財政マネジメント」を柱とし、…』とある。 重点政策の順位と相違があるのはなぜか。	・元々は、基本目標は町の組織や施策体系を意識した縦くし、重点政策は各施策が連携して実現する横くしという位置づけで、それぞれ別ものとして検討しました（例えば、産業活性化のための、保育の充実やインフラの整備など）。 しかし、両者の順序が違う違和感を生じるとのご指摘を踏まえ、 基本目標の順位を重点政策に合わせて①ひとづくり、②仕事づくり、③まちづくりに改めました。 ひとづくりをトップに据えたのは、南知多町をともに作り上げていく人材育成に重点に置きたい、現在任んでいる子どもたちや、今後産まれてくる子どもたちが南知多町を住む地域として選んでくれるまちづくりを行っていく必要があるからです。	
83	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	伊藤 恵子	7 重点政策 (素案ページ：P72～73)	重点政策（第8章）では優先順位1番が子育て支援、基本目標（第10章）では仕事づくりが1番となっているが、出生数75を目指すことを動機すると、基本目標も「地域で育むひとづくり」を1番にした方が住民には伝わりやすいのでは。		
84	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	山下 かず代	7 重点政策 (素案ページ：P72～73)	仕事づくり、ひとづくり、まちづくりは何か重要で、重要でないかではないので順番にはこだわらなくてもいいとは思いますが、一貫性があればいいと思います。		
85	総合計画 素案 第3章 基本構想	第1回	大塚 智之	7 重点政策 (素案ページ：P72～73)	重点施策P33の順番は①産業、②子育て、③定住でP34と同じ順番で良いと思います。若者の転出は雇用面が大きと思っています。産業支援をすることで地元に残り、活性化することで交流人口が増え、結果まちづくりに繋がると考えています。		
86	総合計画 素案 第3章 基本構想	第2回	澤田 晟	7 重点政策 (素案ページ：P72～73)	全体指標 町の存在：夢・・・挑戦／楽しみの部分はないのか。 また指標に影響する小単位の行動の取り上げは、例 ・新しい発明及び発見（名物・名品） ・NPO活動団体の設立	全体指標については、基本目標の指標にあたるかと考えております。 挑戦や楽しみの部分につきましては、毎年実施する住民意識調査にて住民のみさまと共有できればと考えております。 小単位の行動の取り上げについては、総合計画本紙ではなく、アクションプランでの取り上げと考えており、新しい発明及び発見についての意見については評価委員会が住民の方から出していただけることを期待しています。	
87	総合計画 素案 第3章 基本構想	第3回	澤田 晟	7 重点政策 (素案ページ：P72～73)	重点政策の管理指標（KPI）の数値の根拠は。	・重点政策KPIは、基本的には近年の平均的な増加率又は減少率が続いた場合よりも5%程度大きくなる水準とし、桁数の大きいものは目標値として分かりやすいように数字を丸めています。過去100%であるものは100%を維持することとしています。ただし、別の計画等で既に目標値があるものは、計画間の整合を図るため個別計画等の目標値を採用しています。 ・各KPIについては、審議会資料としてお配りした説明資料を基に、総合計画の資料編として掲載したいと考えています。	
88	総合計画 素案 第3章 基本構想	第3回	秦 由岐穂	7 重点政策 (素案ページ：P73)	「希望の保育園に入所している乳幼児の割合100%」「新規漁業就業者数6人/年」「商工会員数1000事業者」などの目標値について、これらが政策の進捗を確認する上で適切なものか、そして達成するのに現実的であるか、他に目標として掲げた方がよい項目があるかなど、この目標値については慎重な議論が必要だと思っております。判断が難しいです。もともと、第一回審議会で計画されていた「産業団体・活動団体・子育て世代へのグループヒヤリング」で各分野の方々からこの目標値について意見を聞いたら良かったと思えました。集まったの会の開催はコロナ禍では難しいと思いますが、例えば各産業団体や保護者の方々などにお願ひして意見をいただくことは難しいでしょうか。	・目標指標（KPI）は、施策の目指す姿と整合的なもので、かつ町として毎年確認できることなどを条件としています。また、個別計画など他の計画でも目標を定めているものは、計画同士の重複を減らすため、個別計画の目標を総合計画の目標として設定しています（新規就業者数など）。 ・目標値の考え方としては、現在の傾向がそのまま将来も続いた場合に想定される数値に、さらに努力すれば手が届きそうな分とらえ、目標として分かりやすくなるよう数字に調整しています。また、現状が100%のものは、100%を維持し続けることを目標としています（保育園）。 ・住民や関係者には、まずは総合計画の大きなビジョンを共有を共有いただき、そのために町として実施すべき具体的な内容については作業部会で検討、という様み分けをしています。そのため目標値について意見交換する場合は想定していませんが、審議会委員の皆様のご見解の各分野のご意見から数値についてご意見があれば頂けずと幸甚です。	

第7次南知多町総合計画 審議内容について

NO.	内容	審議会	発言者	項目	発言内容	事務局意見	審議会意見案
89	総合計画 素案 第3章 基本構想	第3回	秦 由岐穂	7 重点政策 (素案ページ：P73)	「希望の保育所に入所している乳・幼児の割合100%」 という表記がわかりにくいと思います。これは保育所に入所した乳幼児が希望の保育園に入れたかを指すのか、町の乳幼児全員を指すのか、この表現からは判断できません。2年前より乳幼児の入所条件はさらに厳しくなり、かなり門戸の狭いものになっています。入所条件に満たないために入所希望すら出せない「隠れ待機児童」が一定数潜在しています。ですがこのKPIは乳幼児の入所条件の緩和を意味しておらず、潜在している乳幼児を対象としていません。この表現では、総合計画を読んだ住民はKPIを「町のすべての乳幼児が対象だ」と思って読んでしまうと思います。そして実際に、町のすべての乳幼児を対象に入園希望100%受け入れを目指さなければ、KGI「年間出生数75人」の達成は不可能だと考えます。	当指標は、単なる人数（入所者数）ではなく、「希望する人にサービスが届くこと」を重視して設定しました。あらゆる指標に共通していることですが、指標は物事の一つの側面を単純化して表したものであり、それだけで完璧というものはありません。指標を数値化することは重要である一方で、数字ばかりを追いかけると本質を見失うおそれがある点には留意する必要があります。今回ご指摘ごしていただいた「隠れ待機」の解消は、子育て環境の改善のために重要な論点です。指標の分母（対象者）を広げつつ、100%が維持できるよう努力が必要だと考えています。	
90	総合計画 素案 第4章 計画実現に向けて	第3回	岡田 濃	3 基本施策と個別計画との関連 (素案ページ：P78～79)	表中の、「南知多町公共施設等総合管理計画」において、「1-7細土愛、つながりを育む文化・スポーツ」に該当すると思われる（P39参照）が、「●」が付されていない。 表中の、「南知多町都市計画マスタープラン」において「1-4個性を活かす障がい福祉」に該当すると思われる（P33参照）が、「●」が付されていない。	素案中の表を修正しました。	
91	総合計画 素案 デザイン関係	第3回	中村 修見	はじめに（掲載図）他	・黄土色に白抜き文字は見づらい。はっきり読めるように！ 同様の箇所が、P2, 3, 9, 11, 12, 16, 17, 20, 63 にも	見やすさに配慮したデザインを検討します。	
92	総合計画 素案 デザイン関係	第3回	中村 修見	3章 基本構想 1 人口ビジョンとKGI (2)少子化への対応 (3)人口流出への対応 (素案ページ：P13)	・出生と転入の黄色点グラフは判読しにくい⇒工夫を	見やすさに配慮したデザインを検討します。	
93	総合計画 素案 デザイン関係	第3回	中村 修見	3章 基本構想 4 基本施策 1-1～7 地域で育むひとつづくり (素案ページ：P20～33)	・各基本施策の上に小見出しとして掲載されている基本目標を青地に黒字の見出しにしてはどうか ⇒基本目標がわかりやすく見える1～1～1～7 同様に ・SDGsのアイコンとして、取り上げられている項目の番号と目標が小さすぎてわからない ⇒各基本施策に共通して、掲載されているアイコンについても同様。配慮や工夫が必要	各施策のページについて、基本目標ごとの色の使い分けを検討します。具体的な配色は、デザインの検討で見やすい配色に配慮します。	
94	総合計画 素案 デザイン関係	第3回	中村 修見	3章 基本構想 4 基本施策 2-1～7 地元をにぎわすひとつづくり (素案ページ：P34～47)	・基本目標2を 緑色地に黒字の見出しにする。2～1～2～7 同様に	各施策のページについて、基本目標ごとの色の使い分けを検討します。具体的な配色は、デザインの検討で見やすい配色に配慮します。	
95	総合計画 素案 デザイン関係	第3回	中村 修見	3章 基本構想 4 基本施策 3-1～7安心できるまちづくり (素案ページ：P48～61)	・基本目標3を ピンク時に黒字の見出しにする。3～1～3～7 同様に	各施策のページについて、基本目標ごとの色の使い分けを検討します。具体的な配色は、デザインの検討で見やすい配色に配慮します。	
96	総合計画 素案 デザイン関係	第3回	中村 修見	4章 計画実現に向けて 3 基本施策と個別計画 (素案ページ：P78～79)	・個別計画の表の上部に、基本目標との関わりも分かるように挿入して、明示するのはどうか、その際、この素案で統一されている色分けもすると、小さい文字の個別計画も見やすくなるのではないかと。さらに、1-7と2-1の間の縦線を太線に、同様に、2-7と3-1の間、3-7と4-1の間の縦線を太線にしてはどうか。また、個別計画名や政策名も数多くある（P69＝25、P70＝32）ので、各ページ10計画ごとに横線を太線にすると、小さくて見づらい表がより見やすくなるのではないかと。	・縦線について、製本版では1-7と2-1なども含めて各施策2ページが見開きになる想定のため、前後の仕切りは不要となります。 ・表中の縦線の太さについては、見やすくなるようデザインの際に配慮します。	
97	総合計画 素案 デザイン関係	第2回	伊藤 恵子	文章全体について	・計画書のカラーについて、特に、黄色の中の文字が分かりにくく目が疲れた。グラフも同様。 先の計画書のカラーのほうが全体的に見やすい。	見やすさを加味し、最終的にデザイン・製本する際に必要に応じて調整させていただきます。	
98	総合計画 素案 デザイン関係	第3回	池戸 義久	第7次南知多町総合計画（素案）全体について	全体的に… ・前回資料の訂正箇所や他の部分の黒色文字に黄色の網掛けは読みやすいが、P.1の図やその他の部分での黄色地に白文字では、文字がはっきりしない。また、黄色文字も同様。 ・前回資料より色のコントラストがはっきりして見やすい。	見やすさに配慮したデザインを検討します。	
99	総合計画 素案 デザイン関係	第3回	山本 多恵	全体	グラフの黄色や、黄色に白抜きの文字が見づらいです。 紙質の問題？製本すると見えやすくなるならOKです。	見やすさに配慮したデザインを検討します。	
100	総合計画 素案 デザイン関係	第3回	山下 かず代	グラフの色使いについて	高齢になっている私の目には、折れ線グラフの黄色の図、黄色や黄緑の線は見えにくい。	デザインの検討の際に、見やすい色使いに配慮します。	
101	総合計画 素案 デザイン関係	第3回	中村 修見	色使いについて	黄土色地に白抜きの文字が見にくい。	デザインの検討の際に、見やすい色使いに配慮します。	
102	総合計画 素案 その他	第1回	齋藤 慎也	その他	キャッチコピーが総合計画の内容と合致していないと思う。「人」がないため、人（ひと）が登場するキャッチコピーにした方がいいと思う。	・キャッチフレーズは町民に親しまれるとともに、各種メディアで自治体の紹介時に使用されることもあるため、町外の方に「南知多町がどんなまちか」がばっとイメージできることも重要です。 ・「太陽と海と緑豊かなまち」は総合計画のみならず、南知多町の分かりやすいイメージとして町内で定着しているかと判断し、維持することとしました。 ・その代わり、基本理念や将来イメージでは、「ひと」も含めて、総合計画が目指すまちづくりの在り方を表現しました。	
103	総合計画 素案 その他	第1回	酒井 友之	その他	これら施策における地域との協調に地元商工会との連携を盛り込んでいただき、ありがとうございます。現在、担当課（産業振興課）と三商工会局長会議を年度初めに①産業まつり②水銀街路灯新設・補修、電気料③びんき商店街補助金等を議題とした会議を開催しておりますが、今後はこの他に、産業振興会議（仮称）を開催することによって、町の基本施策個別事業計画に沿った経営発達支援計画（三商工会）の策定、または経営発達支援計画（三商工会）の策定に関連した事業を提案することができるのではないかと考えます。結論：商工会等の経営発達支援計画（三商工会）の策定は、5年ごと策定する為、こうした会議の開催により、総合計画における産業振興に関連する基本構想（重点政策）4年後の見直し、アクションプラン（具体化するための事業等）毎年度の見直しに関連づけが保たれる。面倒ですがご検討下さい。	・商工会の振興は町単独で実施できる施策は少ないため、企業・事業者とのパイプや支援のノウハウを有する商工会と連携し、互いの役割を補完して産業振興を進めていきたいと考えています。 ・来年度から本格的に実施する総合計画の進捗管理にあたっては、評価委員会にご参加いただき、町・商工会両者の取り組みを確認し、計画の見直しにつなげていければと思います。詳細な進め方は別途、個別に協議させていただきます。	
104	総合計画 素案 その他	第1回	澤田 晟	その他	本質的な問題か。 よく判らない！	第1回審議会でご説明しましたが、計画は作って終わりではなく、実行していくことが重要です。次期総合計画では、 ・計画を具体化するための事業をアクションプランに記載し、その事業には予算をつけて実行していきます。 ・達成困難で毎年把握できない多量な目標指標等を見直し、住民意識調査や外部評価により毎年度、達成状況を評価します。	
105	総合計画 素案 その他	第1回	澤田 晟	その他	協働とあるが、お互いの行動。すみ分け評価を明確にすべき！	・21の各施策で、住民や関係者の参画や行動を促すための取組みを検討していきます（総合計画素案の「住民との協働」） ・住民や関係者の行動の具体例を、住民意識調査で「あなたにできること」として記載しました。調査の回答者には、例を参考に、自身が行動できているか、自己評価していただきます。	

第7次南知多町総合計画 審議内容について

NO.	内容	審議会	発言者	項目	発言内容	事務局意見	審議会意見案
106	総合計画 素案 その他	第1回	齋藤 慎也	その他	子育て世代へ向けたLINEを使っでの情報発信と伝達し、発信のみで各種問合せはTEL対応とするのはどうか？	・町中の中には、インターネットやスマートフォンを活用できない方も数多いからため、SNSなどの新しいツールの活用を進めつつ、紙や電話なども引き続き併用が必要となります。	
107	総合計画 素案 その他	第1回	山本 多恵	その他	難しい用語がありスマホで検索しないとわからないことがあった。	・第1回審議会で口頭でご説明しましたが、「わかりやすい計画」とするために、わからない用語、わかりにくい表現がありましたら、事務局へご連絡ください。用語解説の注釈の用意や表現の変更を作業部会で検討し修正案を示させていただきます。	
108	総合計画 素案 その他	第1回	山本 多恵	その他	町の人口問題を前提として表してあり、また表やグラフを用いていてわかりやすかった。また、基本目標を3つにしほり各方面に運動させて進めていけることは効率的である。南知多の利点・魅力が自然・つながりということが各内容に記されているが、逆に言えば、それくらい現南知多にはメリットがない。若い人や子供の人口を増やす（減らさない）ことが、今後の南知多の課題であり今ある能力をどう活かすのか、さらに若い人が住むためには、南知多に足りないもの、問題点を具体的にし、クリアできる問題があれば迅速に対応する。 ・町民の意識 ・高学歴の人の職場 ・情報発信ツール（若者～高齢者） ・人が育つ町へ ・若者、移住者の意見尊重	・若い人や子供の人口減を少なくすることが最大の課題であり、そのための施策を実施する手段として今ある魅力（自然、人のつながり）を活かすことを、計画素案では全面的に意識しています。 ・町民の意識については、基本理念で多くの方にまちづくりに参加いただくことを掲げたうえで、21の基本施策では町民や関係者の方に協働いただくための取組みを記載しています。また、住民意識調査では、調査をとおして皆様の行動を促すため、個人/事業者レベルでできることを具体的に記載しました。 ・高学歴の人の職場については、従来は地方では役所や金融機関が地方の高学歴者の数少ない働く場でしたが、リモートワークなどの多様な働き方の広がりにより、地方に住みながら都市部と遜色ない仕事ができる可能性が拡大しています（コロナウィルスをきっかけに加速しています）。こうしたチャンスをつかえるという考えを、南知多町がとるべき戦略（第7章5）に掲げ、21の基本施策（仕事づくり）1-5“6などに落とし込んでいます。 ・情報発信ツール（若者～高齢者）については、様々な方法があります。SNS等の新しいツールは効果的な情報発信方法であり、多くの団体が活用に取り組んでいいるため、総合計画素案でも多くの箇所に記載があります。ただし、例えば町民が地元の情報を見逃しに話すことも立派な情報発信です。年代やツール、発信先など手段にこだわらず、それぞれができる情報発信をしていただくことが重要と考えます。計画素案では文が長くなるので全てを記載することはできませんが、「SNSや口コミ等」という表現に修正しました。 ・人が育つ町については、就学/就業で地域から転出した方も、地域に深い関係のある「関係人口」です。都市部からの移住先として地縁・血縁のある地域を検討する方が多い（国調査）ため、幼少の頃から地域への愛着を育て、将来の地域を担う可能性のある人材として教育していくという考えを計画素案に記載しています（施策2-2など） ・若者、移住者の意見尊重については、地方では移住者が地域に溶け込みづらいという現実があり、南知多町で昨年度実施した住民意識調査でも同様の意見があることから、基本施策3-6に、世代交代、移住者の地域参画等と記載しています。また、意見尊重は町民の意識が重要であるため、(3)地域との協働の部分で修正し記載を加えました。「町民が積極的に地域活動へ参加し、多様な国籍や世代など垣根を越えて交流し、地域の将来を担う若者や移住者の意見が尊重されるまちづくりを進めます。」	
109	総合計画 素案 その他	第2回	中村 修見	その他	ページ構成があまり変わっていない。こういう理由で強調、達成したいということを考える文章構成にして頂きたい。文章表現や管理指標についても、具体的な課題で指標を設定してほしい。	・基本施策について、第6次総合計画での取組を踏まえて、次期総合計画でどのように行っていくかということ整理するため、「現状と課題」と「目指すべき将来像」で整理しています。また、指標については、今後、毎年度進捗管理をすることを想定し、毎年度モニター調査を実施する住民意識調査の回答結果を設定しています。 ・具体的な施策や指標については、アクションプランや個別計画で記載・進捗を図っていく予定です。	
110	総合計画 素案 その他	第2回	伊藤 恵子	その他	・基本施策 2 1項目 3 関連する個別計画について 項目の内容に関連する計画名がすべて書かれているが、項目ごと主要計画を最初に記載すべきかと考える。例えば、1-2教育の内容が主要内容のため、南知多町教育基本計画が上位に計画、1-3では、健康づくりが主要内容のため、けんこう南知多プランが上位に とそれぞれの項目で関連が大きいものから上げたほうがいいのでは。	・頂いた内容を踏まえ、関連が大きい順に掲載を修正しました。	
111	総合計画 素案 その他	第2回	齋藤 慎也	その他	・KPIとKGIがつながっていないのではないかと、具体的に描かれていると分かり易い。（たとえば）KPIとKGIをツリー状に整理してほしい	基本目標については満足度以外に認知度、重要度も数値化し、KPIとして定めています。長い目で見れば満足度を上げていくことで「選ばれ理由のある町、絆のある町」となり、子育て世代の移住・定住が促進されてくるだろうというロジックとなります。	
112	総合計画 素案 その他	第2回	中村 修見	その他	パーセンテージなら分かり易いが、ポイントだと実感感がわきづらい	・パーセントの場合、認知度、満足度、貢献度単位でしか算出することができず、それらを総合した評価を行うために、ポイントとしています。必要に応じて、次年度以降の住民意識調査にも考え方や算出方法を記載する等、考え方をご理解頂けるよう努めていきます。	
113	総合計画 素案 その他	第2回	山下 かず代	その他	政策立案全体について 外の考え方や取組をそのまま取り入れるのではなく、南知多らしいものを考えればよいのでは。地方のよさもある。	・頂いた通り、南知多町らしきを出すことは重要と考えます。南知多町らしさについては、関係する施策の個別計画やアクションプランで具体的に進めていくことが重要だと考えております。	
114	総合計画 素案 その他	第3回	澤田 展	その他	関連する個別計画について 推進者、実行者がわかるようにしたい。	各個別計画については、所管課と結びつけられるような形での構成を検討いたします。	
115	住民意識調査	第1回	山本 多恵	住民意識調査	アンケートがわかりづらい。一度読んだだけでは理解できない。60代以降のくくりだけでいいか？	・調査は高校生以上を対象とし、「町の取り組み」「あなたにできること」などは、高校生が読んでわかることを意識して修正しました。 ・文字量については、少ない方がよい、少なくするとかえって分かりにくい、など多様なご意見を頂きました。今回は第1回の調査のため、調査の趣旨や新総合計画を理解していただくという点で、文字量は多くなりましたが、しっかり説明することを心掛けました。 ・次回以降、「もう理解できたため説明よりもシンプルさ」を求める声など、ご意見に応じて改善していきます。	
116	住民意識調査	第2回	中村 修見	住民意識調査	南知多町住民意識調査のアンケート調査募集に合わせて、PC回答に協力しようとしたが、調査項目の分量が多すぎて、かなりの時間を要するという点、また、時間的に一度に一気に取り組めなくて、途中一時保存しようとしたが、それもうまくいかず、PC上では都合2回回答記載した形になったが、結局送信できずに終えてしまいました。モニターの方には、もう少し手軽に、楽しんで回答いただけるような工夫が必要に感じました。	次年度以降のアンケート調査実施時の参考とさせていただきます。	
117	住民意識調査	第2回	秦 由岐穂	住民意識調査	・調査指標について、KIPの算出方法については、統計の知識が無いので判断できませんが、このアンケートを行う趣旨や「アンケート結果の指標を元に重要度が高く満足度が低い施策を優先的に実施する」「特に満足度を最も重要視していく」などのアンケートの活用方法について、よく理解できました。ただ、既にアンケートを実施したあとでアンケートの算出方法や詳しい活用方法をお知らせいただきたいのは、アンケートを審議する順番として適切なのか疑問を感じました。これらの内容はアンケートを検討する第一回会議の段階でアンケート草案と一緒に提示していただけたら良かったかと思えます。	今後は適切な順序での資料提供と説明ができるよう、留意していきます。	
118	住民意識調査	第2回	伊藤 恵子	住民意識調査	住民の方が満足していない項目について、どのようなところに満足していないのか、自由記述等で理由がわかれば知りたい	・前回審議会時は集計前であるためご提示できませんでしたが、今回別紙資料「住民意識調査報告書」にて、頂いた自由記述も整理しています。	

第7次南知多町総合計画 審議内容について

NO.	内容	審議会	発言者	項目	発言内容	事務局意見	審議会意見
119	住民意思調査	第2回	秦 由岐穂	住民意識調査	「目標の進捗状況を測るために住民に対して満足度調査をする趣旨は理解できるのですが、アンケートには「現状と課題」についての説明がありませんでした。「現状と課題」が伝わらなければ、そこからどれくらい目標の将来イメージに近づいたかの段階的な満足度を測ることはできないではないでしょうか。例えば私は農家なので町の漁業のことはよく知らなかったのですが、基本施策に書かれている「現状と課題」を読んでもこの町にとっての漁業の重要度がとてもよく理解できませんでした問題意識を持つことができました。現状と課題が分からないと、詳しく知らない分野については分からないし、答えようがありません。わからないままに答えることになってしまいます。住民モニターの方々には「現状と課題」を知っていただかないでこのアンケートで目標までの達成度が調査できるのでしょうか。	アンケートの紙面上、詳細な現状と課題の記載は難しい面もありますが、次年度以降のアンケート調査実施時には、新総合計画のHP上で町の掲載場所を記載する等、現状と課題をご認識頂けるよう工夫をしていきます。	
120	住民意思調査	第2回	中村 修見	住民意識調査	世代別ではどんな結果だったかを知りたい。	世代別での結果につきましては、回答者が特定できてしまう可能性があるため控えさせていただいております。	
121	住民意思調査	第2回	秦 由岐穂	住民意識調査	点数についても、回答番号1〜3の（ポジティブ）回答についてもグラデーションをつけるべきでは、今のKPIの算出方法ではグラデーションが計画に反映されない。満足度がより上がることが重要なので、グラデーションでわかる形にしてほしい。	・総合計画に載せるのは満足度だけですが、不満足に思っていない方は満足に入れていきます。今までは少しでも不満足に思う方の要望を拾ってきたが、今回は本当に困っているという方を助けるため、少しでも満足に思う方は満足に分類する形にしました。 ・ネガティブを減らしていくアンケートの採り方、施策の進め方は初めての試みではありますが、柔軟に見直しをいけるような総合計画を組み立てていきます。	
122	住民意思調査	第2回	池戸 義久	住民意識調査	回答番号3はネガティブ評価に入るのではないかと回答番号2を1にするようなところはどやうやって表現するか。	・回答番号1と2を「満足」、3と4を「不満足」とすることもでき、中間の「どちらでもない」も選択肢として考えましたが、集計上扱いが困難となるため削除しました。また、人間の心理上、2つに割り切れない指標にした方がいいのではということもあり、選択肢を二分しないで1〜3の「満足」、4の「不満足」にし、「まったく満足していない」人に少しでも満足して頂ける施策が必要という考えのもと住民意識調査を行っています。 ・今回の住民意識調査は不満を抱える方をどう減らしていくのかということに重きを置いています。	
123	住民意思調査	第2回	山下 かず代	住民意識調査	事務局から本当に困っている方を助けるために思い切って…との報告があったのでとても満足、ある程度満足、少しは満足までまとめたことは理解しています。 まとめれば住民と職員間の数値は近づく。しかし、とても満足、ある程度満足までで考えると住民意識と職員の感覚にずいぶん差があることを改めて感じた。 アンケートが終わっているのに今更感はあるが、少しは満足と、とても満足までを同じと扱うのは違和感がある。困っている方（不満を抱えている方）のことを考えているのだということを理解してもらうことが重要だと思います。合意を得ることは非常に難しいことですが、十分な説明で理解してもらえないかなと思います。	・頂いた通り、住民意識調査の趣旨・内容を理解して頂けるよう、今後とも丁寧な説明を行っていきます。	
124	住民意思調査	第2回	澤田 晟	住民意識調査 KPI指標について	数値だけでなく実感を図るべきではないか。満足度も点数化するのが重要なのではなく、上がっているか下がっているかが重要なのではないか。	・初年度のため、数値を設定していますが、ご意見頂いた通り、推移を図っていくことは重要であると考えており、今後毎年年度住民意識調査を行う中で満足度の上下の推移を把握していく予定です。	
125	住民意思調査	第2回	山本 奈緒	住民意識調査 KPI指標について	1とても満足、2ある程度満足、3少しは満足、4満足していないの、1〜3を満足として計算してあるが、3の少しは満足とは、「満足していない部分の方が多い」「少し物足りない」と言い換えられるのでは？そこを満足として数値化するのには疑問を感じます。そもそも少し満足って言葉に違和感を感じます…。	・ご意見頂いたように「少し満足」というのには、満足していない部分もあると意図されている回答者の方もいらっしゃるかと思いますが、今回の住民意識調査では、本当に困っているという方を助けることをポイントとしているため、少しでも満足に思う方は満足に分類し、「不満」と感じている施策を抽出し、改善を図っていくことを目指すこととしています。	
126	住民意思調査	第2回	千頭会長	住民意識調査 KPI指標について	「少し満足」が「満足」に上がってもKPIにつながらないが、施策によっては「満足」が増えることが大切である。KPIの算出のためだけでなく、住民意識調査を多面的に使っていくことが重要で、今後はモニターアンケートの使い方の説明が必要ではないか。	・頂いた通り、住民意識調査を今後多面的に活用していくことは重要なため、より多面的な活用方法の検討は継続的に検討していくほか、次年度以降の住民意識調査では活用方法も可能な範囲で説明をしていくことを検討します。	
127	住民意思調査	第3回	澤田 晟	住民意識調査結果 自由記述	全般として伝わる意見ばかり。 話し合いの相違、何度も同じことを聞き、繰り返し感じる。進んでいない感がお互いの相違理解を生んでいるのか、実践している人達は頑張っている事ではあるが、関連者間の共有化不足がありそうなお気がする。	このようなお互いの相違を少なくしていくため、モニター制度、施策評価委員会を取り入れることで、町の事業を知ってもらう仕組み、住民の意見を直接取り入れる仕組みづくりを構築していきます。	
128	住民意思調査	第3回	池戸 義久	住民意識調査 結果について	・各施策における回答結果（自由記述）では、様々な立場での多くの意見が出され参考になると思う。 ・回答者属性の年齢構成で60歳代以上が0人であった理由が、ネットでの調査であったからでしょうか？私も意識調査に回答しましたが、反映されていないのはなぜでしょうか？（因みに60歳代ですが…）	自由記述のうち、具体的な要望等については、町としても具体的な事業で対応できるか検討します。抽象的な意見についても、様々な立場の考えを知るため活用していきます。	
129	住民意思調査	第3回	中村 修見	住民意識調査 結果について	各ページの円グラフにも文字や数字の大きさの工夫を！ P94 男女比 P98 満足度、重要度、認知度、貢献度 P100、P102、P104、P106、P108、P110、P113、P115、P117、P119、P121、P123、P125、P128、P130、P132、P134、P136、P138、P140、P142、P143	円グラフは棒グラフに差し替えました。なお、細かい数字等も補足として掲載してはいますが、グラフを円画として大まかな違いを把握していただきたいと考えています。	
130	住民意思調査	第3回	秦 由岐穂	住民意識調査 結果について	満足度において、『最も満足度が高かったのは「地域で大切に子育て環境」(89pt)』とありますが、子育て環境は「とても重要」と考える人が81%もいるにも関わらず「満足していない」と答えた人が23%もいて、なぜこれが「最も満足度が高い」という見方になるのでしょうか。 満足度の計算は、第二回審議会資料p110によると、重要度で1とても重要〜3少しは重要を回答した人に対して、満足度で1とても重要〜3少しは重要を選択した人の割合でポイント化するとのことです。それで89ptになるというのがよく分かりません。「とても満足」は0、「ある程度満足」も11%しかないのにこれが「最も満足度が高い」という結果になる算出方法なのであれば算出方法を見直した方がいいのではないのでしょうか。	・満足度について、町として事業を展開するにあたって目標とするのが資料の満足度①であり、施策を重要と考える方をターゲットに不満を解消するという観点で満足度の算出方法を定めています。 ・1〜1子育て環境に関しては、ポジティブな回答(とても満足〜少し満足)86人を、とても重要〜少しは重要と答えた97人で割った割合(四捨五入)89%が、満足度①のポイント89となります。	
131	住民意思調査	第3回	秦 由岐穂	住民意識調査 結果について	『「満足度」を高めるためには認知度と貢献度を高める取り組みが必要であると考えられます。』この考え方がよくわかりません。不満足が多くて満足している人が少ない施策が、個人の自助や共助による貢献で満足度が上がるものなのでしょうか。公助の不足ではないのですか。	・前回資料中の表現が、基本的な考え方と不整合でしたので、修正しました。基本的な考え方はご指摘の通り、満足度は主に町の事業(公助)に対する満足度ですが、まちづくりは町内外関係者みんなが進めていくという観点で、「認知度」「貢献度」なども含めた基本目標としています。	
132	住民意思調査	第3回	山本 多恵	住民意識調査 結果について	住民意識調査の回答者年齢構成で60代以上が0%になっていますが、60代以上の方にはアンケートを行っていないのでしょうか？ 70〜74歳・75〜79歳など70代のみ細かい記載があるのは理由があるのでしょうか？	資料に集計誤りがあり申し訳ありません。修正版をお配りしました。	
133	住民意思調査	第3回	山下 かず代	住民意識調査 結果について	具体的な要望等の内容の中には要望というここので仕方がないとは思いますが、自分自身も普段気づかない項目も多かった。 ・訪問保育の希望 ・役場の人の言葉遣いひとつで気分を書したりする。 親のおむつを取り替えたことがない人に偉そうに言われたくない。 ・姉妹都市を都市部とする ・・・・・・・・ モニターの意見は思いつかないことや知らないことも多く、重要だと感じた。	モニターの皆様は各分野の知見をお持ちの方も多いため、引き続きアドバイスを頂きたいと考えています。	

第7次南知多町総合計画 審議内容について

NO.	内容	審議会	発言者	項目	発言内容	事務局意見	審議会意見案
134	住民意思調査	第3回	秦由 岐穂	住民意識調査結果について	「重要度、認知度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知りその重要性を理解いただくことが有効と考えられます。」とありますが、重要度・認知度が高いものが満足度も高かったとして、これらは逆性があるものなのではないでしょうか。認知度は「当事者性」を含んでいます。防災なら町民みんなに関係がありますが、例えば障害者福祉や子育て政策など、その当事者にならないとわからないことがたくさんあるのではないかと感じています。認知度は各政策で一律に上げられるものではないと思いますし、認知度が高いのは当事者が多いということも考えられます。なので「満足度を高めるためには施策を知ってもらうのが有効」というのは、どのようなロジックでそうなるのかイメージするのが難しいです。	・満足度に影響を与える要因は、行政サービスの質、利用経験や政策認識など多々考えられます。当事者は感じ方が異なる可能性は事務局としても認識しており、アンケートの企画段階では施策ごとに認知度・関与度・満足度を調べそれぞれの関係性を分析するという案もありました。しかし、今回のアンケートは満足度焦点を当てて調査するのみではなく、アンケートを通じて町の取組みを知り、まちづくりに関心を持ち、さらに行動につなげていただくことを目的とし、今回のような形で作成しました。 ・逆性についてはご指摘のとおり、統計上の相関は因果関係を示すものではなく、あくまで解釈や仮説となります。一方で認知度に関しては、全施策をとおして比較的高い相関がみられたため、施策の連いや関与の有無を差し、知ることで満足には関係があると考えています。そこに何らかの因果関係があるとする。知らなければ満足しようがない＝知ることで初めて満足する可能性が生まれる、という関係が土台にあると考えています。ただし、知ってもそれが期待に届かない場合は逆に満足が低下すると考えられるため、単に知ればいっわけではなく、より良いサービスを目指すことは大前提と考えています。 ・重要度、貢献度については一部の施策で相関が確認されましたが、その関係は明確ではありません。しかし調査研究が目的ではないため、まずは認知度と同様に仮説を立てて取り組んでいきたいと考えています。	
135	住民意思調査	第3回	池戸 義久	住民意識調査結果について	☆各施策において満足度はやはり95ptは必要であると考えてるので、この設定は良いと思う。	まずは、施策を「重要と考える方のほとんど全員が、不満ではない」状態を目指していきたいと考えています。	
136	住民意思調査	第3回	池戸 義久	住民意識調査結果について	☆前回資料の集計結果の間違いが何故起こってしまったのか？ ☆「年齢構成」について、60歳以上とまとめるより70代、80代以上と分けた方が良いのでは。（高齢化が進む本町であるので） また、20代以下ということは、29歳以下～未成年と幅広いので、やはり20代と20歳未満は分けた方が良い。	混乱をお招きし、申し訳ございません。コロナウィルス対応の中でも間に合わせようとして努力しましたが、作業を急ぐあまり委託事業者の集計を確認しきれていない部分がありました。	
137	住民意思調査	第3回	池戸 義久	住民意識調査結果について	☆棒グラフが同系色のグラデーションなので分かりづらい。網掛け等もプラスした方が分かりやすいのでは…。個人的には棒グラフより円グラフの方が見やすい	・現在、総合計画と概要版についてデザイン会社と調整を行っており、その中で見やすい配色などもアドバイスを頂ながら、アンケート結果報告書の配色も改善したいと考えています（ご希望の色があればご教示ください。） ・グラフは円と棒のいずれが見やすいか異なる意見が出されましたので、円弧よりも直線の方が長さが分かりやすいという一般原則に基づき、一旦、棒グラフとさせていただきます。	
138	意見交換会	第2回	秦 由 岐穂	意見交換会について	ヒアリングを事前に行い、その内容を踏まえて住民会議を行った方がスムーズではないか。	・ヒアリングは実施できませんでしたが、事前の資料送付、グループワーク内容をできる限り、意見の出しやすい内容にする等の対応をさせていただきます。 ・住民会議の参加者には事前に資料となる概要版の送付をさせていただきます。	
139	意見交換会	第2回	池戸 義久	意見交換会について	当日に計画内容を聞いて理解することは難しいため、住民説明会の参加者が決まっているなら事前の資料配布が望ましいのでは	・ご意見を参考に中学生、性別、年代などを考慮しグループ分けをさせていただきます。 ・ご意見を参考に中学生を主としたグループ分けをさせていただきます。	
140	意見交換会	第2回	大塚 智之	意見交換会について	グループ分けをする場合、本音が出やすいのは担任に近い者同士や移住者同士などで分けると良いと思いましたが、中学生は大人に混じっての発言が難しいため、中学生だけのグループを組むようにしたほうが良いのでは	・ご意見を参考に中学生を主としたグループ分けをさせていただきます。	
141	意見交換会	第2回	斎藤 慎也	意見交換会について	中学生の数はどのくらい見込んでいますか。ターゲットにするなら事前に中学校宛に資料送付してはどう開催内容について、どこかの地区で動画で録画し、当日参加できなかった人へ公開できないか。	・学校を通じて、生徒会などの代表生徒にお声かけいただき、参加をさせていただいております。 ・住民会議については、資料をHPへ公開して、多くの住民のみならずからも意見を頂けるようにしており、9月22日まで意見を受け付けております。	
142	意見交換会	第2回	池戸 義久	意見交換会について	内容を不場で頂き、どう思うかを述べ、使うことを住民説明会で話すのを（ワールドカフェ）二時間でやると消化不良ではないか。	・2時間という限られた時間の中、またコロナ禍での意見交換会となり、ワールドカフェ方式ではなく通常のグループワーク形式に対応させていただいております。参加された中の方には消化不良の方もいたかもしれません。また別途多くの町民のみならずからもご意見をいただけるようHPへ資料や意見記入用紙を掲載させていただきます。	
143	意見交換会	第2回	齋藤 慎也	意見交換会について	貢献度に関していえば、住民会議でも私は何ができるかということを知り時間を作してほしい	・頂いたご意見を踏まえて、住民会議を実施します。	
144	意見交換会	第2回	秦 由 岐穂	意見交換会について	4地区では中学生の参加もあり、グループワーク形式によって活発に意見交換がなされ、有意義な会であったと思う。 師崎地区に参加した郷土愛が深い中学生からは、次世代を担う年代として、将来を考えた想いや率直な意見を聞くことができた。	住民会議での意見交換や、その意見を積極的に総合計画に反映することで、まちづくりに参加していると実感いただき、今後の積極的な参加にもつながってほしいと考えています。	
147	意見交換会	第3回	秦 由 岐穂	意見交換会について	意見交換会に参加しましたが、総合計画の中身についての説明ではなく、概要版の文章や図解のレイアウトデザインについての意見交換をしました。これは住民が考えることなのだろうかという疑問がありました。町の好きなところ、自分がどんな貢献ができるか、キャッチコピーをそれぞれ3分ほど考えて各々が意見を出し、1グループで意見を集約しましたが、総合計画のまちづくりの中身を住民へ説明して「南知多をどんなまちにしていきたいか」の意見を募った。という形ではありませんでした。町の中学生から未来の南知多への思いを直接聞けるチャンスだったのですが、パブリックコメントでも町民の意見は聞けますが、町長が世代を越えてそれぞれお互いの意見を交換し、まちづくりについて考えを深めることは、パブリックコメントではできません。意見交換会がそういう機会になるといいなと思っていたので残念でした。	・意見交換の在り方については、様々なご意見があることと思います。「どんなまちにするか」というテーマも事務局側で検討しましたが、多様な世代・多様な参加者が想定される中で、議論するテーマが「難しい」と感じられ、とっつきにくくなる可能性を考慮しました。 ・概要版を分かりやすくすることは重要ですが、まず手元に届く一読むために聞く、という行為が必要で、そのうえで、分かりやすい内容で理解できる一関心を持ち参加する、という流れが生まれる可能性があると考えています。 上記の最初のステップである、手元に届くこと、聞くことを促すため、まずは総合計画というものの存在を知る、概要版だけでなく自分たちが参加した・分かりやすく作ったという実感・達成感を感じる。そこを入口として、まちづくりに参加し町の将来について考えるきっかけとなることを目指し、誰もがとっつきやすいテーマであることを重要視し、今回のテーマを設定しました。	
148	アクションプラン	第3回	池戸 義久	アクションプランについて	文字が小さくて読みづらい。 実際の紙の大きさはA3でしょうか？	様式に関してはA4となります。 ご意見を踏まえ、見やすさを考慮し基本施策ごとに見開きでの構成に変更しました。	
149	アクションプラン	第3回	秦 由 岐穂	アクションプランについて	目次にある資料が欲しいです。	第4回審議会にて、アクションプランの内容についてもお示しさせていただきます。	
150	アクションプラン	第3回	秦 由 岐穂	アクションプランについて	令和3年以降の予算額の増減について、この表をどう読み取ったら良いのかがよくわかりません。	予算額の増減については、実施計画調査表の下部、特記事項へ増減の根拠について掲載をしておく予定をしております。	
151	アクションプラン	第3回	秦 由 岐穂	アクションプランについて	実施計画調査表について、あまり変わらないような気がしてしまいます。元々第一回審議会の資料には「複雑でわかりにくい、住民だけでなく職員にも理解、共有されたい」という問題点がありましたが、この新しい実施計画調査表で各事業と総合計画とのつながりが明確になって職員の方から見てもわかりやすいものになりましたか。また「実際の事業の執行に当たり計画が形骸化しており実効性乏しい」「政策や事業の優先順位が明確でないため(中略)財政の制約に対応した取捨選択が行いにくい」という元々の課題がありました。また、職員の方から見てこれらは解消されそうですか。施策評価シートについては、外部評価と予算決算の連動が十分で無いという問題は解消されそうですか。実際に携わる職員の方から見た意見を伺いたいです。	現在使用している実施計画調査表及び事業評価書については、この様式を使用し始めて3年になります。職員へ徐々に浸透させてきていると思っております。令和3年度からアクションプランとして新しい取り組みとして始動するに当たり、9月に第1期アクションプランを公表し、第1期アクションプランの策定に向けて、内容についてはもちろんですが、様式についても住民、職員の意見を踏まえつつ、適宜修正と改善を行っていく予定をしております。	
152	アクションプラン	第3回	秦由 岐穂	アクションプランについて	・他の自治体の施策評価シートを見ると、管理指標KPIが目指標と現状値の折れ線グラフで示されているものがあり、達成までの推移がとてわかりやすいと感じたので、ここにもグラフがあると良いと思います。 ・施策評価シートには、3.「目指すべき将来像」の記述がありますが、審議会でも内容が議論されている。「将来像の実現に向けて」の各政策の取り組み目標についての記載がありません。次項の4.で実施している取り組みを書く項目がありますが、総合計画で示した取り組みの目標と、実際に取り組む項目を比較できるように対になる形で欄を作っていただくとわかりやすいと思います。 ・成果を踏まえた今後の方向性や改善点を記載する欄が必要だと思います。 ・施策評価シートなので、総括評価としてA～D評価が必要だと思います。（A順調、B概ね順調、C改善が必要、D見直しが必要など） ・重点政策の管理指標「赤ちゃん訪問100%」など、該当する各政策上でも成果指標の項目を設けて達成度を評価していただきたいです。 ・満足度、重要度、認知度についても数値だけでなく推移が分かる表があるといいと思います。	ご意見を踏まえ、目指すべき将来像と、それを実現するための取組み、具体的事業を記載しました。また、施策の進捗を評価するための指標（満足度、重点政策KPI）と、事業評価欄を設けています。なおグラフについては、数字のみの記載が最もシンプルで見やすいと考え、表のみとしました。	

第7次南知多町総合計画 審議内容について

NO.	内容	審議会	発言者	項目	発言内容	事務局意見	審議会意見
153	アクションプラン	第3回	山本 奈緒	アクションプランについて	今回の総合計画パブリックコメントやキャッチコピーの住民投票のお知らせを目にする機会が少ないように感じました。そしてSNSでのお知らせが出遅れていると思います。とくにパブリックコメントはたくさんのページを読み理解し考えるのに時間が欲しいと思います。広報でお知らせした。ホームページに掲載した。と同時にSNS配信し、みなさんに周知していただくようにしてはいいかでしょうか。メールSNSは見逃ししやすい情報です。複数回のお知らせも必要かと思ひます。私が見逃していただけないで、ご検討よろしくお願いします。	住民メール、Facebook、Twitterにて複数回の配信は実施しましたが、広報、ホームページ掲載時点での配信は出来ておりませんでした。今後、住民への周知についてはご意見を踏まえた対応に努めていきます。	
154	アクションプラン	第3回	桑由 岐穂	アクションプランについて	地方自治における「行政評価」の評価基準は理論的に5つあり、①プロセス評価（組織の活動ルールや作業工程でスムーズに進んだかどうか）②インプット評価（投入する人員・資材・施設・建物が適正だったか）③パフォーマンス評価（アウトプット・出来高・実績）④効率性評価（インプットに対してアウトプットの質や量は最大だったか）⑤有効性評価（政策の効果と長期的視野も含めた影響）だそうです。南知多町の事業評価書では「基本施策有効評価（妥当性）」と「費用対効果評価（効率性）」の2つに集約されています。「基本施策有効評価（妥当性）」は、③パフォーマンス評価が⑤有効性評価（政策の効果と影響）と共に評価されるものだと思います。「費用対効果評価（効率性）」は、③パフォーマンス評価と、④効率性評価（インプットに対してアウトプットの質や量は最大だったか）を評価するものだと思います。この2つの評価軸とは別に、②インプット評価（投入する人員・資材・施設・建物が適正だったか）を別枠で評価してはどうでしょうか。これは投入した予算とコストを単体で評価することで、予算編成や補正予算に反映させやすくなるのではないかと考えたからです。また、①プロセス評価（組織の活動ルールや作業工程でスムーズに進んだかどうか）を別の枠組みで評価してはどうでしょうか。というのも、上記の2つの評価軸は、政策の費用対効果なども住民への効果と影響が優先されると思われるため、役場職員の方々の作業軽減が進んでいくのではないかと考えたからです。担当者によるプロセス評価が加わることで、業務に関わる職員員の取り組みについてもきちんと評価がされてほしいと思います。	本町では平成25年度にPDCA推進プロジェクトチームを立ち上げ、新たに行政評価の導入をしました。当初は事務事業評価書の中で①事業実施状況、②総合計画貢献度、③生活貢献度、④必要性、⑤効率性、⑥人口目標貢献度の6つ評価項目で評価を実施していました。「効率的で質の高い行政の実現」「住民視点で効果的な行政施策の推進」「町民に対する行政の説明責任を果たす」の3つの目的を充実させるために毎年度のように見直しを実施してきました。また、見直しの中で評価事務と予算、決算事務、総合計画・実施計画事務との連動性を高める事務の経路も固まりました。地方自治における「行政評価」の評価基準とは違う視点での評価となっていますが、上記3つの目的を充実させるための改善に努めます。	
155	パブリックコメント	第3回	池戸 義久	パブリックコメントについて	より多くの住民の方々からの意見が寄せられるような周知の方法を…。	効果的に知っていただく方法を検討していきます。	
156	パブリックコメント	第3回	齋藤 慎也	パブリックコメントについて	・意見の提出方法として、町ホームページ上で入力フォームを設置して、そこへ入力する事はできないのか？ ・郵送とあるが、郵便料金は提出者負担になってしまうのか？ ・意見書を役場へ持参した場合、役場1階に受付BOX等の設置は考えていないのか？ ・閲覧場所が1階住民課にあるなら、受付BOXも住民課にあるのもいいのでは？	インターネットのほか、郵送やFAX、投票箱によりご意見を頂きました。	
157	パブリックコメント	第3回	大塚 智之	パブリックコメントについて	〈項目、意見等の内容〉の記入例みたいなものがあるとよいかもかもしれない。	今回のパブリックコメントでは、記入例を用意しておりません。今後、住民等へご意見を頂く際には、目的に沿った記入例の掲載を検討していきます。	
158	パブリックコメント	第3回	山本 多恵	パブリックコメントについて	パブリックコメント・町民から意見募集について 総合計画に対して、町民がこの長文を読んでも理解し、コメントを求めている、回答するかは少数ではないでしょうか？もちろん方法の一つとして実行することは必要と思いますが、もっと精度の高い、確信をついた意見をともめるなら、各団体、事業所で集まり時間を作ってもらい、ピンポイントで意見を伺うことができれば理想だと思います。（例えば、水産業のことなら漁業組合・子育て、教育環境のことなら保育所役員やPTAなど）また、町内の中高校生・大学生に将来、南知多町に住み続けたいか？どういう環境なら住みたいか？というアンケートを取って意見が聞きたいと思いました。	・パブリックコメントについては、あらゆる方に閲覧と意見の機会をご提供するという趣旨のため、ご指摘のような問題があまりありません。人数は少ないものの各分野で踏み込んだ意見を頂く場として、審議会やアンケートを実施。さらに概要版と一緒に作成し身近に感じてもらう住民会議と、役割をすけ分け補完しています。 ・中高校生・大学生の住みたい環境については、モニターアンケートの設問追加などによる実施を検討します。	
159	その他	第2回	山本 多恵	まちづくりの方向性について	若者にも高齢者にも住みやすい町にしたいことが必要。	・若者が住みやすい町、高齢者が住みやすい町にするためにどのような取り組みが必要なのかを、毎年実施する住民意識調査や評価委員会で中て聞いていければと考えています。その為に次期総合計画から始める住民参画の仕組みづくりを幅広く方へ知っていただく必要があると考えております。	
160	その他	第2回	澤田 晟	協働の取り組みについて	協働取組は多くの垣根を開くことにあり、それぞれの役割の中で制約されることの理解が必要となる。お互いの理解度を上げるためには伝達のペースを共有化すること、人から人への伝達はストレートに伝わらず、時には届かないことが多い。関連者間の役割を明確に隙間を作らない取組を望む。	「協働によるまちづくりをうまく進めるためには、関わる方々の考え方に違いがあり、お互いの理解を深めることが重要なことであると思います。そのためには関係者をつなぐ「接着剤」のような存在が必要と考えております。まず手始めに公務員が積極的に関わりと交流を深め「地域をつなぐ人材」を担えるよう努めていくことで、関係者間の垣根を開き、行政と住民での「共創によるまちづくり」をしたいと考えています。	
161	その他	第2回	中村 修見	「地域共生」について	地域共生について謳っているが具体的にどんな人かわからない。老若男女、いろいろな世代がいるが、そのような細かい要素があるとよい。障がい者、LGBTなどへの配慮、外国人実習生なども地域住民なので、具体的な記載が要るのではないかと。	・ご指摘の点については、地域住民という広い概念を一部提示している箇所はございますが、「2-7働く環境づくり」や「3-6多様性を認め、共に支えあうコミュニティ」などの項目で、具体的に想定している属性の方について例示をしています。施策ごとに想定している地域住民が異なってくるかと存じますので、これ以上の具体的な記述については個別計画やアクションプラン等で記述していく予定です。	
162	その他	第2回	桑 由岐穂	審議会スケジュールについて	・事務局の皆さまは多大な資料作りや集計や手配でもとても多忙と思うのですが、できれば審議会に必要な資料は審議会当日や後日ではなく審議会前日を目途として考える時間が欲しいです。審議会委員はそれぞれ自分の専門分野についてできる限り皆さんの意見や事前にお聞きし、それをご意見をまとめた上で審議会でご意見交換できたら活発な審議ができると思っています。今後、例えば住民会議での概要版(案)のサンプルや住民会議の結果報告についても、現状のスケジュールだと審議会委員から個別にメールなどで意見を集める形になると思いますが、本日は審議会委員のみ皆さんの意見を聞いて参考にしながら自分らの意見を考えています。みなさんと意見を共有する形で進行は難しいでしょうか。	・審議会に必要な資料につきましては、可能な限り事前送付に努めさせていただきます。また、事前に頂いた意見についても皆様で意見が共有できるよう事前に送付させていただきます。 ・中には当日の資料になってしまう場合もありますので、そちらにつきましてはご理解いただければと思います。	
163	その他	第2回	桑 由岐穂	KPI指標について	このKPIは満足度を向上させるのではなく、満足していない（切迫した）ところへ予算を使っていく考え方があり。この考え方については、住民に説明、合意を得ながらやっていく必要があるのでは。	・お考えの趣旨の通り本KPIは「不満を抱える方」をどう減らしていくかということに重きを置いています。 ・ご指摘の通りこの考え方については、住民の方に説明、合意を得ながら進めていきたいと考えております。	
164	その他	第2回	桑 由岐穂	UIJターンについて	兵庫県豊岡市では回復率という数値を採用している。女性が戻ってくるように子育て支援に力を入れた。こうした記入について指標を作ることができないか。例えば、出て行った人のUIJターン比率が分かれば、帰ってくる人は女性が多いのか、男性が多いのかによって支援の方法が見えてくる。指標があることで、若者に戻ってきてほしいのであればどのような対策をすればよいか分かるだろう。	・兵庫県豊岡市の取組みについて、今後UIJターンを進めていく中での参考とさせていただきます。南知多町で暮らす良さや魅力を伝える仕組みを行政と住民で考えていけたらと思います。	
165	その他	第2回	桑 由岐穂	総合計画の延期について	常滑市が第六次総合計画の策定を一年延期する発表をしました。常滑市長のツイッターでは「コロナの影響で市民会議や中学生会議が開催できず、また人口や財政の見通しも不透明となり延期を決定」とあり、常滑市のHPでは「市民の皆さまからご意見、ご提案をいただく機会が十分に得られない見込みであることから」とのことです。南知多でも、子育て世代・中学生、各団体での話し合いやヒアリング、それらの意見を踏まえた住民会議がとても重要だと考えますが、コロナの影響で町民のみなさんから十分に意見を出してもらうのが難しい状況なのではないかと心配です。それに役場職員のみなさんの業務的にも、今はコロナ対応に注力したい状況なのではないかと心配しております。南知多では第七次総合計画の策定延期は検討されているのでしょうか。	・第七次総合計画の策定延期は検討しておりません。頂いた通り、住民のご意見を聞くことは重要と考えており、毎年実施する住民意識調査や、評価委員会にて住民からの意見を募り、アクションプランへ反映させることは、より具体的にもって住民の意見を取り入れる仕組みづくりになることを期待しております。令和3年度で策定して終わりではなく、南知多町の状況の変化に合わせて総合計画を4年度に見直し、修正できればと考えております。	

第7次南知多町総合計画 審議内容について

NO.	内 容	審議会	発言者	項目	発 言 内 容	事 務 局 意 見	審 議 会 意 見 案
166	その他	第3回	澤田 晟	今後の取組について	各アクションプランとも満足度UPについて、「知らなかった」「やってみよう」と感じている人への対応がポイントとなりそう。住民参画を期待するのなら、住民が関心を持つやりたいことがやりやすい環境をつくることと思う。	アンケート結果の分析では、施策の認知度が高いほど満足度が高いことがわかりました。満足度向上のため、施策について知っていただく効果的な方法を検討、実行していきます。 施策への貢献度については満足度と強い関係は確認できませんでしたが、南知多町全体でまちづくりを進めていくためには参画が必要です。「やってみよう」と回答した方の意見を踏まえ、今後の施策・事業を検討していきます。	
167	その他	第3回	秦 由岐穂	審議会の進行について	「少しは満足」を「満足」に分類できるのか、という意見が複数の委員さんから出ました。KPIへの疑問・意見が多く上がっていますが、反映されていると感じられません。 将来イメージの「絆」という文言についても、複数の委員から意見がありました反映されませんでした。複数の委員から共通して出た意見については、もう少し対話や議論が必要な気がします。	・対話や議論について、ご意見を踏まえ、次回審議会では議論いただけるよう進行を見直しました。 ・「少しは満足」を「満足」に分類できるのかについて、「とても満足」「満足」「少しは満足」同じものとして扱う意図はありません。ただし、アンケートは一般的に選択肢の中央付近に回答が集まること、中央付近の回答の差は回答時の気分などで容易に左右することが想定されます。その中で「不満」を選択する方は、マイナスの感情が強いものと想定しています。予算、人員などの限られた経営資源をどこに重点的に配分するかは行政としても重要であり、不満を多く持つ方を転出予備軍＝ターゲットとして捉え、まずはこれらの方々の不満を解消することから始めようという趣旨で、「不満」とそれ以外を大きく分けています。	
168	その他	第3回	中村 修見	審議会の進行について	審議をスムーズに進めるため意見・質問を 事前に提出し、資料としてまとめられています。 回を重ねる中、多くの貴重な意見が出されていますが、審議の中で、十分に生かされていないように感じます。 例えば、第3回に備えて出された意見もまとめ一覧で、確認でき、一部関連意見発表の機会もありますが、審議が不十分なまま、事後回答を待つ…という流れになっているような気がします。いかがでしょうか。 審議時間の制約もありますが、出された意見の共通項目や審議必要項目などを焦点化して、審議できるようにならないものでしょうか。 審議会の中で、ある程度納得や解決できることの確認をする、そして、その場ですぐに対応できないことについては、今までのように「～～の反映について」で示していただけたいと思います。	ご意見を踏まえ、審議会の進行を見直します。	

(案)

令和2年11月 日

南知多町長 石 黒 和 彦 様

南知多町総合計画審議会
会 長 千 頭 聡

第7次南知多町総合計画の策定について（答申）

令和2年5月8日付2南知多企第16号で本審議会に諮問されました第7次南知多町総合計画につきましては、計画（案）を慎重に審議した結果、概ね妥当であると認め、下記の意見を付して答申します。

なお、総合計画の推進にあたっては、本審議会の意見を尊重し、重点政策を始め、計画に掲げられた「つかう計画」である住民意見の反映について確実に推進されるよう要望します。

記

1. 総合計画の内容及び進行管理について住民や関係者に丁寧に説明するとともに、住民等がまちづくりに積極的に参画できるよう、わかりやすい情報発信に取り組まれない。
2. パブリックコメントや住民意識調査の意見について、聞くだけで終わることなく、今後の実現を検討されたい。
3. 基本構想に掲げた将来イメージ、とるべき戦略、重点政策の実現や、基本目標、KGIの達成を意識して、事業や日々の業務に取り組まれない。
4. KPIは目標値の追求に拘泥することなく、その本旨を踏まえて達成に取り組まれない。
5. 子どもを産み育てやすくするとともに、子どもが進学や就職で町外に転出して戻りたいと思えるような、子育てと教育環境の整備を進められたい。
6. 高齢化が進む中、高齢者が元気に活躍し、他の世代を支える存在であり続けられるように、健康及び就業の促進に取り組まれない。
7. 地域産業が地域の資源を活かし発展できるよう、施設整備や、地域ブランドの普及等の情報発信に取り組まれない。
8. 新型コロナウイルスの拡大による落ち込みからの回復とともに、働き方の変化を好機として活かすことができるよう、産業振興に取り組まれない。
9. 移住者、女性、高齢者、外国人など、多様な人々が地域に参画し、希望や能力に応じて働くことができるよう、多様性を認め合う地域づくりに取り組まれない。
10. 安心して住み続けられるまちとなるよう、災害対策や、定住支援も兼ねた空き家対策等に取り組まれない。
11. 総合計画が「つかう計画」として機能するようPDCAを着実にを行うとともに、進捗管理がコスト増とならないように効率的な運用を行う仕組みを整えられたい。
12. 役場が地域の事業所の模範となるよう、率先して職場環境の改善等に取り組まれない。
13. 多くの住民にとってわかりやすい総合計画とするため、色使い等のデザイン面にも留意されたい。

2021年度（令和3年度）

第0期アクションプラン

2021-2024

～絆・選ばれる理由があるまち～
の実現に向けて

令和3年3月
南知多町

目 次

第1章	アクションプラン策定にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・
1	第7次南知多町総合計画とは
2	アクションプラン策定の趣旨
3	アクションプランの概要
4	重点政策とは
5	アクションプランの進行管理
6	総合計画の成果指標
7	アクションプランの見方
第2章	重点政策に基づく主要事業（実施計画書）・・・・・・・・
1	実施計画書の見方
2	重点事業一覧
3	重点事業Ⅰ「子育てと教育の充実」
4	重点事業Ⅱ「産業の活性化と雇用の促進」
5	重点事業Ⅲ「定住支援」
第3章	予算科目に基づく事業評価（事業評価書）・・・・・・・・
1	事業評価書の見方
2	重点事業に基づく事業一覧
3	予算科目に基づく事業一覧（重点事業以外）
第4章	基本目標・基本施策の進行管理（施策評価書）・・・・・・・・
1	施策評価書の見方
2	施策評価書の見方
3	施策評価書一覧
第5章	住民意識調査結果（分析）・・・・・・・・・・・・・・・・
1	住民意識調査結果（モニター）について
2	住民意識調査結果（モニター以外等）について
3	その他参考となる事項
第6章	管理指標（KPI）一覧・・・・・・・・・・・・・・・・
1	重点事業の管理指標（KPI）
2	基本目標の管理指標（KPI）
3	基本施策の管理指標（KPI）
4	行財政マネジメントの管理指標（KPI）
資料編	
1	財政計画表

第1章 アクションプラン策定にあたって

1 第7次南知多町総合計画とは

「第7次南知多町総合計画」とは、本町が目指す将来イメージやそれを実現するための施策などを示した「まちづくりの指針」となる最も重要な計画であり、「基本構想」「アクションプラン」の2つで構成されます。

【総合計画の構成】

基本構想	(前期計画4年間)	将来イメージ	絆・選ばれる理由があるまち			
		基本理念	暮らし続けられるまちを”あなた”とつくる			
		基本目標	基本目標1 地域で育む ひとづくり	基本目標2 地元をにぎわす しごとづくり	基本目標3 安心できる まちづくり	行財政 マネジメント
		基本施策	21の基本施策			4のマネジメント
		重点政策1	子育て支援と教育の充実 産業の活性化と雇用の確保 定住促進			
		重点政策2				
		重点政策3				

アクションプラン	(毎年度更新)	実施計画	重点政策に位置付けられる主要事業 (3か年の行動計画)			
		事業評価	予算に紐づく事務事業評価 (事務事業のPDCAサイクル)			
		施策評価	基本施策のチェックシート (基本構想の進捗管理と住民評価)			
		住民意識調査結果	アンケート調査の回答・分析結果 (住民のニーズの把握)			

用語の解説

- 基本構想：町が実施する施策や事業の計画で、本町では基本計画、総合戦略を兼ねる。
- 将来イメージ：将来も「こうあってほしい」と共有する本町の姿。
- 基本理念：将来イメージを実現するためのまちづくりの基本的な考え方。
- 基本目標：将来イメージの実現をするためのまちづくりの基本的な目標。
- 基本施策：将来イメージの実現のために町が継続して取り組む施策をまとめたもの。
- 重点政策：将来イメージの実現に向けて優先的に取り組まなければならない政策。

- アクションプラン：基本構想を具現化するための具体的な事業の実実施計画。
- 実施計画：重点政策に基づいて、本町が実施する主要事業の3か年の行動計画。
- 事業評価：予算科目に紐づく事務事業の実施行程～評価・改善までの流れ。
- 施策評価：基本施策の指標管理と住民評価の把握。
- 住民意識調査結果：アンケート調査による住民ニーズの分析。

2 アクションプラン策定の趣旨

アクションプランは、第7次南知多町総合計画の基本構想に掲げる将来イメージ「絆・選ばれる理由があるまち」を実現するため、定められた方針である基本理念「暮らし続けられるまちを“あなた”とつくる」に沿って、分野別に3つの基本目標と行財政マネジメントを設定して事業を具体化し、重点政策に位置付けられる主要な事務事業の具体的な内容、時期、コスト等を明らかにした行動計画であり、効率的かつ効果的な行財政運営の指針とするものです。

【まちづくりの施策とアクションプランの体系図】

将来イメージ	絆・選ばれる理由があるまち																								
基本理念	暮らし続けられるまちを”あなた”とつくる																								
基本目標	地域で育むひとづくり				地元をにぎわすしごとづくり				安心できるまちづくり				行財政マネジメント												
基本施策	1-1 地域で大切に する子育て 環境	1-2 次代の担い 手を育む 教育環境	1-3 生涯通じて 取り組む 健康づくり	1-4 個性を活か す障がい者 福祉	1-5 安心して住 み続けられ る長寿社会	1-6 豊かな自然 を活かした ひとづくり	1-7 郷土愛、つ ながりを育 む文化・ス ポーツ	2-1 豊かな海と 産物を活か した水産業	2-2 豊かな農地 と産物を活 かした農業	2-3 新たな魅力 や価値を生 み出す商工 業	2-4 何度も訪れ たくなる観 光・交流	2-5 新たなチャ レンジを創 る起業支援	2-6 価値ある産 業を残す事 業承継支援	2-7 働く環境づ くり	3-1 まちと命を 守る防災	3-2 つながりを 活かした交 通安全と防 犯	3-3 資源を活か す土地利用	3-4 安心な暮らし を支えるイ ンフラ	3-5 暮らしを支 える地域公 共交通	3-6 多様性を認 め、共に支 え合うコミ ュニティ	3-7 心と体安ら ぐ自然・住 環境	4-1 職員の成長 とやりがい	4-2 業務の高度 化、効率化	4-3 町民の満足 度向上	4-4 持続可能な 行財政運営
重点政策	子育て支援と教育の充実																								
	産業の活性化と雇用の確保																								
	定住支援																								

基本構想を具体化

実施計画	主要事業	重点事業Ⅰ 「子育て支援と教育の充実」を推進する事業									
		重点事業Ⅱ 「産業の活性化と雇用の確保」を推進する事業									
		重点事業Ⅲ 「定住支援」を推進する事業									
事業評価	全ての事業	予算科目に紐づく各課が実施する事務事業									
		総務課	防災安全課	企画課	産業振興課	水道課	福祉課	議会事務局	出納室	学校給食センター	
		税務課	地域振興課	検査財政課	建設課	住民課	保健介護課	環境課	学校教育課	社会教育課	

3 アクションプランの概要

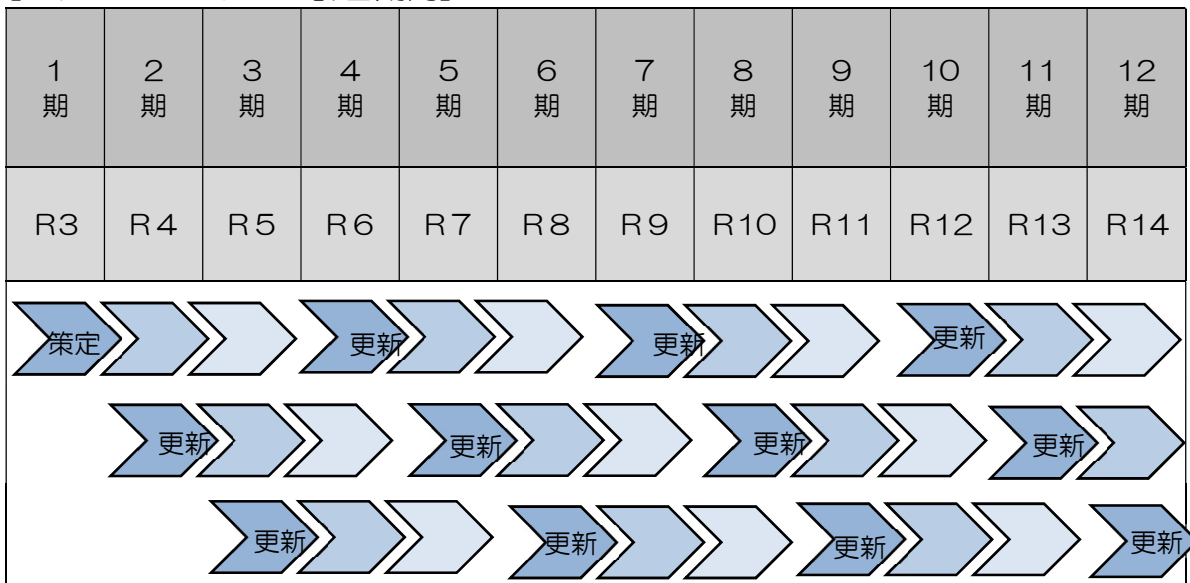
(1) アクションプランとは

アクションプランとは、基本構想を実現するための重点政策に位置付けられる「事業」の実施行程をまとめたもので、毎年度、進捗管理し、新しい要素を加えたり、見直しを行ったりすることで、柔軟な町政運営の推進を図ります。

(2) 計画期間

令和3年度を初年度とする令和14年度までの12年間で、第1期から第12期アクションプランとして、毎年度更新します。アクションプランの実施計画期間は3年とし、事業評価結果や財政状況を踏まえ、毎年度見直しするものです。

【アクションプランの計画期間】



(3) アクションプランの構成

アクションプランは、以下の4つで構成されています。

実施計画書

- ・重点政策に位置付けられる主要事業の3か年計画
- ・主要事業（50事業程度）

事業評価書

- ・予算に紐づく事務事業評価（PDCAサイクル）
- ・各課が実施する全事業（200事業程度）

施策評価書

- ・基本施策の進捗管理（チェックシート）
- ・21の基本施策＋4つの行財政マネジメント

住民意識調査 結果

- ・毎年実施するアンケート調査の結果及び分析
- ・重要度、満足度、認知度、貢献度の把握

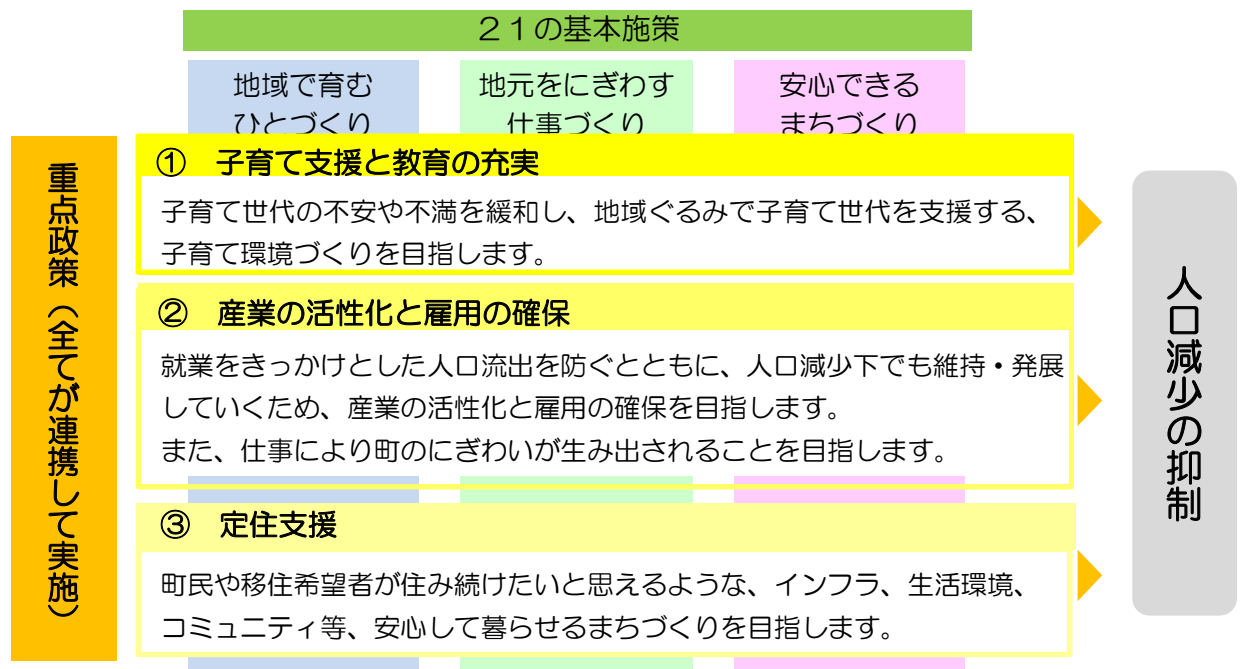
4 重点政策とは

(1) 重点政策の設定と考え方

「まちづくりの施策体系」で整理した25の基本施策は、町が継続的に実施する施策を示しており、本来、全ての施策が“重点政策”ということになりますが、現在の一層厳しさを増している行財政状況では、まんべんなくあらゆる項目を対象とした施策を推進した場合、あまり効果が見えてこない、結果として住民の満足度が得にくい行政を進めることとなります。

そのため、早期に人口の安定化を図り、住民生活及び行財政の持続可能性を確保していくため、25の基本施策の全てが横断的に連携し取り組んでいく「重点政策」として、「子育て支援と教育の充実」、「産業の活性化と雇用の確保」、「定住支援」の3本を位置づけ、優先順位を定めて実施していきます。

【重点政策の実行体系】



(2) 重点政策の実行

重点事業として選定し、実施計画書に記載した事業は、優先的に予算を配分し、行政の縦割りの壁を越えて様々な部署が連携して政策的に実施していきます。

(3) 目標指標 (KG1)

第7次南知多町総合計画の基本構想では、住民生活を将来にわたり持続可能なものとしていくためには、少子化、人口流出、高齢化に対応し、将来の人口減少を抑制し、行財政の持続可能性を確保していくことが必要となります。そのため、これらの課題に向き合い、解決に向けまちづくりに取り組んでいくために目指すべき指標として、目標指標 (KG1) を設定しました。

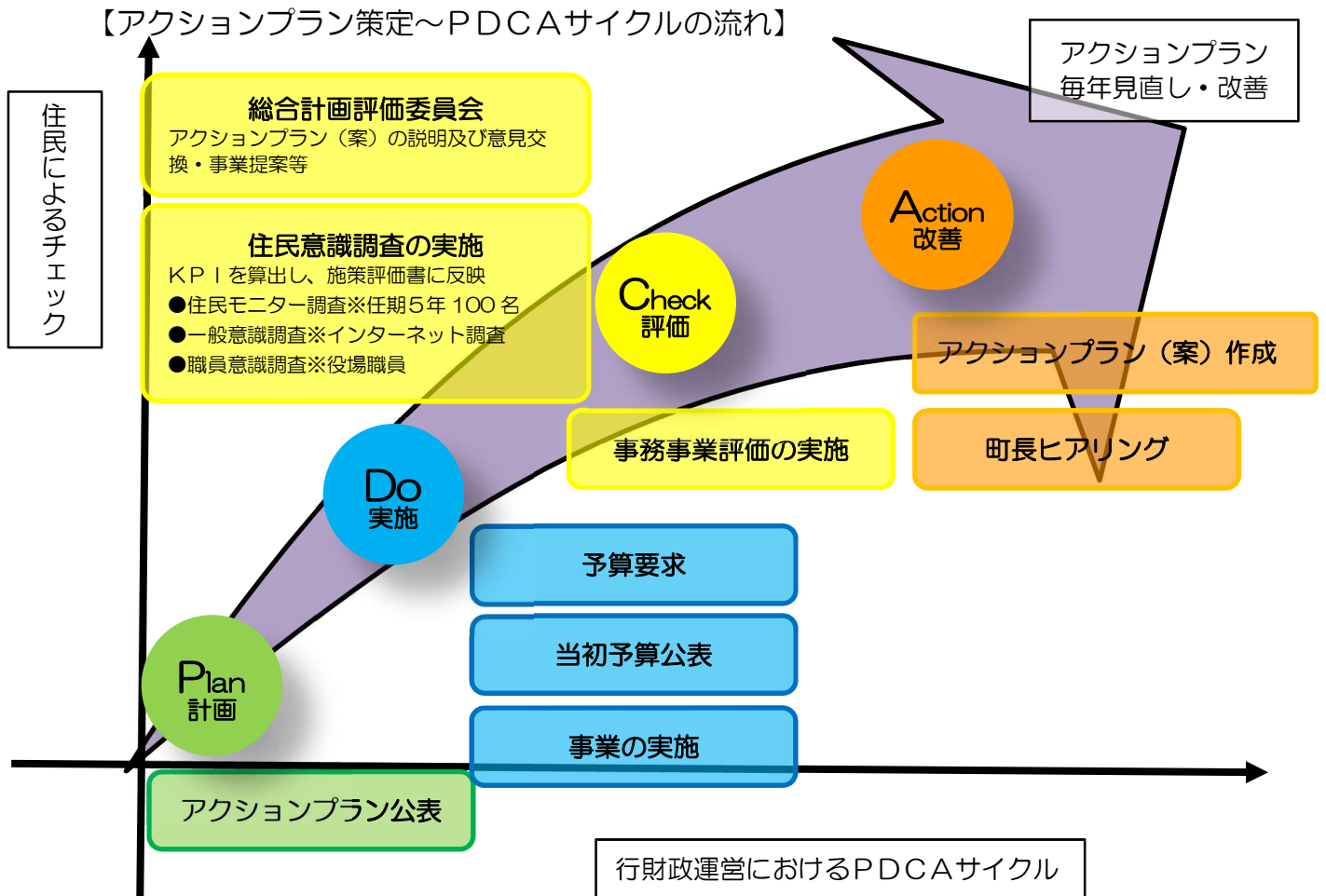
【目標指標 (KG1)】

令和30年時点で概ね10,000人の人口を維持するために、総合計画終了 (令和14年度) 時点で維持すべき出生数として、目標数値を75人とします。

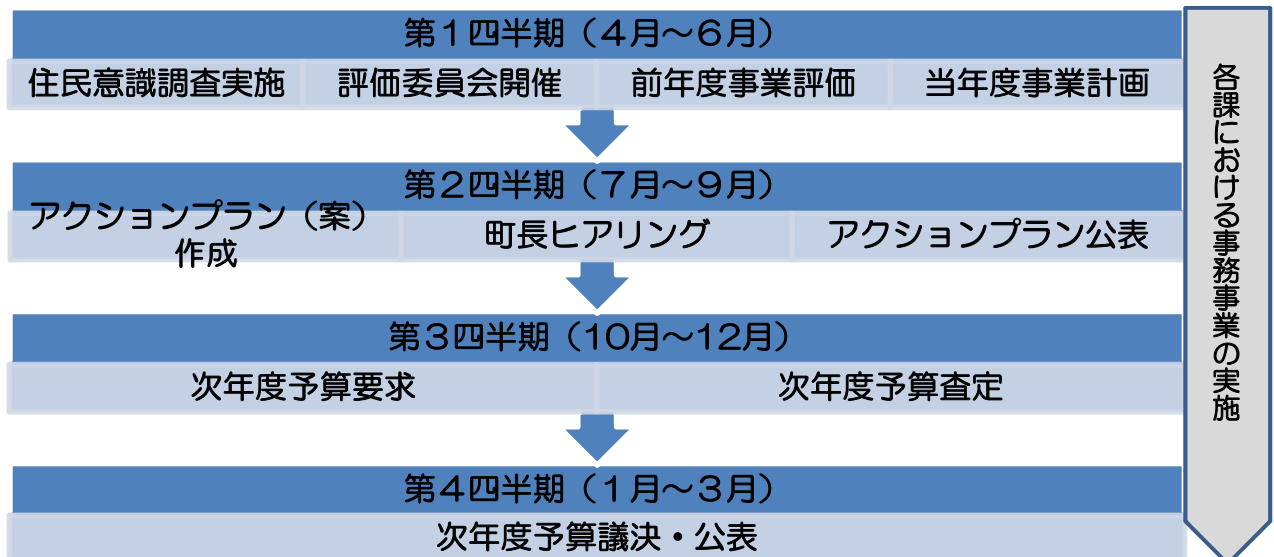
5 アクションプランの進行管理

(1) アクションプランの推進体制

アクションプランの進行管理のため、P D C Aサイクルを回して取組みの成果の検証を行い、検証に基づく項目の見直しや改善を行います。毎年度見直しすることで、アクションプランを進化させ、予算編成や組織改編に反映することによって、総合計画の実効性をさらに高めていきます。



(2) アクションプランの四半期スケジュール



6 総合計画の評価指標

(1) 進行管理に指標が必要な理由

- ・進むべき方向や目標が共有できる
- ・客観性が担保され、判断材料として使いやすい
- ・目標達成までの進行管理がしやすい

(2) 指標設定の考え方

より効果的・効率的に総合計画を推進するため、総合計画の成果を測る各指標（KGI・KPI）を設定するとともに、計画期間における目標値を定めています。

	種類	説明	考え方	指標		
将来イメージ	目標指標（KGI）	将来イメージを実現するために目指す目標指標	人口ビジョンに基づいて、将来の人口減少を抑制させるための目標数値	令和30年時点で概ね1万人の人口を維持すべき出生数		
基本目標	評価指標①（KPI）	まちづくりの目標の達成具合を測る評価指標	住民意識調査による「満足度」「認知度」「貢献度」を数値化したもの	ひとづくり指標	しごとづくり指標	まちづくり指標
基本施策	評価指標②（KPI）	行政が実施する施策の成果を測る評価指標	住民意識調査による「重要度」「満足度」を数値化したもの	21の基本施策の評価指標		
			職員意識調査による「実感度」を数値化したもの	4つの行財政マネジメントの評価指標		
重点政策	評価指標③（KPI）	重点政策の実行具合を測る管理指標	重点政策の進捗を確認する毎年年度の目標値	重点政策1管理指標	重点政策2管理指標	重点政策3管理指標

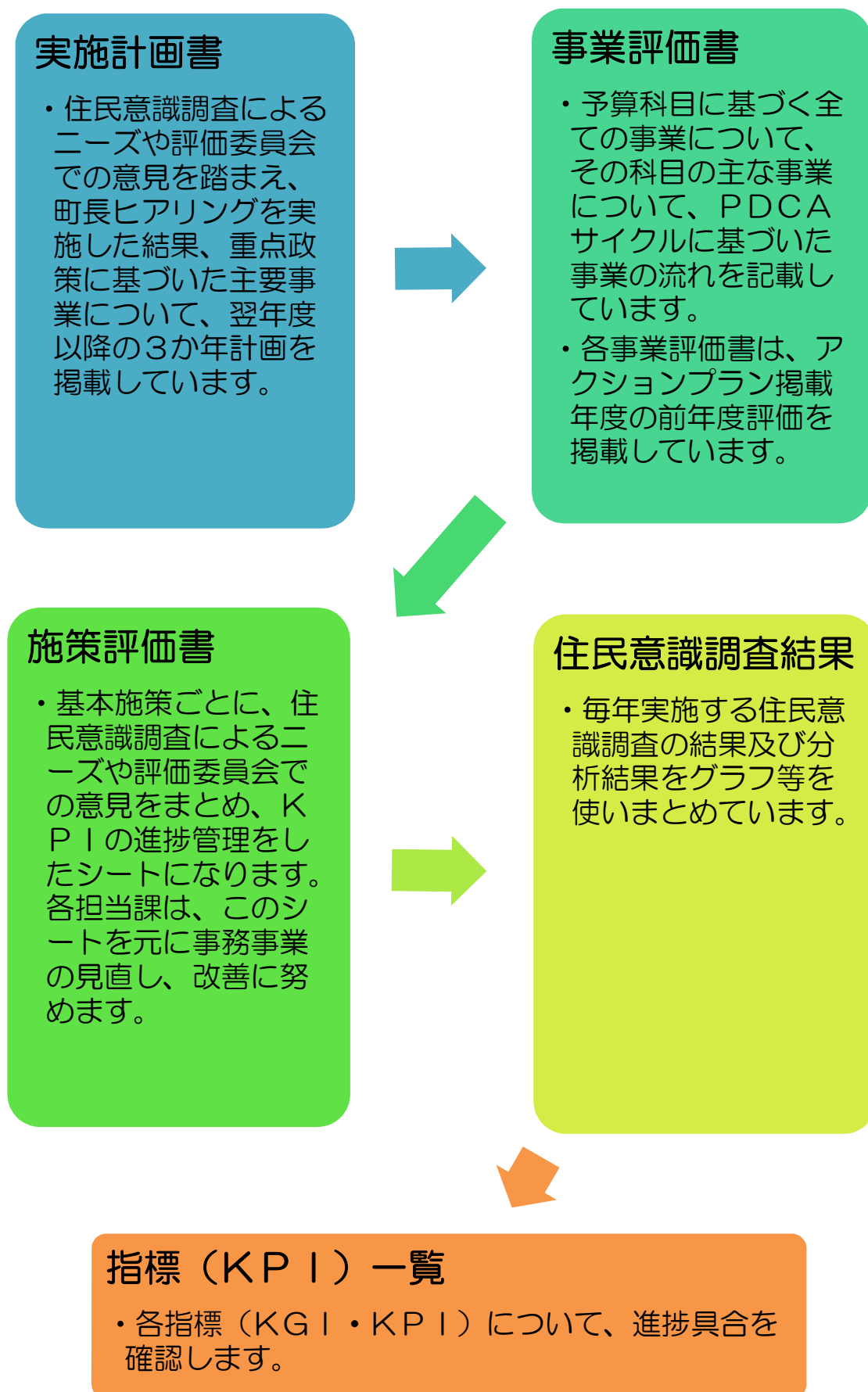
用語の解説

指標とは・・・総合計画の進み具合をチェックするための目じるしとなるもの。

KGIとは・・・Key Goal Indicator（キーゴールインディケーター）を省略したもので、日本語では「重要達成目標指標」と言われ、総合計画の「最終目標」となります。

KPIとは・・・Key Performance Indicators（キーパフォーマンスインディケーターズ）を省略したもので、日本語では「重要業績評価指標」と言われ、総合計画の達成度を把握し評価するための「中間目標」となります。

7 アクションプランの見方



第2章 重点政策に基づく主要事業（実施計画書）

1 実施計画書の見方

【予定事業費】 事業にはどのくらい費用がかかるか記載しています。		【重点政策・基本施策】 総合計画のどの部分に関連するかを記載しています。					
事業名	一般企画費			予算科目		2款1項8目1事業	
概要	住民との協働により、総合計画、姉妹都市等交流、男女共同参画、広域行政、国際交流等に係る事務事業を推進します						
担当課	企画課	重点政策	1・②・3	基本施策	2-④	1-⑥	2-③
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予定事業費	11,219千円		9,899千円		2,507千円		
事業内容	姉妹都市等交流事業		姉妹都市等交流事業		姉妹都市等交流事業		
	姉妹都市等交流町（岐阜県八百津町・長野県下諏訪町）との親交を深めるための事業を実施します。 小学生交流事業 宿泊助成事業 産業まつり等相互出店		同左		同左		
	町制60周年記念事業		公共施設再配置計画策定事業		男女共同参画事業		
	令和3年6月1日に南知多町制施行60周年を迎えるにあたり記念事業を実施します。 ・記念式典 公共施設再配置計画策定事業 南知多町公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の再配置を効果的かつ効率的に推進するため、南知多町公共施設再配置計画を2か年で策定します。		南知多町公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の再配置を効果的かつ効率的に推進するため、南知多町公共施設再配置計画を2か年で策定します。		第2次南知多町男女共同参画計画に基づき、南知多町の現状と特徴を捉え、時代の流れに対応した男女共同参画の取組みを推進します。		
推進方針	継続		継続		継続		
特記事項	町制60周年記念事業は単年度で終了 姉妹都市は一部縮小するものの事業は継続		公共施設再配置計画策定事業についてはR4年度で終了		特別な事業は予定がないため、予算規模は縮小するが事業は継続		

【事業内容・推進方針・特記事項】
今後3箇年実施する予定の事業内容、今後の事業の方向性を記載した推進方針、その推進方針となった根拠を特記事項に記載しています。

2 重点事業一覧

重点事業Ⅰ「子育て支援と教育の充実」						
款項目 事業	事業名	所属	R03 予定額	R04 予定額	R05 予定額	基本 施策
02.01.10.01	交通安全推進費	防災安全課	1,960	1,960	1,960	⑩
02.01.08.01	一般企画費	企画課	11,219	9,899	2,507	④
02.01.09.01	電算一般管理費	企画課	102,728	116,924	112,174	⑳
03.01.05.02	子ども医療費	住民課	54,525	54,559	53,878	①
03.01.07.02	障害者総合支援事業費	福祉課	295,597	295,597	291,863	④
03.02.02.01	保育所一般管理費	福祉課	144,726	143,522	147,578	①
03.02.02.02	子育て支援センター・ど んぐり園事業費	福祉課	3,487	5,815	5,814	①
03.02.02.03	放課後児童健全育成事 業費	福祉課	15,798	10,421	10,550	①
04.02.01.02	ごみ減量収集対策事業 費	環境課	54,347	62,105	62,116	㉑
04.01.01.01	保健衛生一般管理費	保健介護課	5,166	5,166	5,166	③
04.01.01.02	離島診療所運営費	保健介護課	10,919	7,417	7,417	③
04.01.02.01	予防接種事業費	保健介護課	38,676	35,866	35,866	③
04.01.04.01	母子保健事業費	保健介護課	19,224	19,224	19,224	①
10.01.03.01	教育振興一般管理費	学校教育課	50,826	50,970	51,834	①
10.02.01.02	教育環境整備事業費	学校教育課	2,977	2,977	2,977	②
10.02.02.01	教育振興一般管理費	学校教育課	25,812	33,840	41,447	②
10.03.01.02	教育環境整備事業費	学校教育課	15,732	2,752	2,757	②
10.03.02.01	教育振興一般管理費	学校教育課	43,461	34,200	34,184	②
10.04.02.01	公民館維持管理費	社会教育課	41,523	41,585	41,930	⑦
10.04.03.03	尾州廻船主内田家維持 管理費	社会教育課	9,958	7,600	11,350	⑦
10.05.03.01	総合体育館維持管理費	社会教育課	31,472	29,662	25,891	⑦
10.05.03.02	運動公園等維持管理費	社会教育課	13,287	83,889	9,410	⑦
10.05.04.03	学校給食施設整備事業 費	学校給食セン ター	566,407	59,233	0	②

重点事業Ⅱ「産業の活性化と雇用の確保」						
款項目 事業	事業名	所属	R03 予定額	R04 予定額	R05 予定額	基本 施策
02.01.08.03	離島振興費	地域振興課	21,648	19,809	19,809	㉔
02.01.08.04	まちづくり推進事業費	地域振興課	6,846	6,233	6,846	㉔
02.01.03.02	ふるさと納税事業費	検査財政課	90,757	90,757	90,757	㉓
06.01.05.01	農業用施設維持管理費	建設課	20,507	24,007	21,507	㉑
06.01.05.02	農業土木一般管理費	建設課	11,383	11,383	11,383	㉑
06.01.05.03	県営経営体育成基盤整備事業費	建設課	25,000	25,000	25,000	㉑
06.01.03.02	農業振興対策事業費	産業振興課	33,372	33,272	33,272	㉑
06.01.03.04	産業連携推進事業費	産業振興課	1,201	1,201	1,201	㉒
06.03.02.01	漁業振興対策事業費	産業振興課	310,726	338,193	44,402	㉑
06.03.02.02	栽培漁業振興対策事業費	産業振興課	5,532	5,532	5,532	㉑
07.01.02.02	商工業振興事業費	産業振興課	32,159	32,159	32,159	㉒
07.01.04.01	観光振興事業費	産業振興課	47,846	46,496	47,846	㉒
重点事業Ⅲ「定住支援」						
款項目 事業	事業名	所属	R03 予定額	R04 予定額	R05 予定額	基本 施策
02.01.13.02	空家等対策事業費	防災安全課	8,827	8,754	9,554	㉒
09.01.03.02	消防団備品整備事業費	防災安全課	5,998	8,115	8,115	㉑
09.01.04.01	防災対策事業費	防災安全課	21,373	20,089	25,505	㉑
09.01.04.02	災害対策事業費	防災安全課	11,370	11,370	11,370	㉑
09.01.04.04	防災施設維持管理費	防災安全課	7,426	7,426	7,426	㉑
09.01.04.05	防災・減災施設整備事業費	防災安全課	21,959	0	0	㉑
02.01.08.05	地方創生推進事業費(空き家・まちづくり推進事業)	地域振興課	16,800	16,800	16,800	㉒
02.01.14.01	公共交通対策事業費	地域振興課	105,506	105,506	105,506	㉑
06.01.05.05	県営ため池整備事業費	建設課	5,900	10,800	14,450	㉑
06.03.04.01	漁港建設事業費(公共)	建設課	148,750	10,000	21,000	㉑
08.02.01.01	道路橋りょう維持補修事業費	建設課	167,300	135,300	111,700	㉑
08.04.01.02	港湾施設維持管理費	建設課	7,357	7,357	7,357	㉑
08.05.01.01	都市計画一般管理費	建設課	5,208	3,865	6,304	㉑
08.06.01.03	住宅耐震改修費	建設課	9,866	9,866	9,866	㉑
04.01.03.01	環境保全対策事業費	環境課	57,933	57,710	57,710	㉒

3 重点事業Ⅰ「子育て支援と教育の充実」

事業名	交通安全推進費			予算科目	2 款 1 項 10 目 1 事業		
概要	交通安全意識の高揚を目的に、交通安全の広報、啓発活動及び交通弱者の交通安全教育など、交通安全の推進活動を実施します						
担当課	防災安全課	重点政策	①・2・3	基本施策	3-②	1-①	
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予定事業費	1,960 千円		1,960 千円		1,960 千円		
事業内容	交通安全推進事業		交通安全推進事業		交通安全推進事業		
	交通安全意識の高揚を目的に、交通安全啓発品の配布及び各種キャンペーンを開催します。		同左		同左		
	運転免許証自主返納支援事業		運転免許証自主返納支援事業		運転免許証自主返納支援事業		
	65 歳以上の高齢ドライバーが免許証を自主返納した時にその後の支援品として、海っ子バス及び知多バス（師崎線）の共通 1 日乗車券 6,000 円分を交付します。		同左		同左		
推進方針	継続		継続		継続		
特記事項	啓発活動については、継続的に行うことで効果がでてきている。そのため、予算規模は同額で事業継続予定						

4 重点事業Ⅱ「産業の活性化と雇用の確保」

事業名	離島振興費			予算科目	2 款 1 項 8 目 3 事業		
概要	国や県と連携し、篠島・日間賀島住民の生活の安定と福祉の向上を目的に離島振興を図ります						
担当課	地域振興課	重点政策	1・②・3	基本施策	3-⑥	2-④	3-⑤
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予定事業費	21,648 千円		19,809 千円		19,809 千円		
事業内容	離島振興事業		離島振興事業		離島振興事業		
	アイランダーなど PR イベントへ参加し、離島 PR 活動を行います。離島振興事業の内容をまとめ、全国離島振興協議会を通じ、国に対して要望します。		同左		同左		
	離島交通費助成事業		離島交通費助成事業		離島交通費助成事業		
	篠島・日間賀島住民に対して海上交通費の運賃助成を行います。		同左		同左		
推進方針	継続		継続		継続		
特記事項	R3 まで離島光通信サービス導入事業補助金の関係で予算規模増		離島交通費助成事業については、利用率に応じて変動するが、概ね同じ予算規模で継続の予定				

5 重点事業Ⅲ「定住支援」

事業名	空家等対策事業費			予算科目	2款1項13目2事業		
概要	南知多町空家等対策計画に基づく空家等対策事業を実施します						
担当課	防災安全課	重点政策	1・2・③	基本施策	3-⑥	3-②	3-①
年度	令和3年度		令和4年度		令和5年度		
予定事業費	8,827千円		8,754千円		9,554千円		
事業内容	特定空家等対策支援事業		特定空家等対策支援事業		特定空家等対策支援事業		
	<p>特定空家等の内、そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となる恐れがある状態にあるもので、危険度及び緊急度が高いものは、除却費用の一部を支援します。</p> <p><補助金の額> 補助対象経費の額5分の4を乗じかつ上限80万円（国費1/2、県費1/4、町費1/4）</p>		同左		同左		
	特定空家等候補調査業務		特定空家等候補調査業務		特定空家等候補調査業務		
	<p>町民から情報提供のあった管理不全な状態にある空家等について、特定空家等候補として調査を行い、南知多町空家等対策協議会において特定空家等の判断をする際の基礎資料を作成します。</p> <p>①再調査物件（半島側8件、離島1件） ②新規物件（半島側8件、離島4件）</p>		<p>町民から情報提供のあった管理不全な状態にある空家等について、特定空家等候補として調査を行い、南知多町空家等対策協議会において特定空家等の判断をする際の基礎資料を作成します。</p> <p>①再調査物件（半島側4件、離島2件） ②新規物件（半島側8件、離島4件）</p>		同左		
推進方針	継続		継続		継続		
特記事項	除去予定の空き家を全て解決できるまで概ね同じ予算規模で事業継続						

第3章 予算科目に基づく事業評価（事業評価書）

1 事業評価書の見方

①計画(PPLAN)

上段の予算で主にどのような事業を行っていくか、その事業が総合計画のどの部分に関連しているかを記載しています。

②実施(DO)

実施した事業にいくらかかったか、実績としてどこまでのことができたかを記載しています。

令和元年度事業評価書

事業概要	住民との協働により、姉妹町村等交流、男女共同参画、広域行政、国際交流等に係る事務事業を推進します										担当課 企画課 企画政策係 内線332・335	
予算科目	2款 1項 8目 1事業	一般企画費										
予算額	10,357千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	5千円	一般財源	10,352千円
決算額	8,984千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	8,984千円

計画 (PLAN)			実施 (DO)		
主な事業	姉妹都市等交流事業	総合計画策定事業	主な事業	姉妹都市等交流事業	総合計画策定事業
事業内容	姉妹都市等交流町（岐阜県八百津町・長野県下諏訪町）との親交を深めるための事業を実施します。 小学生交流事業 宿泊助成事業 産業まつり等相互出店	第6次南知多町総合計画の計画期間が平成32年度で終了するため、社会情勢や町民意識の変化を幅広く反映させた第7次南知多町総合計画を2か年で策定します。	予算額	614,000円	7,506,000円
基本施策① ※①	2-④ 何度も訪れたい観光・交流	4-③ 町民の満足度向上	決算額	371,616円	7,370,000円
基本施策② ※①	1-⑥ 豊かな自然を活かしたひとづくり	3-⑥ 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	財源（一般財源）	360,016円	7,370,000円
基本施策③ ※①	2-③ 新たな魅力や価値を生み出す商工業	4-④ 持続可能な財政運営	（その他）	11,600円	0円
重点政策 ※②	1 ② 3	① 2 3	執行率	60.5%	98.2%
事業実績			事業実績	小学生による交流事業 参加者：69人 宿泊助成事業 利用者：2人（H30：13人） 八百津町産業文化祭R1.11.9~10 長野県下諏訪町産業祭R1.9.14 南知多町産業まつりR1.11.3	第7次総合計画策定支援業務委託 総合計画推進本部 ・本町会議 12回/年 ・調整会議 12回/年 ・作業部会 12回/年 住民意識調査 R1.12

評価 (CHECK)			改善 (ACTION)		
事業指標	宿泊助成利用者数	総合計画策定部会の開催	課題	宿泊助成については周知、認知が不足している。 令和3年度から計画の運用を開始するにあたり、住民参画及び外部評価について検討する必要がある。	
目標値	50人以上/年	10回以上/年	改善・対応策	庁内の関係する事業で宿泊助成が利用可能な団体利用への周知、SNSを活用した周知を行う。 利用実績の低迷も加味した予算要求を検討。	
実績値	2人/年	12回/年	推進方針 ※⑤	C	B
達成度	未達成	達成			
担当課評価 ※③	小学生交流事業についてはほぼ定員の参加があり、有用なサービス提供ができたが、宿泊助成利用者については、利用者の低迷が続いている。				
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い			
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 ② 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い			

③評価(CHECK)

事業がしっかり実施されているか評価するための指標・目標値を掲げ、実際の実績値をふまえた担当評価を記載しています。

④改善(ACTION)

担当評価をした結果出てきた課題、その課題を解決するための改善策・今後の推進方針を記載しています。

令和2年度事業評価書

事業概要	住民との協働により、姉妹町村等交流、男女共同参画、広域行政、国際交流等に係る事務事業を推進します										担当課 企画課 企画政策係 内線332・335	
予算科目	2款 1項 8目 1事業	一般企画費										
予算額	12,726千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他	5千円	一般財源	12,721千円
決算額		財源内訳	国庫支出金		県支出金		町債		その他		一般財源	

計画 (PLAN)			実施 (DO)		
主な事業	姉妹都市等交流事業	総合計画策定事業	主な事業	姉妹都市等交流事業	総合計画策定事業
事業内容	姉妹都市等交流町（岐阜県八百津町・長野県下諏訪町）との親交を深めるための事業を実施します。 小学生交流事業 宿泊助成事業 産業まつり等相互出店	第6次南知多町総合計画の計画期間が平成32年度で終了するため、社会情勢や町民意識の変化を幅広く反映させた第7次南知多町総合計画を2か年で策定します。	予算額	999,000円	10,492,000円
基本目標	地元をにぎわす仕事づくり	財政マネジメント	決算額		
基本施策①	2-④ 何度も訪れたい観光・交流	4-③ 町民の満足度向上	財源（一般財源）		
基本施策②	1-⑥ 豊かな自然を活かしたひとづくり	3-⑥ 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	（その他）		
重点政策	① ② 3	① ② ③	執行率		
事業実績			事業実績		

評価 (CHECK)			改善 (ACTION)		
事業指標	宿泊助成利用者数	総合計画策定部会の開催	課題		
目標値	20人以上/年	10回以上/年	改善・対応策	A・B・C・D	
実績値			推進方針	A・B・C・D	
達成度			課題		
事業に対する担当課評価			改善・対応策		
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い			
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 2 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 5 高い			

事業評価書は、事業が完了し、PDCA全て記入されている前年度事業評価書と前年度の評価・改善を受けて計画(PPLAN)の部分と評価するための事業指標(CHECKの一部)だけ記載された当年度事業評価書があります。

2 重点事業に係る事業

事業概要
住民との協働により、姉妹町村等交流、国際交流等に係る事務事業を推進します

担当課 企画課
企画政策係 内線332・335

2 款	1 項	8 目	1 事業	一般企画費	0千円	町債	0千円	その他	5千円	一般財源	10,352千円
予算額				財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金				
決算額				財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金				8,984千円

計画 (PLAN)

主な事業	姉妹都市等交流事業	総合計画策定事業
事業内容	姉妹都市等交流町(岐阜県八百津町・長野県下諏訪町)との親交を深めるための事業を実施します。 小学生交流事業 宿泊助成事業 産業まつり等相互出店	第6次南知多町総合計画の計画期間が平成32年度で終了するため、社会情勢や町民意識の変化を幅広く反映させた第7次南知多町総合計画を2か年で策定します。
基本施策① ※①	2-④ 何度も訪れたくなる観光・交流	4-③ 町民の満足度向上
基本施策② ※①	1-⑥ 豊かな自然を活かしたひとつ	3-⑥ 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ
基本施策③ ※①	2-③ 新たな魅力や価値を生み出す	4-④ 持続可能な行政運営
重点政策 ※②	1 ② 3	① 2 3

実施 (DO)

主な事業	姉妹都市等交流事業	総合計画策定事業
予算額	614,000円	7,506,000円
決算額	371,616円	7,370,000円
財源(一般財源)	360,016円	7,370,000円
(その他)	11,600円	0円
執行率	60.5%	98.2%
事業実績	小学生による交流事業 参加者:69人 宿泊助成事業 利用者:2人(H30:13人) 八百津町産業文化祭R1.11.9~10 長野県下諏訪町農業祭R1.9.14 南知多町産業まつりR1.11.3	第7次総合計画策定支援業務委託 総合計画推進本部 ・本部会議 12回/年 ・調整会議 12回/年 ・作業部会 12回/年 住民意識調査 R1.12

評価 (CHECK)

事業指標	宿泊助成利用者数	総合計画策定部会の開催
目標値	50人以上/年	10回以上/年
実績値	2人/年	12回/年
達成度	未達成	達成
担当課評価 ※③	小学生交流事業についてはほぼ定員の参加があり、有用なサービス提供ができたが、宿泊助成利用者については、利用者の低迷が続いている。	推進本部会議の開催に加え、職員研修及び住民意識調査を実施し、社会情勢や町民意識の変化を幅広く反映させた素案を完成させたことができたと考ええる。
基本施策有効評価 (妥当性) ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い
費用対効果評価 (効率性) ※④	低い 1 ② 3 4 5 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い

改善 (ACTION)

課題	改善・対応策	推進方針 ※⑤
宿泊助成については周知、認知が不足している。	町内の関係する事業で宿泊助成が利用可能な団体利用への周知、SNSを活用した周知を行う。	C
令和3年度から計画の運用を開始するに当たり、住民参画及び外部評価について検討する必要がある。	町内各団体からの推薦者等で組織する懇話会の設置及び住民意識調査について、モニタリングを導入し、幅広く町民意見の把握及び反映に努める。	B
利用実績の低迷も加味した予算要求を検討。		

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
 ※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
 ※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書(ACTION)に対する評価 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※④ 評価(妥当性) …基本施策に対する有効性の高低 (効率性) …事業の費用対効果の高低
 ※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

3 予算科目に基づく事業 (重点事業以外)

第4章 基本施策の進行管理（施策評価書）

1 施策評価書の見方

町が考える現状と課題・目指すべき将来像を記載し、その将来像を実現するための主な取り組みをまとめています。

関連する主な事業とその費用を記載しています。

総合計画 P35 記載日：2020年3月6日							
第7次南知多町総合計画 施策評価書							
					基本目標	1 地域で育むひとづくり	
基本施策		1-1 地域で大切にしている子育て環境					
1. 現状と課題							
本町の強みとして、自然が豊かで遊びのびと遊べる環境がある一方で、出生数は減少傾向にあり、子育て環境整備に向けた取り組みが必要となっています。							
2. 目指すべき将来像							
母子の健康が保持・増進され、豊かな自然の中で子どもが遊び、子育てと仕事が両立できる、子育て世代に選ばれるまちを目指します。							
3. 将来像を実現するために町が実施している主な取り組み							
<p>○18歳に達する年度末までの子どもの医療費(保険診療分)の自己負担額を助成しています。</p> <p>○子育て支援センターは親子で遊べる場所の提供や、子育てに関する相談などを行っています。</p> <p>どんぐり園は、親子通園を行い、一人一人の子どもの特性を理解し、保護者とともに子どもの発達を援助しています。</p> <p>○子育て世代の親が悩みを抱え孤立することを防ぐため、親子で気軽に参加できる「親子ふれあいひろば」を開催し、親同士が話し合うことができる場を提供しています。</p>							
4. 主な予算事業							
事業名	部署名	事業概要	R1決算 (千円)	R2予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
子ども医療費	住民課	子ども医療費及び一般不妊治療費の助成を行います	56,242	56,511	B	PO	PO
保育所一般管理費	福祉課	保育サービスの充実を図ります	155,266	152,298	B	PO	PO
子育て支援センター・どんぐり園事業費	福祉課	子育て支援センター(おひさま)、どんぐり園の充実を図ります	3,325	3,562	B	PO	PO
放課後児童健全育成事業費	福祉課	放課後児童クラブの充実を図ります	8,548	10,361	A	PO	PO
保育所環境整備費	福祉課	保育所の施設や設備の適正な整備・充実に努めます	7,927	165,181	A	PO	PO
母子保健事業費	保健介護課	子どもを安心して生み育てることができる環境づくりに努めます	12,844	19,224	B	PO	PO
教育振興一般管理費	学校教育課	学校教育の充実を図るため、教育振興に係る事業を実施します	82,263	55,015	B	PO	PO
※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。 (A…拡充 B…継続 C…縮小 D…廃止)							

住民意識調査で施策に対する自由意見を住民のニーズとして記載しています。

5. 住民意識調査によるニーズ（自由意見から要望に関する記述を抜粋）

- ・子育て世代の住みやすい町づくりをもっとしてほしい。子どもがいる中でこの町に住みたいという強みがほしい。
- ・車が無い人は何もサポート受けられず、支援センターは遠い上に階段のみ、ベビーキープ無し、施設のユニバーサルデザイン無し、総合体育館も子どもを連れてトイレに行けない。一時保育柔軟性無し、産後・育児ヘルパーの補助なし、個人でも呼べない田舎、自然豊かでも自由に遊んでいい自然無し。それでも住んでいるのは、心の豊かさがあるから。いじめがほとんどないって素敵。
- ・子育てしやすい町を目指すという割に、保育園の園庭が狭い、学校にプールが無いなど設備が悪い。土地が無いとか都市部と違うのに何故なのだろうと疑問。塾もほぼ無いのに図書館も暗く勉強する気が起こるのかと思う。
- ・学校の部活に地域の人に関われたら良いのではないかな。
- ・南知多（特に島の人たち）からだ、高校に通うのも大変なため、学費・交通費等の補助。
- ・実現されないファミサポは検討中止してほしい。狭すぎるコミュニティである南知多ではマッチングが困難で現実的ではない。それより子育て支援センターに駐在する保育士さんの数をもう1～2人増やし、一時保育や「訪問型保育」で派遣できるようにしてほしい。素人のボランティアに頼るファミサポよりプロの保育士さんが1～2時間でも訪問保育に来てくれたら子育ての大変さは格段に変わる。今でも「赤ちゃん訪問」があるが、これを拡大し、例えば生後0～2歳を対象に、訪問保育をしてもらえたら2人目、3人目を産もうという余裕ができる。祖父母に頼れない人は2人目以降をあきらめており、単身世帯や移住者への子育て支援を希望する。
- ・子供が小さい頃、子育て支援センターや親子ふれあい広場には大変お世話になった。特に他町から来た母親には心強いと思う。
- ・町が開催する親子イベント、勉強会、体験などが少ない。地域が別々に開催しているので、師崎地区等地区単位で開催するのはやめてほしい。南知多全体が一つになることが大切だとずっと感じている。
- ・行政の発信が足りない。せっかくいい行事をしても参加者の喜んだ顔が外に発信できていない。参加者に撮影許可を得るなどしてもっと発信すべき。「個人情報云々」は言い訳。
- ・電車が無いのを理由に奥さんが来たがらずやむなく半田・河和に家建てる場合があるという。電車を引っ張ってくるか、河和の街中を通らずに早く半田・武豊へ行ける、有料ではない、道路があればいいと思う。
- ・若い世代に南知多に住み続けてもらうため、大切なことだと思う。
- ・1-7「環境づくり」と同じ問題で、子育てできる住民な保育、学校など一貫のものとして考え、若い世代にアピールすることが（そのような網羅した政策バンクなどを作る）必要かと思う。

6. 評価委員会での意見

・
・
・
・
・

実施計画・事業評価・施策評価について住民モニターによって構成された評価委員会で意見をもらいます。そこで出た意見をまとめています。

7. 管理指標 (pt) 住民意識調査による満足度

現状値 (R2)	R3	R4	R5	R6	目標値 (R6)
89					95

8. 指標に関する評価

年度	R3	R4	R5	R6	判定基準
判定結果	↗				↗ ……数値が向上した。 → ……前年度と同数値。 ↘ ……数値が低下した。

管理指標として計画見直しまでの4年間分の施策に対する満足度を記載していきます。
そして、その指標に関する評価を判定基準を基に記載しています。

第7次南知多町総合計画 施策評価書

基本目標

1 地域で育むひとづくり

基本施策

1-1 地域で大切にしている子育て環境

1. 現状と課題

本町の強みとして、自然が豊かでのびのびと遊べる環境がある一方で、出生数は減少傾向にあり、子育て環境整備に向けた取り組みが必要となっています。

2. 目指すべき将来像

母子の健康が保持・増進され、豊かな自然の中で子どもが遊び、子育てと仕事が両立できる、子育て世代に選ばれるまちを目指します。

3. 将来像を実現するために町が実施している主な取り組み

○18歳に達する年度末までの子どもの医療費(保険診療分)の自己負担額を助成しています。
 ○子育て支援センターは親子で遊べる場所の提供や、子育てに関する相談などを行っています。
 どんぐり園は、親子通園を行い、一人一人の子どもの特性を理解し、保護者とともに子どもの発達を援助しています。
 ○子育て世代の親が悩みを抱え孤立することを防ぐため、親子で気軽に参加できる「親子ふれあいひろば」を開催し、親同士が話し合うことができる場を提供しています。

4. 主な予算事業

事業名	部署名	事業概要	R1決算 (千円)	R2予算 (千円)	推進 方針※	実施 計画	事業 評価書
子ども医療費	住民課	子ども医療費及び一般不妊治療費の助成を行います	56,242	56,511	B	PO	PO
保育所一般管理費	福祉課	保育サービスの充実を図ります	155,266	152,298	B	PO	PO
子育て支援センター・どんぐり園事業費	福祉課	子育て支援センター(おひさま)、どんぐり園の充実を図ります	3,325	3,562	B	PO	PO
放課後児童健全育成事業費	福祉課	放課後児童クラブの充実を図ります	8,548	10,361	A	PO	PO
保育所環境整備費	福祉課	保育所の施設や設備の適正な整備・充実に努めます	7,927	165,181	A	PO	PO
母子保健事業費	保健介護課	子どもを安心して生み育てることができる環境づくりに努めます	12,844	19,224	B	PO	PO
教育振興一般管理費	学校教育課	学校教育の充実を図るため、教育振興に係る事業を実施します	82,263	55,015	B	PO	PO

※事業の推進方針は、前年度の事業評価書に基づいて記載しています。
 (A・・・拡充 B・・・継続 C・・・縮小 D・・・廃止)

5. 住民意識調査によるニーズ（自由意見から要望に関する記述を抜粋）

- ・子育て世代の住みやすい町づくりをもっとしてほしい。子どもがいる中でこの町に住みたいという強みがほしい。
- ・車が無い人は何もサポート受けられず、支援センターは遠い上に階段のみ、ベビーキープ無し、施設のユニバーサルデザイン無し、総合体育館も子どもを連れてトイレに行けない。一時保育柔軟性無し、産後・育児ヘルパーの補助なし、個人でも呼べない田舎、自然豊かでも自由に遊んでいい自然無し。それでも住んでいるのは、心の豊かさがあるから。いじめがほとんどないって素敵。
- ・子育てしやすい町を目指すという割に、保育園の園庭が狭い、学校にプールが無いなど設備が悪い。土地が無いとか都市部と違うのに何故なのだろうと疑問。塾もほぼ無いのに図書館も暗く勉強する気が起こるのかと思う。
- ・学校の部活に地域の人に関われたら良いのではないかと。
- ・南知多（特に島の人たち）からだと、高校に通うのも大変なため、学費・交通費等の補助。
- ・実現されないファミサポは検討中止してほしい。狭すぎるコミュニティである南知多ではマッチングが困難で現実的ではない。それより子育て支援センターに駐在する保育士さんの数をもう1～2人増やし、一時保育や「訪問型保育」で派遣できるようにしてはどうか。素人のボランティアに頼るファミサポよりプロの保育士さんが1～2時間でも訪問保育に来てくれたら子育ての大変さは格段に変わる。今でも「赤ちゃん訪問」があるが、これを拡大し、例えば生後0～2歳を対象に、訪問保育をしてもらえたら2人目、3人目を産もうという余裕ができる。祖父母に頼れない人は2人目以降をあきらめており、単身世帯や移住者への子育て支援を希望する。
- ・子供が小さい頃、子育て支援センターや親子ふれあい広場には大変お世話になった。特に他町から来た母親には心強いと思う。
- ・町が開催する親子イベント、勉強会、体験などが少ない。地域が別々に開催しているので、師崎地区等地区単位で開催するのはやめてほしい。南知多全体が一つになることが大切だとずっと感じている。
- ・行政の発信が足りない。せっかくいい行事をしても参加者の喜んだ顔が外に発信できていない。参加者に撮影許可を得るなどしてもっと発信すべき。「個人情報云々」は言い訳。
- ・電車が無いのを理由に奥さんが来たがらずやむなく半田・河和に家を建てる場合があるという。電車を引っ張ってくるか、河和の街中を通らずに早く半田・武豊へ行ける、有料ではない、道路があればいいと思う。
- ・若い世代に南知多に住み続けてもらうため、大切なことだと思う。
- ・1-7「環境づくり」と同じ問題で、子育てできる住民な保育、学校など一貫のものとして考え、若い世代にアピールすることが（そのような網羅した政策バンクなどを作る）必要かと思う。

6. 評価委員会での意見

・

・

・

・

・

7. 管理指標(pt) 住民意識調査による満足度

現状値 (R2)	R3	R4	R5	R6	目標値 (R6)
89					95

8. 指標に関する評価

年度	R3	R4	R5	R6	判定基準
判定結果	↗				↗ …数値が向上した。 → …前年度と同数値。 ↘ …数値が低下した。

第5章 住民意識調査結果（分析）

1 住民意識調査結果の見方

2 住民意識調査結果（モニター）

3 職員意識調查結果

4 住民意識調査結果（一般等）結果

第6章 指標（KPI）一覧

1 目標指標（KGI）について

出生数の向上には、若年層の転出の抑制と転入の増加、出生率の向上など、人口の安定化に必要な多くの要素が関わっています。これらの要素を向上させるには、子育て支援だけでなく、仕事、住環境など、様々な観点から魅力あるまちづくりが必要となります。

そのため、重点政策に基づいて、基本施策の全てが横断的に連携し、取り組んでいるかを測るため、KGIの達成状況を毎年確認します。

「出生数」

令和14年度時点で維持すべき出生数 **75人**

R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

2 基本目標の評価指標（KPI）について

まちづくりは、町民、企業、関係団体、その他多くの人々がそれぞれの取り組みについて知り、積極的に関わり、可能な範囲で貢献し、それらの活動によって満足度を高めていくことが重要です。

そのため、住民意識調査により3つの基本目標を構成する21の基本施策に対し、重要度、認知度、満足度、貢献度を測り、これらを総合して数値化したものを、総合計画全体を評価する指標として、基本目標の評価指標（KPI）として、次のとおり設定し、毎年確認します。

評価指標（KPI）＝ ひとづくり指標、しごとづくり指標、まちづくり指標

指標名	現状値	目標値	R3	R4	R5	R6
ひとづくり指標	85	95				
しごとづくり指標	77	91				
まちづくり指標	87	95				

【現状値の計算方法】

住民意識調査結果から認知度、満足度、貢献度を計算します。いずれも、全回答者のうち1～3を回答した方の割合を測ります。ここでは全ての方にまちづくりに参加してもらいたいという趣旨から、全回答者を対象とします。

例) 全回答者 100 人

うち認知度1～3を回答した回答者 70人 → 満足度 70

満足度1～3を回答した回答者 40人 → 認知度 40

貢献度1～3を回答した回答者 60人 → 貢献度 60

認知度、満足度、貢献度すべてをまとめて1つの指標で表現するため、次のような形で基本目標を計算します。

例) 仕事づくり指標 = $0.3 \times \text{認知度} + 0.4 \times \text{満足度} + 0.3 \times \text{貢献度}$

→ $0.3 \times \text{認知度 } 70 + 0.4 \times \text{満足度 } 40 + 0.3 \times \text{貢献度 } 60 = 55 \text{ ポイント}$

※認知度、満足度、貢献度共に同一基本目標内の施策平均を使用します。

【目標値の計算方法】

(ア) 原則として全ての基本目標において「認知度」「満足度」「貢献度」を現状値から95ポイントに上昇させる。

(イ) 95ポイントに達するのに現状値から20%以上の上昇が求められる場合(=現状値:79ポイント以下)、現状値+20%を目標数値とする。

例) 現状値:75ポイント → 目標値:90ポイント

(ウ) 上記を踏まえ、各項目に所定の重みづけを行った合計点を目標数値とする。例)
認知度:95ポイント $\times 0.3$ +満足度95ポイント $\times 0.4$ +貢献度90ポイント $\times 0.3=93$ ポイント

<考え方>

- 総合計画全体を評価する指標においては、満足度に加えて、認知度、貢献度についても数値化し、重みづけの上、KPIを算出しています。
- 満足度においては(2)①において「概ね9割強の人が満足している状態を目指す」としているところ認知度、貢献度においても同様に9割強の人が認知、あるいは貢献している状態(=「知らない」「やってみたくない」と答えた人が5%以下)の状態を目指して目標数値を設定します。
- (2)①と同様に一年で5%以上(4年で20%以上)の数値の向上は現実的でないことから、95ポイントに到達するのに現状値から20%以上の向上が求められる指標については、現状値から20%の向上を上限として目標数値を設定します。

3 基本施策の評価指標（KPI）について

基本目標のKPIの向上を通じて、多様な人々がつながり、選ばれるまちづくりを目指します。さらに、21の基本施策及びでは、住民意識調査による満足度をKPIとして設定し、毎年度測定することで、基本目標の達成に向け、各施策の課題を把握し改善を図っていきます。

評価指標（KPI）＝ 住民意識調査による満足度

指標名	現状値	目標値	R3	R4	R5	R6
1-1 地域で大切にしている子育て環境	89	95				
1-2 次代の担い手を育てる教育環境	86	95				
1-3 生涯通じて取り組む健康づくり	89	95				
1-4 個性を活かす障がい者福祉	85	95				
1-5 安心して住み続けられる長寿社会	88	95				
1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり	84	95				
1-7 郷土愛、つながりを育てる文化・スポーツ	79	95				
2-1 豊かな海と産物を活かした水産業	84	95				
2-2 豊かな農地と産物を活かした農業	79	95				
2-3 新たな魅力や価値を生みだす商工業	84	95				
2-4 何度も訪れたい観光・交流	82	95				
2-5 新たなチャレンジを創る起業支援	74	89				
2-6 価値ある産業を残す事業継承支援	77	93				
2-7 働く環境づくり	81	95				
3-1 まちと命を守る防災	85	95				
3-2 つながりを活かした交通安全と防犯	90	95				
3-3 資源を活かす土地利用	74	89				
3-4 安心な暮らしを支えるインフラ	88	95				
3-5 暮らしを支える地域公共交通	76	91				
3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	84	95				
3-7 心と体安らぐ自然・住環境	82	95				

【現状値の計算方法】

まず、住民意識調査の全回答者のうち、①重要度で1～3を回答した回答者を測定の対象とします。

測定対象者のうち、③満足度について、1～3を回答した方の割合を測ります（＝不満足と回答していない人の割合）。

例) 全回答者 100 人

うち重要度1～3を回答した測定対象者 80 人

測定対象者のうち、質問4（満足度）で1～3を回答した方 48 人

⇒ 満足度 48 人÷80 人=60 ポイント

【目標値の計算方法】

(ア) 原則として全ての施策において KPI 指標値を現状値から95ポイントに上昇させる。

(イ) 95ポイントに達するのに現状値から20%以上の上昇が求められる指標の場合（＝現状値：79ポイント以下）、現状値+20%を目標数値とする。

例) 現状値：75ポイント → 目標値：90ポイント

<考え方>

- ・第7次総合計画における KPI 設定の考え方では住民の方の満足度の質を高めていくことも大切にしながらも、現在不満足と感じている人の割合を減らしていくことにより重点を置いています。
- ・このため、住民意識調査において、当該施策について「重要」「ある程度重要」「少しは重要」と回答した人のうち、概ね9割強の人が満足している状態（＝不満足と答えた人が5%以下）の状態を目指して、目標数値を設定します。
- ・なお、一般的に一年で5%以上（4年で20%以上）の数値の向上は現実的でないことから、95ポイントに到達するのに現状値から20%以上の向上が求められる指標については現状値から20%を上限として目標数値を設定します。

4 行財政マネジメントの評価指標（KPI）について

厳しい財政状況が続く中で、将来イメージを実現するためには、行政の縦割りの壁を越え、多くの政策分野を横断的に取り組み、様々な部署が連携するだけでなく、地域や民間の活力を活用するなど、従来の行財政マネジメントを革新していくことが求められます。

そのため、住民意識調査と同様に、町職員に対しても職員意識調査を実施し、職員の自己目標の達成度と、町の取り組みに対する実感度を毎年度確認します。

評価指標（KPI）＝ 職員意識調査による実感度

指標名	現状値	目標値	R3	R4	R5	R6
4-1 職員の成長とやりがい	87	95				
4-2 業務の高度化、効率化	89	95				
4-3 町民の満足度向上	84	95				
4-4 持続可能な行財政運営	84	95				

【現状値の計算方法】

職員意識調査の全回答者のうち、①実感度について、1～3を回答した方の割合を測ります（＝実感できないと回答していない人の割合）。

例）全回答者 100 人

うち実感度 1～3を回答した測定対象者 80 人

⇒ 実感度 80 人 ÷ 100 人 = 80%

【目標値の計算方法】

(ア) 原則として全ての施策において KPI 指標値を現状値から 95 ポイントに上昇させる。

(イ) 95 ポイントに達するのに現状値から 20% 以上の上昇が求められる指標の場合（＝現状値：79 ポイント以下）、現状値 + 20% を目標数値とする。

例）現状値：75 ポイント → 目標値：90 ポイント

<考え方>

- ・ 第 7 次総合計画における KPI 設定の考え方では職員の実感度の質を高めていくことも大切にしながらも、現在実感できないと感じる職員の割合を減らしていくことにより重点を置いています。
- ・ なお、一般的に一年で 5% 以上（4 年で 20% 以上）の数値の向上は現実的でないことから、95 ポイントに到達するのに現状値から 20% 以上の向上が求められる指標については現状値から 20% を上限として目標数値を設定します。

5 重点事業の管理指標について

(1) 子育て支援と教育の充実

子育て世代の不安や不満を緩和し、地域ぐるみで子育て世代を支援する、子育て環境づくりを目指します。

・希望の保育所に入所している乳・幼児の割合

基準値 令和元年度	令和6年度までの目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
100%	100%	%	%	%	%

・放課後児童クラブの申込みに対する充足率

基準値 令和元年度	令和6年度までの目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
84%	100%	%	%	%	%

・赤ちゃん訪問の実施率

基準値 令和元年度	令和6年度までの目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
100%	100%	%	%	%	%

(2) 産業の活性化と雇用の確保

就業をきっかけとした人口流出を防ぐとともに、人口減下でも維持・発展していくため、地位以内経済の循環の拡大を推進するとともに、産業の活性化と雇用の確保を目指します。

・新規漁業就業者数

基準値 令和元年度	令和6年度までの目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
9人/年	9人/年	人/年	人/年	人/年	人/年

・新規農業就業者数

基準値 令和元年度	令和6年度までの目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2人/年	2人/年	人/年	人/年	人/年	人/年

・観光客数

基準値 令和元年度	令和6年度までの目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
278.5万人/年	280万人/年	人/年	人/年	人/年	人/年

・商工会会員数

基準値 令和元年度	令和6年度までの目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1,101事業者	1,101事業者	事業者	事業者	事業者	事業者

(3) 定住支援

町民や移住希望者が住み続けたいと思えるような、インフラ、生活環境、コミュニティ等、安心してらせるまちづくりを目指します。

・空き家バンク相談件数

基準値 令和元年度	令和6年度までの目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
43件/年	56件/年	件/年	件/年	件/年	件/年

・空き家バンク契約件数

基準値 令和元年度	令和6年度までの目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
9件/年	14件/年	件/年	件/年	件/年	件/年

・空き家バンク移住者数

基準値 令和元年度	令和6年度までの目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
14人/年	17人/年	人/年	人/年	人/年	人/年

・コミュニティバス利用者数

基準値 令和元年度	令和6年度までの目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
19.8万人/年	20万人/年	人/年	人/年	人/年	人/年

資料編

1 財政計画表

ずっと南知多 もっと南知多 だから南知多

未来へつなげるスタートブック

南知多町

はじめに

わたしたちが暮らす南知多町では、令和3年度から第7次南知多町総合計画の前期計画がスタートします。前期計画では、「絆・選ばれる理由があるまち」を目指し、「暮らし続けられるまちを“あなた”とつくる」ため、町全体が一丸となってまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。

この冊子は、これからの南知多町のまちづくりを読んで理解しやすいようマンガなどを使いまとめています。

また、この計画に少しでも興味を持ち、まちづくりについて考えてもらえるきっかけとなるよう計画自体のキャッチコピーをみなさんと一緒に考えました。

これをきっかけに、南知多町の現状を知ってもらい、未来を考えることで、これまで以上に好きになり、「ずっと南知多 もっと南知多 だから南知多」と思ってもらえるように願っています。

キャッチコピー

ずっと南知多 もっと南知多 だから南知多

込められた思い

この町で生まれ育った人にも、観光で訪れる人にも、これから移り住もうとする人にも、南知多町を選ぶ理由がある。

もくじ

1	マンガでわかる「総合計画ってなに？」・・・・・・・・・・	1
2	総合計画とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3	マンガでわかる「アクションプランってなに？」・・・・	5
4	アクションプランとは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
5	マンガでわかる「住民意識調査モニターってなに？」・・	7
6	住民意識調査モニターとは・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
7	マンガでわかる「評価委員会ってなに？」・・・・・・・・	9
8	総合計画評価委員会とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
9	基本目標と基本施策・行財政マネジメント・・・・・・・・	11
10	重点政策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
11	協働・共創のまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
12	目標指標（KGI）とまちづくり指標（KPI）・・・・・・・・	15

1 マンガでわかる「総合計画ってなに？」



1

総合計画ってなに？

チタオ（中学生）

4

総合計画にはこんなことが書いてあります・・・

①将来こうあってほしいと共有する姿

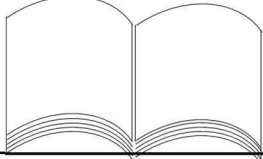
「将来イメージ」

②実現するための町民全体の考え方

「基本理念」

2

まちづくりの取組みをまとめたものです！



役場の人

③まちづくりの目標と達成度を測る基準

「目標とKPI」



まちづくりの一番大切な計画です。

3

どんなことが書いてあるの？

ミナミ（中学生）

5

うーん 何かむずかしいなあ。

まず、①の将来イメージについて説明します！

6


将来こうあってほしいと共有する姿？

どんな姿かなあ？

9

将来イメージ

絆・選ばれる理由があるまち



7

絆 = つながり

このまちには、もうあるじゃないですか！
人と人との絆！この今あるつながりを

色んなものがつながりあうことで、それが魅力となって住む・働く・訪れるまち。総合計画では、そんな姿を描いています。

8

5地区をこえて、市町をこえて、都市と地方、世界まで、もっともっと広げていくことで、いろいろな人から選ばれる理由があるまちを目指していきましょう。

地域	市町	地方と都会	企業
日本全国	世界	産業間	文化

10

このイメージを実現するためには、まちのみんなと同じ行動をする必要があるんです！

それが②の基本理念だね！

1 マンガでわかる「総合計画ってなに？」

11

基本理念（まちづくりの考え方）

暮らし続けられるまちを
“あなた” とつくる

役場
住民サービスの提供

地域
地域貢献

企業
社会貢献

まちのみんながそれぞれできることをして、将来イメージの実現を目指しましょう。

UP!

13

なんでもいいですよ！
地域の中で自分ができることをやってみよう！
例えば・・・

14

ごみの分別をする

あいさつをする

12

さらに！これからの時代は、みんなが自分たちの町は自分たちで作り、育てるという意識をもって力をあわせることが必要になってきます！

自分たちにはなにができるの？

地消地産

お祭りに参加する

15

なるほど！それならできそうだね！

ところで役場は何をやっているの？

16

それは、アクションプランを読んでみてください。（詳しくは〇ページ）

アクションプラン

さらに！新総合計画の目玉として、2つの仕組みを新たに取入れました！

将来イメージ実現のため具体的な事業をまとめた冊子

17

町長

今回の目玉はこれです！

18

総合計画による将来イメージ実現に向けた取組みの実施

将来

役場

住民意識調査

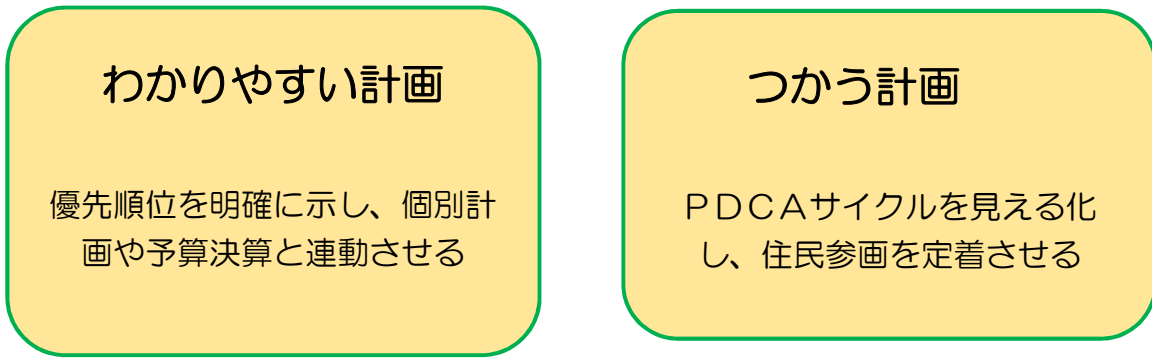
モニター制のアンケート調査

住民による評価委員会の開催

評価委員会

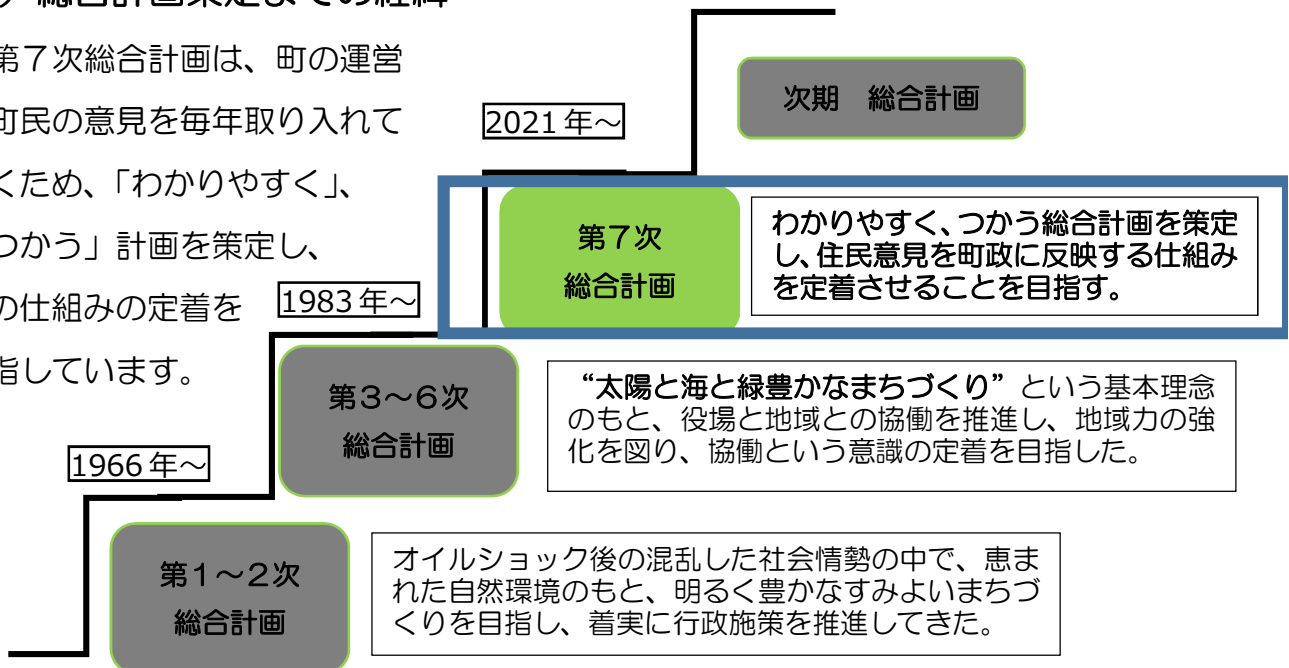
2 総合計画とは

(1) 新しい総合計画のコンセプト



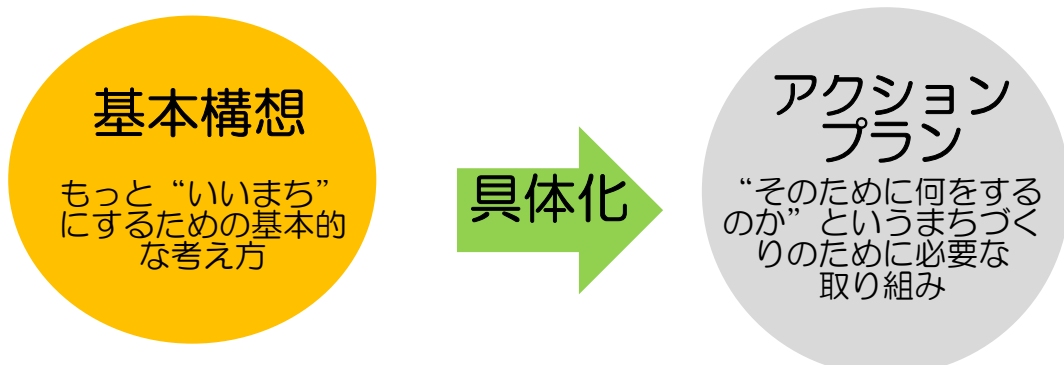
(2) 総合計画策定までの経緯

第7次総合計画は、町の運営に住民の意見を毎年取り入れていくため、「わかりやすく」、「つかう」計画を策定し、その仕組みの定着を目指しています。



(3) 総合計画の構成

第7次総合計画は、南知多町をもっと“いいまち”にするための基本的な考え方を示す「基本構想」と、“そのために何をするのか”というまちづくりのために必要な取り組みを示す「アクションプラン」の2つでできています。



2 総合計画とは

(4) 将来イメージと基本理念

将来イメージ（まちづくりのゴール）

絆・選ばれる理由があるまち

～ Bonding , reason to be chosen ～

このまちに住む人たちだけでなく、様々な人たちとつながる「絆（きずな）」を大切にして、それが地域の“いいところ”として、様々な人たちに「選ばれる」理由になるようなまちを目指します。

基本理念（まちづくりの考え方）

暮らし続けられるまちを “あなた” とつくる

様々な人たちに「選ばれる」まちにするためには、多くの人の協力が必要です。また、「自分がまちをつくっている」という実感があると、もっと南知多町のことが好きになるし、「ここで暮らし続けたい」という思いにもつながります。そのため、このまちを選んでくれた全ての“あなた”とともに、暮らし続けられるまちづくりを行います。

(5) 総合計画のつかい方

「将来イメージ」どおりの“いいまち”にするためには、このまちに暮らす様々な人たちだけでなく、会社、役場、その他多くの人たちが、一緒になってまちづくりに取り組む必要があります。

このため、まちづくりにかかわる“みんな”が同じ方向を向いて、一緒にまちづくりに取り組めるようにするために、総合計画をつかいます。

さらに、総合計画は、一度作ったら終わりじゃなくて、よりいいものにするためにたえず改善を続けます。

まちづくりのゴールへ向かって取り組んだ結果をまちづくり指標（KPI）を使って、どれだけ「将来イメージ」に近づいたかをチェックします。

チェックした結果にもとづいて、まちづくりの取り組みがもっとよくなるように、改善を続けていきます。

3 マンガでわかる「アクションプランってなに？」

アクションプランってなに？

総合計画はわかったけど...

横文字難しい

アクション？プラン？

チダオ(中学生) ミナミ(中学生)

将来イメージを実現するために具体的になにをするのか書いたもの

”総合計画” → ”アクションプラン”

具体化

まちづくりの会長

なんかむずかしいね

3

見てみるとなかなかおもしろいよ

4

百聞は一見にしかず

でも... ページが多くて見る気にならないよ

なるほど

6

自分の得意な分野や興味のあるものを見てみるとよいぞっ

7

子育て 防災 産業 まちづくり

ちょっと一つ見てみるかの。これなんかどうかの。例えば...

まちづくり推進事業		
町まちづくり協議会を運営します！		
令和3年度 予算〇円 ・〇〇事業 ・〇〇事業	令和4年度 予算〇円 ・〇〇事業 ・〇〇事業	令和5年度 予算〇円 ・〇〇事業 ・〇〇事業

何が書いてあるの？

5

役場

住民課 税務課 総務課

役場のいろいろな部署の仕事について

- ① 3年先までの実施計画 (主な事業)
- ② 計画を進めるための流れ (すべての事業)
- ③ 進み具合をチェックするための目印 (KPI)

フムフム ふむふむ

8

- ・税金ってこういうことに使っているのか
- ・この仕事はもっとこうしたいほうがいいのに
- ・この取り組みはいいけど まちのみんなはあまり知らないな...

???

役場ががんばっているのわかったけどアクションプランにどうやって意見を言えばいいんだろう？

9

モニターになると住民意識調査(アンケート)と評価委員会(意見交換会)で意見を出せると聞いたぞ!

うちのばあちゃんもだ!!

そういえばパパがモニターになってるから相談してみよう!

10

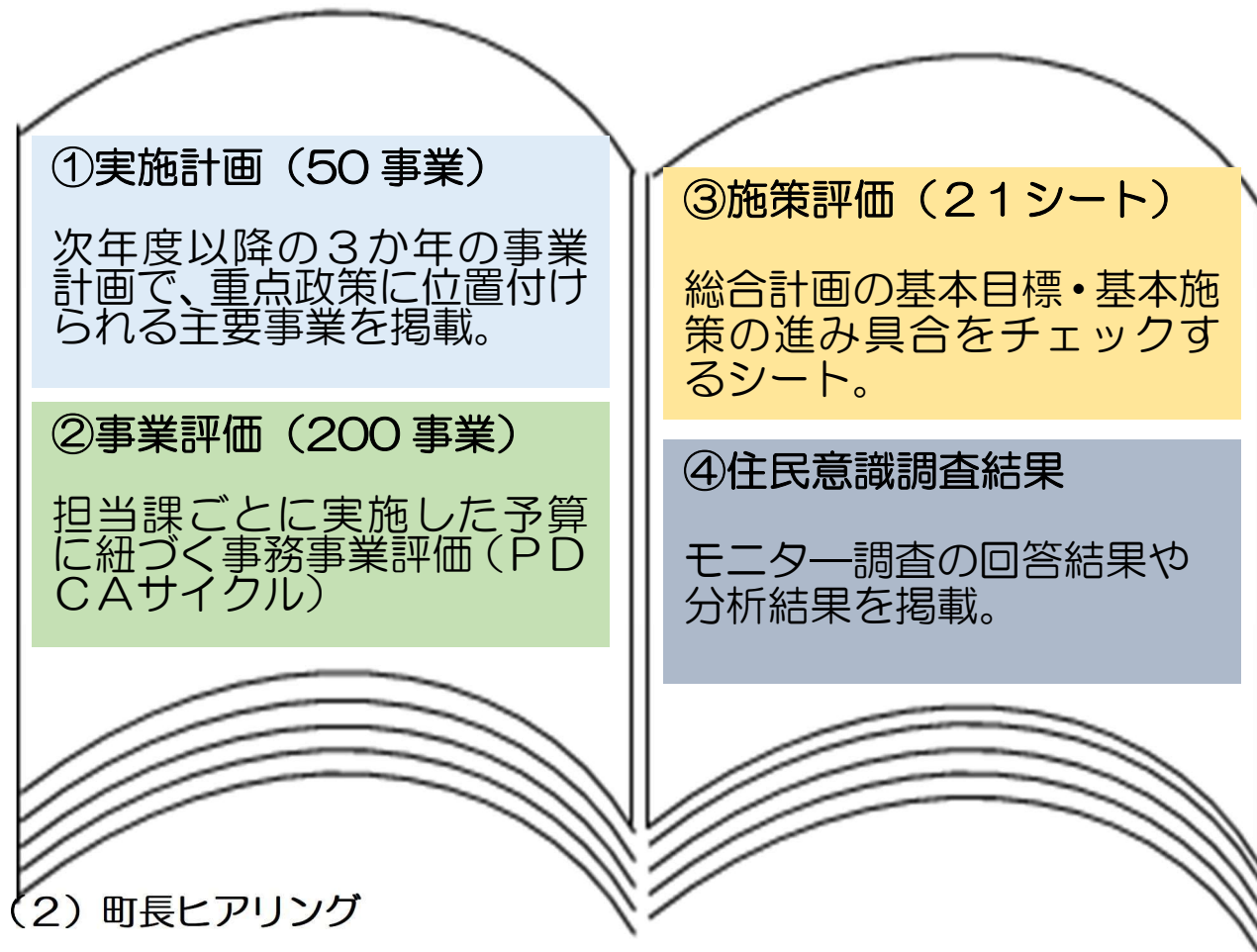
モニターじゃなくても以外にもインターネットでアンケートに回答できるぞ

4 アクションプランとは

(1) アクションプラン

アクションプランは、将来イメージを実現するために、重点政策に位置付けられる「主な事業」をまとめたもので、今後3年間、どのように事業を行っていくかを具体的に示したものです。みなさんからいただいたアンケート調査や評価委員会での意見をもとに、毎年度、進み具合をチェックし、新しい要素を加えたり、見直しを行ったりすることで、柔軟に事業を進めていきます。

アクションプランの中身



(2) 町長ヒアリング

町長ヒアリング（役場の各課と町長との調整会議）

- 内部審査の実施
- 住民意識調査の結果の分析・反映
- 総合計画評価委員会意見の反映

(3) 予算要求

町長ヒアリングを行った結果をもとに作成・公表したアクションプランに基づいて、役場の担当課は予算要求をします。アクションプランに載っている事業以外にもたくさんのお仕事をしていますが、役場の財政状況により不採択となることもあり、次年度以降先送りとなる事業もあります。

5 マンガでわかる「住民意識調査モニターってなに？」

1

何かモニターのお願ひされたけど...

よくわからないけどやってみるか...

もに田さん

3

1年に1回送られてくるアンケートに答えてください!

役場

アンケート Q&A

毎年 4月頃...

2

モニターは、各団体から選ばれた人たちと自分で立候補した住民をあわせて100人の代表で構成されています!

任期 5年間

農協 漁協 一般公募 観光協会 商工会

4

モニターには、5年間続けて答えることで、総合計画の進み具合をチェックしていただきます!

重要度 認知度 満足度 貢献度

他にはまちづくりについて意見を出すことができます!

5

21問答えることなら自分にもできそうだ!

6

アンケートに答えることで、みなさんの意見は、役場の事業に反映されます!

役場

住民ニーズに、次年度はここを改善しよう!

UP!

アンケートにお答え下さい!

重要ですか? 満足ですか?
知ってますか? 貢献してますか?

- 1~4に○を付けてください!
- 自由に意見をお書きください!

全部で21問!!

へえ~。知らなかったけど色んな事業があるなあ。「3知りたいと思う」に○っと。

こんなことなら普段からやってるな。「1やったことある」に○つけばいいんだな。

7

今までどうやって伝えていかなかったけど、これなら気軽に言えるぞ!

みんなにも教えてあげよう!

8

みんなで参加して南知多町の未来を一緒につくっていきましょう!

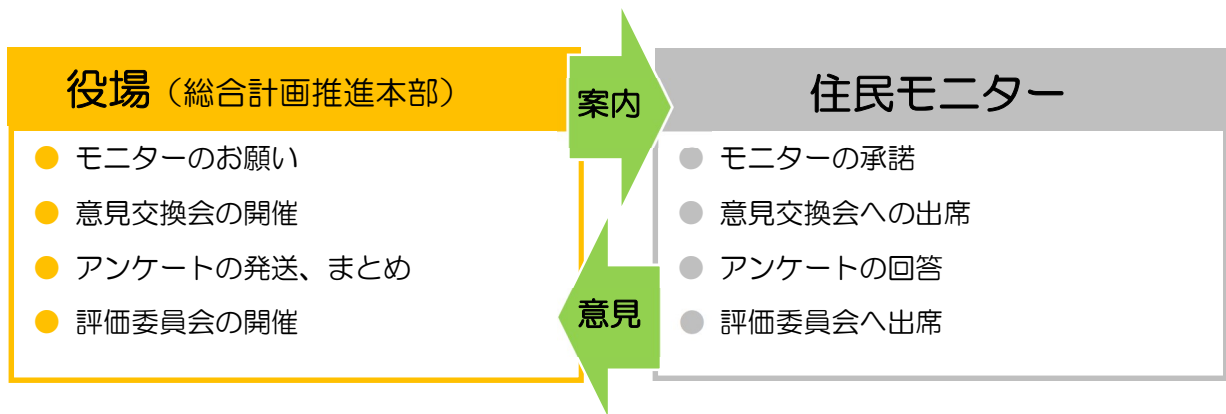
6 住民意識調査モニターとは

(1) 住民意識調査モニター

住民意識調査モニターは、5年間、継続して町の取り組みに対するアンケートに協力していただきます。アンケートは、町の取り組みに対して、重要度・認知度・満足度・貢献度、まちづくりに対する評価、意見、要望をお聞きします。その結果をもとに、将来イメージに近づいているかチェックし、改善していきます。

モニターは、年代、性別、地域のバランスを見て100名の方に協力していただいています。

モニターになっていない方も、インターネットにより自由にアンケートに答えられますので、一緒にまちづくりについて考えてみましょう。



住民意識調査（アンケート調査）の内容

基本目標1 地域で育む入づくり

1-1 地域で大切にしている子育て環境

1. 現状と課題

本町の強みとして、自然が豊かで遊びと遊べる環境がある一方で、出生数は減少傾向にあり、子育て環境整備に向けた取り組みが必要となっています。

2. 目指すべき将来像

(1) 目指すべき将来像

母子の健康が保持・増進され、豊かな自然の中で子どもが遊び、子育てと仕事が両立できる、子育て世代に選ばれるまちを目指します。

(2) 将来像の実現に向けて

子育て環境は各家庭の問題と捉えるのではなく、地域全体で取り組んでいく重要なテーマであると位置付け、以下の内容に取り組んでいきます。

乳幼児健診、訪問指導、育児相談等切れ目のない子育て支援サービスの充実を図ります。

保育所再配置を検討し、適正な児童数での保育所運営、公園環境の維持管理、歩道の整備等を進めます。

十分な福祉・医療サービスを受け、安心して生活するために、子どもやひとり親などの医療費や不妊に悩む夫婦の一般不妊治療費を助成します。

現在実施している子育て支援事業や一時保育、延長保育等の保育サービスを充実させるとともに、ファミリー・サポート・センター等の新しい事業についてはニーズを考慮し実施を検討するなど、町として子育てを応援するため実践的な取り組みを行っていきます。

(3) 地域との協働

地域の大人が子どもを見守り、子育て世代同士が協力し合う活動を支援します。また、近年普及しているスマートフォンアプリを利用した子育て関係のサービス等、民間サービスの普及による課題への対応を検討します。

これは計画本文の「基本施策 1-1 地域で大切にしている子育て環境」の該当ページです。

この取組みに対して、次の質問に答えてください。

- ①あなたにとって重要ですか？
- ②取組みを知っていますか？
- ③取組みに満足していますか？
- ④あなたが行っていることはありますか？

その他ご意見・ご提案がありましたら自由に書いてください。

7 マンガでわかる「評価委員会ってなに？」

1

役場から何か届いたわ・・・

モ二本さん

評価委員会の
ご案内
〇年〇月〇日
〇時～〇時
役場大会議室

毎月
〇月頃・・・

役場

5

アクションプランの説明は、〇〇ページを見てください！

ここで解説

モニターには、色んな分野で活躍している人がいて、年齢も18歳～70歳まで様々です。
アクションプランを見て「この取組みは良い」「この取組みは見直した方が良い」など、みなさんの想いを伝えていただきたいです！！

課長

2

モニターはこれです！

任期5年のうち

- 毎年のアンケート調査
- 地区別の意見交換会
- 評価委員会への出席

評価委員会とは・・・
アクションプランの意見交換会です。

6

そういうことならできそうね！一度会議に出てみようかしら！

出席・欠席

7

会議当日

3

なるほど！5年に1回会議に出ればいいのね！

4

でも、アクションプランの意見交換会？

一体何を言えればいいのかしら？

8

会議室

へえ！知っている人も何人かいるわね。

本日はよろしくお願いします！！
率直な意見をお願いします！

9

当日の流れ

- アクションプランの説明 (30分)
- 質疑・応答 (30分)
- 意見交換 (60分)

事前にお配りしたアクションプランについて事務局から説明します！

11

意見交換

みなさんの経験から、「この取組みは良い」とか、「これに取組む必要がある」とか、アイデアなども含めてご意見はありますか？

この〇〇事業は、地域の〇〇団体と協力して取り組めば、より良いサービスができると思います！

10

質疑・応答

座長

ただいまの説明・資料に何か質問はありますか？

アクションプランの〇〇ページについて、もう少し詳しく教えてください。

12

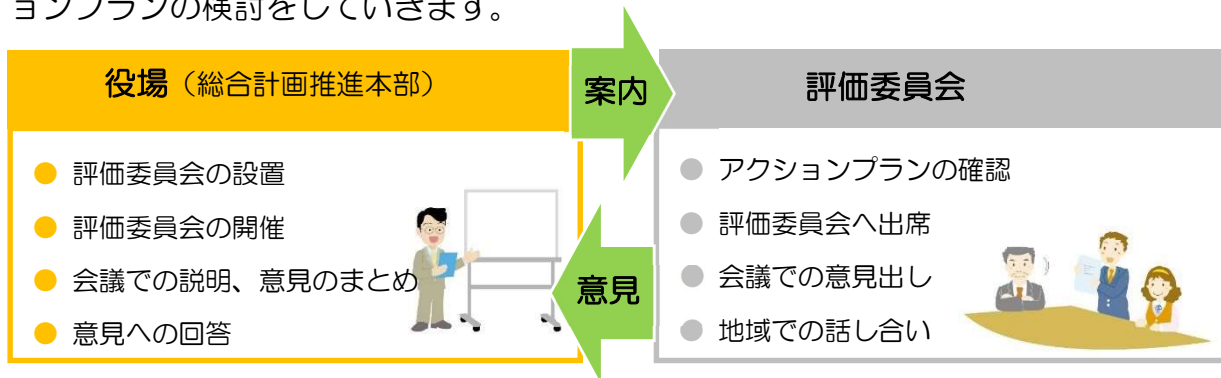
みなさんの意見を次年度以降の役場運営に役立てていきます！

自分たちの声が、直接届けられる機会が、毎年あるなんていいわね！もっと役場のことが知りたくなったわ！

8 総合計画評価委員会とは

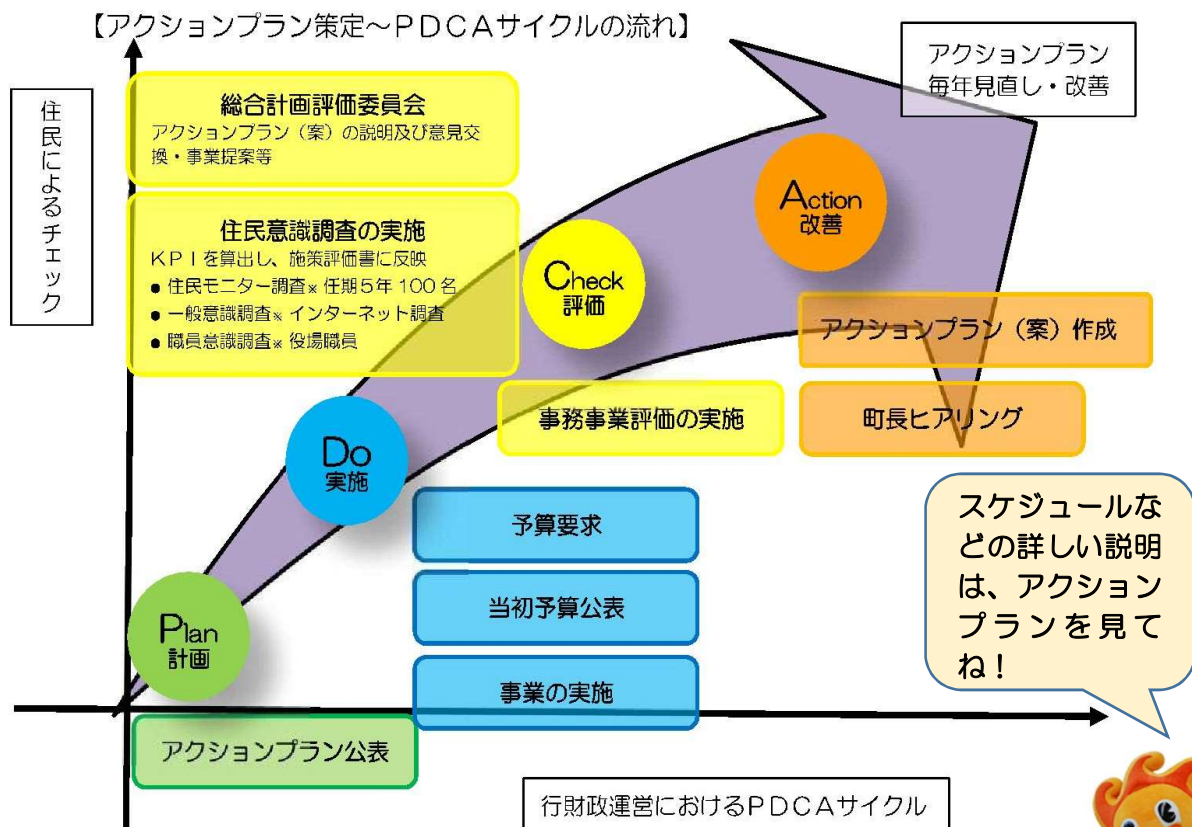
(1) 評価委員会

将来イメージの実現に向けて、毎年、実施する事業を具体的に示したアクションプランの説明をし、そのアクションプランに対する意見交換を行います。モニターの方が出席する会議で、役場と住民との意見交換を行い、その結果をもとに、次のアクションプランの検討をしていきます。



(2) つかう総合計画PDCAサイクル

アクションプランの進行管理のため、PDCAサイクルを回して取組みの成果の検証を行い、検証に基づく項目の見直しや改善を行います。毎年度見直しすることで、アクションプランを進化させ、予算編成や組織改編に反映することによって、総合計画の実効性をさらに高めていきます。



9 基本目標と基本施策・行財政マネジメント

南知多町が進める取り組み

未来のあるべき姿を実現するために、基本目標と基本施策、行財政マネジメントの柱にまとめました。

将来イメージ	基本理念	基本目標	基本施策
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">絆・選ばれる理由があるまち</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">暮らし続けられるまちを“あなた”とつくる</p>	<p>地域で育む ひとづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1-1 地域で大切にしている子育て環境 1-2 次世代の担い手を育む教育環境 1-3 生涯通じて取り組む健康づくり 1-4 個性を活かす障がい者福祉 1-5 安心して住み続けられる長寿社会 1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり 1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ
		<p>地元をにぎわす しごとづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 2-1 豊かな海と産物を活かした水産業 2-2 豊かな農地を活かした農業 2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業 2-4 何度も訪れたい観光・交流 2-5 新たなチャレンジを創る起業支援 2-6 価値ある産業を残す事業承継支援 2-7 働く環境づくり
		<p>安心できる まちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 3-1 災害に強く安全に暮らせるまちづくり 3-2 つながりを活かした防犯 3-3 資源を活かす土地利用 3-4 安心な暮らしを支えるインフラ 3-5 暮らしを支える地域公共交通 3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ 3-7 心と体安らぐ自然・住環境
		<p>行財政 マネジメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4-1 職員の成長とやりがい 4-2 業務の高度化、効率化 4-3 町民の満足度向上 4-4 持続可能な行財政運営

将来イメージを実現するための 3つの重点政策

本町が安心して暮らし続けられるまちであるために、特に優先的に取り組まなければならないことをまとめました。

全ての政策分野で連携して実施

重点政策①

子育て支援と教育の充実

重点政策②

産業の活性化と雇用の確保

重点政策③

定住促進

人口減少の抑制を目指す

11 協働・共創のまちづくり

(1) 協働・共創のまちづくり

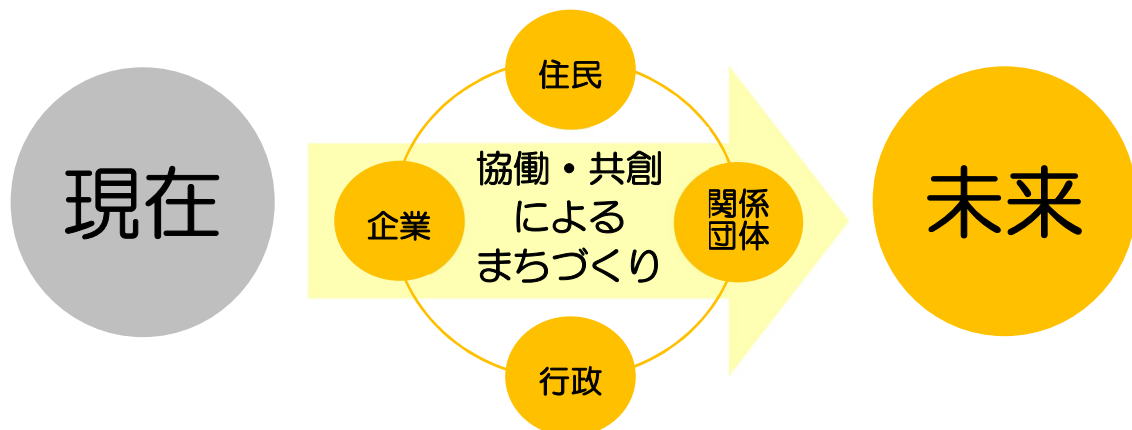
南知多町をもっと“いいまち”にするためには、このまちに暮らす様々な人たちだけでなく、会社、役場、その他多くの人たちが、一緒になってまちづくりに取り組む「協働（きょうどう）」「共創（きょうそう）」が必要です。

一人でやるには大変なことでも、みんなでやればできるかもしれない。一人で悩んで答えが出なくても、みんなで考えればもっといい答えが出るかもしれない。

まちづくりにかかわる“みんな”が同じ方向を向いて、一緒にまちづくりを取り組めば、もっと大きな力を出せるはずです。

これからのまちづくりは、町民と行政が対等の立場で、共に考え、共に協力して働く「協働」をさらに進め、町民のみなさんが、自分たちのまちは自分たちで創り、育てるという意識をもって、南知多町をよりよくする一歩進んだ「共創」の取組みを進めていくことが大切です。

みんなが、“今”行動しなければこのまちが“いいまち”になることはありません。まちづくり主役は、“あなた”です。



(2) わたしにできること

例えば・・・

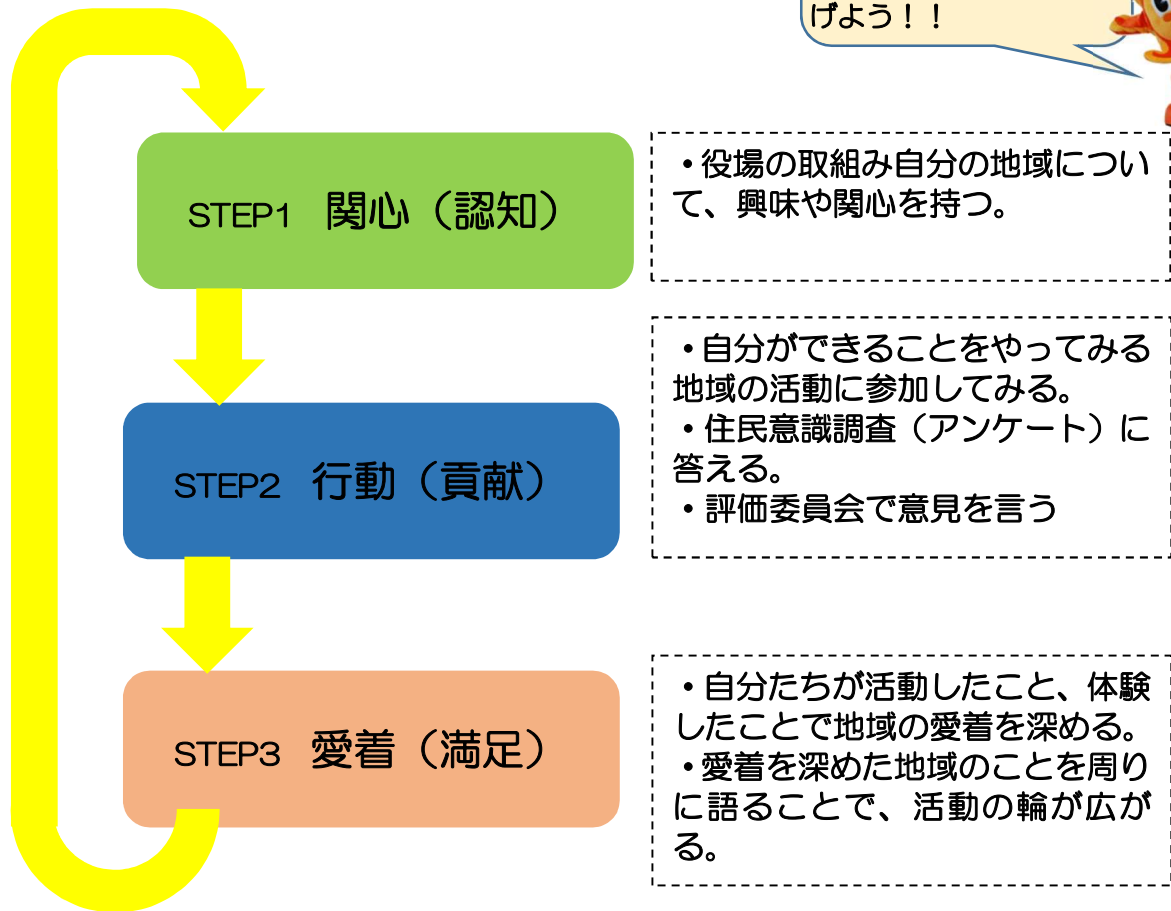
- ・節電やごみの分別などの環境に優しい活動をする。
- ・地元産の水産物や農産物を積極的に食べる。
- ・町内にあるお店を積極的に利用する。
- ・地域の人と日頃からあいさつをする。
- ・積極的に地域のお祭りに参加する。など・・・

このほかにも、自分でできることは自分でやり、地域の中で自分ができることをやってみよう！

11 協働・共創のまちづくり

(3) まちづくりの輪を広げる3つのSTEP

住民意識調査（アンケート）や評価委員会に出て、まちづくりの輪を広げよう！！



さあ！みんなで南知多町を
もっと“いいまち”にしよう！！

For The Future

次のページでは、総合計画をチェックするための、指標を一覧にしています。
この新しい総合計画では、これまでの総合計画で使ってきた指標とは、違うものを採用しています。

まず、言葉の意味から見てみましょう！

指標とは・・・総合計画の進み具合をチェックするための目じるしとなるもの。

KG Iとは・・・Key Goal Indicator（キーゴールインディケーター）を省略したもので、日本語では「重要達成目標指標」と言われ、総合計画の「最終目標」となります。

KPIとは・・・Key Performance Indicators（キーパフォーマンスインディケーターズ）を省略したもので、日本語では「重要業績評価指標」と言われ、総合計画の達成度を把握し評価するための「中間目標」となります。

12 目標指標（KGI）とまちづくり指標（KPI）

まちづくりの指標をみんなでチェックしよう！

目標指標（KGI）	現状値	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	目標値
令和14年時点で維持すべき出生数75人	60人					75人
地域で育むひとづくり	85					95
1-1 地域で大切にしている子育て環境	89					95
1-2 次世代の担い手を育む教育環境	86					95
1-3 生涯通じて取り組む健康づくり	89					95
1-4 個性を活かす障がい者福祉	85					95
1-5 安心して住み続けられる長寿社会	88					95
1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり	84					95
1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ	79					95
地元をにぎわすしごとづくり	77					91
2-1 豊かな海と産物を活かした水産業	84					95
2-2 豊かな農地を活かした農業	79					95
2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業	84					95
2-4 何度も訪れたい観光・交流	82					95
2-5 新たなチャレンジを創る起業支援	74					89
2-6 価値ある産業を残す事業承継支援	77					93
2-7 働く環境づくり	81					95
安心できるまちづくり	87					95
3-1 災害に強く安全に暮らせるまちづくり	85					95
3-2 つながりを活かした防犯	90					95
3-3 資源を活かす土地利用	74					89
3-4 安心な暮らしを支えるインフラ	88					95
3-5 暮らしを支える地域公共交通	76					91
3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	84					95
3-7 心と体安らぐ自然・住環境	82					95
行財政マネジメント						
4-1 職員の成長とやりがい	87					95
4-2 業務の高度化、効率化	89					95
4-3 町民の満足度向上	84					95
4-4 持続可能な行財政運営	84					95

今度は、南知多町を
みんなで考えてみよう!!

あなたはどうか考える?

どんな南知多町になったらいいと思う?
どんなことでもいいから書いてみよう!



Four horizontal dashed lines for writing.

あなたはどうか考える?

自分の将来のことも考えて計画してみない!
12年後のあなたと南知多町の姿を書いてみよう!



Four horizontal dashed lines for writing.

第7次南知多町総合計画

スタートブック

策 定 令和3年〇月策定

発 行 南知多町

編 集 企画部企画課

〒470-3495

愛知県知多郡南知多町大字豊浜字貝ヶ坪18

TEL：0569-65-0711（代表）

URL：<http://www.town.minamichita.lg.jp/>

住民意識調査(モニター調査)結果について

第7次総合計画のKPI指標を算出することを目的として、住民意識調査を及び職員意識調査を以下の通り実施しました

住民意識調査及び職員意識調査の実施概要

		住民意識調査		職員意識調査
		住民モニター	職員※	
調査期間		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 令和2年6月(1か月間) 		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 令和2年6月(1か月間)
調査対象		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 団体が推薦する南知多町在住の方100名 ➤ うち回答者数100名 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 南知多町役場に在勤する職員146名 ➤ うち回答者数146名 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 南知多町役場に在勤する職員139名(出向中等の職員は除く) ➤ うち回答者数139名

※ 職員が回答した住民意識調査については参考値とし、総合計画のKPI指標には反映しない

住民意識調査及び職員満足度調査の結果、基本目標及び各施策のKPI(満足度)は以下の通りとなりました

KPIの結果(施策)

単位:pt

施策名	KPI指標	目標(案)	参考:職員
地域で育むひとづくり			
1-1 地域で大切に育てる子育て環境	89	→ 95	97
1-2 次代の担い手を育む教育環境	86	→ 95	92
1-3 生涯通じて取り組む健康づくり	89	→ 95	97
1-4 個性を活かす障がい者福祉	85	→ 95	96
1-5 安心して住み続けられる長寿社会	88	→ 95	97
1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり	84	→ 95	92
1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ	79	→ 95	95
地域をにぎわす仕事づくり			
2-1 豊かな海と産物を活かした水産業	84	→ 95	97
2-2 豊かな農地と産物活かした農業	79	→ 95	93
2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業	84	→ 95	93
2-4 何度も訪れたい観光・交流	82	→ 95	97
2-5 新たなチャレンジを創る起業支援	74	→ 89	89
2-6 価値ある産業を残す事業承継支援	77	→ 93	88
2-7 働く環境づくり	81	→ 95	94
安心できるまちづくり			
3-1 まちと命を守る防災	85	→ 95	96
3-2 つながりを活かした防犯	90	→ 95	99
3-3 資源を活かす土地利用	74	→ 89	94
3-4 安心な暮らしを支えるインフラ	88	→ 95	95
3-5 暮らしを支える地域公共交通	76	→ 91	94
3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ	84	→ 95	97
3-7 心と体安らぐ自然・住環境	82	→ 95	97

施策名	KPI	目標値(案)	参考:職員
行財政マネジメント			
職員の成長とやりがい	87	95	-
業務の高度化・効率化	89	95	-
町民の満足度向上	84	95	-
持続可能な行政運営	84	95	-

※ 目標値(案)は一律満足度を95ptに向上させること(95ptにするのに現状値から20人%の向上が必要な場合は、20%を上限)を目標にして設定しています。

住民意識調査及び職員満足度調査の結果、基本目標及び各施策のKPI(満足度)は以下の通りとなりました

KPIの結果(基本目標)

単位:pt

	認知度 (0.3)	満足度 (0.4)	貢献度 (0.3)	合計	目標値案
地域で育むひとづくり	24	35	26	85	95
地元をにぎわす仕事づくり	20	32	24	77	91
安心できるまちづくり	26	34	27	87	95

※ 評価項目のカッコ内は重みづけの係数

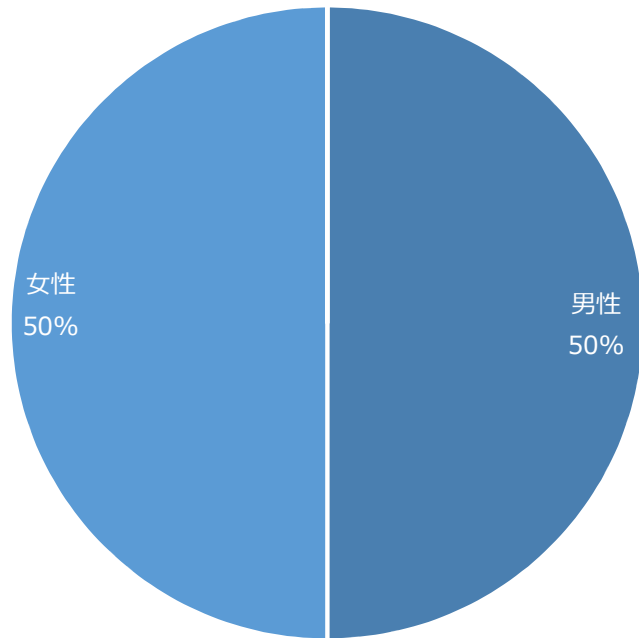
※ 各評価項目の点数は基本目標の中の7つの施策の平均値を重みづけしたもの

※ 目標値(案)は原則一律95ptに向上(95ptに向上させるのに現状値から20%以上向上させるのが必要な場合は20%を上限)させることを目標にして設定しています。

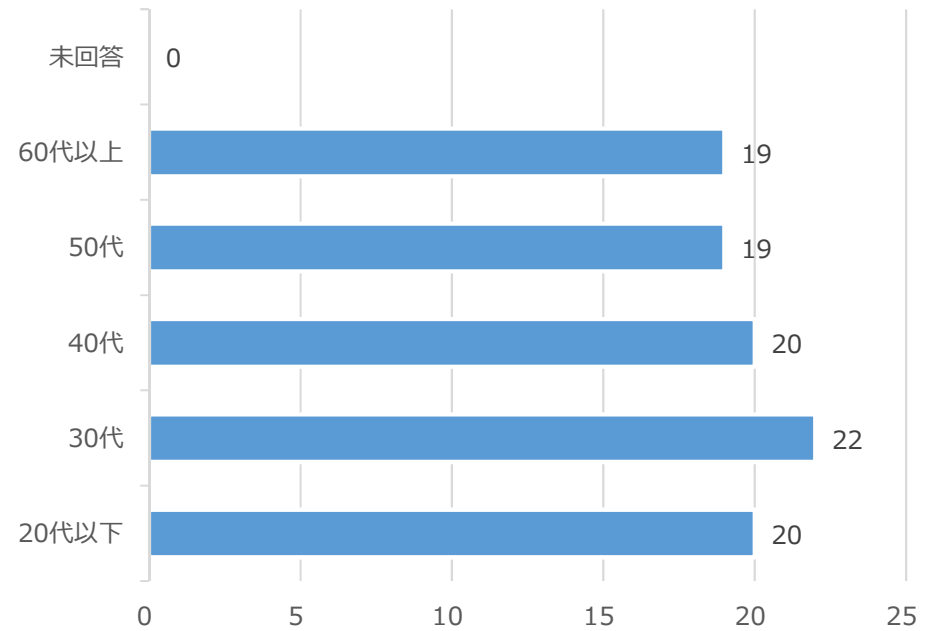
住民意識調査の回答者属性は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答者属性

男女比



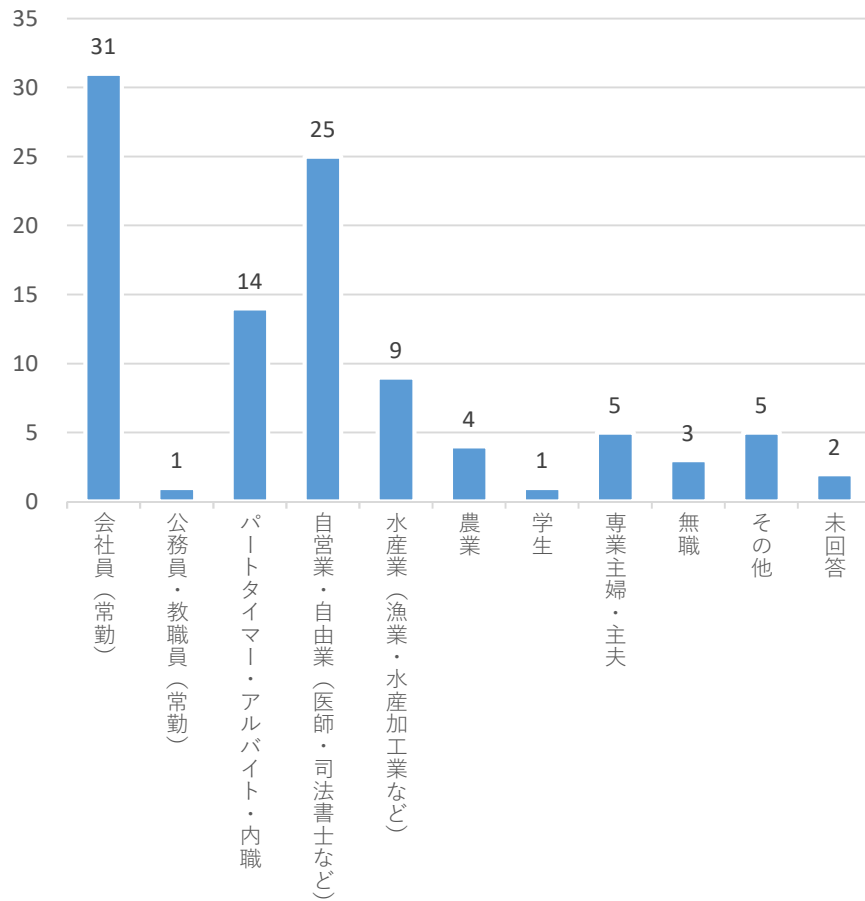
年齢構成



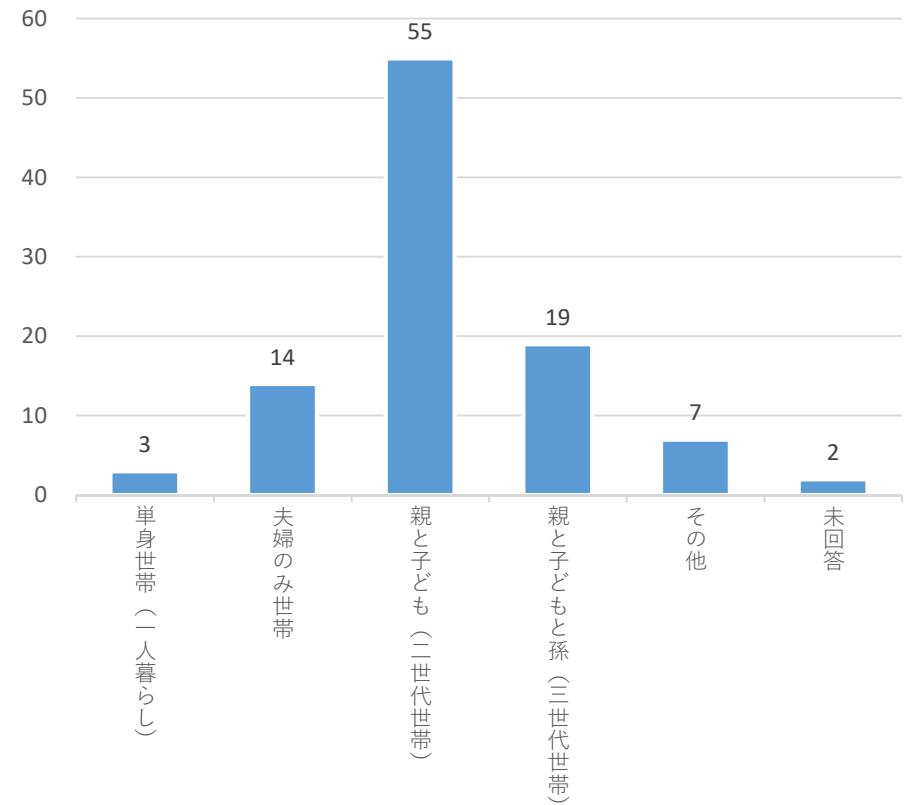
住民意識調査の回答者属性は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答者属性

職業



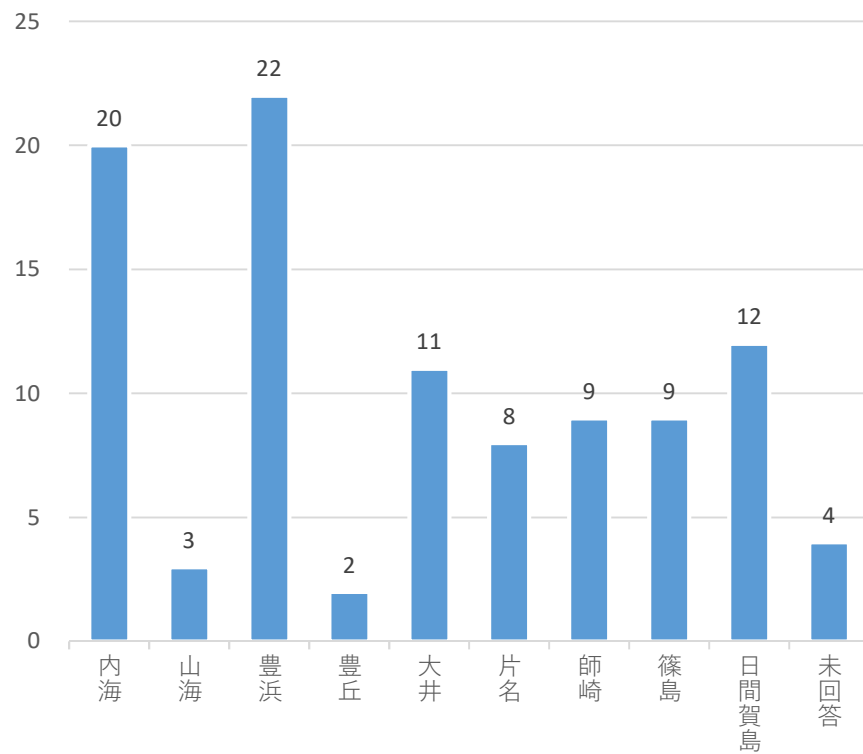
家族構成



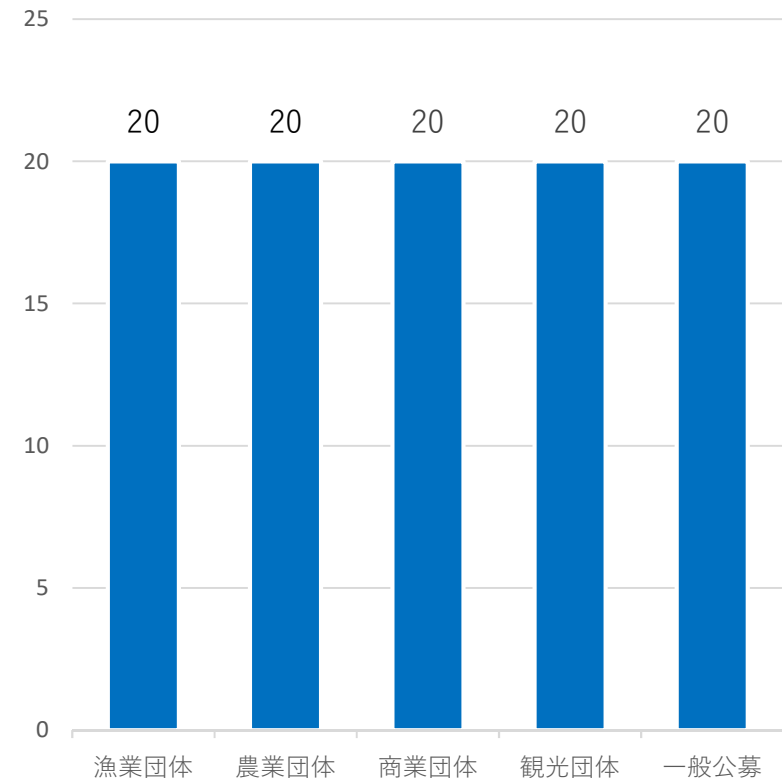
住民意識調査の回答者属性は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答者属性

在住・在勤地



推薦団体



基本目標①「地域で育むひとづくり」分野では以下の結果が得られました

回答結果の要約

各指標の状況(地域で育むひとづくり)	
重要度	<ul style="list-style-type: none">▶ 全ての項目において重要度は99pt、もしくは100ptとなっています。
認知度	<ul style="list-style-type: none">▶ 認知度の全施策平均は78pt、基本目標①の施策平均は79ptとなっています。▶ 最も認知度が高かったのは「次代の担い手を育む教育環境」(85pt)で、最も認知度が低かったのは「個性を活かす障がい者福祉」と「豊かな自然を活かしたひとづくり」(72pt)でした。
満足度	<ul style="list-style-type: none">▶ 満足度の全施策平均は84pt、基本目標①の施策平均は87ptとなっています。▶ 最も満足度が高かったのは、「地域で大切に育てる子育て環境」(91pt)で最も満足度が低かったのは「個性を活かす障がい者福祉」と「郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ」(79pt)でした。
貢献度	<ul style="list-style-type: none">▶ 貢献度の全施策平均は87pt、基本目標①の施策平均は87ptとなっています。▶ 最も貢献度が高かったのは「生涯通じて取り組む健康づくり」(94pt)最も低かったのは、「郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ」(80pt)でした。

モニター調査結果のポイント

- ✓ 他の基本目標の結果と比較すると、いずれの指標もほぼ平均的な結果となっています。
- ✓ 一方で、認知度の値が他の指標と比べると低くなっており、基本目標全体として認知度を高めるための取組が必要であると考えられます。

参考:職員へのアンケート調査結果との比較

- ✓ 住民と最も乖離が大きかったのは「郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ」でした(+17pt)
- ✓ 住民と最も乖離が小さかったのは「次代の担い手を育む教育環境」でした(+6pt)

基本目標①「地域で育むひとづくり」分野（自由記述）のテキストマイニング結果

結果の要約

	ひとづくり・ポジティブにだけ出現	ひとづくり・ポジティブによく出る	両方によく出る	ひとづくり・ネガティブによく出る	ひとづくり・ネガティブにだけ出現
出現 多	参加 少ない イベント 個人 大切 発信 豊か 開催 上 住民 師崎 整備 無し 田舎 町外 移住者 統廃合 若い世代 7次 コース サポート サービス スポーツ ハイキング バリアフリー 予約 体験 しまう よい 小さい	自然 子ども づくり 必要 祭り 高齢者 地域	ほしい 思う 学校 南知多 良い できる いい 世代 作る 住む 増える 新しい	内海 保育 子育て 小学校 無い 増やす いく 入れる 考える おる	移住 訪問 地元 授業 道路 壊す 言う しやすい 多い 狭い 2人目 ict ファミサポ ボランティア 保存会 帰る 目指す 違う 偉い 悪い 早い 暗い 行きやすい 高い あきらめる いける がる くれる こだわる すぎる
出現 少					

マイニング結果の解釈

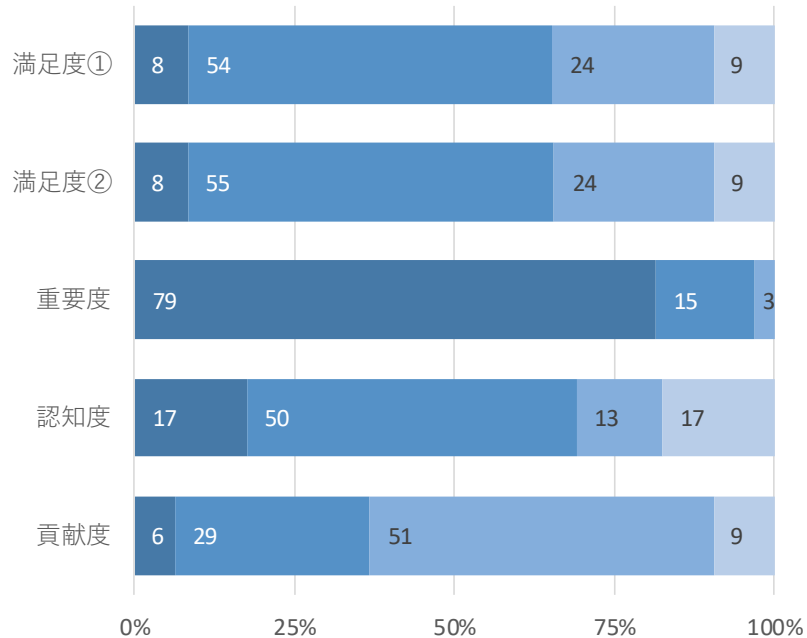
- ✓ ポジティブな回答者は、「子ども」や「高齢者」も含めた世代間で、「自然」や「イベント」など「地域」へ「参加」できることを重視している一方で、その機会が「少ない」と感じていると考えられます。
- ✓ ネガティブな回答者は、「保育」や「子育て」環境への不満が、ネガティブな回答につながっていると考えられます。
- ✓ いずれの回答者も、統廃合を含めた「学校」の在り方に関心が高いことが伺えます。

参考：分析方法及び結果の見方

- ・ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>)による分析
- ・青字：名詞、赤字：動詞、緑字：形容詞
- ・ネガティブ：アンケートで選択肢「4」の回答が平均よりも多い回答者の記述。ポジティブはその逆。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策1-1 地域で大切に子育て環境)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	8 (8%)	54 (57%)	24 (25%)	9 (9%)	95 (100%)	5
基本施策KPI : (8+54+24) / 97 (重要度でポジティブな回答をした人) × 100 = 89pt						
満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	8 (8%)	55 (57%)	24 (25%)	9 (9%)	96 (100%)	4
基本目標KPI : (8+55+24)/96 × 0.4 × 100 = 91pt						
重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	79 (81%)	15 (15%)	3 (3%)	0 (0%)	97 (100%)	3
認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	17 (18%)	50 (52%)	13 (13%)	17 (18%)	97 (100%)	3
基本目標KPI : (17+50+13)/97 × 0.3 × 100 = 82pt						
貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	6 (6%)	29 (31%)	51 (54%)	9 (9%)	95 (100%)	5
基本目標KPI : (6+29+51)/95 × 0.3 × 100 = 91pt						

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度 認知度 貢献度

0.17 0.33 0.19

※相関係数について

- 1~1の値をとり、プラス(0~1) の場合は正の相関、マイナス (-1~0)の場合は逆相関となる。
- 絶対値が大きい(1に近い)ほど 相関が強い。
- 上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度については、「ある程度満足」と回答した人が54人と最も多くなっています。認知度については「ある程度知っている」回答した人が最も多く、半数を占めています。貢献度については「やってみようと思う」と回答した人が最も多く、半数を占めています。
- ✓ 認知度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知っていただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策1-1 地域で大切にする子育て環境)

■具体的な要望等

- 車が無い人は何もサポート受けられず、支援センターは遠い上に階段のみ、ベビーキープ無し、施設のユニバーサルデザイン無し、総合体育館も子どもを連れてトイレに行けない。一時保育柔軟性無し、産後・育児ヘルパーの補助無し、個人でも呼べない田舎、自然が豊かでも自由に遊んで良い自然無し。それでも住んでいるのは、心の豊かさがあるから。いじめがほとんどないって素敵。
- 子育てしやすい町を目指すという割に、保育園の園庭が狭い、学校にプールが無いなど設備が悪い。土地が無いとか都市部と違うのに何故なのだろうと疑問。塾もほぼ無いのに図書館も暗く勉強する気が起こるのかと思う。
- 実現されないファミサポは検討中止してほしい。狭すぎるコミュニティである南知多ではマッチングが困難で現実的ではない。それより子育て支援センターに駐在する保育士さんの数をもう1~2人増やし、一時保育や「訪問型保育」で派遣できるようにしてはどうか。素人のボランティアに頼るファミサポよりプロの保育士さんが1~2時間でも訪問保育に来てくれたら子育ての大変さは格段に変わる。今でも「赤ちゃん訪問」があるが、これを拡大し、例えば生後0~2歳を対象に、訪問保育をしてもらえたら2人目、3人目を産もうという余裕ができる。祖父母に頼れない人は2人目以降をあきらめており、単身世帯や移住者への子育て支援を希望する。
- 学校の部活に地域の人に関われば良いのではないか。
- 南知多(特に島の人たち)からだ、高校に通うのも大変なため、学費・交通費等の補助。

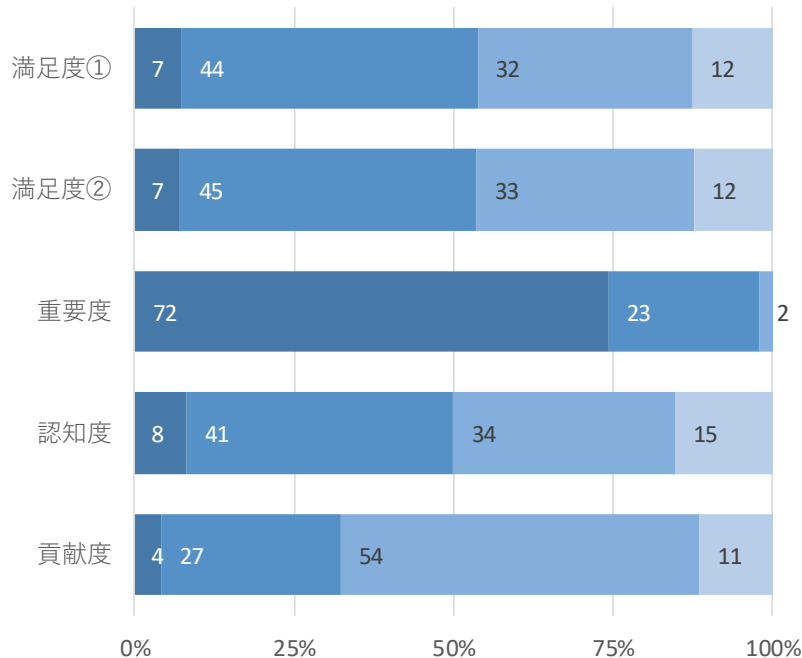
- 行政の発信が足りない。せっかく良い行事をしても参加者の喜んだ顔が外に発信できていない。参加者に撮影許可を得るなどしてもっと発信すべき。「個人情報云々」は言い訳。
- 子育て関連の優遇過剰。ある程度にとどめる。
- 町が開催する親子イベント、勉強会、体験などが少ない。地域が別々に開催しているので、師崎地区等地区単位で開催するのはやめてほしい。南知多全体が一つになることが大切だとずっと感じている。

■抽象的な提案、意見等

- 子育て世代の住みやすい町づくりをもっとしてほしい。子どもがいる中でこの町に住みたいという強みがほしい。
- 子どもが小さい頃、子育て支援センターや親子ふれあい広場には大変お世話になった。特に他町から来た母親には心強いと思う。
- 田舎だからこそできることがあると思う。名古屋ではできないことをすべき。
- 電車が無いのを理由に奥さんが来たがらずやむなく半田・河和に家を建てる場合があるという。電車を引っ張ってくるか、河和の街中を通らずに早く半田・武豊へ行ける、有料ではない、道路があればいいと思う。
- 若い世代に南知多に住み続けてもらうため、大切なことだと思う。
- 1-7「環境づくり」と同じ問題で、子育てできる住民の保育、学校などを一貫のものとして考え、若い世代にアピールすることが(そのような網羅した政策バンクなどを作る)必要かと思う。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策1-2 次代の担い手を育む教育環境)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	7 (7%)	44 (46%)	32 (34%)	12 (13%)	95 (100%)	5
基本施策KPI: (7+44+32)/97 (重要度でポジティブな回答をした人) × 100 = 86pt						
満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	7 (7%)	45 (46%)	33 (34%)	12 (12%)	97 (100%)	3
基本目標KPI: (7+45+33)/97 × 0.4 × 100 = 88pt						
重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	72 (74%)	23 (24%)	2 (2%)	0 (0%)	97 (100%)	3
認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	8 (8%)	41 (42%)	34 (35%)	15 (15%)	98 (100%)	2
基本目標KPI: (8+41+34)/98 × 0.3 × 100 = 85pt						
貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	4 (4%)	27 (28%)	54 (56%)	11 (11%)	96 (100%)	4
基本目標KPI: (4+27+54)/96 × 0.3 × 100 = 89pt						

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度	認知度	貢献度
0.10	0.31	0.15

※相関係数について
 ・-1~1の値をとり、プラス(0~1)の場合は正の相関、マイナス (-1~0)の場合は逆相関となる。
 ・絶対値が大きい(1に近い)ほど 相関が強い。
 ・上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度については「ある程度満足」と回答した人が最も多く、ついで「少しは満足」となっています。認知度については、「ある程度知っている」と回答した人が最も多く、ついで「知りたいと思う」となっています。貢献度については「やってみようと思う」と回答している人が最も多く全体の半数以上を占めています。
- ✓ 認知度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知っていただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策1-2 次代の担い手を育む教育環境)

■具体的な要望等

- 部活動の活発化、行事の盛り上げを望むのなら学校の統合は必要不可欠であると考える。
- 学校の統廃合は仕方ないと思うが、少人数もこの町の魅力であると思うし、移住者呼び込みには現行に近い形が良いと思う。1000人超の小中学校育ちの自分としてはどちらでも構わない。小学校はまだバラしておいた方が良い。ただ子どもはどんな環境でも順応性は身につくと思う。
- 部活に参加できたらよいと思う。
- 内海小学校と豊浜小学校の合併に反対。やるなら内海小と内海中一貫で。より住み移る住人が減る。私立の学校誘致はできないのか？
- 「学校規模・適正化」というが、現在国でも少人数学級の議論がされており、アフターコロナの現在、少人数学級は移住希望者への大きなアピールになる。ICT授業など、町の各教室をモニターでつなぎ、大人数授業もチームティーチングも可能となる。ICTに力を入れてほしい。旧内海高校跡地現運動場に、内海小学校を移して内海小を維持してほしい。新しく人が帰ってくる、移住する可能性があるのは内海である。駅がある南知多の玄関口。内海に小学校・中学校両方残さないと内海に帰ってくる人、移住する人はいなくなる。
- 給食にもう少し力を入れてほしい。
- 地元の祭り、行事、歴史を学ぶ授業を増やして地域に愛着を持てるようにしてほしい。
- 中学校の統合を進めてほしい。
- 新しい生活様式としての学校規模は少人数学校であることが証明

された。学校統廃合計画を見直すべきではないか。

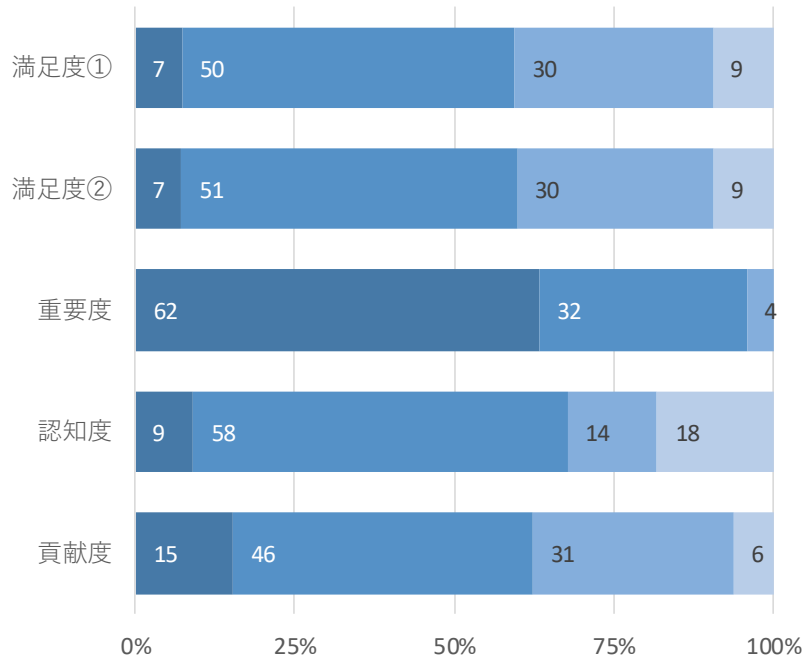
- 適正化と総合計画は相反する。第6次計画の統括を私たちに提供して、その到達の上に第7次を修正補強の上で作成すべきであると思う。
- 学校適正化が検討されているが、この第7次総合計画と相反することだと思う。これ以上、統廃合が続けば住民は離反し、若い人は町外へと進むと思われる。結果ますます人口減少をたどると考える。

■抽象的な提案、意見等

- ボランティアは「やってあげてる」という精神が見えるので、町の雇用種類を増やすという観点からも職業になると良いと思う。
- 田舎の良さはある。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策1-3 生涯通じて取り組む健康づくり)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	7 (7%)	50 (52%)	30 (31%)	9 (9%)	96 (100%)	4
基本施策KPI : (7+50+30) / 98 (重要度でポジティブな回答をした人) × 100 = 89pt						
満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	7 (7%)	51 (53%)	30 (31%)	9 (9%)	97 (100%)	3
基本目標KPI : (7+51+30)/97 × 0.4 × 100 = 91pt						
重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	62 (63%)	32 (33%)	4 (4%)	0 (0%)	98 (100%)	2
認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	9 (9%)	58 (59%)	14 (14%)	18 (18%)	99 (100%)	1
基本目標KPI : (9+58+14)/99 × 0.3 × 100 = 82pt						
貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	15 (15%)	46 (47%)	31 (32%)	6 (6%)	98 (100%)	2
基本目標KPI : (15+46+31)/98 × 0.3 × 100 = 94pt						

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度 認知度 貢献度

0.20 0.54 0.19

※相関係数について

- 1~1の値をとり、プラス(0~1) の場合は正の相関、マイナス (-1~0)の場合は逆相関となる。
- 絶対値が大きい(1に近い)ほど 相関が強い。
- 上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度については「ある程度満足」と回答した人が最も多く、約半数を占めています。認知度については「ある程度知っている」と回答した人が最も多く、約6割を占めています。貢献度については、「ある程度はある」が最も多く、次いで「やってみようと思う」となっています。
- ✓ 認知度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知っていただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策1-3 生涯通じて取り組む健康づくり)

■具体的な要望等

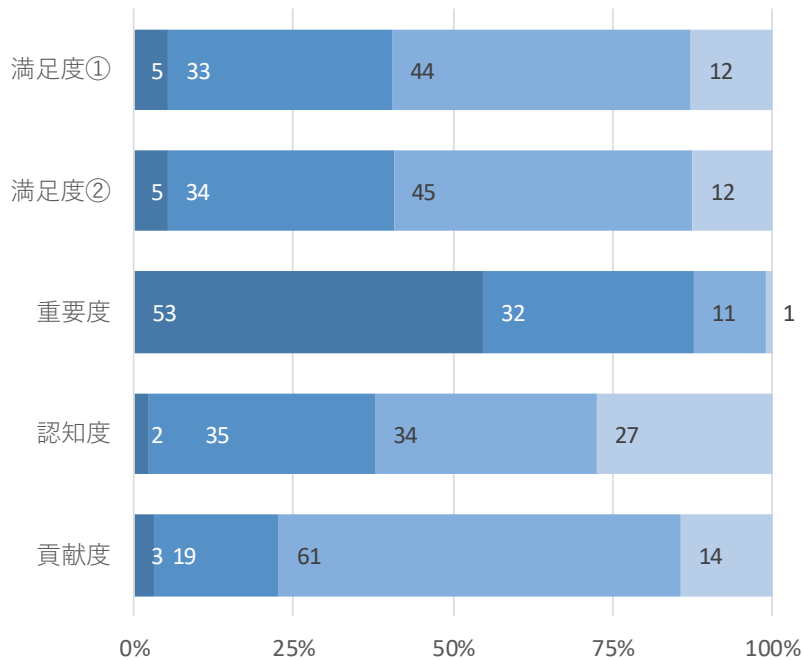
- 診療所も毎日診察している訳でもないし、もっと重要性がある。特に高齢化しているのでなおさら毎日居てほしいです。曜日で居る意味が良く分からない。島民の事を考えて頂きたい。
- 医者・歯医者等に行きやすい環境づくり(老人は車で運転して行けない人もいるため)。
- 健康診断(住民健診)をより手軽に受けられるよう、各地域毎での開催日数を増やしたり、無料化できると良い。予約制のものは予約するのが面倒である。いっそのこと義務化したら良いと思う。
- 高齢者だけでなく、町でスポーツクラブを作り、町民の中で講師ができる人にいろんなスポーツ教室をやってほしい。ヨガ、歩き方、走り方など参加しやすさも大切。

■抽象的な提案、意見等

- 老人が長生きしやすい町づくりより、働き世代、子ども向けに目を向けないと人口の流出は止まらないと思う。
- より価値があり、より多くのものを生み出すためには個人個人の活力が必要だと思う。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策1-4 個性を活かす障がい者福祉)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	5 (5%)	33 (35%)	44 (47%)	12 (13%)	94 (100%)	6
基本施策KPI: (5+33+44) / 96 (重要度でポジティブな回答をした人) × 100 =						85pt

満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	5 (5%)	34 (35%)	45 (47%)	12 (13%)	96 (100%)	4
基本目標KPI: (5+34+45) / 96 × 0.4 × 100 =						88pt

重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	53 (55%)	32 (33%)	11 (11%)	1 (1%)	97 (100%)	3

認知度	よく知っている	ある程度知って	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	2 (2%)	35 (36%)	34 (35%)	27 (28%)	98 (100%)	2
基本目標KPI: (2+35+34) / 98 × 0.3 × 100 =						72pt

貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	3 (3%)	19 (20%)	61 (63%)	14 (14%)	97 (100%)	3
基本目標KPI: (3+19+61) / 97 × 0.3 × 100 =						86pt

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度 認知度 貢献度

0.13 0.50 0.22

※相関係数について

・-1~1の値をとり、プラス(0~1)の場合は正の相関、マイナス (-1~0)の場合は逆相関となる。

・絶対値が大きい(1に近い)ほど 相関が強い。

・上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけている。

- ✓ 満足度については、「少しは満足」と回答した人が最も多く、ついで「ある程度満足」となっています。認知度について「知らない」「知りたいと思う」と回答した方が併せて6割以上、貢献度については特に「やってみようと思う」と答えた人が6割以上を占めています。
- ✓ 認知度、貢献度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知り、積極的に参加いただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策1-4 個性を活かす障がい者福祉)

■具体的な要望等

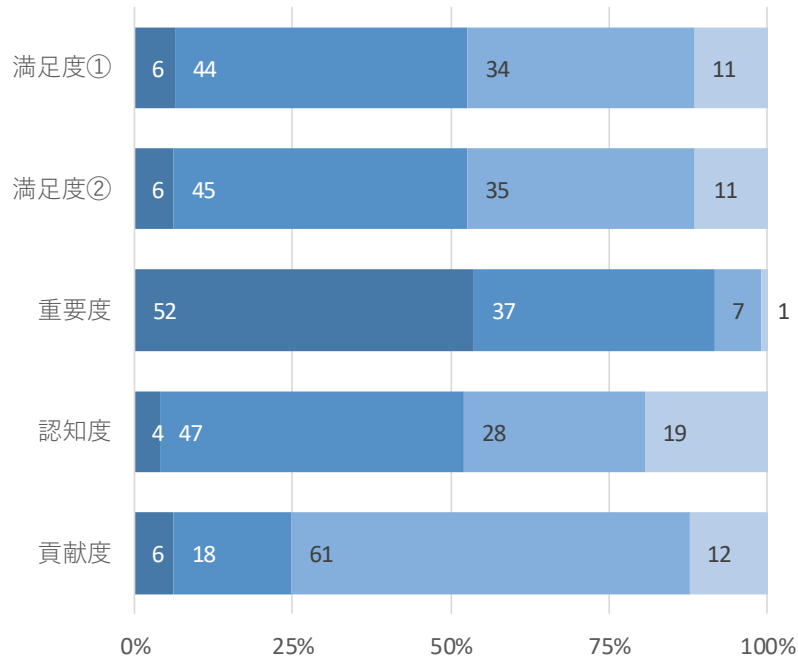
- まだまだバリアフリーの足りていない施設(特に駅)があるため、少しずつでもバリアフリー化を進めてほしい。
- 福祉作業所の商品がどこで売られているかわからない為、知れるところがどこなのかと思う。
- 一般のスーパー、薬局など、どこにでも授産施設で作った製品や食品を置けないのか。収入の一部(全部でも)を支援金にすれば良いと思う。
- 障がい者への義足利用登用の補助差別などを解消することが必要。役所の障がい者雇用の実態はどうなっているか明らかにしてほしい。

■抽象的な提案、意見等

- 授産施設が南知多にあることは知らなかった。友達と一緒に買い物に行ってみたい。
- 店は車いす対応で作った。車いすの方にも気軽に来て頂けたらと思う。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策1-5 安心して住み続けられる長寿社会)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	6 (6%)	44 (46%)	34 (36%)	11 (12%)	95 (100%)	5

基本施策KPI: $(6+44+34) / 96$ (重要度でポジティブな回答をした人) $\times 100 = 88\text{pt}$

満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	6 (6%)	45 (46%)	35 (36%)	11 (11%)	97 (100%)	3

基本目標KPI: $(6+45+35) / 97 \times 0.4 \times 100 = 89\text{pt}$

重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	52 (54%)	37 (38%)	7 (7%)	1 (1%)	97 (100%)	3

認知度	よく知っている	ある程度知っている	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	4 (4%)	47 (48%)	28 (29%)	19 (19%)	98 (100%)	2

基本目標KPI: $(4+47+28) / 98 \times 0.3 \times 100 = 81\text{pt}$

貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	6 (6%)	18 (19%)	61 (63%)	12 (12%)	97 (100%)	3

基本目標KPI: $(6+18+61) / 97 \times 0.3 \times 100 = 88\text{pt}$

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度	認知度	貢献度
0.23	0.48	0.31

※相関係数について

- 1~1の値をとり、プラス(0~1)の場合は正の相関、マイナス (-1~0)の場合は逆相関となる。
- 絶対値が大きい(1に近い)ほど 相関が強い。
- 上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけている。

- ✓ 満足度については、「ある程度満足」と回答した人が最も多く、ついで「少しは満足」となっています。認知度については「ある程度知っている」が最も多く、半数近くを占めています。貢献度については「やってみようと思う」と回答した人が最も多く、6割以上を占めています。
- ✓ 重要度、認知度、貢献度いずれも、高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知り、重要性を理解し、積極的に参加いただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策1-5 安心して住み続けられる長寿社会)

■具体的な要望等

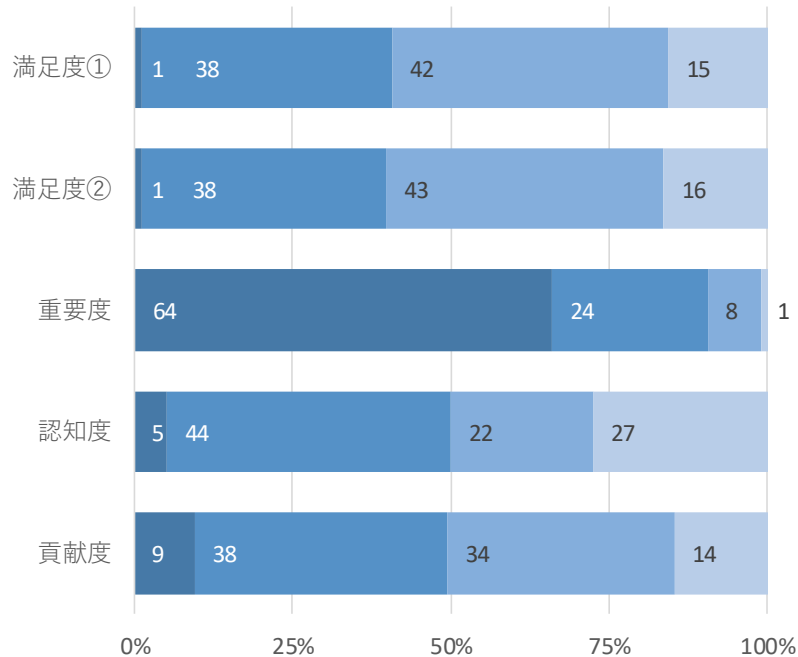
- 要介護になった親を他所にいる子どもが地元に戻ってきて世話をするのは簡単にはいかない場合が多いのでは。取り組みの理念は良いと思うが、介護を続けていると神経をすり減らしているので、役場の人の言葉遣い一つで気分を害したりする。親のおむつを取り替えたことがない人に偉そうに言われたくない。
- 老人が集まれるサロンなど、かなり数も増えてきたが、回数が少なく、もう少し増やせないのかと思う。喫茶店が老人憩いの場となっているが、そのような場を提供できないのか。
- 配食サービスに従事する業者・個人の価格や回数など現行を改善させる。高齢者サービスの内容について広く広報等で知らせることを願う。

■抽象的な提案、意見等

- 子どもを幅広い世代の人、価値観に触れさせる機会として高齢者と交流したい。
- 高齢者の実状を知る会のようなものがあれば何か見つけやすいと思う。
- 高齢者の話し相手、情報を入手することができないため、サポートが必要。
- 手すりなど、いたるところに付けた。会話がとても大切だと思うので、そういった時間を作るようにしていきたい。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	1 (1%)	38 (40%)	42 (44%)	15 (16%)	96 (100%)	4

基本施策KPI: $(1+38+42)/96$ (重要度でポジティブな回答をした人) $\times 100 = 84$ pt

満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	1 (1%)	38 (39%)	43 (44%)	16 (16%)	98 (100%)	2

基本目標KPI: $(1+38+43)/98 \times 0.4 \times 100 = 84$ pt

重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	64 (66%)	24 (25%)	8 (8%)	1 (1%)	97 (100%)	3

認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	5 (5%)	44 (45%)	22 (22%)	27 (28%)	98 (100%)	2

基本目標KPI: $(5+44+22)/98 \times 0.3 \times 100 = 72$ pt

貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	9 (9%)	38 (40%)	34 (36%)	14 (15%)	95 (100%)	5

基本目標KPI: $(9+38+34)/95 \times 0.3 \times 100 = 85$ pt

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度	認知度	貢献度
0.20	0.57	0.20

※相関係数について

- 1~1の値をとり、プラス(0~1) の場合は正の相関、マイナス (-1~0)の場合は逆相関となる。
- 絶対値が大きい(1に近い)ほど 相関が強い。
- 上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度については「少しは満足」と回答した人が最も多く、ついで「ある程度満足」となっています。認知度については「ある程度知っている」と回答した人が最も多くなっています。貢献度については「ある程度はある」と回答した人が最も多く、ついで「やってみようと思う」となっています。
- ✓ 認知度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知っていただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策1-6 豊かな自然を活かしたひとづくり)

■具体的な要望等

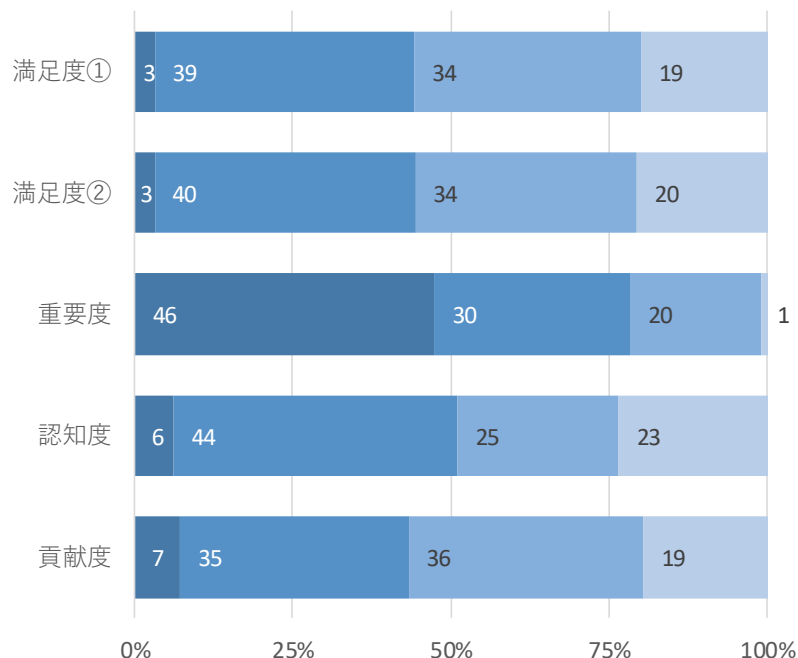
- 観光客は師崎を通過し、日間賀へ行ってしまふ。豊浜、師崎のめぼしいスポットが浮かばない。ハイキングコースや観光スポットが町外の人には宣伝されていないと思う。(看板も少ない)
- 町の公募・案内看板が不足している。来町者は通り過ぎるだけになっている。バス停などの整備・サイクリング者や四国霊場巡りなど、道々に簡易雨よけ所など設置・遊歩道やハイキングコース整備など半島の中でも遅れています。
- 子どもを育てるのには自然とふれあえて良い環境です。ただ生活面などは不便も多く、やはり船に乗るという事自体が、時間に追われ。やることすらままならず、値段が高い。

■抽象的な提案、意見等

- 片名の砂浜について、砂が入ってから海の生き物が非常に少なくなってしまうことが気になっている。貝類はもちろんウミウシやアメフラシなども、ほとんど見かけなくなってしまった。
- 町外の人が何度も訪れたいと思える自然保護と景観づくりをしてほしい。
- 子ども同士が友達の農家さんや山林を持っている方々の農地に山に入らせてもらっている。自身が内陸育ちなので、海の遊び方は分からないが入れる所へは出向いている。学生時代からしばらくグリーンツーリズムや環境教育に携わっていたし、心を豊かにして地域活性は目標であるから、いずれは生業としてやっていきたい。
- 単なる自然とのふれあいではなく、きちんと感じる必要があるため、自然の良さを感じてもらえるようにしたい。
- 夕日を撮影してツイッターにあげている。一過性で終わらず、継続が大事だと思う。
- SNSで自然の季節を発信している。南知多まで遊びに来ていただければ知多半島に利点がある。
- 山を削ってソーラーパネルを設置したり、風車を立てようとしているのに、目指すことが自然とはどういうことか。町が町に愛着があるとは思えない。大井に限って言えば、寺を分断してまで作った道路のせいで文化も壊しているし、街並みも壊しているし、明治の小学校の石柱も壊しているし、自然は無くなるばかりだ。道路は必要だが、造るところが違っていたと思う。
- 自然環境は最高だと思うが、子育て世代には残念だが、仕事場がないと、子どもに言われる。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	3 (3%)	39 (41%)	34 (36%)	19 (20%)	95 (100%)	5

基本施策KPI: $(3+39+34) / 96$ (重要度でポジティブな回答をした人) $\times 100 = 79$ pt

満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	3 (3%)	40 (41%)	34 (35%)	20 (21%)	97 (100%)	3

基本目標KPI: $(3+40+34) / 97 \times 0.4 \times 100 = 79$ pt

重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	46 (47%)	30 (31%)	20 (21%)	1 (1%)	97 (100%)	3

認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	6 (6%)	44 (45%)	25 (26%)	23 (23%)	98 (100%)	2

基本目標KPI: $(6+44+25) / 98 \times 0.3 \times 100 = 77$ pt

貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	7 (7%)	35 (36%)	36 (37%)	19 (20%)	97 (100%)	3

基本目標KPI: $(7+35+36) / 97 \times 0.3 \times 100 = 80$ pt

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度 認知度 貢献度

0.27 0.43 0.16

※相関係数について

・-1~1の値をとり、プラス(0~1)の場合は正の相関、マイナス (-1~0)の場合は逆相関となる。

・絶対値が大きい(1に近い)ほど 相関が強い。

・上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度については、「ある程度満足」と回答した人が最も多く、ついで「少しは満足」となっています。認知度については「ある程度知っている」がと回答した人が最も多く次いで「知りたいと思う」となっており、併せて約7割の人が認知しています。貢献度については「やってみようと思う」と回答した人が最も多く、ついで「ある程度はある」となっています。
- ✓ 重要度、認知度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知り、その重要性を理解いただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策1-7 郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ)

■具体的な要望等

- 祭りの規模が年々小さくなっている。見に来ている人が参加できるような体験ができると面白い。
- 町の図書館が西端のため遠く、また蔵書数も少なく不便。近隣市町の図書館を利用している。図書館が町の中央寄りに移転すると嬉しいが、難しいと思うので安城市のような電子図書館の実現ができれば、若～中年層の利用者が増加するのではないか。
- 様々な年齢の人たちが気軽に参加したいと思えるイベントか活動づくりをしてほしい。
- メディアを使ってイベント紹介してもらいたい。南知多はスポーツ活動は苦手なので自然イベントがいい。
- 地区の祭り保存会、山車保存会などの存続に力を入れてほしい。資料の収集をやっているならもっと示してほしい。
- 貝がら公園の修復の為として支援を求めたい。大井聖崎公園などは整備と住民参加の維持が図られているが。

■抽象的な提案、意見等

- 移住者であるが、祭りに参加し女性の会にも入り込ませていただき豊かに生きているが、伝統の田舎のスタイルで現代の若い世代が祭りを継承しようとするとう女性に家庭の負担が偏るなど様々な負担が増え(移住者は核家族)参加したくない人が増え、結果伝統は途絶えてしまいます。後継者の減少で、祭りの「頭」の世代が乳

幼児の親となってしまっています。

- 祭りに参加しているのだが、人数が限定されており、やりかたを転換する時期が来ていると思う。
- 伝統を教えていくことは良いですが、やはり維持や年齢も高齢者が増えているので無理があるのでは。
- コロナの影響で夏祭りが中止になり、内海音頭も存続の危機。
- 地元文化、活動等にこだわらないこと。無くすことの方が重要な時代。

基本目標②「地元をにぎわす仕事づくり」分野では以下の結果が得られました

回答の要約

各指標の状況(地元をにぎわす仕事づくり)	
重要度	<ul style="list-style-type: none">▶ 全ての項目において重要度は99pt、もしくは100ptとなっています。
認知度	<ul style="list-style-type: none">▶ 認知度の全施策平均は78pt、基本目標②の施策平均は68ptとなっています。▶ 最も認知度が高かったのは「何度も訪れたい観光・交流」と「働く環境づくり」(78pt)で、最も認知度が低かったのは「新たなチャレンジを創る起業支援」(52pt)でした。
満足度	<ul style="list-style-type: none">▶ 満足度の全施策平均は84pt、基本目標②の施策平均は79ptとなっています。▶ 最も満足度が高かったのは、「豊かな海と産物を活かした水産業」と「新たな魅力や価値を生み出す商工業」(84pt)で最も満足度が低かったのは「新たなチャレンジを創る起業支援」(74pt)でした。
貢献度	<ul style="list-style-type: none">▶ 貢献度の全施策平均は87pt、基本目標②の施策平均は81ptとなっています。▶ 最も貢献度が高かったのは「豊かな海と産物を活かした水産業」(94pt)最も低かったのは「新たなチャレンジを創る起業支援」(67pt)でした。

モニター調査結果のポイント

- ✓ 他の基本目標の平均値と比較すると、すべての指標が全体の平均値よりも低くなっています。
- ✓ 特に、認知度指標の平均68ptと最も低くなっており、基本目標全体として改善が必要と考えられます。

参考：職員へのアンケート調査結果との比較

- ✓ 住民と最も乖離が大きかったのは「何度も訪れたい観光・交流」と「新たなチャレンジを創る起業支援」(16pt差)でした
- ✓ 住民と最も乖離が小さかったのは新たな魅力や価値を生み出す商工業」(10pt差)でした

基本目標②「地元をにぎわす仕事づくり」分野（自由記述）のテキストマイニング結果

結果の要約

	仕事づくり・ポジティブにだけ出現	仕事づくり・ポジティブによく出る	両方によく出る	仕事づくり・ネガティブによく出る	仕事づくり・ネガティブにだけ出現
出現 多	町内 仕事 地域 情報 町外 起業 取り組み 大切 移住者 課題 考える 交流 仕組み 個人 情報発信 整備 減少 認識 道の駅 都市 重要 量 少ない 新しい いける 買う 働く 持つ 減る もったいない	多い 必要 町民 漁業 知る 発信 内海 場所 大事 問題 支援 環境 海 自然 行く	南知多 思う ほしい できる 農業 入れる 作る sns 魚 野菜 地元 客 時代 移住 宣伝 使う 良い いく 言う 増やす いい 低い 安い 借りる 分かる 採れる 冷たい 欲しい 見やすい	もらう 観光 食べる よい 住む 感じる 美味しい 始める 活かす 縛る 頼る	ありがとう ようこそ おいしい スマホ 南知多町 役場 わかる 帰る hp ページ 仕組み 見る 調べる 逃げる 飛べる しやすい わかりづらい 分かりづらい 厳しい 怖い 悪い 悪い 汚い 細かい 見にくい 詳しい
出現 少					

マイニング結果の解釈

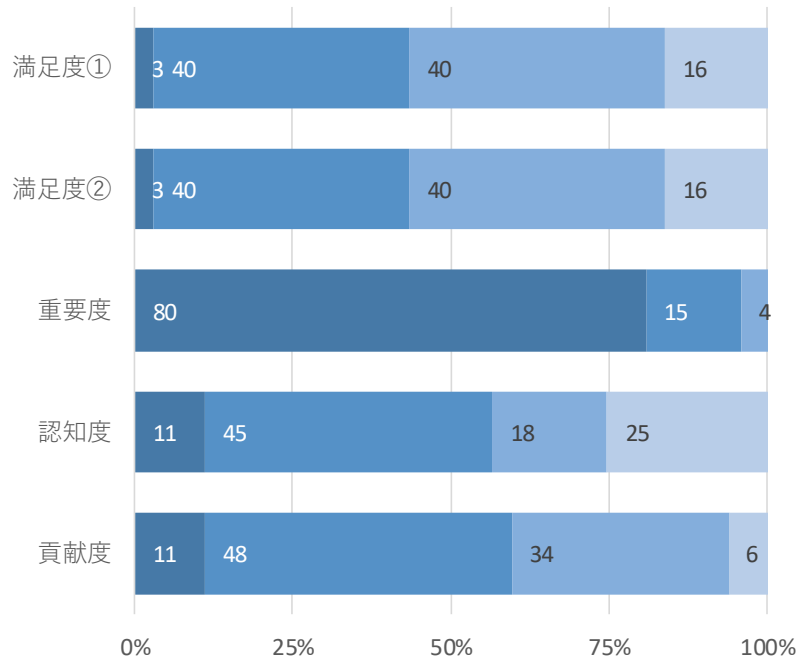
- ✓ ポジティブな回答者は、「起業」も含め魅力的な「仕事」の場と、それらに関する「情報発信」を重要視していると考えられます。
- ✓ ネガティブな回答者は、「美味しい」「食」などを活かしていない、「スマホ」の普及に対応できていない「HP」などの「わかりづらさ」、等の「観光」の在り方を問題視していると考えられます。
- ✓ いずれの回答者も、「魚」や「野菜」等の地域の食について「SNS」による「宣伝」に関心があると考えられます。

参考：分析方法及び結果の見方

- ・ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析
- ・青字：名詞、赤字：動詞、緑字：形容詞、灰字：感動詞
- ・ネガティブ：アンケートで選択肢「4」の回答が平均よりも多い回答者の記述。ポジティブはその逆。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策2-1 豊かな海と産物を活かした水産業)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	3 (3%)	40 (40%)	40 (40%)	16 (16%)	99 (100%)	1

基本施策KPI: $(3+40+40) / 99$ (重要度でポジティブな回答をした人) $\times 100 = 84$ pt

満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	3 (3%)	40 (40%)	40 (40%)	16 (16%)	99 (100%)	1

基本目標KPI: $(3+40+40) / 99 \times 0.4 \times 100 = 84$ pt

重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	80 (81%)	15 (15%)	4 (4%)	0 (0%)	99 (100%)	1

認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	11 (11%)	45 (45%)	18 (18%)	25 (25%)	99 (100%)	1

基本目標KPI: $(11+45+18) / 99 \times 0.3 \times 100 = 75$ pt

貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	11 (11%)	48 (48%)	34 (34%)	6 (6%)	99 (100%)	1

基本目標KPI: $(11+48+34) / 99 \times 0.3 \times 100 = 94$ pt

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度	認知度	貢献度
0.33	0.43	0.13

※相関係数について

- 1~1の値をとり、プラス(0~1) の場合は正の相関、マイナス (-1~0)の場合は逆相関となる。
- 絶対値が大きい(1に近い)ほど 相関が強い。
- 上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度については「少しは満足」と「ある程度満足」が同数で合わせて8割となっています。認知度については、「ある程度知っている」が最も多く、半数近くとなっています。貢献度については「ある程度はある」と回答した人が最も多く、ついで「やってみようと思う」となっています。
- ✓ 重要度、認知度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知りその重要性を理解いただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策2-1 豊かな海と産物を活かした水産業)

■具体的な要望等

- ・ インスタ・Twitter等南知多から発信されているSNSが弱いと感じる。中途半端ではなく統一感をもってフォローしてもらえそうな見やすい投稿で情報発信してほしい。
- ・ もう少し、漁業者に対しての支援を多くしてもいいのでは？
- ・ 漁業関係者のみではなく観光業者(ホテル・民宿・海上タクシー)にも補助金の支援が必要。
- ・ 浜清掃に参加(町民全体)ができる仕組み。
- ・ 住民もさらに魚介を手に入れやすい(購入を主として)場所や環境、企画が多いと地域経済がもっと回るのでは。働き盛り子育て世代のためにある程度調理してあるものがあるとさらに売れる。
- ・ 師崎の朝市など商品は安くおいしいのに、施設の老朽化が目立ち人が汚いなどと思う環境なのが残念に思う。
- ・ 漁業者が使う施設の老朽化が目立つ。
- ・ 外国人労働者への依存などでかなり人手不足。南知多で子育てしてもらい現状(漁師が南知多に住まない、住居を構えない)という問題に対する町の取組みが不十分。第一次産業者が南知多に住んだ際の特典をより拡大すべき。
- ・ 海の状態が日々変化している中、捕獲量が不安定ではないか。漁業就業者も経済的には苦しく、将来の後継者も期待が薄くなるのではないかと不安だ。町をあげて養殖などに力を入れてはどうか。
- ・ 名古屋から車で1時間の距離ということもあり、土日の日帰りドライブ客などは十分多い。問題は平日の宿泊客。飲食店も夜間は閑古鳥の店が多い。ただ美味しいだけではなく、気軽さ、お値打ちさ、お得感などもアピールしなければ、都市の寿司チェーンなどには到底勝てない。
- ・ 現在町内で水産業・農業・観光業に従事している方の割合を知りたい。
- ・ 町内で新鮮な地の魚を販売している場所がもっとあると有難い。
- ・ 内海・山海ばかりきれいになっているイメージがある。(防波堤)
- ・ 一般釣り客がごみを捨てていく。マナーが悪い。
- ・ ユーチューブなどで南知多町で上がる魚を一匹ずつ詳しく紹介する(食べ方も)など。食材はいいのだから、調理法を都会の人、若者に抵抗なく魚を食べてもらう宣伝を増やすなど。普段から小中学校の給食に地元でとれた魚介を出してほしい。美味しい魚や野菜がある町で何で冷凍ものを食べさせるのか。中国産の野菜をまさか仕入れているのではないのだろうか。

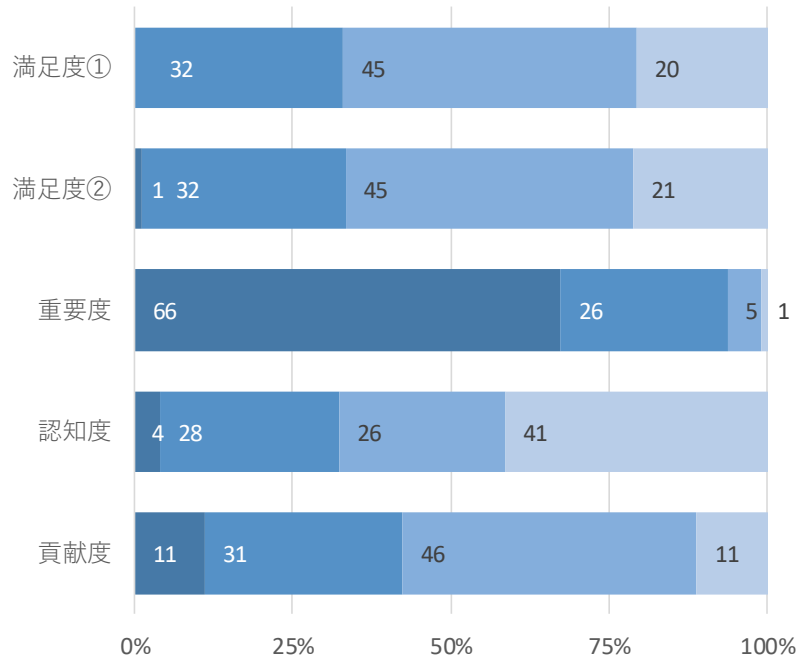
- ・ 魚の採りすぎ、温暖化、環境問題等で漁獲量が減り、漁師は食べていけない方が出てきている。若者も親の漁師の仕事を継いでくれない。漁業者が食べていけるよう十分な補償を願う。魚が減ってきた原因を研究し、町民に啓蒙してほしい。(特に環境問題)
- ・ 山川・森など自然を充実させることが水産業の充実につながると考える。町民会等で守る・整備する運動を進めてほしい。
- ・ 漁業関係者が外国人労働力に頼っている面が多いと思うが、これまで以上に外国人に対する就業の機会を増やすこと。また安心して生活できる環境を作ることが行政として必要であること。昨年の台風被害により、豊浜漁港棧橋等がしばらく封鎖されたが、緊急対応が必要だったのでは。コロナに前後してイワシ等の豊漁が続き、多くの釣り客が押し寄せた。漁港周辺にはごみが散乱し、釣船客の乗用者からのごみのポイ捨てなど観光客に対するマナー教育も必要なのではないか。

■抽象的な提案、意見等

- ・ 設備投資、漁業、地元水産物などのSNSなどによる情報発信などこれからの時代には必要不可欠ですね！私はその先の後継者への問題も課題の一つだと考えます。
- ・ 魚を増やすための方策・枠組方策は町単位でも大事ですが、海域・領域で取組むのが大事である。自分が言うのもなんですが大変かと思えます。
- ・ 実際SNSは良し悪しはあります。特に20代と10代は。
- ・ SNSを使い情報発信をしているが町民の考えが古く、数十年前のバブル期のことばかりを比較し、前に進んでいない。南知多の良さをもっと町民が理解することが大切。
- ・ 主人は海の仕事をしています。海がきれいであれば魚が採れる。採れば売れてお金ができ、買い物をする、というように回り回ってみんなが幸せになれると思う。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策2-2 豊かな農地と産物を活かした農業)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	0 (0%)	32 (33%)	45 (46%)	20 (21%)	97 (100%)	3

基本施策KPI: $(0+32+45) / 97$ (重要度でポジティブな回答をした人) $\times 100 = 79$ pt

満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	1 (1%)	32 (32%)	45 (45%)	21 (21%)	99 (100%)	1

基本目標KPI: $(1+32+45) / 99 \times 0.4 \times 100 = 79$ pt

重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	66 (67%)	26 (27%)	5 (5%)	1 (1%)	98 (100%)	2

認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	4 (4%)	28 (28%)	26 (26%)	41 (41%)	99 (100%)	1

基本目標KPI: $(4+28+26) / 99 \times 0.3 \times 100 = 59$ pt

貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	11 (11%)	31 (31%)	46 (46%)	11 (11%)	99 (100%)	1

基本目標KPI: $(11+31+46) / 99 \times 0.3 \times 100 = 89$ pt

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度 認知度 貢献度

0.21 0.10 0.02

※相関係数について

- 1~1の値をとり、プラス(0~1)の場合は正の相関、マイナス (-1~0)の場合は逆相関となる。
- 絶対値が大きい(1に近い)ほど 相関が強い。
- 上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度については「少しは満足」と回答した人が最も多く、ついで「ある程度満足」となっています。認知度については「知らない」と回答した人が最も多く、ついで「ある程度知っている」となっています。貢献度については「やってみようと思う」と回答した人が最も多く、ついで「ある程度はある」となっています。
- ✓ 重要度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策の重要性について理解いただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策2-2 豊かな農地と産物活かした農業)

■具体的な要望等

- 休耕地がまだまだ多くみられるため、ふれあい農家の拡大か地産地消を軸とした産直施設の設置を少しでもして欲しい。
- 道路・舗装をしても特に田んぼをされる方が道を汚すため必要無いのでは。
- 有機農業や循環型農業は付加価値があるものの生産性も低く里山や自然の涵養性を啓発するまでの余裕はあまりありません。もったいないです。間に環境系のNPOや団体を入れて主導しないと対外的な「豊かな自然と農業」の発信は難しい。
- 地元の野菜はヤナギの野菜村で買う程度。店舗と農業者をつなぐマッチングの機会があれば行くかも。そもそも今南知多でどんな野菜が作られ、どこに連絡すればそれが入手できるのか知らない。
- パイロットファームは利用されているが、それ以外の農地は耕作放棄地になっていることが問題。農業者の多数は兼業農家・自給農家であり、彼ら及び次世代に住み続けてもらう為の取組みが不十分だ。「南知多の自然に魅かれて移住したい人が兼業農家・週末農業を始められる環境」が作れていない。この先移住者に来てもらおうとしても無理である。例として空家バンクと並行して農地バンクを実施し空き家と一緒に借りる際は、「営農三反以上」の縛りをやめ、自治体が仲介借主になる等の「新規農業希望者特別枠」を作り、小型農機具の買い上げ支援をし、簡単に始められるような応援が必要である。
- これからはマルシェの時代ではなく、参加型イベントを中心に町全体で新しいことに目を向けることが大切だと思います。町の自然を街の人たちに体験、体感して頂くこと。田舎だからできる、ゆったりとした時間を味わってほしい。

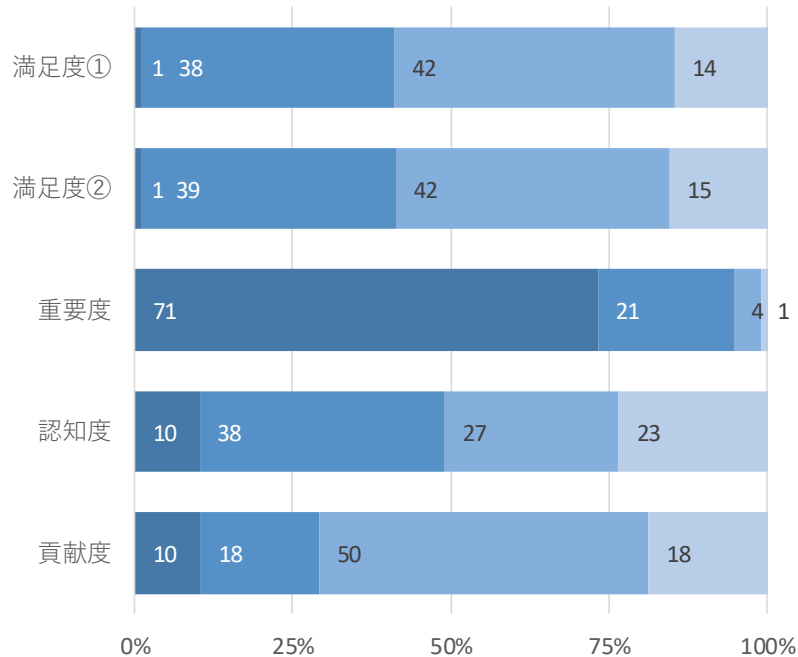
- ミーナコーンのような町特産品をJAと協議して生産者に指導。町ブランド化を図る。生産者の安定収入。
- 町で実施している取り組みに関して、どのようにしてその情報は得られるのか。どこを見たら分かるのか。
- 農家のベテラン主婦たちの作る漬物とか煮物はとにかく何でもとても上手でおいしいはずなので、町で採れる野菜を使った料理の動画を作って宣伝するとか。その日に採った野菜を使った給食を毎回出せないものか。
- 農業のことをもっと知ってみたいし、どんな産物があるのか知りたい。
- 南知多の農産物直売店が少なく、美浜の鵜ノ池まで買いに行くことがある。JAでももう少し野菜の種類や量を増やせないか。
- 農業従事者が貴重。従事者への保護・応援をしてほしい。
- 南知多で農業をやりたい、やってみたい人はたくさんいる。(経営ではなく)これから町外の人に田んぼや畑の耕作地を安く提供できる、海も畑もある南知多も宣伝すること。その中から移住者が生まれてくると考える。

■抽象的な提案、意見等

- 漁業と同じく、農業の方も後継者心配はないのでしょうか？
- 一部の農業者のみ経営安定、みんなが平等に。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	1 (1%)	38 (40%)	42 (44%)	14 (15%)	95 (100%)	5
基本施策KPI: (1+38+42)/96 (重要度でポジティブな回答をした人) × 100 = 84pt						
満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	1 (1%)	39 (40%)	42 (43%)	15 (15%)	97 (100%)	3
基本目標KPI: (1+39+42)/97 × 0.4 × 100 = 85pt						
重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	71 (73%)	21 (22%)	4 (4%)	1 (1%)	97 (100%)	3
認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	10 (10%)	38 (39%)	27 (28%)	23 (23%)	98 (100%)	2
基本目標KPI: (10+38+27)/98 × 0.3 × 100 = 77pt						
貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	10 (10%)	18 (19%)	50 (52%)	18 (19%)	96 (100%)	4
基本目標KPI: (10+18+50)/96 × 0.3 × 100 = 81pt						

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度 認知度 貢献度

0.21 0.48 0.14

※相関係数について

- 1~1の値をとり、プラス(0~1)の場合は正の相関、マイナス(-1~0)の場合は逆相関となる。
- 絶対値が大きい(1に近い)ほど相関が強い。
- 上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度については「少しは満足」と回答した人が最も多く、ついで「ある程度満足」となっています。認知度については、「ある程度知っている」と回答した人が最も多く、ついで「知りたいと思う」となっています。貢献度については、「やってみようと思う」と回答した人が半数以上を占めています。
- ✓ 重要度、認知度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知りその重要性を理解いただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策2-3 新たな魅力や価値を生み出す商工業)

■具体的な要望等

- もっと地域ブランドを広めていける場作りが必要と思う。「ミーナの恵み」という認定品があるのを知らない町民もいるのでは？
- 「南知多」らしさのある商品をまとめて手に入れられる「道の駅」のような場所と様々に取り揃えたネットショップがあれば、旅行者や「地のもの」好きが買いに来ますよ。
- スマホアプリか何かで南知多ニュースが流れるようにしたら良い。
- 地域ブランド自体・浸透していないと思う。時代のトレンドに合わせた話題性のある商品を作ってもらいたい。地元の人たちが就職できるような事業誘致をしてほしい。
- 第6次産業は商工会の者であるという印象がある。本来加工品にせずとも、そのまま売り、そのまま食べてもらえた方が良い。それでも加工品にするメリットは「今の人食べやすい形にする」ことの為、今の人若い人や子供の意見をもっと反映される商品開発が求められる。子供に南知多の食材に慣れ親しんでもらうイベントと抱き合わせにしたり、町民による「親子商品開発料理教室」のような体験教育の開催を商工会主導で実施してほしい。例として、高知県の小学生が日除けで栽培したゴーヤをおいしく食べきるため、様々の料理を考案し「ゴーヤバーグ」が高知県中の学校給食に採用され好きな夏野菜トップ10にゴーヤがランクインした事例など。
- 他都市では道の駅などの運営が盛んだが、南知多はあまり見当たらない。ふるさと納税への取り組みなど具体的な報告を求る。

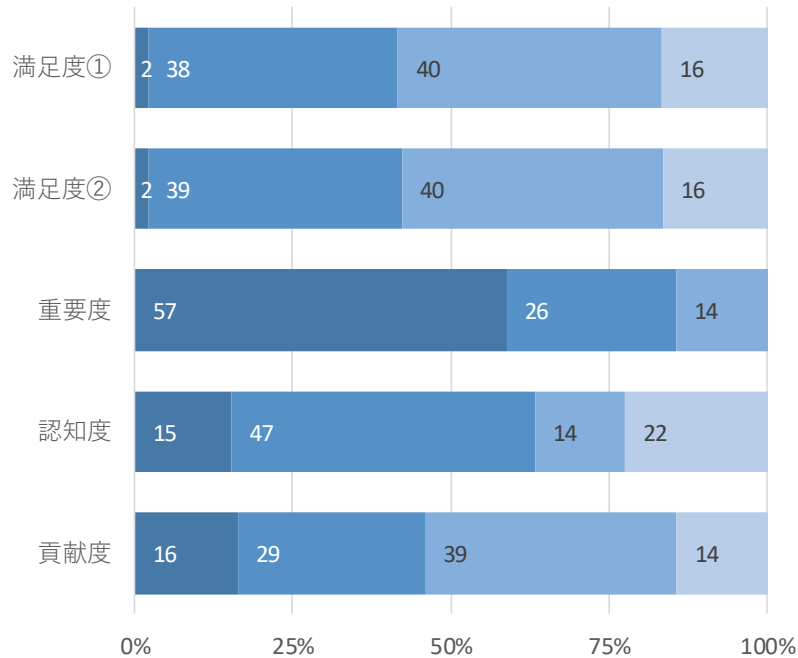
- お店でしこの露を取り扱っているが、町内での扱いが地味すぎるとそのうち消滅してしまうのではないかと危惧している。味は個人的で気に入っているし、しこの露を使ったコースもちよくちよく注文されている。見た目のインパクトが薄いのか。イワシを姿のまま丸ター一本入れるとかどうだろうか。ラベルも正直ダサい。今風のデザインにモデルチェンジしてはどうか。
- 商工業は農漁業より個別に自由にSNSを使って世界に宣伝しやすいのではないと思う。今回のコロナによる外国人客だけに頼る商売は不安定であることが改めて周知されたのではないか。地元の人を大事にする商売の在り方を町でもっと促進してほしい。
- 町のおすすめ品の広告が不十分である。ある程度知っていても購入までいっていない。

■抽象的な提案、意見等

- 外部の人は美浜町と南知多町が一緒になっている人が多い。もっと南知多ならではの特化したものがあつたらなと思う。
- 個々で頑張るブランドよりも地域が一つになってブランドを作ることも大切。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策2-4 何度も訪れたい観光・交流)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	2 (2%)	38 (40%)	40 (42%)	16 (17%)	96 (100%)	4

基本施策KPI: $(2+38+40) / 97$ (重要度でポジティブな回答をした人) $\times 100 = 82\text{pt}$

満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	2 (2%)	39 (40%)	40 (41%)	16 (16%)	97 (100%)	3

基本目標KPI: $(2+39+40) / 97 \times 0.4 \times 100 = 84\text{pt}$

重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	57 (59%)	26 (27%)	14 (14%)	0 (0%)	97 (100%)	3

認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	15 (15%)	47 (48%)	14 (14%)	22 (22%)	98 (100%)	2

基本目標KPI: $(15+47+14) / 98 \times 0.3 \times 100 = 78\text{pt}$

貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	16 (16%)	29 (30%)	39 (40%)	14 (14%)	98 (100%)	2

基本目標KPI: $(16+29+39) / 98 \times 0.3 \times 100 = 86\text{pt}$

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度 認知度 貢献度

0.12 0.31 0.06

※相関係数について

- 1~1の値をとり、プラス(0~1)の場合は正の相関、マイナス (-1~0)の場合は逆相関となる。
- 絶対値が大きい(1に近い)ほど 相関が強い。
- 上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度については、「少しは満足」と回答した人が最も多く、ついで「ある程度満足」となっています。認知度については「ある程度知っている」と回答した人が最も多く、「よく知っている」と回答した人と合わせると6割以上の人に認知されています。貢献度については「やってみようと思う」と回答した人が最も多く、ついで「ある程度はある」となっています。
- ✓ 認知度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知っていただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策2-4 何度も訪れたい観光・交流)

■具体的な要望等

- 農業、漁業を活性化させるとともに、観光客を呼び込める施策(農家レストランや道の駅的なもの)を作してほしい。
- 姉妹都市交流が田舎町同士では盛り上がっていきません。人、モノ、情報が交流し発展するためには、この町に無いものを持った所、都市部の「市」とも交流すると良い。持続可能性を高めるために、観光業では現状に満足せず、接客レベルを上げたり、また来たいくなる仕組みを作るとリピーターが増える。
- SNSやネットをよく見るが、南知多町の町が実施していることを全く知らないののでアピール不足かなと思う。インスタグラムで南知多町のお店のごはんメニューやテイクアウトを見てもあまり出てこない。(魚ばかり)
- 南知多のHPは前時代的であると思う。今はスマホで調べて観光する時代のため、たとえば福岡県糸島市は博多から車で45分、海と山の幸が目玉で南知多とよく似た観光地であるが、スマホで糸島市のHPを見るととても見やすく観光ページにも目的別で飛べるようになっている。対して南知多のページは文字が多くPDFの張り付けが多く自治体の取組みサービス等もわかりにくく、スマホから読みにくい。糸島市のようにトップページで目的別に観光情報の見出しがわかるようにし、観光協会の「ふらっと南知多」へ飛べるようにできないか。ただ「ふらっと南知多」も探せば目的別の項目もあるが、分かりづらく内容は細かい文字の一覧の為、地域別の表示等がなく観光中の人々がドライブプランを立てるにも不便でありわかりづらい。スマホ用ページの充実がこれからの観光発展には不可欠であり紙の媒体以上に注力してほしい。私が観光して調べたいことは日帰り温泉・海鮮料理もあるが、多目的トイレ・授乳室・おむつ交換台のある場所である。授乳・おむつ替えOKなお店やポイントを呼びかけ増やし、町のHPでMAP案内することで、多様な人に観光で来てもらいたいというアピールもでき町民参加の観光地づくりができると思う。子どもたちの商品開発力を生かせたら大きなムーブメントになると思う。
- 自然環境を活かすというならなぜ風力発電を認可したのか疑問。しかも逃げられて。ソーラー発電も山を削って設置されているところも多いが、言っていることとやっていることが違う。

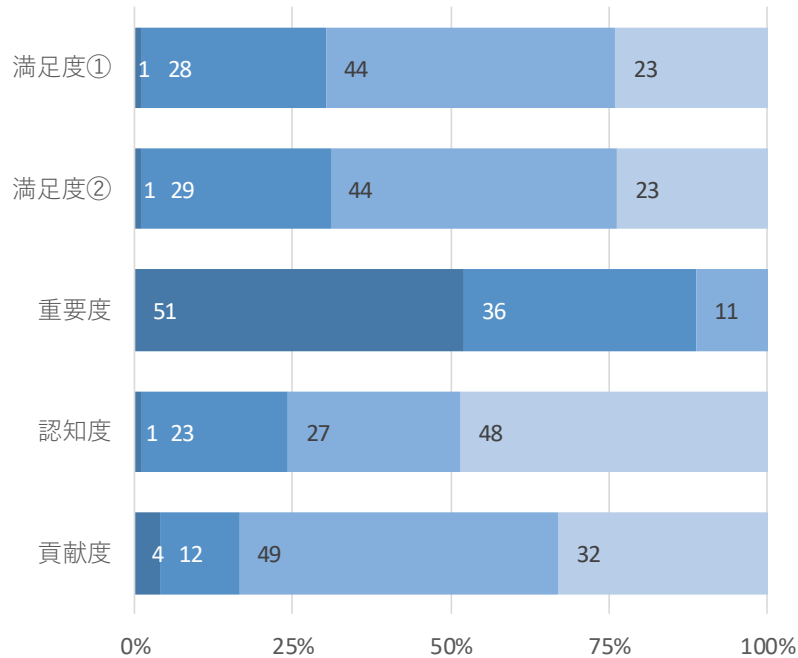
- 来訪者や地元の町民が訪れやすいよう、公共の交通機関の整備が大事である。
- 内海に関していえば、せっかくのロケーションをほとんど活かしてない。特に海水浴シーズン以外の内海は素通りする町として認識されてしまっている。秋から冬にかけて空気が澄んだ時の夕日はとても美しいが、知らない人がほとんど。内海のどこに行けば見られるのかを知らない人も多い。何気に内海は展望台がない。(旅館に泊まれば高いところから眺められるが)非常にもったいない。ランドマーク的な意味でも、あってもよいと思う。(利権者がどう言うかは分からないが)
- 他地域の方に南知多は観光地だけど「食」以外の楽しめる場所が少ないと何度か言われたことがある。そのため、宿泊までは至らず日帰り観光が多い気がする。子どもも楽しめる場所・景色や見どころのアピールがもっと必要ではないかと思う。
- 町の自慢できる良さを町民が知らないことが多く、町内で内海・山海・豊浜・師崎・片名・大井が分裂して活動していることがおかしい。
- 南知多には多くの価値ある史跡があるが、放置されたままのものも多く、予算をつけて保存のための対策をとってほしい。
- 南知多には素晴らしい歴史遺産があり、子どもたちの教育資材として活用されていると思うが、現在はあまり活用されていない。町内のみでなく、対外的にもアピールできる場が必要。また郷土史「みなみ」など優れた研究と財産があり、文化面でも他都市に負けない取り組みが必要だと思う。

■抽象的な提案、意見等

- 観光協会に所属しているが、活動内容に疑問を感じる。活動内容を再考する必要があると思います。今の活動に誰も疑問を感じていないことに一番の恐怖を覚えます。
- 個人レベルでSNSなら町の為に動ける。(YouTuberのように。)自分にはないと思った。PRする仕方に対し、ある程度の地域の人が共通認識を持つことが大切である。
- 知名度の高い材料はある。いかに町全体で後押ししていくかだと思う。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策2-5 新たなチャレンジを創る起業支援)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	1 (1%)	28 (29%)	44 (46%)	23 (24%)	96 (100%)	4

基本施策KPI: $(1+28+44)/98$ (重要度でポジティブな回答をした人) $\times 100 = 74$ pt

満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	1 (1%)	29 (30%)	44 (45%)	23 (24%)	97 (100%)	3

基本目標KPI: $(1+29+44)/97 \times 0.4 \times 100 = 76$ pt

重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	51 (52%)	36 (37%)	11 (11%)	0 (0%)	98 (100%)	2

認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	1 (1%)	23 (23%)	27 (27%)	48 (48%)	99 (100%)	1

基本目標KPI: $(1+23+27)/99 \times 0.3 \times 100 = 52$ pt

貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	4 (4%)	12 (12%)	49 (51%)	32 (33%)	97 (100%)	3

基本目標KPI: $(4+12+49)/97 \times 0.3 \times 100 = 67$ pt

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度 認知度 貢献度

0.09 0.24 0.04

※相関係数について

・-1~1の値をとり、プラス(0~1)の場合は正の相関、マイナス(-1~0)の場合は逆相関となる。

・絶対値が大きい(1に近い)ほど相関が強い。

・上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度については「少しは満足」と回答した人が最も多く、ついで「ある程度満足」となっています。認知度については「知らない」と回答した人が最も多く、半数近くの人に認知されていません。貢献度については、「やってみようと思う」と回答した人が最も多く、ついで「やったことがない」となっています。
- ✓ 認知度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知っていただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策2-5 新たなチャレンジを創る起業支援)

■具体的な要望等

- 新しく農業を始めたい人が農地をすぐに借りられるところがある気がします。
- さらなる発展のためには、個人の起業で留めておくだけでは足りません。それぞれを結び付けて大きなネットワークを作り、消費者が多く先着できる魅力を発信できる仕組みが必要。また、広報にも力を入れて集客を図ると良い。
- 空き家バンクと並行して「農地バンク」も行ってほしい。そして「3反以上」の縛りを緩和し、「週末農業をしたい」という小規模の新規就農希望者へのサービスが行き届くように対象を広げてほしい。
- 起業者の情報を何も知らない。事業内容などのリストがあれば見てみたい。
- 三重県の空き家バンクでは住居とともに仕事のあっせんを行っている市町村があると聞いたことがある。
- 結局他所から来た人がなじめずに失敗した話も耳にしたことがある。安易に他所の人を入れるより、地元で愛着のある人たちを支援してほしい。本当に本気でやっている人は町の助けはいらないうらうけれど。何か訳わからない農業か商売をやるために田舎にあこがれてくる人がいるが、思想が偏っている場合が多いので不安だ。転出する人を減らす、生まれ育った人を残すことに力を入れてほしい。
- クラウドファンディングなる表現は避けるべき。一般の人々の理解度は低い。使用するならその言葉の背景なり必要性なり、解説欄を設けて読む人にしっかり理解してもらうことが必要。町民一般は行政の上から目線の言動には厳しいものがある。

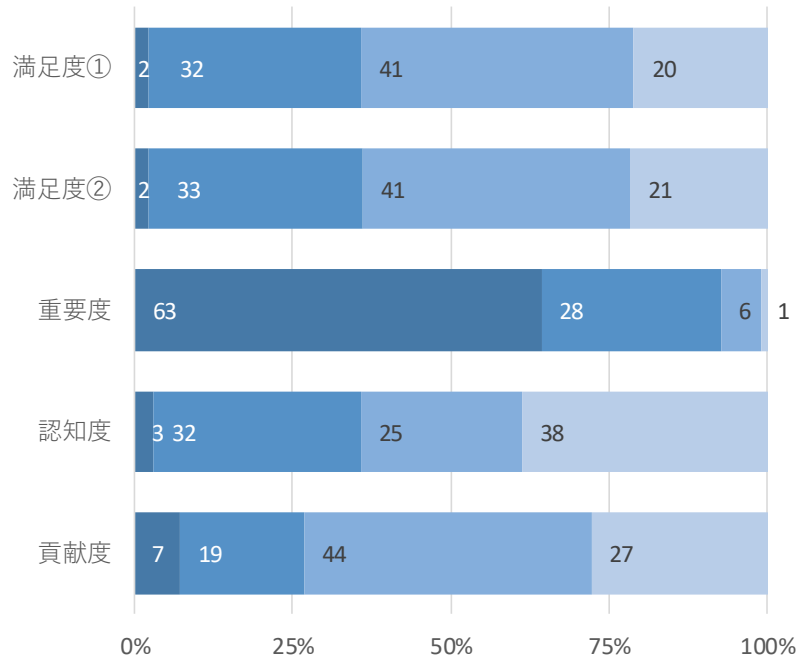
- 町おこしに重要であると思うが、宣伝が今一つ不足しているように思う。起業したいと思い町に相談しても一般的な法律に縛られ(役所はそれしか指導しない)断念することになっている。

■抽象的な提案、意見等

- 地産品のものに付加価値をつけるのは大事なことで個人の努力も重要と認識している。
- 漁業、農業のみ優遇ではなく、町民全体平等になるように。
- 町民の中で町外の移住に協力的じゃない方も多く、新しいことをする人たちの受け入れは整っているのか。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策2-6 価値ある産業を残す事業承継支援)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	2 (2%)	32 (34%)	41 (43%)	20 (21%)	95 (100%)	5
基本施策KPI: (2+32+41)/97 (重要度でポジティブな回答をした人) × 100 = 77pt						
満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	2 (2%)	33 (34%)	41 (42%)	21 (22%)	97 (100%)	3
基本目標KPI: (2+33+41)/97 × 0.4 × 100 = 78pt						
重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	63 (64%)	28 (29%)	6 (6%)	1 (1%)	98 (100%)	2
認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	3 (3%)	32 (33%)	25 (26%)	38 (39%)	98 (100%)	2
基本目標KPI: (3+32+25)/98 × 0.3 × 100 = 61pt						
貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	7 (7%)	19 (20%)	44 (45%)	27 (28%)	97 (100%)	3
基本目標KPI: (7+19+44)/97 × 0.3 × 100 = 72pt						

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度 認知度 貢献度

重要度	認知度	貢献度
0.20	0.66	0.45

※相関係数について

- 1~1の値をとり、プラス(0~1)の場合は正の相関、マイナス(-1~0)の場合は逆相関となる。
- 絶対値が大きい(1に近い)ほど相関が強い。
- 上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度については「少しは満足」と回答した人が最も多く、ついで「ある程度満足」となっています。認知度については「知らない」と回答した人が最も多く、ついで「ある程度知っている」となっています。貢献度については、「やってみようと思う」と回答した人が最も多く、ついで「やったことがない」となっています。
- ✓ 認知度、貢献度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、特に施策を知っていただくことが有効と考えられます。また、施策に参加いただくことでも満足度を高められる可能性があります。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策2-6 価値ある産業を残す事業承継支援)

■具体的な要望等

- 役場のホームページも地味で見にくい。
- CMやSNS等で発信してはどうか。
- 私がUターンで南知多へ帰ってきた際、住民票を移すため役場へ行ったがとても事務的で対応が冷たく「帰ってきてもらいたくないのか」と感じた。例えばプリント1枚でもよいが「南知多に住んでくださりありがとうございます、これから南知多を盛り上げていきましょう！何かお困りごとがあればなんでも役場に相談ください」という紙を渡すとか、移住のお祝い品として「南知多にはこんなおいしいものがあります。ようこそ！元気な南知多の魅力を一緒に発信しよう」と焼き海苔とかをプレゼントするとかあれば、「帰ってきてよかった、自分は歓迎されている、南知多の為に自分もがんばろう」と思う。高価なものが欲しいわけではなく、町の姿勢や気持ちが伝わるとよいと思う。
- 商工会青年部に所属しているが、年々部員が減少している。親会である商工会も会員は減少の一途。町内の空き家が空きスペースを町が借り上げ、商売やアトリエの場として町外の希望者に安く提供することはできないだろうか。
- 商工会に加入していますが、人数もどんどん減ってきている。町独自で事業承継支援として税金の優遇対策などがあると魅力的。
- 町の職員から情報発信している人が少ない中、情報は本当に発信できているのか。
- 美味しい魚介と美味しい野菜をもっと宣伝できるように個々の農業漁業従事者の人たちに啓蒙したらどうか。

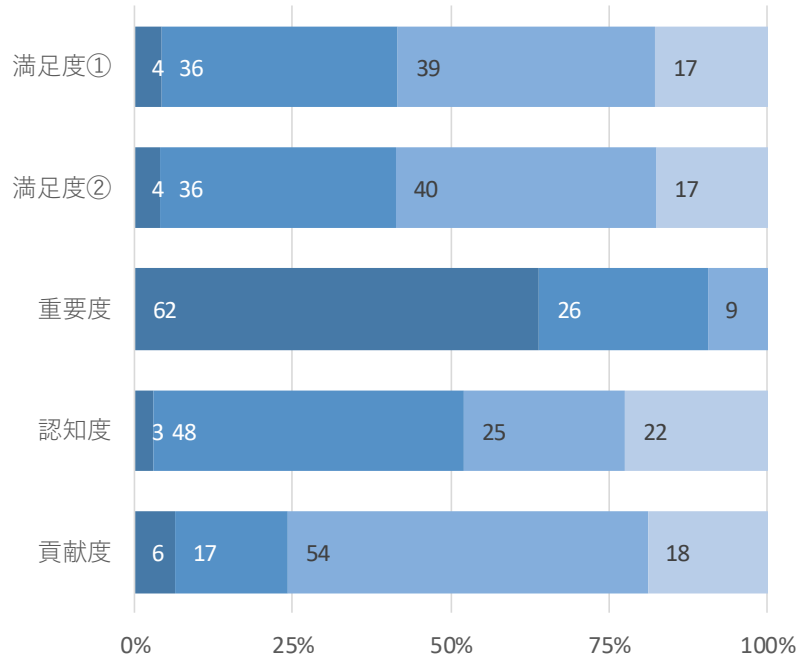
- 起業したいと町へ相談に行った町外からの転入者(移住者)に対し、とても冷たい態度であったと聞いた。町の担当者の親切な対応を望む。

■抽象的な提案、意見等

- 既存の産業事業に入り込めない風潮がある。この地域の強い言葉や特有の物言いも排他的になっている要因。理想と現実の問題、課題を照らして第三者的視点(移住者側)も持ち、コンサルや地域コーディネーターを入れて実現可能性を探るべき。
- 大事なことであるが、立ち位置が遠い。一つ一つの機能が町にとって需要だと思うので頑張してほしい。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策2-7 働く環境づくり)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	4 (4%)	36 (38%)	39 (41%)	17 (18%)	96 (100%)	4
基本施策KPI: (4+36+39)/97 (重要度でポジティブな回答をした人) × 100 = 81pt						
満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	4 (4%)	36 (37%)	40 (41%)	17 (18%)	97 (100%)	3
基本目標KPI: (4+36+40)/97 × 0.4 × 100 = 82pt						
重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	62 (64%)	26 (27%)	9 (9%)	0 (0%)	97 (100%)	3
認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	3 (3%)	48 (49%)	25 (26%)	22 (22%)	98 (100%)	2
基本目標KPI: (3+48+25)/98 × 0.3 × 100 = 78pt						
貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	6 (6%)	17 (18%)	54 (57%)	18 (19%)	95 (100%)	5
基本目標KPI: (6+17+54)/95 × 0.3 × 100 = 81pt						

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度 認知度 貢献度

0.13 0.49 0.13

※相関係数について

- 1~1の値をとり、プラス(0~1) の場合は正の相関、マイナス (-1~0)の場合は逆相関となる。
- 絶対値が大きい(1に近い)ほど 相関が強い。
- 上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度について「少しは満足」と回答した人が最も多く、ついで「ある程度満足」となっています。認知度については「ある程度知っている」と回答している人が最も多く、次いで「知りたい」と回答した人が多く、合わせて7割以上となっています。貢献度については、「やってみようと思う」と回答した人が最も多く、半数以上を占めています。
- ✓ 認知度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知っていただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策2-7 働く環境づくり)

■具体的な要望等

- 他県より移住し、町内外で様々な仕事をしました。「この町で働きたくない・雇われたくない」と思い起業を考えるも課題が多く、雇われても賃金は低く、旧時代的で横柄という所ばかりでした。根本に近いところの問題なので、いっそのこと「町外で働き町内に住むことで納税を増やす」方が、高効率です。子どもたちの預かり体制を強化し、安心して働けるよう町独自のサポートがあれば移住者は増えます。
- 元気な高齢者が比較的に多いと思われ、シルバー人材センターは貴重な役割を果たすと思う。しかし、需要という面では広く認識してもらうことが課題。
- 「インフラの整備」をもっと具体的に進めてほしい。Wi-Fi完備の町営アパート・マンションなどリモートワークの需要が高まっている今こそチャンスだと思う。
- 質問④(あなたに出来ること)の上に例示されている取り組みに支援が欲しい。(補助金等)
- 保育園児、小学生の下校時の見守りをもっとシルバーさんや老人会を活用して不審者から守る姿勢を見せてほしい。
- 南知多で(移住を始め)暮らしたい若い世代にとっては子育て(保育)と学校は選択基準である。公報では、世帯数・人口ともに減少傾向が抑えられていない。保育園と学校はこれ以上減少させてはならない。

■抽象的な提案、意見等

- もっと多様な人が働くための場づくりや子どもがいる世帯の働きやすい環境づくりを続けていってほしい。
- 何もやれていないが、やらなければならないと思う。
- やってみたいが、そんな時間はありません。
- 町内の人は働き者が多く、素晴らしい町だと感じる。

基本目標③「安心できるまちづくり」分野では以下の結果が得られました

各指標の状況(安心できるまちづくり)	
重要度	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 全ての項目において重要度は97pt以上となっています。
認知度	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 認知度の全施策平均は78pt、基本目標③の施策平均は86ptとなっています。 ▶ 最も認知度が高かったのは「心と体安らぐ自然・住環境」(92pt)で、最も認知度が低かったのは「資源を活かす土地利用」(77pt)でした。
満足度	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 満足度の全施策平均は84pt、基本目標③の施策平均は83ptとなっています。 ▶ 最も満足度が高かったのは、「つながりを活かした防犯」(90pt)で最も満足度が低かったのは「資源を活かす土地利用」(74pt)でした。
貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 貢献度の全施策平均は87pt、基本目標③の施策平均は91ptとなっています。 ▶ 最も貢献度が高かったのは「まちと命を守る防災」(97pt)最も低かったのは「資源を活かす土地利用」(81pt)でした。

モニター調査結果のポイント

- ✓ 他の基本目標の結果と比較すると、満足度を除く二つの指標で平均を上回っています。
- ✓ 一方で、満足度がほかの指標と比べて低くなっており、改善の必要があると考えられます。

参考:職員へのアンケート調査結果との比較

- ✓ 住民と最も乖離が大きかったのは「資源を活かす土地利用」(21pt差)でした。
- ✓ 住民と最も乖離が小さかったのは「つながりを活かした防犯」と「安心な暮らしを支えるインフラ」(9pt差)でした。

基本目標③「安心できるまちづくり」分野（自由記述）のテキストマイニング結果

結果の要約

	まちづくり・ポジティブにだけ出現	まちづくり・ポジティブによく出る	両方によく出る	まちづくり・ネガティブによく出る	まちづくり・ネガティブにだけ出現
出現 多	活動 ごみ 意識 活用 道路 進める 内海 名鉄 子供 定期 日常的 業者 清掃 補助金 路 使う 知る 使える 高める 幼い いける かかる 下げる 引く 頑張る しやすい かわいい つばい 低い 出やすい	必要 できる 利用 バス 南知多 場所 感じる	ほしい 思う 空き家 町民 住民 観光客 バス停 危険 設置 少ない すぎる 続ける 良い 増やす 安い 高い いく 乗る 住む 持つ もったいない よい 狭い	多い 島民 船 整備 生活 男女 いい 車 考える 増える 守る 悪い 行く 広い 遅い	エビ 無い ソーラーパネル 不便 公園 いただく 言う マナー 今後 助成 勉強 同様 場合 安全 客 山 意見 火の用心 状態 発生 街 おる 減る 間違う 嬉しい 恐ろしい 悲しい 申し訳ない 若い あたる
出現 少					

マイニング結果の解釈

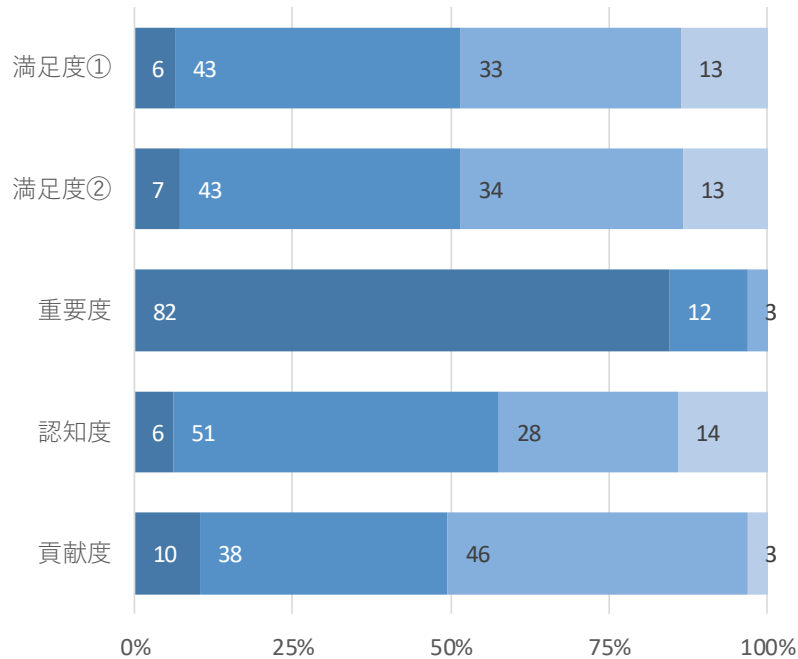
- ✓ ポジティブな回答者は、「バス」や「鉄道」の「利用」しやすさを重視しており、また「ごみ」の「清掃」「活動」など、まちづくり活動への意欲が高いと考えられます。
- ✓ ネガティブな回答者は、「島民」にとって重要な移動手段である「船」が「不便」であることなどが、ネガティブな回答につながっていると考えられます。
- ✓ いずれの回答者も、「空き家」の「危険性」を問題視していることが伺えます。

参考：分析方法及び結果の見方

- ・ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析
- ・青字：名詞、赤字：動詞、緑字：形容詞、灰字：その他
- ・ネガティブ：アンケートで選択肢「4」の回答が平均よりも多い回答者の記述。ポジティブはその逆。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策3-1 まちと命を守る防災)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	6 (6%)	43 (45%)	33 (35%)	13 (14%)	95 (100%)	5
基本施策KPI: (6+43+33) / 97 (重要度でポジティブな回答をした人) × 100 = 85pt						
満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	7 (7%)	43 (44%)	34 (35%)	13 (13%)	97 (100%)	3
基本目標KPI: (7+43+34)/97 × 0.4 × 100 = 87pt						
重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	82 (85%)	12 (12%)	3 (3%)	0 (0%)	97 (100%)	0
認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	6 (6%)	51 (52%)	28 (28%)	14 (14%)	99 (100%)	0
基本目標KPI: (6+51+28)/99 × 0.3 × 100 = 86pt						
貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	10 (10%)	38 (39%)	46 (47%)	3 (3%)	97 (100%)	0
基本目標KPI: (10+38+46)/97 × 0.3 × 100 = 97pt						

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度	認知度	貢献度
0.02	0.46	0.07

※相関係数について

- 1~1の値をとり、プラス(0~1)の場合は正の相関、マイナス(-1~0)の場合は逆相関となる。
- 絶対値が大きい(1に近い)ほど相関が強い。
- 上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度について「ある程度満足」と回答した人が最も多く、ついで「少しは満足」となっています。認知度については「ある程度知っている」と回答した人が最も多く、半数以上を占めています。貢献度については「やってみようと思う」と回答した人が最も多く、ついで「ある程度はある」となっています。
- ✓ 認知度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知っていただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策3-1 まちと命を守る防災)

■具体的な要望等

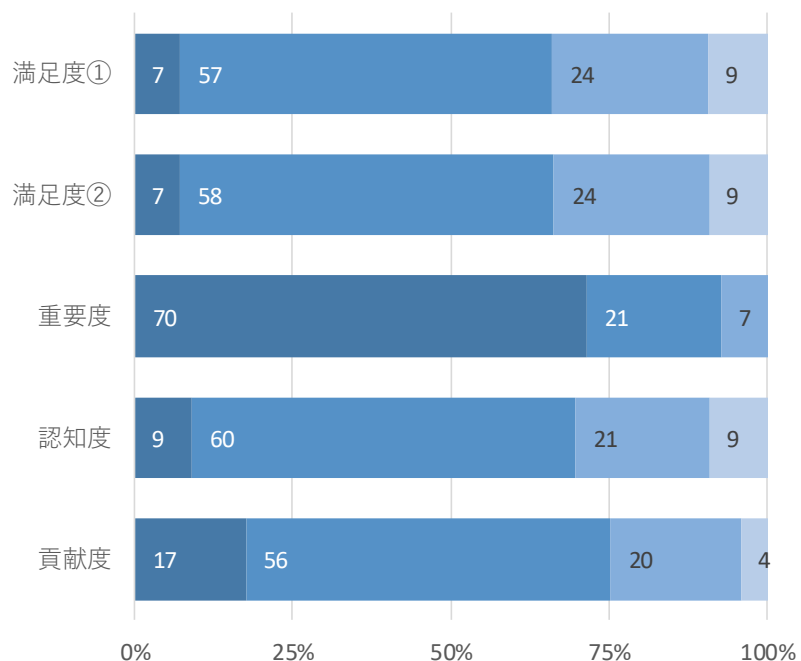
- 消防法の改正によって今まで通りの営業ができなくなった観光業者のひとりもいるため、支援が必要である。
- 東日本大震災の発生後、宮城県気仙沼市一帯へ災害対策の勉強に行き、想像を絶する被害であったことを学んだ。南海トラフの大地震が発生した場合、気仙沼市のような壊滅状態に南知多町もなるのであろうかと考えると恐ろしい気持ちになる。町民の防災意識の向上の為の施策、ハザードマップの強化、事前復興、避難所の整備と発電機の設置などを今後もぜひ推進し、安心して住み続けられる街にしてほしい。
- 町民の人達がもう少し消防団活動について知ることができる場づくりと防災意識を高められる活動がほしい。災害時に弱そうな道や建物が多く見受けられるため、早急に対策が必要。
- 勤務中に発災したら子どもを迎えにいけないので不安。師崎(低地)から内海までどう行けば良いのか。車で町民グラウンドへ逃げたいが、やはり車が流されても身一つが良いのか…。
- 住民に、町の取組みが伝わっていない。地震や津波の際の対処をもっと直接知らせるべき(特に高齢者に)
- 各地域・地区ごとに、避難・防災訓練を何度も行い、いざ発災したときにパニックにならないよう、落ち着いて行動できるよう日頃から意識を高める必要がある。
- 南海トラフへの町としての対応について、漠然としているように感じる。(町民への説明など)
- 大地震に備え、津波から逃れるための道が雑草等で覆われていて道も狭く不安。
- 備蓄をしっかりとしないといけないと思う。
- 消防団を最縮小化して、署員を増加する。経費削減。火の用心の中止(睡眠、勉強、子育ての妨害)。
- 防災センターが災害の時や災害(防災)のためにしか使えない。判断のハードルが高い。もっと慣れた場所になるよう、どうしたら利用のハードルが下げられるのか、頭を使ってほしい。生死に関わる時に使える保険みたいな建物のために税金を使っているのか？他市町のように多目的に使えるにはどうしたらよいか。国に相談してほしい。
- 町内で保存食が商店のどこにでもあれば良いと思う。町内で買うなら消費税は無しなど。
- 師崎は老人福祉センターを避難所として訓練してきたが、年に一度の活用ではもったいない。日常的に活動できる場として利用できないか。
- 防災は最大の弱点となっている。例えば高浜谷などは、かるも保育園が避難所に指定されているが、いざという時には水路が並行してあり、毎日保育園に通う道は渋滞で動けない。住民に進まない状況を説明すべき。今進めている防災センターは日常的に住民が集まり活用できるように利用を検討する必要がある。

■抽象的な提案、意見等

- 島なので、どこまで対応して島民の事を考え取り組んでいただけたかが、災害などには重要ではないかと思う。
- 南知多の防災について家族と話をしたこともなかった。津波が来たら終わりだと思っていた。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策3-2 つながりを活かした交通安全と防犯)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	7 (7%)	57 (59%)	24 (25%)	9 (9%)	97 (100%)	3

基本施策KPI: $(7+57+24) / 98$ (重要度でポジティブな回答をした人) $\times 100 = 90\text{pt}$

満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	7 (7%)	58 (59%)	24 (24%)	9 (9%)	98 (100%)	0

基本目標KPI: $(7+58+24) / 98 \times 0.4 \times 100 = 91\text{pt}$

重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	70 (71%)	21 (21%)	7 (7%)	0 (0%)	98 (100%)	0

認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	9 (9%)	60 (61%)	21 (21%)	9 (9%)	99 (100%)	0

基本目標KPI: $(9+60+21) / 99 \times 0.3 \times 100 = 91\text{pt}$

貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	17 (18%)	56 (58%)	20 (21%)	4 (4%)	97 (100%)	0

基本目標KPI: $(17+56+20) / 97 \times 0.3 \times 100 = 96\text{pt}$

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度 認知度 貢献度

0.10	0.48	-0.05
------	------	-------

※相関係数について

- 1~1の値をとり、プラス(0~1)の場合は正の相関、マイナス(-1~0)の場合は逆相関となる。
- 絶対値が大きい(1に近い)ほど相関が強い。
- 上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度について「ある程度満足」と回答した人が最も多く、ついで「少しは満足」となっています。認知度については「ある程度知っている」と回答した人が最も多く、約6割を占めています。貢献度については「ある程度はある」と回答した人が最も多く、約6割を占めています。
- ✓ 認知度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知っていただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策3-2 つながりを活かした交通安全と防犯)

■具体的な要望等

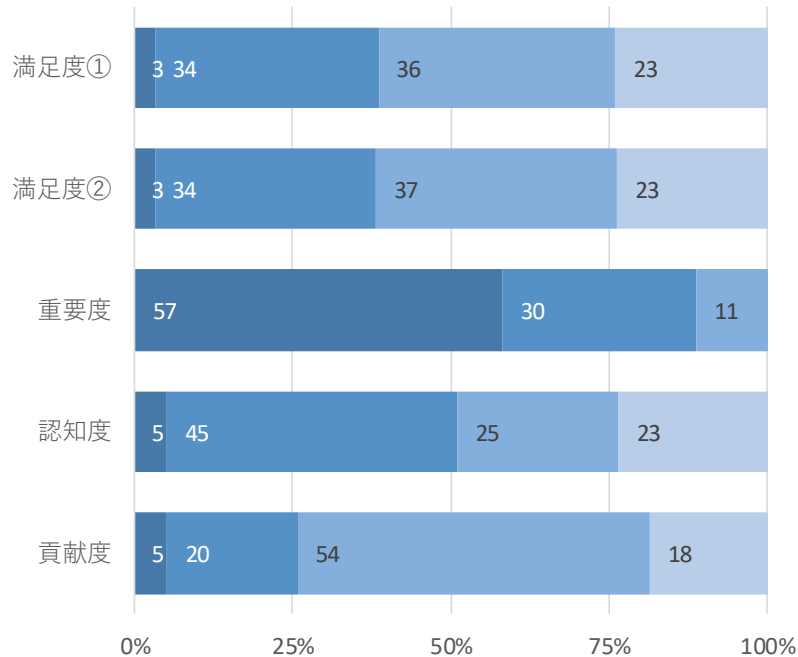
- 通学路で見づらい場所が多く危険な道が多い。カーブミラーの設置か歩道を広くするなどの対策がほしい。
- 高齢者のドライバーが多すぎる。狭い道でスピード出す人が多い。飲酒運転が減っていない。1年生ぐらいの子も自転車で走りまわっており、飛び出しが多い。子どもを外で遊ばせるのが心配。
- 飲酒運転の人が多。タクシーが無いから？宅飲みが多いから？警察署が無いからなのか？
- 島民は島民の生活・交通・安全などルールはありますが、最近観光客も増えてマナーが悪い。若い子はSNSもあるが、島民には島民の生活があるため守っていただいて色々迷惑をかけないようにしていただきたいです。
- ここ数か月の間、南知多町内で幼い子どもへの声掛けや付け回し、連れ去りの未遂事件の報告を見ました。私も幼い子供を持つ母として心配でなりません。幼い子供への防犯に力をもっと入れてほしいと思います。
- 何もしていない人は子どもたちの登下校の時間に外に出て声掛けをしてほしい。防犯になる。
- シルバーセンターの人や老人会の人たちを活かして、特に夕方の交通安全を見守ってほしい。
- 飲酒運転の防止、定期的な取り締まりと啓発活動を進める必要性を感じる。

■抽象的な提案、意見等

- 自分の意識が低いと思うので、気を付ける。
- ご近所づきあいは自慢できるレベルなので安心。結婚して他町へ出て、南知多のご近所づきあいが素晴らしいと感じた。子どもを育てるにも安心できる町。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策3-3 資源を活かす土地利用)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	3 (3%)	34 (35%)	36 (38%)	23 (24%)	96 (100%)	4

基本施策KPI: $(3+34+36)/98$ (重要度でポジティブな回答をした人) $\times 100 = 74$ pt

満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	3 (3%)	34 (35%)	37 (38%)	23 (24%)	97 (100%)	0

基本目標KPI: $(3+34+37)/97 \times 0.4 \times 100 = 76$ pt

重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	57 (58%)	30 (31%)	11 (11%)	0 (0%)	98 (100%)	0

認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	5 (5%)	45 (46%)	25 (26%)	23 (23%)	98 (100%)	0

基本目標KPI: $(5+45+25)/98 \times 0.3 \times 100 = 77$ pt

貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	5 (5%)	20 (21%)	54 (56%)	18 (19%)	97 (100%)	0

基本目標KPI: $(5+20+54)/97 \times 0.3 \times 100 = 81$ pt

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度 認知度 貢献度

0.23 0.55 0.20

※相関係数について

- 1~1の値をとり、プラス(0~1)の場合は正の相関、マイナス(-1~0)の場合は逆相関となる。
- 絶対値が大きい(1に近い)ほど相関が強い。
- 上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度について「少しは満足」と回答した人が最も多く、ついで「ある程度満足」となっています。認知度については「ある程度知っている」と回答した人が最も多くなっています。貢献度については「やってみようと思う」と回答した人が最も多く、半数以上を占めています。
- ✓ 認知度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知っていただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策3-3 資源を活かす土地利用)

■具体的な要望等

- 危険な空き家が減っている気がしない。危険な空き家以外でも、非常に邪魔な空き家もどうかしてほしい。
- 町民が空き家バンクを知らなかったり、空き家、空き地をそのままにしているので景観も悪く、欲しい人がいるのにもったいない。
- 壊れそうな空き家が多いので、取り壊してほしい。
- 空き家対策はとても重要であり、個人レベルでできることがあれば教えてほしい。
- やはり高齢者も多いため、(亡くなって使用していない場合)空き家などは解体していただきたい。放置だと衛生面的に悪いため。
- 河和台や美浜緑苑のように、山や丘を開発し、住宅分譲地を作る。「コロナのでいていない」安全な街をアピールする。
- 危険な空き家はできるだけ早く解体・撤去すべきと思う。子どもたちの通学路で崩れかけているブロック塀がありとても危険。
- 増え続ける耕作放棄地の問題への取組みが不十分だと思う。小規模農家や週末農業をしようとする新規移住者と、小さな農地のマッチングが必要だ。空き家バンクも並行してリフォームへの助成金や、農地バンクとの抱き合わせで提案できるワンストップ窓口が必要だと思う。
- 空き家バンクで、下見に来られたりしてどれだけの家が契約成立をしているのか知りたい。(実際にその物件に住み始めてどうなのかなども)
- ソーラーパネルを設置させているのに、豊かな自然環境をうたわないでほしい。

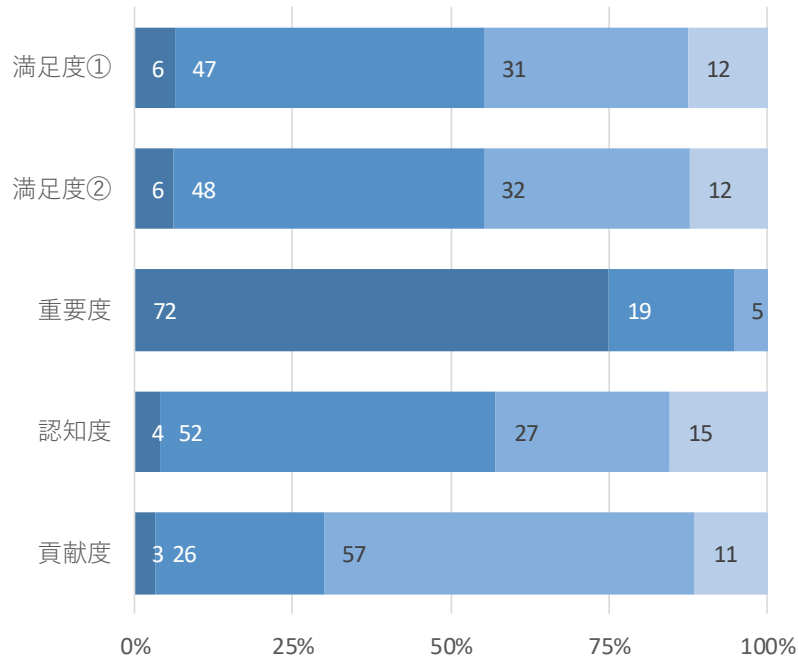
- 空家リフォームの際には、都市景観を守るためある程度の指導を業者側にすべきだと思う。(町が都市景観について統一した見解を持ち、業者などへも周知させる)
- 劣化が激しく、大修繕をしなければ住めない空き家の所有者の中には、解体の補助金がもらえるまで故意に放置する方もいると聞く。補助金の制度見直しが必要かと思う。
- 時間がかかるが、空き家の将来像を所有者に確認、アドバイスしてほしい。地域で空き家を活用するモデルなど作成または応援してほしい。
- 空き家ばかり目立つが、いざ借りようと思うとなかなか見つからない。ネットに紹介されている空き家の数も少なく、人に紹介できない。
- 空き家の持ち主になぜ空き家なのかと実態調査・その理由・結果の公表。

■抽象的な提案、意見等

- 家主不在の空き家から白アリ被害がある。
- 今後高齢化の進行に伴い空き家問題はさらに深刻になると思う。自宅近くの空き家のレンガが台風の際に飛び、車に当たりそうになった。代理執行での処分費用で税金が脅かされたり、空き家が所有者不明・相続放棄当になる前に何かできることはないか、町民一体となって考えていきたい。
- 空き家が多く、もっと多くの人に移住してほしい。家もだけど畑も利用してほしい。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策3-4 安心な暮らしを支えるインフラ)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	6 (6%)	47 (49%)	31 (32%)	12 (13%)	96 (100%)	4

基本施策KPI: $(6+47+31)/96$ (重要度でポジティブな回答をした人) $\times 100 = 88\text{pt}$

満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	6 (6%)	48 (49%)	32 (33%)	12 (12%)	98 (100%)	0

基本目標KPI: $(6+48+32)/98 \times 0.4 \times 100 = 88\text{pt}$

重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	72 (75%)	19 (20%)	5 (5%)	0 (0%)	96 (100%)	0

認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	4 (4%)	52 (53%)	27 (28%)	15 (15%)	98 (100%)	0

基本目標KPI: $(4+52+27)/98 \times 0.3 \times 100 = 85\text{pt}$

貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	3 (3%)	26 (27%)	57 (59%)	11 (11%)	97 (100%)	0

基本目標KPI: $(3+26+57)/97 \times 0.3 \times 100 = 89\text{pt}$

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度 認知度 貢献度

0.01 0.49 0.28

※相関係数について

- 1~1の値をとり、プラス(0~1)の場合は正の相関、マイナス (-1~0)の場合は逆相関となる。
- 絶対値が大きい(1に近い)ほど 相関が強い。
- 上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度について「ある程度満足」と回答した人が最も多く、ついで「少しは満足」となっています。認知度については「ある程度知っている」と回答した人が最も多く、半数以上を占めています。貢献度については「やってみようと思う」と回答した人が最も多く、約6割を占めています。
- ✓ 認知度、貢献度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知り、積極的に参加いただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策3-4 安心な暮らしを支えるインフラ)

■具体的な要望等

- 南知多は停電が多く、復旧が遅いなと思った。
- 道路沿いの歩道が狭く危険なところがあり、車道に出る際ミラーがあっても見にくい場所があり、飛び出し(歩行者・自転車)で事故になりそうな場所がある。
- 道路などのインフラ整備の際には、デザイン性も重視してほしい。観光客が「おっ」と目を引くような。
- 電車は必要。
- 町が実施していないのであれば申し訳ないが、片名にある車エビの設置場所は間違っていると思う。通行する車も少ないし、エビがもったいない。エビを前面に出してエビの町を宣伝するならバス停をエビにすればいいと思う。現にバス停をフルーツにしてインスタ映えしているところがある(長崎県諫早市)。知多には7つのエビがあるという賛歌がある。いろいろエビのモニュメントがあればいい。
- 田舎暮らしを進めているものにとっては公共料金の引き上げは厳しいものがある。日常に重要な取り組みなので頑張ってほしい。

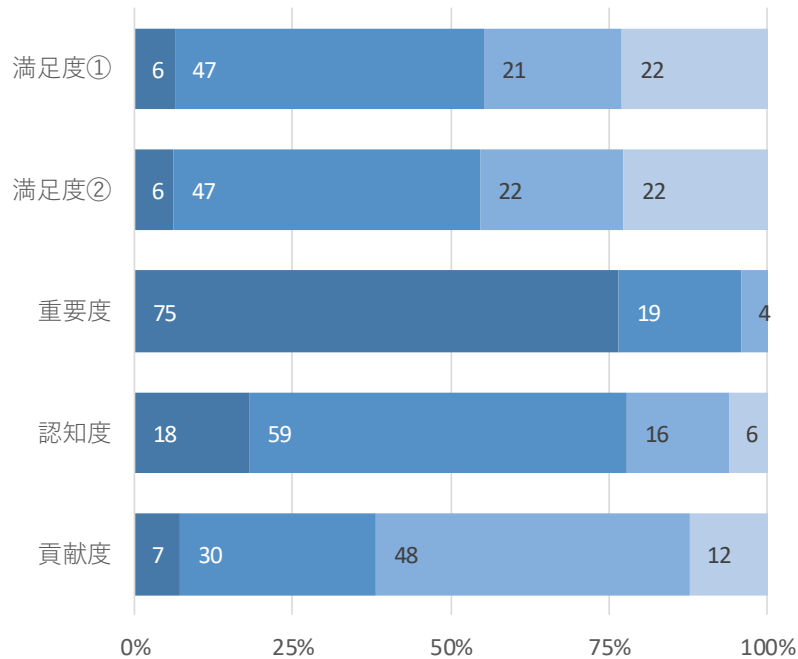
■抽象的な提案、意見等

- 内海の砂時計の町みたいな案内板は観光地っぽくて目を引くしかわいい。

- 道路の白線が消えかかっていたら通報しようと思う。
- 何度も答えていますが、生活するのには不便な住まいです。橋や船など利用料金も安くなり24時間あるのが理想です。
- 道路沿い樹木の剪定には努力されていると感じる。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策3-5 暮らしを支える地域公共交通)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	6 (6%)	47 (49%)	21 (22%)	22 (23%)	96 (100%)	4
基本施策KPI: (6+47+21) / 98 (重要度でポジティブな回答をした人) × 100 = 76pt						
満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	6 (6%)	47 (48%)	22 (23%)	22 (23%)	97 (100%)	0
基本目標KPI: (6+47+22)/97 × 0.4 × 100 = 77pt						
重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	75 (77%)	19 (19%)	4 (4%)	0 (0%)	98 (100%)	0
認知度	よく知っている	ある程度知っている	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	18 (18%)	59 (60%)	16 (16%)	6 (6%)	99 (100%)	0
基本目標KPI: (18+59+16)/99 × 0.3 × 100 = 94pt						
貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	7 (7%)	30 (31%)	48 (49%)	12 (12%)	97 (100%)	0
基本目標KPI: (7+30+48)/97 × 0.3 × 100 = 88pt						

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度	認知度	貢献度
-0.10	0.38	0.12

※相関係数について

-1~1の値をとり、プラス(0~1)の場合は正の相関、マイナス (-1~0)の場合は逆相関となる。

・絶対値が大きい(1に近い)ほど 相関が強い。

・上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度について「ある程度満足」と回答した人が最も多く、ついで「満足していない」となっています。認知度については「ある程度知っている」と回答した人が最も多く、約6割を占めています。貢献度については「やってみようと思う」と回答した人が最も多く、約半数を占めています。
- ✓ 認知度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知っていただくことが有効と考えられます。
- ✓ 一方で、相関は弱いものの重要度が高いほど満足度が低い関係がみられ、施策が重要な方ほど満足できていない実態が伺えます。次項の自由記述では重要度が高く満足度が低い回答者によるものが多いことから、こうした意見を踏まえた改善が有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策3-5 暮らしを支える地域公共交通)

■具体的な要望等

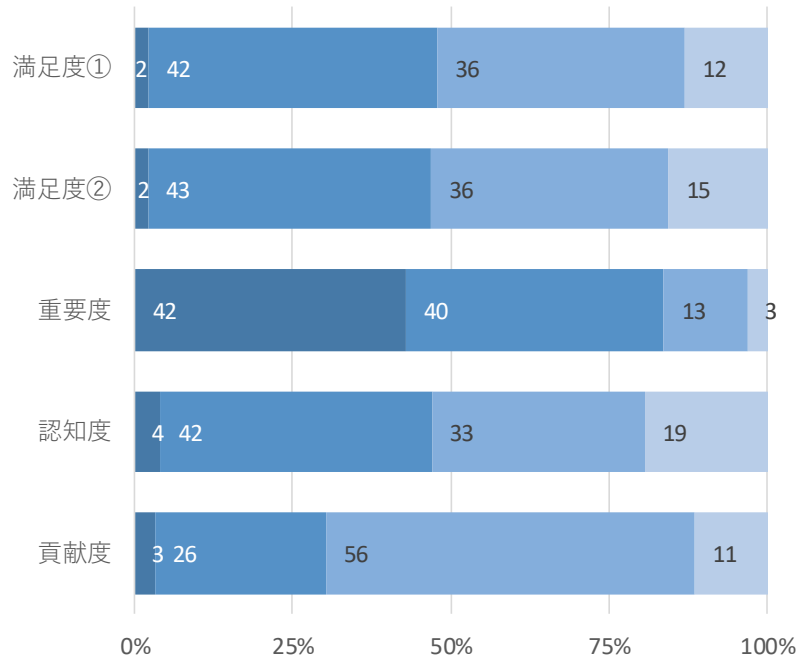
- ・ 観光船は島民にとっては必要な移動手段なので、もう少し安く。
- ・ 定期船の交通費が高すぎるので安くしてほしい(補助)
- ・ 子育てサポートバス、タクシーがあったら良い。町内も大事だが、外に働きに出やすいように南知多道路(高速道路)を町民が使い放題とか専用通勤定期などがあると、町外へ引っ越さずここに残ります。
- ・ 半田の高校へ通うのに、バスの時間がないから朝練・朝学に参加できないと聞いた。ここで子育てするのを不安に思うし、他の人が思わないような子が少なすぎる。クラス替えが無いなど、人が考えなくても良いものが悩みになっていて悲しい。
- ・ 前のページ同様、船の料金が安い。時間に追われて不便。師崎の立体駐車場も観光客も増えれば渋滞にもなり船に乗りたいのに乗れない状態。島民にとって船は生活航路ですからとても大事です。島民にあんなに運賃頂いて、陸の方は何か同様なことはありますか？
- ・ 学生や高齢者が利用しやすくするため、住宅密集地にバス停を増やす。理想は師崎地区まで鉄道開通してほしい。
- ・ 船は両島民の生活路なので、料金をもう少し下げてほしい。高校生の船代も、国からの補助金内でまかなえるくらいまでにしてほしい。便数も少ない乗客数の時間帯の部分を夜の方に回し、終便をもう少し遅い時間にならないか。(前回試験的に実施したのは効果なしだったのか)
- ・ 電車がないと発展の見込みなし。
- ・ 内海駅にエレベーターを設置してほしい！(もしくはエスカレーター)高齢化社会には不可欠。
- ・ バスはなかなか乗らない。本数が少ない。
- ・ バス停の見直しが必要と感じている。40年も前と同じところにバス停があっただろうか。観光施設を利用しやすしたり、公共施設に重点を置かなくていいのだろうか。観光の町のはずなのに。
- ・ 電車の料金は安くないのか。乗客が少ない。そうしたら観光客も電車に乗るバスを使うだろう。住民だけでバス利用を増やすのは難しいと思う。(鉄道×バス割引切符など)
- ・ 島の人だけが船の助成があるより全町民に助成があれば、豊浜、師崎地区の住民も島に今より気軽に行けるのでは。コミュニティバスを便数増やすか、個性的な車にするのはどうか。トゥクトゥクのようなオープンカー(観光用)など。
- ・ 高齢化する南知多にとって交通手段は死活問題。バス停のイス設置、バスや電車との接続を望む。
- ・ 個人としては自転車とバスしか手段がない。バスと電車の接続を利便よくすること。内海駅はエレベーター設置(緊急)、島への交通費補助の増設、通学・通勤で島の住民の生活を保障する。

■抽象的な提案、意見等

- ・ ちょっとしたことを見つけて実行しようと思う。
- ・ うみっこバスの回数券を購入し、活用している。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	2 (2%)	42 (46%)	36 (39%)	12 (13%)	92 (100%)	8

基本施策KPI: $(2+42+36) / 95$ (重要度でポジティブな回答をした人) $\times 100 = 84$ pt

満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	2 (2%)	43 (45%)	36 (38%)	15 (16%)	96 (100%)	0

基本目標KPI: $(2+43+36) / 96 \times 0.4 \times 100 = 84$ pt

重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	42 (43%)	40 (41%)	13 (13%)	3 (3%)	98 (100%)	0

認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	4 (4%)	42 (43%)	33 (34%)	19 (19%)	98 (100%)	0

基本目標KPI: $(4+42+33) / 98 \times 0.3 \times 100 = 81$ pt

貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	3 (3%)	26 (27%)	56 (58%)	11 (11%)	96 (100%)	0

基本目標KPI: $(3+26+56) / 96 \times 0.3 \times 100 = 89$ pt

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度 認知度 貢献度

0.36 0.50 0.27

※相関係数について

- 1~1の値をとり、プラス(0~1)の場合は正の相関、マイナス (-1~0)の場合は逆相関となる。
- 絶対値が大きい(1に近い)ほど 相関が強い。
- 上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度について「ある程度満足」と回答した人が最も多く、ついで「少しは満足」となっています。認知度については「ある程度知っている」と回答した人が最も多くついで「知りたいと思う」となっています。貢献度については「やってみようと思う」と回答した人が最も多く、6割近くを占めています。
- ✓ 重要度、認知度、貢献度いずれも高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知りその重要性を理解し、積極的に参加いただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策3-6 多様性を認め、共に支え合うコミュニティ)

■具体的な要望等

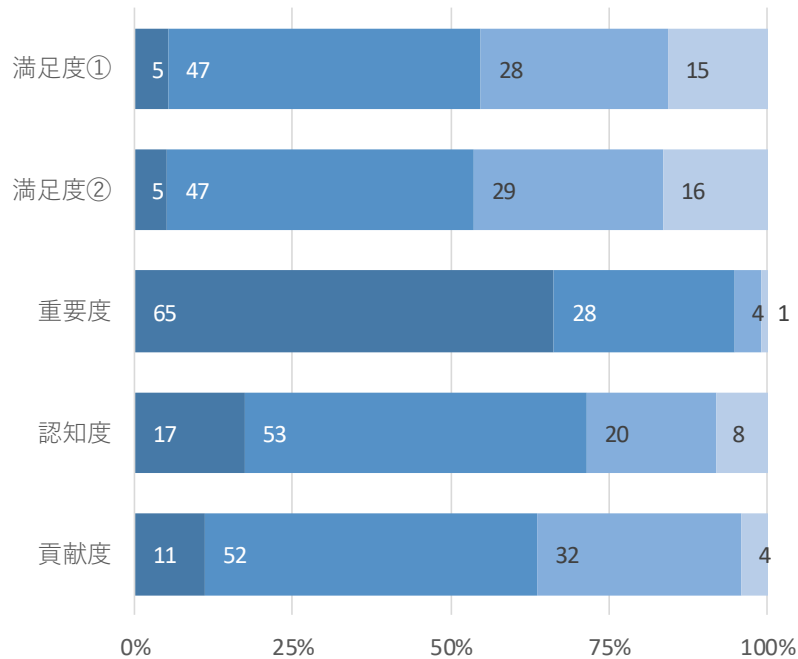
- 移住ではなく、南知多で働く場所づくりを手助けをしている。南知多をもっともっと多くの人に知ってほしい。知多半島の中でも観光地であり自然を楽しむ町。
- 町づくり協議会の補助はいいと思う。男女共同参画で男女の意見をまとめようとする姿勢がまだ区にない。ただ、共同参画でイデオロギーに利用されることはやめてほしい。あくまで男女の意見を言う、合わせるための言葉であってほしい。
- 男女共同だけでなく、ジェンダーや平等意識が持てるよう、町として進めてほしい。
- 議会運営の改善。移住してきて不思議に思う。この町は民主主義が欠けていると思う。

■抽象的な提案、意見等

- 移住者だけど受け入れてもらえています！
- 町の為と言われたらそうではないが、裏山の整備に興味がある。
- 移住者交流会をやりたいと考えている。
- 老人が多い。手助けの必要な人が沢山いると思う。

住民意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策3-7 心と体安らぐ自然・住環境)



満足度①	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	5 (5%)	47 (49%)	28 (29%)	15 (16%)	95 (100%)	5

基本施策KPI: $(5+47+28) / 97$ (重要度でポジティブな回答をした人) $\times 100 = 82\text{pt}$

満足度②	とても満足	ある程度満足	少しは満足	満足していない	合計 (人・%)	未回答
	5 (5%)	47 (48%)	29 (30%)	16 (16%)	97 (100%)	0

基本目標KPI: $(5+47+29) / 97 \times 0.4 \times 100 = 84\text{pt}$

重要度	とても重要	ある程度重要	少しは重要	重要でない	合計 (人)	未回答
	65 (66%)	28 (29%)	4 (4%)	1 (1%)	98 (100%)	0

認知度	よく知っている	ある程度知ってい	知りたいと思う	知らない	合計 (人・%)	未回答
	17 (17%)	53 (54%)	20 (20%)	8 (8%)	98 (100%)	0

基本目標KPI: $(17+53+20) / 98 \times 0.3 \times 100 = 92\text{pt}$

貢献度	大いにある	ある程度はある	やってみようと思う	やったことがない	合計 (人・%)	未回答
	11 (11%)	52 (53%)	32 (32%)	4 (4%)	99 (100%)	0

基本目標KPI: $(11+52+32) / 99 \times 0.3 \times 100 = 96\text{pt}$

満足度との関係の強さ (相関係数)

重要度 認知度 貢献度

0.11 0.43 0.24

※相関係数について

-1~1の値をとり、プラス(0~1)の場合は正の相関、マイナス (-1~0)の場合は逆相関となる。

・絶対値が大きい(1に近い)ほど 相関が強い。

・上表では、正の相関を青、逆相関を赤、相関の弱いものをグレーとし、相関の強いものを濃く色づけしている。

- ✓ 満足度について「ある程度満足」と回答した人が最も多く、ついで「少しは満足」となっています。認知度については「ある程度知っている」と回答した人が最も多く、半数以上を占めています。貢献度については「ある程度はある」と回答した人が最も多く、半数以上を占めています。
- ✓ 認知度、貢献度が高いほど満足度が高い傾向があります。今後、満足度を高めるには、施策を知り、積極的に参加いただくことが有効と考えられます。

住民意識調査の各施策における回答結果(自由記述)は以下の通りとなっています

住民意識調査の回答結果(施策3-7 心と体安らぐ自然・住環境)

■具体的な要望等

- 公園数の少なさと、整備具合に不便さを感じる。町内では荒れている公園をよく見かけ、代わりに近隣市町の運動公園で南知多町の住民と会うことが多数ある。きれいで広い公園が増え、運動公園に広場やジョギングコースが整備されるともっと町民が運動・交流できるような場所が増えると嬉しく思う。
- 町民や観光客が参加できる清掃イベントみたいなものを開催してもいいかも。
- 釣り客のゴミが多く、釣り客からのお金を取ってほしい。マナーが守られておらず、海にも平気でゴミを捨てる。地元の人が気を付けていても、他所から来た人が守ってくれないと困る。
- とても細かく、細分化分別を。仙台市に住んでいた時は、容器包装など様々に分別することで啓発になっていた。
- 特に人の集まるところ(観光スポット)周辺は、古くさびれた空家は撤去してほしい。観光客や移住する人は整備された街並みに好感を持つ。
- 地区の一斉清掃活動の回数を増やした方が良い。家庭ゴミ有料化によって、不法投棄が増えてしまうのではないかと思う。一人一人がゴミを減らす意識を高める必要がある。
- リサイクルと言いつつしていないものは分別しなくてよい。分別など町民の手間を減らす。
- 環境美化を言うならソーラーパネルはいらない。

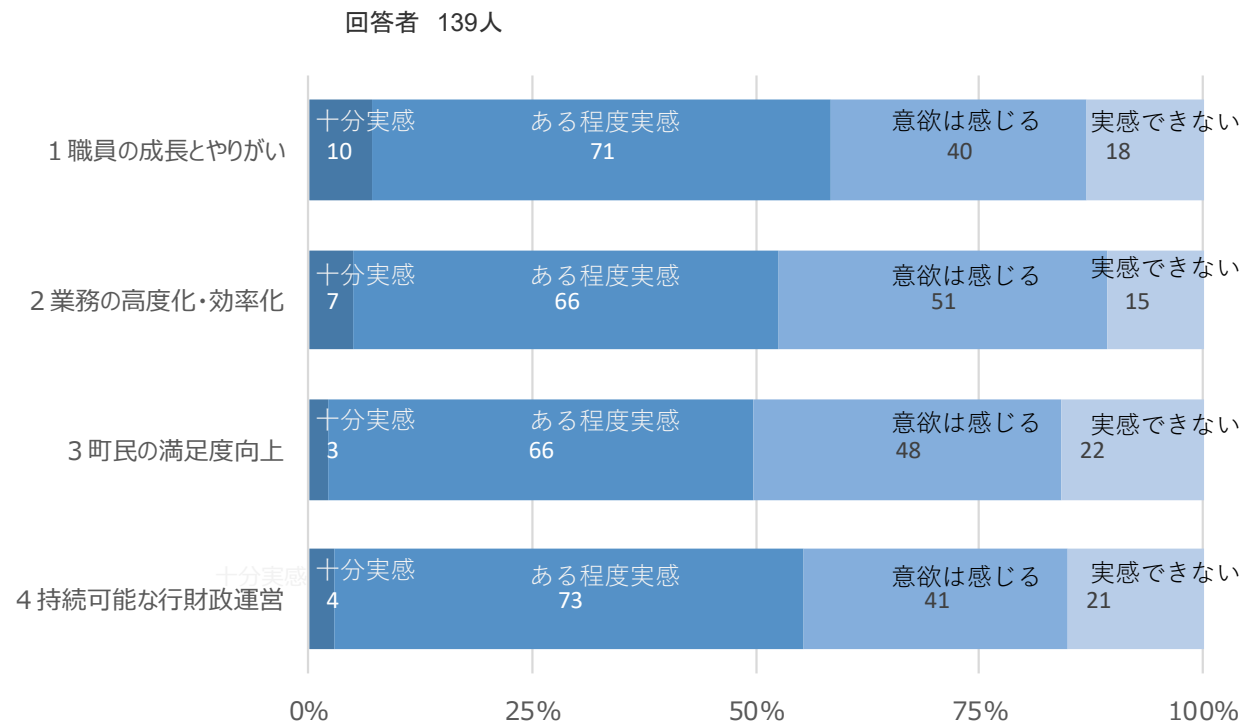
- なぜ、プラごみを捨ててはいけないのかを学習する場(講演会や講座)を設けることができないか。地球温暖化も。
- 身近な場所にエコステーションを作ってほしい。
- 業者の積極的な清掃活動をお願いしたい(海岸で営業している方)
- 南知多で、15年NPOのボランティアを続けている。従事してみてこれから守り発展させることの重要だと強く感じる。漁業従事者のごみは産業ごみと思うが家庭ごみとして処理が多い。改善の指導を願う。環境自然推進型の考え方を日常的に訴えていく必要がある。

■抽象的な提案、意見等

- レジ袋は使わないようにしているので、いろいろ考えていきたい。
- レジ袋は少なくする動きで頑張ります。海を汚すことはしたくない。

職員意識調査の各施策における回答結果は以下の通りとなっています

職員意識調査の回答結果



- ✓ 「1 職員の成長とやりがい」
「2 業務の高度化・効率化」
「3 町民の満足度向上」
「4 持続可能な行財政運営」
いずれについても、8割程度の職員が町の取り組みを前向きに捉えています。
- ✓ しかし、取り組みの効果を実感している割合は約半数であり、更なる工夫が求められます。